---------- SEITEN2
教1,,教義と聖約　　第1章
教1,*-*,1831年11月1日、オハイオ州ハイラムにて開かれたる末日聖徒イエス・キリスト教会長老たちのある特別大会中に予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。これより前主はすでに多くの啓示を下したまいしが、これらを1書として出版するために編集す
教1,*-*-1,この大会にて決したる主なる議題の1つなりき、わが教会の歴史、第1巻、222頁（英文）を見よ。この章はこの末日の神権の時代に下したまいし教義、聖約および誡命に対する主御自身のはしがきを成す。すなわち、教会員とひろく世の人々に下したまいし警告と誡
教1,*-*-1-1,この末日の神権の時代に於ける神権の権威に関する証明。主イエス・キリスト再臨の予言。モルモン経の真実なることの断言。
教1,1,聴け、汝らわが教会の人々よ。いと高きところに住みて、すべての人を見まもる者の声は告ぐ。曰く、誠にわれ告ぐ、汝ら民よ、遥かなる所より耳を傾けよ。海の島々にある者よ、共に聴け。
教1,2,誠に主の声はすべての人々に及ぶものなれば、一人ものがるる者なし。目として見ざるはなく、耳として聞かざるはなく、心として刺し貫かれざるはなし。
教1,3,また。およそ教えにそむく者たちは大いなる悲しみに刺し貫かれん。そは、彼らの罪悪は公に告げ知らされて、そのかくれたる行いの発かるべきを以てなり。
教1,4,而して、この末の世にわが選びたる弟子たちょの口より、すべての人々に警めの声は及ばん。
教1,5,この末の世の弟子たちは進み行けど、1人もこれを止むる者なからん。そは主なるわれ、かれらに命じたればなり。
教1,6,この世に住める人々よ、見よ、こはわが権威にしてまたわが僕らの権威なり。こはまたわが誡命の書のはしがきにして、その書は汝らに公にせんためわが彼らに与えしところなり。
教1,7,この故に汝ら世の人おそれおののけ、そは主なるわれ誡命の中にて命じたることは成就すべければなり。
教1,8,而して誠にわれ汝らに告ぐ、世に住める人々にこのおとずれを持ちて進み行く者どもには、天に於ても地に於ても、福音を信ぜず教えにそむく者たちに対する証詞を結び固むる権能与えられ、
教1,9,また、誠に神の怒り限りなく悪しき人々の上に注がるる日まで、
教1,10,すなわち、誠に主来りてあらゆる人にその為せる行為に従いて報いを与え、また彼らがその同胞を計りし秤を以てかれらすべての者を計るべき日まで、彼らに対する証詞を結び固むる権能与えらる。
教1,11,この故に、主の声は耳ありて聞かんとするすべての人々に聞かれんため地の果にまで及ぶ。
教1,12,されば汝ら備えをなせ、まさに来るびき事のために備えをなせ、そは主の来るは近ければなり。
教1,13,而して主の怒りは燃え、主の剣は天にてうるおいたれば、今やこの世に住む人々の頭に下されん。
教1,14,その時主の腕現われて、主の声もまた主の僕らの声も聞かんとせず、予言者にして使徒なる者たちの言にも耳傾けんとせざる者のその民の中より絶たるべき日来るなり。
教1,15,そは彼らわが儀式より離れ去り、わが営営んの聖約を破りたればなり。
教1,16,彼らは主の義を打建てんために主を求めずして、あらゆる者おのが心のままに振舞いおのれらの神の姿を求むれども、その姿は人の世の像にしてその本質は1個の偶像なり。そは古びてついにバビロンにて、すなわちついに亡ぶべき大バビロンにて朽ちん。
教1,17,されば、主なるわれ、この世に住める人々に襲い来るべき禍を知れば、わが僕ジョセフ・スミス（2代目）をを呼び天より語りて彼に誡命を下せり。
教1,18,また他の者どもにもこれを世の人々に宣ぶる様誡命を与えたれど、すべてこの予言者たちの記せし事の成就せんがためなり。
教1,19,すなわち世の弱き者たち出で来り、人その同胞を議りまた肉の権力に依り頼まざらん様力ありて強き者たちを打ち破らん。
教1,20,されどこは、あらゆる人々主なる神すなわち世の救い主の為によりて語らんため、
教1,21,信仰もまた世に高まり、
教1,22,わが永遠の聖約は確立せられ、
教1,23,完全なるわが福音、弱き者たち単純なる者たちによりて世界のいやはてまでも宣べられ、また王と統治者との前に宣べられんがためなり。
教1,24,見よ、われは神なり。而してこの事を語れり。これらの誡命はわれより出で、わが僕らの理解せんがため、彼らの言葉ぶりにならいてわが僕らの弱きままに与えられたり。
教1,25,彼ら誤りたらば明らかにさるるを得、
教1,26,智恵を求めたらば教えを授けらるるを得、

教1,27,罪を犯したらば悔い改むるために懲しめらるるを得、
教1,28,へり下りたらば強くせられて天の祝福を受け、また折々知識を与えらるるを得るためなり。
教1,29,またさきにニーファイ人の記録を受けたる後、誠にまことにわが僕なるジョセフ・スミス(2代目)は神の恩恵を通して神の能力によりモルモン警を翻訳する能力を与えらるるを得、
教1,30,またこの誡命を受けたる者たちもこの教会の基礎を置き、人に知られぬ所よりまた暗き所より、全地の面に於ける唯一の誠にして生命あり而も主なるわれの悦ぶこの教会を明るみに出す能力を与えらるるを得、われ悦ぶとは1人1人を指すにあらずして、わが教会員全体
教1,30-1,言えるなり。
教1,31,すなわち、主なるわれは罪を見ていささかもこれを許すを得ざればなり。
教1,32,さりながら、悔い改めて主の誡命を行う者は赦されん。
教1,33,而して悔改めをなさざる者は、彼のすでに受けたる光明までも取り去られん。そは、わが"みたま"常には人を励まさじ、とは万軍の主の言なればなり。
教1,34,またわれ誠に汝らに告ぐ、世に住める人々よ。主なるわれは、これらの事を進んですべての人に知らせんと思うなり。
教1,35,そは、われは人々を偏り見る者にあらざれば、すべての人々をしてその日の速に来るを知らしめんと思えばなり。而して地より平和の取り去られ、悪魔自らの領土を支配する時はなおいまだいといえども今や近きにあり。
教1,36,されど主もまたその聖徒らを支配し、その真中にありてこれを統治せん。而してイヅミヤ、すなわちこの世に下る裁きのために天より降り来らん。
教1,37,人々よ、これらの誡命をしらべよ。そはこれらは真実確なる誡命にして、その中に言われたる予言も約束もすべて成就さるべければなり。
教1,38,主、われ言いたることは、われ言いたるなり。われ言い逃れせず。天地は過ぎ行くとも、わが言は過ぎ行くことなくして成就すべし。わが声にて言わるるも、僕らの声にて言わるるもみな1つなり。
教1,39,見よ、みよ、主は神にして"みたま"は証す。またこの証は真実にして真理は永遠に変ることなし。 アーメン。
教2,,教義と聖約　第2章
教2,*-*,1823年9月21日の夕、予言者ジョセフ・スミス、ニューヨーク州マンチェスターなる父の言えにありし間に天使モロナイのかれに語りし言、わが教会の歴史、第1巻、12頁(英文)を見よ。モロナイは連綿と続きし歴史家の最後の人にして、現今世にモルモン警
教2,*-*-1,在る記録を記したりし人なり。マラキ書の第4章、5乃至6節と比較せよ。また本書第27章、9節および第100章、13節乃至16節を見よ。
教2,1,見よ、主の大いなるおそるべき日の来る前に、予言者エライジャの手によりて、われ神権を汝に顕さん。
教2,2,彼は先祖になされし約束を子らの心に植え、子らの心にその先祖を思わしめん。
教2,3,もし然らずば、主の来る時、全地はことごとく荒れ廃れん。
教3,,教義と聖約　第3章
教3,*-*,1828年7月、ペンシルベニヤ州ハーモニーにて予言者ジョセフ・スミスに給わりし啓示。こはジョセフ・スミスが、モルモン経の始めの部分を記せるあの原稿を自己の保管より不承不承マーテン・ハリスの保管に移すを許したるところ、これが紛失したる件に関し給
教3,*-*-1,。而してマーテン・ハリスは、モルモン経の翻訳に初期として暫時勤めたりし者なり。この啓示は"ウリムとトミム"と通して給わりたり。わが教会の歴史、第1巻21頁(英文)を見よ。本書第10章と比較せよ。
教3,1,神の業、解家句、目的が破れ、また水泡に帰するは共に有り得べからず。
教3,2,神は曲れる道を歩まず、また右手にも左手にも曲らず、また宣べし事と違うところなし。故に、神の道は直くしてそのふむ道は永遠にかわらぬ1すじなり。
教3,3,破るるものは神の業にあらずして人間の業なるを決して忘るばからず。
教3,4,そは、たとえある人多くの啓示を受け多くの大いなる業をなすべき能力を有つとも、その人己が能力を自慢し神の助言を無にし思が石と肉体の欲とに従わば、必ず堕落して正義の神の怒りを彼の身に招かざるべからざればなり。
教3,5,見よ、今やこれらのこと汝に委せられたるが、汝の受けし誡命はいかに厳しかりしぞ。されどもしこの誡命を破らざりしならば、汝に為されたる神の約束をまた想い見よ。
教3,6,また見よ、汝は神の誡めにそむき神の律法を犯して、人間の説き伏せに乗りしこと幾度ぞや。
教3,7,見よ、汝、神よりも人をおそれしは悪しきことなり。人々神の助言を無にしその言を軽んずとも、
教3,8,汝はよく忠信ならざるべからざりき。さらば神はその腕を伸し、悪魔のすべての火矢より汝を助け、なやみの時ことごとく汝と共に在りしならん。

教3,9,見よ、汝はジョセフなり。汝は主の業をなすために選ばれたり。されど汝罪を犯したる故に、このことを覚らざれば堕落せん。
教3,10,されど忘るるなかれ、神はいつくしみ深し。この故に汝わが与えたる誡めに背ける行為を悔い改めよ。然らば汝はなお選ばれたる者なるを失わず再び神の業に召さるるなり。
教3,11,悔い改めざれば汝は引き付されて平人の如くとなり。もはや賜を有つことなかるべし。
教3,12,而して神汝に翻訳の眼力と能力とを与えしところのものを汝他人に引き渡したる時、汝はこれ悪人のてに聖き物を引き渡したるなり。
教3,13,而してその人は神の助言に無にし、神の前にて誓いたる最も聖き約束を破り、自己の分別に依り頼み、己が智恵を自慢せり。
教3,14,而して、汝が1時特権を失いしはこの故なり。
教3,15,すなわち汝を指導する物の助言を始めより踏みみじるを許したるためなり。
教3,16,それにもかかわらずわが業は進み行かん。そは、ユダヤ人の証によりて1人の救い主のこと依に知られたれば、正にその如くわが民にも1人の救い主のこと知らるべければなり。
教3,17,すなわちまたニーファイ人、ヤコブ人、ジョセフ人、ゾーラム人にも、その先祖たちの証によりて知らるべきなり。
教3,18,すなわち、この証はまたレーマン人、レミュエル人およびイシメル人の間にも知らるべきなり。これらの者はその先祖らの罪悪によりて不信仰に堕落せしものにして、同族ニーファイ人の罪悪と憎むべき行いの故に、神彼らをしてこれを亡ぼすを許したるものなり。
教3,19,而して以上の記録を載せたるこれらの金版は、実にこの目的のために保存されたり。しなわち主がその民になしたる約束の必ず成就さるべきためにして、
教3,20,これまたレーマン人のその先祖のことを知り、主の約束を覚り、かくて福音を信じ、イエス・キリストの功徳に頼り、その名を信ずる信仰によりて栄光を得、かくてまた彼らその悔改めによりて救われんがためなり。 アーメン。
教4,,教義と聖約　第4章
教4,*-*,1829年2月、ペンシルベニヤ州ハーモニーにて、予言者ジョセフ・スミスによりて彼の父親ジョセフ・スミス(初代)に給える啓示。導きと教えを与える職のために働く資格を示したもう。
教4,1,さて見よ、1つの驚嘆すべき業、まさに人の子らの中に現われんとす。
教4,2,この故に、汝ら神の役務に出で立たんとする者は、終りの日に臨みて神の前に咎なくして立たんため、すべからく心をつくし、勢力をつくし、思いをつくし、体力をつくして神の役務をなせ。
教4,3,されば汝らもし神に仕えんと望むならば、汝ら神の業に召さるるなり。
教4,4,そは、見よ畑は早白くして刈り入れを待つが故なり。また見よ。勢力をつくして鎌を入るる者は、亡びずしてその身も霊も救いを得るために庫に積み入るるなり。
教4,5,神の栄光をまごともて仰ぎみて、信仰、希望、慈悲、仁愛の徳を有つ者は、神の業に仕うる資格あり。
教4,6,信仰。徳行、知識、節制、忍耐、兄弟の親切、敬虔、慈悲、謙遜、勤勉などの諸徳を忘るることなかれ。
教4,7,2-内容? 求めよ、さらば与えられ、叩けよ、さらばひら開かるることを得ん。 アーメン。
教5,,教義と聖約　第5章
教5,*-*,1829年3月、ペンシルベニヤ州ハーモニーにて予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。モルモン敬の見証者3人あることを約束したもう。その中、マーテン・ハリスもし自らその資格あることを実証するならば、見証者の1人となるべきこと。バプテス
教5,*-*-1,就きて預め示されたれど、当時何人もその儀式を執行するために按手聖任されし者あらざりし故に、忍耐して時期を待つ様命ぜらる。その後数週間にして、その聖職任命の事次でありたるに注意せよ。本諸第13章を見よ。
教5,1,見よ、われ汝に告ぐ、わが僕マーテン・ハリスは僕ジョセフ・スミス(2代目)のわれより受けたりと証明し、且つ証せる金版を有することを証する者たらんとわれに乞いねがいしにより、
教5,2,さて見よ、汝彼らに向いて次の如く言え。汝に告げたる者汝に語れり、と。われ主は、すなわち神なり。而してわれこれらのものを汝わが僕ジョセフ・スミス(2代目)に与え、汝をこれらのものの見証者として立つ様に命じたり。
教5,3,而して、われ汝をしてわが汝に命じたる人々以外決してこれらを他に示すべからず、との誓約をなさしめたり。故に汝はわが許す以外、これらのものを自由にする権能をもたざるなり。
教5,4,また汝は金版を翻訳する賜を有てど、これわが汝に与えたる最初の賜なり。而してこれによりてわが目的の成就するまでは、汝これ以上の賜を受けたるふりをなすべからず、と命じたり。そは、この目的の完結するまではわれ汝に何ら他の賜を与えざればなり。

教5,5,誠にわれ汝に告ぐ、この世に住める人々もしわが言を聴かざれば禍その人々に来らん。
教5,6,そは、汝は今より後聖職に按手任命せられ、進み行きてわが言を人の呼らに伝うればなり。
教5,7,見よ、世の人々もしわが言を信ぜずば、たとえわが汝に委ねたるすべてのものを彼らに示し得たりとすとも、彼らは汝すなわちわが僕なるジョセフを信ずる個々となかるべし。
教5,8,ああこの不信にして頑固なる世の人々よ。すなわちわが怒りは彼らに向いて燃ゆるなり。
教5,9,見よ誠にわれ汝に告ぐ、われは汝わが僕ジョセフに委任したる事などを、わが聰き目的のために別に備え置きぬ。これらは、後の世の人々に明らかにさるべし。
教5,10,されど今の代の人々には、汝によりてわが言を与うばし。
教5,11,また汝の証詞につく加えて、更に3人のわが僕の証詞あり。われこれらの者を召して聖職に按手任命し、その者共にこれらのものを示して汝によりて与えたるわが言と共に進み行かしめん。
教5,12,誠に、彼らは疑いもなくこれらのものの真実なることを知らん。そは、われ天よりそれを彼らに宣ぶべければなり。
教5,13,われ彼らに能力を与えて、以て彼らがありのままにこれらのものを見、且つ眺むることを得させん。
教5,14,而して今の代の人々の中にて、これと同じ証詞を受くるためにこの能力をわれより附与さるる者他に何人もなかるべし。今の代は誠にわが教会の荒野より立ち上りて来るはじまりにして、すなわちそは付の如くさやかに、日の如くうららかに、旗を立てたる軍勢の如くお
教5,15,而して、われはわが言につきて3人の証人の証詞を遣わさん。
教5,16,見よ、何人にてもわが言を信ずる者にはわれ"みたま"の示しと共に彼らに至らん。而して彼らはわれによりて生れん。すなわち、水と"みたま"とによりて生れん、
教5,17,されど汝はなお暫し待たざるべからず。汝らいまだその聖職に按手任命されざればなり。
教5,18,而して世の人々彼らに向いて心を頑固にせば、彼らの証詞もまた進み行きてこの世の人々は罪に定めらるべし。
教5,19,そは、無人の境となるほどの懲しめを蒙りてこの世は空しくなり。世の人々はわが来る時の光輝により焼きつくされてことごとく亡び失するに至ればなり。
教5,20,見よ、この言はわれまたエルサレムの滅亡に就きて正にその民に告げたる如く語るなり。この事のかつて今までに実証せられし如く、今またわが言は実証せらるべし。
教5,21,而して、われ今汝わが僕ジョセフに悔改めをなしてわが前に一層まっすぐに道を歩き決してもはや人間のいざないに負けぬ様に命ず。
教5,22,またわが汝に命じたる誡命は堅くこれを守りて動くことなかれ。汝これを為さば、見よ、たとえ汝殺さるともわれ汝に永遠の生命を与えん。
教5,23,さて見証者たらんと欲する人に就きて、われ今また汝わが僕ジョセフに告ぐ、
教5,24,すなわち、見よ、われ彼に告ぐ。彼高ぶりていまだ充分にわが前にへり下らず、されど、彼もしわが前にひれ伏して強き祈りと信仰とをもてまごことよりへり下らば、さらばわれその見んと願うものを1目見ることを許さん。
教5,23-1,1目見ることを許さん。
教5,25,またそれより、彼はこの世の人々に向いて言うべし。見よ、われは主がジョセフ・スミス(2代目)に示したまいしものを見たり。われは、その疑いもなく真実なることを知る。われはそれを見たればなり。示されたるは神の力によるにあらざればなり、と。
教5,26,また主なるわれ、わが僕マーテン・ハリスに命ず、彼はこれらのものに就きて次の如く言うほか、何事も他人に言うべからず。すなわち、われこれらのものを見たり。而して神の力によりてこれらのものを示されたり、と。これ彼に言わしむる言葉なり。
教5,27,されど彼もしこれを聴かざれば、彼の先にわれと契いし誓約にそむくべし。而して見よ、彼は罪ありとせらるるなり。
教5,28,さてまた、彼へり下りて誤りをなしたることをみとめ、わが誡命を必ず守らんとわれに誓約し、またわれを信ずる信仰を行いに表すにあらずんば、見よ、彼に告ぐ、彼はかくの如きものを見るを得ず、と。われは、わが言いしものを彼に見することを少しも許さざればな
教5,29,而してもしかかる時はわれ汝に命ず、汝わが僕ジョセフよ、彼にかく言うべし"汝、これ以上何事もなすなかれ。またこのことに就きても、またとわれをわずらわすことなかれ"と。
教5,30,またもしかくあらば、見よわれまた汝に告ぐ、ジョセフよ、汝更に数枚の翻訳をなし終らば汝の翻訳をしばし止めよ。すなわち、われ再び汝に為せと命ずる時まで翻訳を止むべし。その後、汝は再び翻訳をなすことを得ん。
教5,31,汝かくの如くせざる時は、見よ、われ汝にもはや賜を与えず、すでに汝に委ねたるものまでもとり去らん。
教5,32,さてまた、われ汝を亡ぼさんと待ち伏せする者あることを預め知り、またまことにわが僕マーテン・ハリス充

分にへり下らずしてわれより証詞を受けなば積み荷陥るを知るが故に、
教5,33,また汝をこの世より亡ぼさんと待ち伏せする者多きが故に、このためわれ汝の生命を永くせんとてこれらの誡命を汝に下せり。
教5,34,誠にこの故にわれ言えり。止めよ、而してわれ再び汝に命ずるまで何事をもなすなかれ、と。さらば、われ汝に命じたるところを為しとぐるために手だてを汝に与うべし。
教5,35,而して、汝もしわが誡命を守るに忠実ならば、われ汝を終りの日に高く挙げん。 アーメン。
教6,,教義と聖約　第6章
教6,*-*,1829年4月、ペンシルベニヤ州ハーモニーにて予言者ジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリに給える啓示。オリヴァ・カウドリは、1829年4月7日モルモン経の翻訳に書記として働きを始めたり。彼はすでにモルモン経の記録の刻みてある版に関し、ジョセフ
教6,*-*-1,真実なることを証明する神の示しを1度受け居りたり。ジョセフは"ウリムとトミム"を通して主に伺いこのお答えを受けたり。わが教会の歴史、第1巻、35頁（英文）を見よ。オリヴァの進んで御用に立つことを賞し、彼とジョセフの両人に甚だ重要なる祝福を約束
教6,1,1つの大いなる驚嘆すべき業、まさに人の子らに現われんとす。
教6,2,見よ、われは神なり。心を止めてわが言をよく聞け。わが言は生命あり、能力あり、両刃の剣よりも利くして関節と骨の髄を透してこれを割つ。それ故に、心を止めてわが言をよく聞け。
教6,3,見よ、畑は早白くして刈り入れを待てり。故に刈り入れんと欲する者は、何れも勢力をつくして鎌を入れ、日の尽きざる中に刈り取りて、神の王国に於ける永遠の救いをその身と霊とのためにたくわうべし。
教6,4,然り、鎌を入れて刈り入るる者は誰にても神の召を受くるなり。
教6,5,この故に汝らわれに求めなば与えられ、叩かば汝ら開かるることを得ん。
教6,6,さて汝ら今われに求めしにより、見よ、われ汝らに告ぐ、汝らわが誡命を守り、シオンの大事を起してこれを確立せんことを求めよ。
教6,7,富を求めずして智恵を求めよ。神の奥義は開かれ、それより汝ら富める者とせらるべし。見よ、永遠の生命を有つ者は富めるなり。
教6,8,真にまことにわれ汝らに告ぐ、汝らわれに願うが如く、正に汝らに成るべし。もし汝ら欲するならば、汝ら欲するならば、汝ら今の代に於て大いに善を行う仲立となるべし。
教6,9,汝ら今の代の人々に向いて、悔改めのほか何事をも語るべからず。わが誡命を守りまたわが誡命い従いてわが業を起すを助けよ。さらば汝ら幸福なり。
教6,10,見よ、汝は1つの賜を有てり。汝はこの賜の故に幸福なり。こは、聖くして天より来ることを忘るべからず。
教6,11,而して汝もし尋ぬるならば、大いなる驚くべき奥義を知るを得ん。故に汝の天より受くる賜を働かせて奥義を悟り、以て多くの人に真理を覚らしめ、まことに彼らの遺方の誤りを悟らしむべし。
教6,12,汝と信仰を同じくする者以外、何人にも汝の賜を知らしむるなかれ。神聖なるものを軽んずることなかれ。
教6,13,もし汝善を行わんと欲し誠に終りまで変ることなく忠信ならば、神の王国に救わるべし。こは、神の賜のうち最大なるものなり。およそ、救いの賜に勝る賜はあらざればなり。
教6,14,誠にまことにわれ汝に告ぐ、汝の為したることによりて幸福あれ。見よ、汝われに尋ねてその度毎にわが"みたま"によりて教えを受けたればなり。もし然らずば、汝今日居る所に来らざりしならん。
教6,15,見よ、汝はわれに尋ねたればわれが誠に汝の悟りを開かしめしことを知る。われ今この事を語るは、真理の"みたま"によりて汝の悟れることを知らしめんためなり。
教6,16,然り、汝神のほか汝の考えを知り汝の志を知る者更になきを知らんためなるぞ。
教6,17,われこの事を汝に証するために語る。すなわち汝の今まで記し来れる業、すなわちその言は真実なり。
教6,18,この故に汝よ勤勉なれ。わが僕ジョセフがそこに記せる言のために、たとえいかなる難局におち居るとも誠実に彼の味方をせよ。
教6,19,彼の過失を戒しめ、また彼より戒めを受くべし。よく忍び、真面目にして慎むべし。忍耐、信仰、希望、慈悲などの諸徳を守るべし。
教6,20,見よ、汝オリヴァなり。われ汝の願いにより汝に語れり。故に汝の心にこれらの言をしかとたくわえよ。神の誡命を守るに忠実且つ勤勉なれ。さらばわれわが慈愛の腕の中に汝を抱かん。
教6,21,見よ、われは神の子イエス・キリストなり。われはわが民に来れるにわが民これを受けざりしその者と同じ者なり。われは暗きに輝けるに暗きはこれを悟らざりしその光なり。
教6,22,誠にまことにわれ汝に告ぐ、汝もしこの上の証を得んと欲せば、これらのことの真理を悟らんとして汝が心の中にわれに向いて呼びし夜のことを深く思うべし。
教6,23,われ汝にそのことに就きて心安かれと告げしにあらずや。汝、神よりの証詞より大いなる証詞をいずこに得るや。

教6,24,さてまた、見よ、汝や1つの証詞を得たり。そは、もしわれ何人も知らざることを汝に語り聞せしならば、これ汝証詞を得たるにあらずや。
教6,25,而して見よ、汝もしわれに願わわば、われ誠にわが僕ジョセフの如く翻訳する賜を汝に許すなり。
教6,26,誠にまことにわれ汝に告ぐ、わが福音の多くを載せたる記録あれど、そは民の行為悪しきが故に隠されたり。
教6,27,而して今われ汝に命ず、もし汝自ら天に宝を積まんと望むよき願いを持つならば、汝をしてその持てる賜を以て、罪悪のためこれまでかくされ居たるわが聖典の1部分を世に表さんことを助けしむ。
教6,28,さてまた見よ、われ汝とまたわが僕ジョセフとにこの賜の限を与う。而して、そはこの神のために仕うる仕事を世に明らかにするものにして、23の見証者の口によりてそのあらゆる言は確実なるものと定められん。
教6,29,誠にまことにわれ汝らに告ぐ、世の人わが言と、この部分のわが福音と、また神のために仕うる仕事とを斥くるとも汝ら幸福なり。そは彼らわれに為したる以上汝らに為し得ざればなり。
教6,30,また、たとえ彼らわれに為したるが如く汝らに為すとも汝ら幸福なり。そは汝ら栄光の中にわれと共に住むべければなり。
教6,31,されどもし世の人わが言をこばまず、その言わが遣わすべき証詞によりて確立せば彼らは幸福なり。而して、汝らはその働きの果実を得てよろこばん。
教6,32,誠にまことにわれ汝らに告ぐ、1つの事につき23人わが成によりて集るところには、見よ、われ必ずその中にあらん、とわが弟子たちに言いし如く、誠にわれまた汝らの中にあるなり。
教6,33,わが子らよ、善を行うことをおそるるなかれ。何殺にても汝ら蒔くところのものをまた刈り入るべければなり。この故に、汝ら善の種を蒔かばそのむくいとしてまた善の実を取り入るべし。
教6,34,この故に小さき羊の群よ。おそるるなかれ。善を行え。この世と地獄と共になりてむかい来らしめよ。もし汝らわが磐の上に立たば、彼ら打ち勝つ能わざればなり。
教6,35,見よ、われ今汝らを咎めず、行きて2度と罪を犯すことなかれ。わが汝らに命じたる業を真面目に行うべし。
教6,36,何を念うとも、念々われを見るべし。疑うなかれ、おそるるなかれ。
教6,37,わが肋の突き傷と、またわが手足にある釘痕を見よ。忠信なれ。わが誡命を守れ。さらば、われ汝らに天の王国をつがしむるなり。 アーメン。
教7,,教義と聖約 第7章
教7,*-*,1829年4月、ペンシルベニヤ州ハーモニーにて予言者ジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリとに下したまえる啓示。この2人が"ウリムとトミム"を通して、かの愛されたる御弟子ヨハネが肉身にて留まりたるか、はたまたすでに死したるかに就きて伺いたまいし
教7,*-*-1,この啓示は、ヨハネが羊皮紙上に記して自ら隠したる記録の訳文なり。わが教会の歴史、第1巻、35、36頁(英文)を見よ。
教7,1,かくして主、われに言いたもう。わが愛する者ヨハネよ、汝何を願うか。もし汝の欲するところを願わばわれこれを聞き届けん、と。
教7,2,而してわれ神に申して曰く、主よ、われに死に打ち勝つ力を与えたまえ。かくてわれ生きて人々を汝に導かん。と。
教7,3,主、われに言いたもう。誠にまことにわれ汝に告ぐ、汝このことをわれに願いしにより汝をしてわれわが栄光を以て来るまでこの世に留まり、もろもろの国民、もろもろの血族、もろもろの国語のたみおよび世の人々の前に予言せしむ、と。
教7,4,この故に、主ペテロに言いたもう。われもし彼にわれ来るまでこの世に留ることを欲するとも、そが汝い何の関係あらんや。彼はわれにに人々を導き来らん事を願えども、汝は速にわが王国に於てわが許に来らん事を願いたればなり。
教7,5,われ汝に告ぐ、ペテロよ、こは善き望みなりき。されどわが愛する者は為さんことを願えり。すなわち彼はこれまでに為したることよりも、1つの更に大いなる業をなお人々の間に為さんことを願いたり。
教7,6,然り、彼はより大いなる業を引き受けたり。故にわれは彼を燃ゆる炎の如くし、また1人の事える天使となさん。而して彼は地に住める救いを受け嗣ぐ者たちに事うべし。
教7,7,今われは、汝をして彼と汝の兄弟ヤコブとに事えしめん。而してわれ来る時まで、汝ら3人にこの権能とこの導きと教えを施す働きにつける鍵とを与えん。
教7,8,誠にわれ汝に告ぐ、汝ら2人共願うが如くわれ汝らに与えん。そは汝らは2人共願うところを悦びとすればなり。
教8,,教義と聖約 第8章
教8,*-*,1829年4月、ペンシルベニヤ州ホーモニーにて予言者ジョセフ・スミスによりてオリヴァ・カウドリにたまえ

る啓示。オリヴァはモルモン経の翻訳中に初期としてひきつずき勤務し予言者の口述を筆記せしが、翻訳の賜を授けられんことを願いたり、主はこの啓示を
教8,*-*-1,たもうて、彼の歎願に答えたまいしなり、啓示の"みたま"の意義を明らかにし、アロンの賜に就き明細に述べたもう。
教8,1,オリヴァ・カウドリよ。誠にまことにわれ汝に告ぐ。わが"みたま"の示しによりて告げられたるわが聖典のこの部分を含める古えの古き記録なる彫刻文に就き、汝ある知識を受くべしと信じて真心より求むる如何なる事の知識をも、これを得んことは汝の神にして汝の
教8,1-1,主の今生きて在るが如く正に確なり。
教8,2,然り、見よ、われ今汝に来りて汝の心の中に留るべき聖霊によりて汝の智と情に告げんとす。
教8,3,そもそも、見よ、これは啓示の"みたま"なり。見よ、これはモーセがイスラエルの人々をして乾ける土を踏みて紅海を渡らせこれを導きし"みたま"なり。
教8,4,この故に、こは汝の賜なり。汝これに依り頼め、さらば幸福なり。こは汝を敵の手より救い出すが故なり。もし然らざる時には敵は汝を殺して汝を亡ぼさん。
教8,5,汝よ、これらの言を忘れずしてわが誡命を守れ。記憶せよ、これ汝の賜なり。
教8,6,さて、この賜は汝の受くるすべての賜にはあらず。汝は今1つの賜を持てばなり。そはすなわちアロンの賜にして、見よ汝はこれによりて多くの事を知れり。
教8,7,見よ、このアロンの賜を汝と共に在らしむるを得るは神の力をおきてほかになし。
教8,8,この故に疑うことなかれ。こは神の賜なればなり。われ汝をしてこれを手に保たしむ。されば汝、驚くべき業をなせ。如何なる力もこれを汝の手より取り去ることを得ず。そは神の業なればなり。
教8,9,而して、それ故に汝この手だてによりておよそわれに語ることを願うところは、われこれを聞き届けてそれに就ける知識を与うべし。
教8,10,されど信仰なくば、汝何事も為し得ざることを忘るなかれ。故に何事も信仰を以て求むべし。これらのことを軽んずるなかれ。また、求むべきにあらざるものを求むることなかれ。
教8,11,神の奥義を白んことを求めよ。また、いと聖くして而も隠されたる。すべてこれら古代の記録より翻訳して知識を得んことを願うべし。さらば汝の信仰に従いて願いの如くなるべし。
教8,12,見よ、このことを語りしはわれなり。われは始めより汝に語りしと同じ者なり。 アーメン。
教9,,教義と聖約　第9章
教9,*-*,1829年4月、ペンシルベニヤ州ハーモニーにて予言者ジョセフ・スミスによりてオリヴァ・カウドリにたまわりたる啓示。オリヴァは忍耐すべきを誡命られ、且つ自ら翻訳を企てんよりは当分の間むしろ翻訳者の口述を受けて書き誌すことに満足すべきを切に勧めら
教9,*-*-1,信仰深き考えと勉強なくして、単に神の賜を得んと願うは人にとりて全にあらず、オリヴァは嘗て一時所有したりし如き翻訳の賜という小さき程度の賜さえも失う。
教9,1,見よ、わが子よ、われ汝に告ぐ。汝嘗てわれに翻訳を為さんことを願いしが、この願いに従いて翻訳を為すことなく、再びわが僕ジョセフ・スミス(2代目)のために書き誌すことを始めたるにより、誠にわが欲するところはわがジョセフに托したるこの記録を汝が完結
教9,1-1,汝らがその務めをつずけむことなり。
教9,2,さて見よ、われは汝に力を与えて以て翻訳を助けしめんとするなお他の記録を有す。
教9,3,わが子よ、すべからく忍耐せよ。わが為すことには深き智恵あればなり。現在汝が翻訳をする必要なし。
教9,4,見よ、汝の召されて為すべき務めはわが僕ジョセフの為に書き誌すことなり。
教9,5,而して見よ、われ汝よりこの特権を取り去りしは、汝が嘗て翻訳し始めし時に始めたる如くに翻訳の業をつずけざりしによる。
教9,6,わが子よ。つぶやくなかれ。かくの如く汝を待遇したるには深き智恵われにあればなり。
教9,7,見よ、汝いまだ悟らず、汝はひたすらわれに願いし時はこれを与えらるるならんと思えり。
教9,8,されど見よ、われ汝に告ぐ、汝心の中によく思い計り、その後願うこともし正しからば汝願わざるべからず。願うこと正しからば、その時われ汝の心を内に燃やさん。これによりて汝にその正しきを感ぜしむ。
教9,9,されどもし願うところ正しからずば、かかる感なくして汝の心は次第に鈍くなり、そはついに悪の悪たるを忘れしむるに至らん。故にわが与うるにあらざれば、聖きことを汝録すを得ず。
教9,10,さて、もし汝この理を知りたらんには汝翻訳を為し得たらんに、今は汝の翻訳せんこと必要ならず。
教9,11,見よ、汝がその事を始めたりし時は必要なりしも、汝怖れしにより時去りて今は必要ならず。
教9,12,汝見ずや、われわが僕ジョセフに充分なる能力を与えたるを。これによりて事すでに定まりたり。されど、これ汝らの何れをも責めたるにはあらず。
教9,13,わが汝に命じたるこのことを為せ。然らば汝栄えん。忠実にして誘惑に負くることなかれ。

教9,14,わが汝を召したる業を固く守れ、さらば汝の髪の毛の一筋だに失わるることなかるべし。而して、われ汝を終りの日に挙げん。 アーメン。
教10,,教義と聖約　第10章
教10,*-*,1828年の夏、ペンシルベニヤ州ハーモニーにて予言者ジョセフ・スミスにたまわりたる啓示。主はこの啓示にて、1時モルモン経の原稿を委任せられたりしマーテン・ハリスの手により紛失したる106頁に及ぶモルモン経の原稿の内容、悪人たちの手によりて変更
教10,*-*-1,ことをジョセフ・スミスに告げたもう。本書3章と比較せよ。わが教会の歴史、第1巻、21、23頁（英文）を見よ。悪人たちの悪計は、盗みたる原稿中の記事が予期せる如く再翻訳さるるを待ち、その上にて彼らが変更したることによりて起る差違を示して翻訳者の
教10,*-*-1-1,手筈なりき。この悪計が悪魔によりてたくらまれ、主の知りたもうところと成りたるは、古代ニーファイ人の歴史家モルモンが彫りためられたる版を抄録しつつありたる際にすらありし事にて、この事モルモン計の中に見ゆ。モルモン言、3乃至7節を見よ。
教10,1,さて見よ、われ汝に告ぐ。汝が"ウリムとトミム"によりて翻訳する能力を与えられし記録を悪しき人の手に渡したるにより、汝はその記録を失いたり。
教10,2,また同時に汝の賜をも失い汝の心暗くなりしが、
教10,3,それにもかかわらず、今再び汝にその能力返されたれば、汝必ず忠実にしてその翻訳の仕事の残部を完結するに至るまで汝のこれを始めたる如くつずくべきなり。
教10,4,汝更に急ぐことなく、または翻訳し得るために与えられたる力と方法以上に働くことなかれ。ただ終りまで励むべし。
教10,5,勝利者たらんことを常に祈るべし。誠にサタンに打ち勝つ様に祈れ、また現にサタンの仕事に力を与うるサタンの僕らの手より免れんことを祈るべし。
教10,6,見よ、彼らは汝を亡ぼさんと計れり。また実に汝が信頼せる人さえも、汝を亡ぼさんと企てたり。
教10,7,されば、この故にわれ言えり、彼は悪人なりと。そは、彼は汝が神に委されたるものを取らんと計り、また汝の賜を打ち破らんとしたればなり。
教10,8,然るに、汝はその人の手に書き物を渡したるにより、見よ、悪人たちは汝よりこれを取れり。
教10,9,この故に汝まことに神聖なるものを悪事に引き渡したるなり。
教10,10,而して見よ、サタンは汝が書かせたること、すなわち汝の手より離れたる汝の翻訳したる言を変更せんことをその人々の心に思わしめたり。
教10,11,見よ、われ汝に告ぐ、彼らは語句を変えしが故に、汝の翻訳し且つ誌させたる所は反対に読まれ、
教10,12,かくの如くして、悪魔はこの業を破らんがために1つの奸計を施さんと図れり。
教10,13,そは悪魔は、汝が翻訳する振りをしたる言によりて汝を陥し入れたりと偽りて言わんために、この計ごとを遂げんことを人々の心に思わしめたればなり。
教10,14,われ誠に汝に告ぐ、われサタンをしてこの事に於て悪計を為し遂ぐることを許さず。
教10,15,見よ、彼は人々の心にこの計ごとを思わしめ、汝をして再びこれを翻訳することを神に乞い願いて主なる汝の神を試みさせんとすればなり。
教10,16,さて見よ、彼ら口に言い心に思うよう、われら神が今までに彼に翻訳の力を与えしや否やを見ん。もし神その力を与えしならば、またこれより再び彼にその能力を与うべく。
教10,17,神もし再び彼に能力を与え、すなわちもし彼再び翻訳を為し、すなわち言い換うれば彼同じ言を訳出すれば、見よ、われらの手の中にはその翻訳ありてすでにこれを変更しおきたり。
教10,18,故に、翻訳は一致することなし。ここに於てわれらは彼は偽りを言いたりと言い立て、彼は賜を持たず翻訳の能力なしと言わん。
教10,19,この故にわれらは彼を亡ぼし、また彼の業をも打ち破らん。而してわれら結局恥ずることなく、また世の誉を得んためにこの事を為さん、と。
教10,20,誠にまことにわれ汝に告ぐ。サタンは固く彼らの心を捕えたれば、彼らを煽り立て善き事にさからいて罪悪を為さしむ。
教10,21,而して、人々の心腐りて悪事と憎むべき罪とに充ち、その行うところ悪しければ光明よりも暗きを好み、これを以てわれに求むる意なし。
教10,22,サタンは人々を煽て上げかくてかれらを亡びに導かんとす。
教10,23,而して、かくの如くサタンは1つの奸計を企てて神の業を破らんと考うるなり。されど、われは彼らにこの事を為すを求めむ。而してこのことは、審判の日に彼らの恥となり罪に定めらる。
教10,24,而して、サタンは人々の心を煽り立て、この業にさからいて怒りに燃え立たしむ。
教10,25,然り、サタンは人々に向いて言う。彼を亡ぼさんために欺きて待ち伏せを為せ。見よ、こは何ら害悪にあ

らず、と。彼はまたかくの如き甘き言をもて彼らに言う。1人の人を偽り捉えかくて偽り者を亡ぼすために偽るとも罪にあらず、と。
教10,26,かくの如く、サタンは甘言を語りて彼らを導きて、ついに彼らを地獄に引きずり落し、かくして彼らが己がわなに落入りて捉えらるるようになすなり。
教10,27,かくの如く、サタンはこの世をかなたこなたにさまよい歩きて人々の身も霊も亡ぼさんとす。
教10,28,誠にまことにわれ汝に告ぐ、およそ他人も偽りて欺くと思うが故に、己れも偽りて欺く者は禍なるかな。かかる人は神の裁判を免るることなければなり。
教10,29,さて見よ、サタン人々に彼は汝らを欺けりと語りし故に、人々これらの言を変えたり。すなわちかくサタンは甘言を以て人々をさそい罪悪を犯させ、また汝をして主なる汝の神を試みさせんとせり。
教10,30,見よ、われ汝に告ぐ、汝は汝の手中より離れたる言の翻訳を再び為すべからず。
教10,31,そは見よ、それらの語句を偽る悪計をわれ彼らに遂げしめざればなり。見よ、もし汝以前と同じ語句に訳さば人々は汝は偽りを言いたりと言い、また汝翻訳したる振りをなしたるが前後矛盾せりと言うべし。
教10,32,而して見よ、彼らこのことを公にしてサタンは人々の心を頑固にし、これを煽り立てて汝に対して憤らしむれば、彼らはわが言を信ずる心なかるべし。
教10,33,かくの如く、サタンはこの業の今の代に行われざらん為に、今の代に於ける汝の証を打ち破らんと考うるなり。
教10,34,されど見よ、ここに智恵あり。われ汝にこの智恵を示し、如何に汝に為さしむるか、このことに就きて誡命を汝に与うるが故に翻訳の業をなし遂ぐるまでこれを世に示すことなかれ。
教10,35,わが言えることを驚きあやしむなかれ。ここに智恵あり。これを世の人に示すべからず。すなわち、汝の守護せられんためにこれを世の人に示すべからず。とわれ言いたればなり。
教10,36,見よ、われは義しき人たちにも示すなかれと言うにはあらず。
教10,37,されど汝は必ずしも義人を判定する能わず、すなわち汝は必ずしも義人と悪人とを見わくる能わず。かかるが故に、われ汝に告ぐ、この事につき世人にすべても示すべき好機なりとわが認むるまでは黙してこれを隠すべし。
教10,38,さてまた、誠にわれ汝に告ぐ、汝の書きたる記事にして而も汝の手より離れたるものはニーファイの版に刻まれたり。
教10,39,而もまことにこのニーファイの版には、これにつきて更に詳細なる記事刻まれてありとかの書き物の中に言われたるを汝は記憶す。
教10,40,さて、このニーファイの版に刻まれたる記事は、この記事中にて民い知らせんとわが智恵にて欲することに就きて更に詳細なるものなれば、
教10,41,この故に汝が訳を保留せる所、すなわち汝が今まで訳出したる所まで、すなわちベンジャミン王の治世に至るまでニーファイ版に刻まれたる所を翻訳せよ。
教10,42,而して見よ、汝はこれをニーファイの記録として発表すべし。かくてわが語句を変えたる人々をあわてふためかしめん。
教10,43,われは、彼らがわが業を打ち破るを許さず、誠にわが智恵は悪魔の狡智より勝れるを彼らに示さん。
教10,44,見よ、彼らはただ1部分、すなわちニーファイの記事の抄録を所持するにすぎず。
教10,45,見よ、ニーファイの版には多くの事柄刻まれたるがこれらは誠にわが福音を去らによく見渡し得る事柄などなり。故に、汝ニーファイ版に刻まれし始めの部分を翻訳してこの業の中に出すはわが智恵に然らしむるところなり。
教10,46,而して見よ、すべてこの業の残りの部分は、誠にわが福音の中わが聖なる予言者およびわが弟子たちのこの代の人々に表されんことを祈りの中に願いしものをすべて載せたり。
教10,47,而してこの願いは、彼らの祈りが必ず聞き届けらるるとの信仰によりて聞き届けられんことをわれ彼らに告げたり。
教10,48,然り、誠に彼らの信仰は、すなわち彼らの時代に彼ら説かんために与えられたる福音の、彼らの同胞たるレーマン人とまた謀叛によりてレーマン人となりたりし者にことごとく及ばんことなり。
教10,49,さてこれを以て終りとせず、彼らの祈りが必ず聞き届けらるるとの信仰は、もしもこの国他の国人に占有さることあらばこの福音のまたその人々に知られんことなりき。
教10,50,かくの如く、誠に彼らは何人に限らずこの国に於てこの福音を信ずる者は永遠の生命を得んことを祈りてこの土地に祝福を与えたり。
教10,51,然り、それが如何なる国民、如何なる血族、如何なる国語の民および世の人々たりとも、すべて自由に価なくして永遠の生命を得んことを祈りたり。
教10,52,さて見よ、われ彼らの祈りが必ず聞き届けらるるとの信仰に往時、わが福音中のこの部分をわが民に知

らしめん。されど見よ、この福音を知らしむるは彼らの受けしものを破らんためにあらずしてこれを建設せんがためなり。
教10,53,この故にわれ言えり。もし今の代の人々心を頑固にせずば、われこの人々の間にわが教会を創立せん、と。
教10,54,さてわれは、わが教会を破らんとしてかく言うにあらず、かえってこれを建設せんちゃめに言うなり。
教10,55,この故に、何人たりともわが教会に属する者はおそるるを要せず。何とならば、かくの如き人々は天国を嗣ぐべき者なればなり。
教10,56,されどわれをおそれず、わが誡命を守らずして、利を得んために自らに教会を設立する者、然りまた悪事を行いて悪魔の王国を建つるすべての者共は、然り、誠にまことにわれ汝らに告ぐ、われ彼らを乱して彼らの中心までもふるいおののかしめん。
教10,57,見よ、われは神の子イエス・キリストなり。われわが民に来れるに、わが民われを受けざりき。
教10,58,われは暗きに輝く光なるが、暗きはこれを悟ざりき。
教10,59,われはわが弟子たちに向いてわれはこの群にあらざる他の羊を持つと語れる者なるに、わが言うことを悟らざる者多かりしその者なり。
教10,60,われは他の羊を持ちたり。而もこの群はヤコブの家の1つの支族なりし事を事をこの民に示さん。
教10,61,またわが成いよりて彼らの為したる驚嘆すべき業を明らかにせん。
教10,62,また誠にわが彼らに施したる福音をも明らかにすべし。見よ、彼らは汝の受け入れたるところを拒まずしてこれを打ち立て、わが教義の誠なる要点と、然り、ただわれにある唯一の教義とを明らかにせん。
教10,63,而してわれわが福音を打ち建てんため、また人々の内甚だ多くの争いなからしめんためにこの事を為す。然り、誠にサタンは人々の心を煽り立てて、わが教義の眼目に就きて人々の心に争いあらしむ。而して、人々はまた誠に聖典の意義を曲げて真理を悟らざるが故に、
教10,63-1,争いを為して実に過ちにおち入るなり。
教10,64,この故に、われこの偉大なる奥義を彼らに表さん。
教10,65,そは見よ、彼らもし心を頑固にせずば、われ雌鳥が雛を翼の下に集むる如く彼らを集めんためなり。
教10,66,然り、彼らもし来る心あらば、来り得て自由に価なくして生命の水を汲むを得べし。
教10,67,見よ、これわが教義なり。すなわち悔い改めてわれに来る者は、何人なりともこれわが教会の者なり。
教10,68,もし何人にてもこれ以外の事を多少とも宣ぶる者あらば、そはわれに属く者にあらずしてわれに逆らうなり。故にそはわが教会に属せざる者なり。
教10,69,さて見よ、何人にてもわが教会に属し、終りまで教会に属きて忍ぶ者は、われ彼をわが岩お上にたて地獄の問をして彼らに打ち勝つことなからしむ。
教10,70,さて世の生命にして世の光明、汝の贖い主、汝の主にして汝の神なる者の言を記憶せよ。 アーメン。
教11,,教義と聖約　第11章
教11,*-*,1829年5月、ペンシルベニヤ州ハーモニーにて予言者ジョセフ・スミスによりて彼の兄弟ハイラム・スミスに給いし啓示。この啓示ハ、"ウリムとトミム"を通じてジョセフの祈願と伺いに答えたまいしものなり。1つの大いなる驚嘆すべきこと現われんと宣べたも
教11,*-*-1,ハイラムはなおバプテスマを受けず、聖職に按手任命せられざるにより、暫時教えを説くを制止せらる。ハイラム、彼の受くべき準備を待つ神の賜あるを保証さる。教会の組織に就きて予表あり。ハイラム、神の言を宣べんとするに先だち、まず自らよくこれを学ばんこ
教11,*-*-1-1,戒める。啓示と予言の"みたま"を否まざるよう警告さる。
教11,1,1つの大いなる驚嘆すべき業、まさに人の子らの中に現われんとす。
教11,2,見よ、われは神なり、心を留めてわが言をよく聞け。わが言は生命あり、能力あり、両刃の剣よりも利くして関節と骨の髄を透してこれを割つ。それ故に、心を留めてわが言をよく聞け。
教11,3,見よ、畑は早白くして刈り入れを待てり。故に刈り入れんと欲する者は、何れも勢力をつくして鎌を入れ、日の尽きざる中に刈り取りて、神の王国に於ける永遠の救いをその身と霊とのために貯うべし。
教11,4,然り、鎌を入れて刈り入るる者は誰にても神の召を受くるなり。
教11,5,この故に汝らわれに求めなば与えられ、叩かば汝ら開かるることを得ん。
教11,6,さて汝ら今われに求めしにより、見よ、われ汝らに告ぐ、汝らわが誡命を守り、シオンの大事を起してこれを確立せんことを求めよ。
教11,7,富を求めずして智恵を求めよ。さらば見よ、神の奥義は開かれ、それより汝ら富める者とせらるべし。見よ、永遠の生命を有つ者は富めるなり。
教11,8,誠にまことにわれ汝らに告ぐ、汝らわれに願うが如く、正に汝らに為るさるべし。もし汝ら欲するならば、汝らは今の代に於て大いに全を行う仲立となるべし。

教11,9,汝ら今の代の人々に向いて、悔改めのほか何事をも語るべからず。わが誡命を守りまたわが誡命に従いてわが業を起すを助けよ。さらば汝ら幸福なり。
教11,10,見よ、汝は1つの賜を持てり。すなわち、汝もしイエス・キリストの能力、すなわち汝に語れるわが能力を信じ、真心より信仰もてわれに願わば1つの賜を受けん。
教11,11,見よ、今語るはわれなればなり。見よ、われは暗きに輝く光なれば、わが能力によりてこれらのことを汝に約す。
教11,12,さて誠にまことにわれ汝に告ぐ、人を善行を導く"みたま"に信頼せよ。然り、公平なる行い、へりくだること、義しき裁き、これわが"みたま"なり。
教11,13,誠にまことにわれ汝に告ぐ、われわが"みたま"を汝の心に悟りを与えん。わが"みたま"は汝の心に悟りを与え、而も汝に悦びを充さん。
教11,14,而して、その時汝知るを得ん。すなわち汝これによりて義しきことに関すること、すなわち汝がわれより受くべしと信じて信仰によりてわれに願う何事もすべて知るを得べし。
教11,15,見よ、われ汝に命ず、汝神の召を受くるまでは、教えを説くために召されたりと思うに及ばず。
教11,16,わが言、わが磐、わが教会、わが福音を受けて以てわが教義を確実に悟までは今少しく待つべし。
教11,17,それより見よ、汝の願いに従いて、また誠に汝の信仰に従いてそは汝に成るべし。
教11,18,わが誡命を守り、汝の口をつぐみ、わが"みたま"に訴うべし。
教11,19,誠に全心を以てわれにとりすがり、以て汝に告げられたるこれらの事を世に表すを助けよ。すなわち、わが業の翻訳を世に表すことに力を添えて、それを完成するまで耐え忍ぶべし。
教11,20,見よ、勢力と精神と体力とを尽してわが誡命を守ることこそ、汝の為すべき仕事なれ。
教11,21,わが言を宣べんと求むることなかれ。然らずしてまずわが言を得んことを求めよ。然る後、汝の舌ゆるまり、それより汝願わばわれわが"みたま"とわが言とを与えん。すなわち人々を説得する神の能力を与うべし。
教11,22,されど今は汝の口をつぐみ、すでに人の子らの中に出で行きわたるわが言を究め、また人の子らの中に出で来るべきわが言、すなわち今翻訳をなしつつあるわが言を究めよ。まことに汝はついに今の代にある人の子らにわが与えんとするものを悉く得ん。さらばそれより
教11,22-1,事は、みなこれにつけ加えらるべし。
教11,23,見よ、汝はわが子ハイラムなり。神の王国を求めよ。さらば、義しきことに従いて、すべての事はこれにつけ加えらるべし。
教11,24,わが福音なる、わが磐の上に建てよ。
教11,25,啓示の"みたま"も予言の"みたま"も拒むことなかれ。これらを拒む者に禍来ればなり。
教11,26,この故に汝出で行くまでは大切に胸におさめよ。而して出で行く時はわが智恵にあり。
教11,27,見よ、よき願いを持ち、刈り入れの鎌を入れたる者にすべて告ぐ、
教11,28,見よわれは神の子イエス・キリストなり。われは世の生命なり世の光明なり。
教11,29,われわが民に来れどもわが民われを受けざりしその者なり。
教11,30,されど、われ誠にまことに汝らに告ぐ、われを受け入るる者にはわれ悉く神の子となる能力を与えん。すなわちわが為を信ずる者に然り。 アーメン。
教12,,教義と聖約　第12章
教12,*-*,1829年5月、ペンシルベニヤ州ハーモニーにて予言者ジョセフ・スミスによりてジョセフ・ナイト（初代）に給いし啓示。ジョセフ・ナイトは、ジョセフ・スミスがモルモン経の版を所有すること、および当時進行中なりしその翻訳の事業に関するスミスの宣言を信
教12,*-*-1,翻訳スミスと彼の書記に物質的援助を与えたりき。わが教会の歴史、第1巻、47頁（英文）を見よ。主の御業の雄大にして驚嘆すべき性格。シオンの大事を起すことと、その確立に個人的に参加することは、熱心なる願望を有しこれに必須なる資格を具うるすべての人
教12,*-*-1-1,公開せらる。
教12,1,1つの大いなる驚嘆すべき業。正に人の子らの中に現われんとす。
教12,2,見よ、われは神なり。心を留めてわが言をよく聞け。わが言は生命あり、能力あり、両刃の剣よりも利くして関節と骨の髄を透してこれを割つ。それ故に心を留めてわが言をよく聞け。
教12,3,見よ、畑は早く白くして刈り入れを待てり。故に刈り入れんと欲する者は、何れも勢力を尽くして鎌を入れ、日の尽きざる中に刈り取りて、神の王国に於ける永遠の救いをその身と霊とのために貯うべし。
教12,4,然り、鎌を入れて刈り入るる者は誰にても神の召を受くるなり。
教12,5,この故に汝らわれに求めなば与えらえ、叩かば汝ら開かるることを得ん。
教12,6,さて汝ら今われに求めしにより、見よ、われ汝らに告ぐ、汝らわが誡命を守り、シオンの大事を起してこれ

を確立せんことを求めよ。
教12,7,見よ、われ今汝とまたこの業を起してこれを確立せんことを願うすべての人々に告ぐ。
教12,8,まず何人もへりくだり愛に充ち、且つ信仰、希望、慈悲をもち、且つその委せられたることはすべて何事にても慎しみてこれを為さざればこの業を助くるを得ず。
教12,9,見よ、われはこれらのことを語る世の光明なり世の生命なり。この故に、しかとわが言に心を留めて聞け。さらばそれより汝らは召さるるなり。 アーメン。
教13,,教義と聖約 第13章
教13,*-*,1827年5月15日、ペンシルベニヤ州ハーモニーにてジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリとをアロン神権に按手聖任したもう。而してこれを授けしは、自らは新約聖書に見ゆるかのバプテスマのヨハネと同1人なり、と言える1人の天使なり。彼らを訪れたるこ
教13,*-*-1,ケルケゼデクの神権と呼ばるる大神権の鍵を持ちたる古えの使徒ペテロ、ヤコブおよびヨハネの指揮の下に役を勤むる者なりと断言せり。時期到来すれば、メルケゼデクの神権はジョセフとオリヴァの2人に授与せらるべしとの約束を賜う。わが教会の歴史、第1巻39
教13,*-*-1-1,を見よ。本書第27章、7、8、12節と比較のこと。
教13,1,汝ら、われと同じ業に働く僕らよ。救世主の御名によりて、われ汝らにアロンの神権を授く。こは天使の導きと恵み、悔改めの福音、罪を赦すために水に沈むるバプテスマなどの鍵を握る神権にして、まことにレビの子孫が主の御前に再び義しきに適いて捧物を差探る時
教13,1-1,この世より決して再び取り去らるることなし。
教14,,教義と聖約 第14章
教14,*-*,1829年6月、ニューヨーク州フェイヤットにて予言者ジョセフ・スミスによりてデビット・ホイットマーに給わりし啓示。ホイットマー家の者たちは、モルモン経の翻訳に就きていたく熱心になりたりき。ジョセフはこの1家にその居を変え、ここに於て彼は翻訳の
教14,*-*-1,完了して、将に出版せられんとする聖典の版権を獲得するまで同家に留りたりき、ホイットマー家の3人の息子は各々この業の正真正銘なることに就きて証を受けしにより、各自の為すべき務めの儀に関しいたく懸念せり。よって予言者スミスは、この儀に就きて主に伺
教14,*-*-1-1,これと以下2つの啓示（第15章および第16章）は何れも"ウリムとトミム"と通して下したまいしものなり。わが教会の歴史、第1巻、48頁（英文）を見よ。デビッド・ホイットマーは後にモルモン経の3人の見証者の中の1人となれり。永遠の生命に達する条件
教14,*-*-1-1-1,明らかに告げらる。主の完全なる福音が異邦人よりイスラエルの族に及ぶ主の目的。デビッド・ホイットマー、末日に於ける主の御業を助くる召を告げらる。誡命に忠実に従えば、彼に酬いあるべきを約束せらる。
教14,1,1つの大いなる驚嘆すべき業、まさに人の子らに現われんとす。
教14,2,見よ、われは神なり。心を留めてわが言をよく聞け。わが言は生命あり、能力あり、両刃の剣よりも利くして関節と骨の髄に透してこれを割つ。それ故に、心を留めてわが言をよく聞け。
教14,3,見よ、畑は早白くして刈り入れを待てり。故に刈り入れんと欲する者は、何れも勢力を尽して鎌を入れ、日の尽きざる中に刈り取りて、神の王国に於ける永遠の救いをその身と霊とのために貯うべし。
教14,4,然り、鎌を入れて刈り入るる者は誰にても神の召を受くるなり。
教14,5,この故に汝らわれに求めなば与えられ、叩かば汝ら開かるることを得ん。
教14,6,わがシオンを起してこれを確立せんことを求めよ。すべてに於てわが誡命を守るべし。
教14,7,もし汝わが誡命を守り終りまで忍ぶならば永遠の生命を得ん。これ神のあらゆる賜の中最大なるものなり。
教14,8,而して汝わが成により信じて、信仰により御父に願わば、汝の耳に目に見むことに尽きて証人とならんため、また今の代の人々に悔改めを叫ばんために汝らに言い方を与うる聖霊を受くべし。
教14,9,見よ、われは生ける神の子イエス・キリストにして天と地を創りたり。暗きにかくるる能わざる光明なり。
教14,10,それがために、われは異邦人より初めてイスラエルの家にわが完全なる福音を現わさざるべからず。
教14,11,見よ、汝はデビッドなり。而して汝は助けんために召されたり。もし汝この事を為して忠実ならば、この世のこと於ても霊のことに於ても両つながら祝福を受けてその報いは大いなり。 アーメン。
教15,,教義と聖約 第15章
教15,*-*,1829年6月、ニューヨーク州フエイヤットにて予言者ジョセフ・スミスによりてジョン・ホイットマーに給わりし啓示。第14章の前書を見よ。ジョン・ホイットマーは、後にモルモン経の8人の見証者の中の1人となる。この言葉はまことに感銘すべき別懇なる仰
教15,*-*-1,その中にて主はジョン・ホイットマーと主の間のみ判りたる事に就きて語りたもう。この言を受くる者、その立派なる願いを祝福せらる。彼にとりて最も価値あるもの。

教15,1,わが僕ジョンよ聞け。而して汝の主、汝の贖い主なるイエス・キリストの言に耳を傾けよ。
教15,2,見よ、わが腕は全世界を支配すれば、われ鋭き能力とをもて汝に語る。
教15,3,而してわれは、われと汝ひとりのほか、何人も知らざる事を聞かすべし。
教15,4,すなわち、汝は汝にとりて最も価値ある事を知らむると度々われに願いたればなり。
教15,5,見よ。汝はこの事により、またわが誡命に従いて、汝に語りし事を宣べたるにより幸福なり。
教15,6,さて見よ、われ今汝に告ぐ、すなわち汝にとりて最も価値あることは、汝今の代の人々に悔改めを宣べて人々をわれに導き、以て彼らと共に父の御国に休まんことなり。 アーメン。
教16,,教義と聖約　第16章
教16,*-*,1829年6月、ニューヨーク州フエイヤットにて予言者ジョセフ・スミスによりてピーター・ホイットマー（2代目）に給まりし啓示。第14章の前書を見よ。ピーター・ホイットマー（2代目）は、後にモルモン経の8人の見証者の中の1人となる。
教16,1,わが僕なるピーターよ聞け。而して汝の主、汝の贖い主なるイエス・キリストの言に耳を傾けよ。
教16,2,見よ、わが腕は全世界を支配すれば、われ鋭きと能力とをもって汝に語る。
教16,3,而してわれは、われと汝ひとりのほか、何人も知らざることを聞かすべし。
教16,4,すなわち、汝は汝にとりて最も価値ある事を知らむと度々われに願いたればなり。
教16,5,見よ、汝はこの事により、またわが誡命に従いて、汝に語りし事を宣べたるにより幸福なり。
教16,6,さて見よ、われ今汝に告ぐ、すなわち汝にとりて最も価値ある事は、汝今の代の人々に悔改めを宣べて人々をわれに導き、以て彼らと共に父の御国に休まんことなり。 アーメン。
教17,,教義と聖約　第17章
教17,*-*,1829年6月、ニューヨーク州フエイヤットにて予言者ジョセフ・スミスによりてオリヴァ・カウドリ、デビッド・ホイットマーおよびマーテン・ハリスの3人に給まりし啓示。この啓示は彼らがモルモン経を載せたるかの彫刻したる版を目にする以前に給まりたるも
教17,*-*-1,ジョセフ・スミスと彼の書記オリヴァ・カウドリとは、モルモン形の版に誌せるある章句を翻訳することよりして、3人の特別なる見証者の氏名せられん事を知り居りたりき。イテル書第5章、2節乃至4節、ニーファイ第2書第11章、3節および同じく第27書、1
教17,*-*-1-1,見よ。オリヴァ・カウドリ、デビッド・ホイットマーおよびマーテン・ハリスの3人は特別なる3人の見証者となる望みを霊感によりて与えられたり。予言者スミス主に伺いてこの啓示を"ウリムとトミム"を通じて答えらる。わが教会の歴史、第1巻、52頁（英文）
教17,*-*-1-1-1,以上の3人は、条件付にてモルモン経の版のみならず、またモルモン経の記録にある他の神聖なる遺物をも目にするを許さるべし。との約束を賜わる。古えの予言者にも比すべき信仰によりてのみ、彼らはかくの如き特権を給わることを得。彼らはすなわち見せらるべき
教17,*-*-1-1-1-1-1,為すべきなり。ジョセフ・スミスの厳粛なる宣言は擁護すべし。主、わが生くる如くこの翻訳は真実なりと宣う。
教17,1,見よ、われ汝らに告ぐ、汝らわが言に頼らざるべからず。而して汝らもし誠心よりわが言に頼らば、かの金版と、胸当、レーバンの剣、"ウリムとトミム"すなわちジェレドの兄弟が山の上にて神と向き合いて語りし時与えられたるものと、また紅海のほとりなる荒野に
教17,1-1,リーハイが与えられたる不思議なる指示器とを汝らに一目見すべし。
教17,2,汝らこれらのものを見ることを得るは信仰によるなり。すなわち、古えの予言者の持ちたる信仰によるなり。
教17,3,汝ら信仰を得て、これらのものを両の眼をもて見たる上は、神の力によりてこれらのものの証をなすべし。
教17,4,而して、わが僕ジョセフ・スミス（2代目）の亡ばされざらんために、而もわれこの業を為して人の子らにわが義しき志を果たさんがために汝らこの事を為せ。
教17,5,また、汝らかく証をなすべし。すなわち汝らは、わが僕ジョセフ・スミス（2代目）が正にこれらを見たる如く汝らも見たり、彼のこれらを見たるはわが能力により、また彼の信仰を有ちしによる、と。
教17,6,また彼はその書を、正にわが命じたる部分を翻訳したり、而してこの事は汝の主、汝の神生きたもうが如く真実なり、と。
教17,7,それがために、汝らは彼と同じ能力と同じ信仰と彼に賜りたると同じ賜とを得たり。
教17,8,而して汝らわが与えたるこの最後の誡命を守らば、地獄の門も汝らに打ち勝つ能わず。そはわが恩恵は汝らに充ち満ちて、汝らは終りの日に高く挙げらるればなり。
教17,9,而して汝らの主、汝らの神なるイエス・キリストこの事を汝らに語るは、人の子らにわが義しき志を果さんがためなり。 アーメン。
教18,,教義と聖約　第18章
教18,*-*,1829年6月、ニューヨーク州フエイヤットにて予言者ジョセフ・スミス、オリヴァ・カウドリおよびデビッド・

ホイットマーたちに与えたまいし啓示。この末の代に於ける12使徒お召の知らせ、且つまた完全なる福音に則りキリストの教会を創立することに関し、
教18,*-*-1,これに含まるる指図の知らせアロン神権の授与に際しメルケゼデク神権授与の約束あり。第13章の前書を見よ。この儀に関し更に偉大なる知識を与えたまえとの熱烈なる祈願に答えてこの啓示を給わる。わが教会の歴史、第1巻、60乃至64頁（英文）を見よ。勤勉
教18,*-*-1-1,訓戒。オリヴァ・カウドリ、デビッド・ホイットマー、古えの使徒パウロの召を以て召さる。人の価値を強調。人をキリストの福音に帰依せしむるに伴う大いなる悦び。福音を施す働きを助けるために12使徒を召す予表。ここに於て弟子と呼ばるるも後に12使徒と名
教18,*-*-1-1-1,12人は、誠心誠意キリストの御名をわが身に引き受くる願いを持つ者の中より選ばるべし。オリヴァ・カウドリとデビッド・ホイットマーにこの12人を捜し出すことを委任さる。
教18,1,さて見よ、わが僕なるオリヴァ・カウドリよ。汝われより聞かんことを乞い願うにより、これらの言を汝に告ぐ、
教18,2,見よ、われこれまでしばしばわが"みたま"を以て汝の今までに誌すところの真実なるを示したり。それがために汝その事の真実なるを知る。
教18,3,而して見よ、汝すでにその事の真実なるを知らば、われ汝に1つの誡命を与う。すなわち、汝その誌されたるところのものを信頼すべし。
教18,4,そはわが教会の基礎と、わが福音と、わが磐とに関することはすべてその中に誌されたればなり。
教18,5,これを以て、汝らわが福音とわが磐との基の上に教会を築かば、地獄の門も汝らに打ち勝つこと能わざらん。
教18,6,見よ、世の罪は熟しつつあり。今や人の子らは異邦人もイスラエルの家も、両つながら御名振い立ちて必ず悔改めざるべからず。
教18,7,それがために、わが僕ジョセフ・スミス（2代目）にわが命じたる如く、汝は彼の手によりバプテスマを受けたれば、彼はわが誡命を履み行いしなり。
教18,8,さて、わが目的のために彼を召したるを驚きあやしむことなかれ。わが目的はわれこれを知る。それがために、彼もし勉めてわが誡命を守らば、彼は永遠の生命を恵まれん。その名はすなわちジョセフなり。
教18,9,さて、オリヴァ・カウドリよ。またデビッド・ホイットマーよ。今われ汝らに誡命の言を告ぐ。見よ、われは遍く人々にことごとく悔改めを命ずるを以てなり。われは正にわが使徒パウロに語りし如く、これを汝らに語る。そは汝らはパウロの召されたると同じ召を以て
教18,9-1,召さるる者なればなり。
教18,10,汝ら、人の値は神尾前に大いなることを憶えよ。
教18,11,見よ、そは汝らの贖い主なる主は肉体にて死を受けたればなり。これを以てかれはすべての人々の悔い改めて彼に来らんために、すべての人々の苦を受けたり。
教18,12,彼はすべての人々悔い改むるならば彼に連れ行かんために、死人の中より再びよみがえれり。
教18,13,而して、悔い改むる人を見て彼の悦びは如何に大いなるか。
教18,14,これを以て、汝らは今の世の人々に悔改めを叫ばんために召さるるなり。
教18,15,而して汝らもし生涯今の世の人々に向かいて悔改めを叫ぶことに力を尽し、唯1人の人たりともわれに導かば、わが御父の国に於て彼と共に汝らの悦び如何ばかりぞや。
教18,16,さて、わが御父の国にわれの許に導きたる唯1人の人につきて汝らの悦び大いならば、汝らもし多くの人を導き来らばその悦びは果して如何ばかりぞや。
教18,17,見よ、わが福音、わが磐、わが救いは汝らの前にあり。
教18,18,汝ら必ず受くべきを信じて、信仰を以てわが名により御父に願うべし。さらば、人の子らの為になるすべての事を示す聖霊を受くべし。
教18,19,汝らもし信仰、希望、慈悲の3つを有たざれば何事も為す能わず。
教18,20,悪魔の教会のほか、如何なる教会とも争うことなかれ。
教18,21,イエス・キリストの御名を身に引き受けて真面目に真理を語るべし。
教18,22,而して悔改めを為し、イエス・キリストなるわが名によりてバプテスマを受け、終りまで忍ぶ者はことごとく救われん。
教18,23,そもそもイエス・キリストとは、御父より賜わりたる御名にして、この名のほかにはよりて以て人類の救われ得る名1つもなし。
教18,24,これを以て、すべての人々は御父より賜わりたるこの名をわが身に引き受けざるべからず。そは、この名によりてこそ人々は最後の日に呼ばるべければなり。
教18,25,これを以て、人々もし呼べるべきこの名を知らざれば御父の国に於て居るべき所を得ず。
教18,26,さて見よ、汝らのほかにまたわが福音を異邦人とユダヤ人との両方に宣べ伝うるために召さるる者あり。

教18,27,然り、すなわち12人あり。而してこの"12人はすなわちわが弟子たるべき者にして、彼らはわが名をその身に引き受けん。誠に、この"12人"こそ誠心誠意わが名をその身に引き受けんと願う者たちなり。
教18,28,彼らもし誠心誠意わが名をその身に引き受けんと願わば、彼らはわが福音をことごとく生くる者に伝えんとして全世界に出で行くために召さるるなり。
教18,29,而して彼らは記されたる如くわが名によりてバプテスマを行うために、あれより聖職に按手任命せらるる者たちなり。
教18,30,而して、記されたるものは汝らの前にあり。これを以て汝ら記されたる言に従いてバプテスマを執り行わざるべからず。
教18,31,われ今汝ら"12人"に告ぐ、見よわが恵みは汝らに充ち満ちたり。わが前に正しき満ちを履みて罪を犯すことなかれ。
教18,32,而して見よ、汝らは祭司および教師を按手聖任するために、われよりその職に按手聖任せらるる者たちなり。また汝らの内に在す聖霊の能力と、人々に賜わる神尾召と、神の賜とによりてわが福音を宣ぶるために任ぜられたる者たちなり。
教18,33,汝らの主、汝らの神なるイエス・キリストなるわれこれを語れり。
教18,34,これらの言は世の人々より出でしにもあらずまた人間の言にもあらず、われより出でし言なり。この故に汝らはこの言がわれより出でし言にして、人間より出でしにあらざることを証すべし。
教18,35,この言を汝らに語れるはわが声なり。そはわが"みたま"によりて汝らに与えられ、わが能力によりて互いにこれを読むを得るなり。されどもしわが能力によらざれば、汝らこれを有つこと能わざらん。
教18,36,これを以て、汝らわが声を聞きわが言を知るを証するを得べし。
教18,37,さて見よ、オリヴァ・カウドリおよびデビッド・ホイットマーよ。われ汝らに命ず。わが語れることを為さんと願う"12人"を尋ね出すべし。
教18,38,而して、彼らはその願いと行いとによりて知らされん。
教18,39,而して、汝ら"12人"を尋ね出したる時は彼らにこれらのことを示し、
教18,40,汝らひざまずきて、わが名によりて御父を拝すべし。
教18,41,また、汝らかくの如く言いて世の人々に説き教えざるべからず。すなわち"汝ら悔い改めて、イエス・キリストの御名によりてバプテスマを受けざるべからず"と。
教18,42,そは、すべての人は悔い改めてバプテスマを受けざるべからざればなり。ただ男のみならず女も受けざるべからず、また自己の責任を知り得る年齢に達したる子供らもまた然り。
教18,43,さて汝らこれを受けたる後は、すべての事に就きてわが誡命を守らざるべからず。
教18,44,われは汝らの手によりて彼らのなしたる多くの罪を覚らしめ、悔改めをなして御父の国に来らせんために、人の子らの中に1つの驚嘆すべき業をなさん。
教18,45,これを以て、わが汝らに与うる祝福は何物よりも勝れたり。
教18,46,而して汝らこれを受けたる後、もしわが誡命を守らずば御父の国に救わるることを得ず。
教18,47,見よ、汝らの主、汝らの神、汝らの贖い主、われイエス・キリスト、わが"みたま"の能力によりてこのことを語りぬ。アーメン。
教19,,教義と聖約　第19章
教19,*-*,1830年3月、ニューヨーク州マンチェスターにて予言者ジョセフ・スミスによりてマーテン・ハリスに下したまいし神の誡命にして、人より出でしものにあらず、かの永遠なる者の誡命なり。キリスト、その全能を断言したもう。悔改めなき罪の結果は、必ず罰と苦
教19,*-*-1,至ることを宣べたもう。"永劫"の苦しみと、"永劫"の罰の字義の説き明かし。肉に於て自ら苦しみを受けたることの真実なるを再び断言したもう。祈りの必要を強調。マーテン・ハリスに特別に誡命をたもう。
教19,1,われはアルパにしてオメガなり。主なるキリストなり。すなわちわえは始めにして終りなり。代の贖い主なり。
教19,2,われはわれを生みたまいし者、すなわち父のわれにかかる御意を完成し終れるを以て、すなわちこの事を為したるを以てすべての者をわれに従わせ、
教19,3,この代の終りに於て、またこの世に住める人々の上に下してあらゆる人をその為したる行為とその働きとによりて裁く最後の居生名る審判の日に於て、サタンとその仕業とを打滅ぼすすべての権能を保持す。
教19,4,されば、誠にあらゆる人々は悔い改めざるばからず、然らすんば必ず苦しみを受けん。われ神は"永劫"なればなり。
教19,5,それがために、われはわが行うべきさばきを取消すことなくして、わが左に置かるる者には泣き悲しみ歯を咬むなどの禍出で来らん。
教19,6,然はあれども、この苦しみに終りなしとは記されずして"永劫"の苦しみとは記されたり。
教19,7,また"永遠"の罰とも記され垂れ場、これを以てその字義他の経典よりも一層明らかにして以て人の子らの

胸に強く響き、全くわが成の栄光を表すなり。
教19,8,これを以て、この奥義を汝らに解き明さん。汝らは正にわが使徒としてこれを知るは至当なればなり。
教19,9,われは今このことに於て使徒として選ばれたる汝らに、正に1人に告ぐる如くに告ぐ。汝らのわが安息に入らんがためなり。
教19,10,見よ、神の神たる奥義、如何に計り知るばからざるかを。そはよく見よ、われは"永劫"にして、われの手づから罰はすなわち"永劫"の罰なり。そは、わが名は"永劫"なればなり。
教19,11,さればすなわち"永劫"の罰とは、"神の罰なる。
教19,12,"永劫"の罰とは、"神の罰なり。
教19,13,これを以て、われ汝に悔い改めよと命ず。而してわが名によりて、わが僕なるジョセフ・スミス(2代目)の手より受けたる誡命を守るべし。
教19,14,而して汝この誡命を受けたるは、わが全能なる能力による。
教19,15,この故に今われ汝に命ず。悔い改めよ。わが口のしもとと、わが怒りと、わが憤りとを受けて汝の痛苦甚しからざらんがために悔い改めよ。すなわちその痛苦の如何に甚だしかを汝知らず、その如何に強烈なるかを汝知らず、また如何に堪え難きかを汝知らざるなり。
教19,16,見よ、われは神なるに、人もし悔い改むるならばこの苦しみを受けざらんがために、すべての者に代りてこの苦しみをわが身に受けたり。
教19,17,されど、人もり悔い改めずば誠にわれと同じ苦しみを受けざるべからず。
教19,18,その苦しみたるや、われ神、すなわちすべての中最も大いなる者なりといえども痛苦のために身をふるわせ、あらゆる毛の孔より血を湧かせ、身と霊と両つながらを苦しめ、すなわちこの苦きさかずきより呑まずしてしりごみするも可ならんことを欲したり。
教19,19,然はあれども、父なる神は讃むべきかな。さればわれはこの苦しみをなめ、人の子らの為に準備を為し終りたり。
教19,20,これを以て、再びわれ汝に命ず、われ全能の能力を以て汝を挫かざらんために汝悔い改めよ。なおまた、われ汝に今言いたる懲しめを与えざらんがために汝その罪を告白せよ。懲しめのいと小さきものすら、否最も微妙なるものすら、われ汝よりわが"みたま"を取り去
教19,20-1,汝すでになめて知りしところなり。
教19,21,われ汝に命ず。汝悔改めのほか何の教えをも説くことなかれ。而してわが智恵の汝に命ずるまでは、これらのことを世の人々に示すことなかれ。
教19,22,世の人々今は肉に耐えずして、乳を飲まざるべからざる時なり。これを以て、彼ら亡びざるためにこれらのことを知るべからず。
教19,23,われに就きて学び、わが言を聴き、わが"みたま"の柔和なる道を歩め。さらば、汝われに在りて安きを得ん。
教19,24,われは、イエス・キリストなり。われは父の御こころによりて来り、その御こころを為す。
教19,25,われ汝に再び命ず。汝の隣人の妻を貪り、また隣人の生命を取らんとすることなかれ。
教19,26,われ汝に再び命ず。汝の持つ財産を貪ることなくして、真理と神の言を載するモルモン経を印刷するために惜しむことなく汝の財産を頒つべし。
教19,27,すなわち、この書の言は異邦人に与うるわが言にしてユダヤ人に速に伝えられ(ユダヤ人の遺れる者はレーマン人なり)かくて彼らが福音を信じ、すでに来りたる救い主の来るを待ち望むことなからんがためなり。
教19,28,われ汝に再び命ず。汝心の中にても祈りまた声を出しても祈るべし。然り、人々の前にても祈りまたひそかにても祈り、公にても祈りまた陰にても祈るべし。
教19,29,また喜びの音ずれを宣ぶるに、山の上、あらゆる高き所、また会い見るを許されたるあらゆる人々の中に於てすべし。
教19,30,また、このことを為すには全くへりくだりてこれを為し、われを身体し、そしる者をそしり返すことなかれ。
教19,31,汝は様々の教義を談することなくして、悔改め、救い主を信ずる信仰、バプテスマによる罪の赦し、および火すなわち聖霊による罪の赦しを宣ぶるべし。
教19,32,見よ、こはこのことに就きてわが汝に与うべき1つの大いなる最後の誡命なり。何となれば、これは汝が日々行いて尽きず、充分生命の終りまでも足ればなり。
教19,33,汝もしこれらの助言を軽んずれば悲惨を招く、すなわち汝の生命と財産とを亡ぼさん。
教19,34,汝の財産の1部を頒て、すなわち土地の1部と、汝の家族を不要する分を除きたるすべての頒ち与えよ。
教19,35,印刷業者に借りたる汝の負債を支払いて束縛より免れよ。
教19,36,家族の者に会わんとする時のほかは、汝の家と家庭とを離れ、

教19,37,すべての人に自由に語るべし。すなわち高声に喜びの声を挙げて教えを説き勧め真理を宣べ、ホザナよ、ホザナよ、主なる神の御名は讃むべきかな、と叫ぶべし。
教19,38,絶えず祈れ。さらば、われ汝にわが"みたま"を注がん。さらば汝の恩恵を大いなるべし。すなわちその恩恵は、もし汝この世の宝と朽つるものまで得たりとすともそれより大いならん。
教19,39,見よ、汝心に喜びなくして、また喜びに胸ふくるることなくしてこれを読み得るや。
教19,40,または、汝この上盲目なる手引きとしてあなたこなたと奔走し得るや。
教19,41,または汝へりくだり、柔和にしてわが前に賢く振舞うことをなし得るや。誠に、汝の救い主なるわれに来れ。 アーメン。
教20,,教義と聖約　第20章
教20,*-*,1830年4月、予言者ジョセフ・スミスによりて給まりたる教会の組織管理に関する啓示。この啓示を予言者が記録する以前に彼の書きたるものあり、記して曰く"予言と啓示の"みたま"によりて、イエス・キリストより次の啓示を受く。すなわちわれらは"みたま
教20,*-*-1,多く知らせを受けしのみならず、また主の御旨と誡命とに従い、この読に今1度キリストの教会を組織するに取りかかるべきっくわしき日取を指示せられたり"と。主は、再びモルモン経の正真なることを証したもう。バプテスマに関して誡命を給う。神権の中にある2
教20,*-*-1-1,職掌を明らかに定めたもう。教会員の義務をくわしく述べらる。バプテスマの様式と、パンと葡萄液による聖餐式執行の次第とを規定さる。教会員たる人々の記録をとる様指図せらる。
教20,1,この末の代に於けるキリストの教会の起りはこれなり。而して時はわれらの主、われらの救い主なるイエス・キリストが、肉身を以てこの世に来りたまいてより1830年にして第4の月の6日、神意と神命によりて、わが国の国法に従い正式に組織創立せられたり。
教20,2,すなわちこの神命は、神に召されイエス・キリストの使徒の聖職に按手任命せられて、当教会第1の長老となりたるジョセフ・スミス(2代目)に下りたるものなり。
教20,3,またこの神命によりイエス・キリストの使徒に召されて当教会代2の長老となり、しかもジョセフ・スミスにより聖職に按手任命せられたるオリヴァ・カウドリにも下りたり。
教20,4,而してこのことは、われらの主なる救い主、イエス・キリストの恩恵によるなり。願わくは、主イエス・キリストにすべての意回向、今もとこしえにも限りなくあらんことを。アーメン。
教20,5,この第1の長老は、自らの罪の赦しを得たることを真に明らかに示されたる後、再び世の虚栄に心を惑わされしが、
教20,6,彼悔改めて真心よりへりくだりたる後、信仰によりて神は1人の聖き・の使者によりて彼に導きと恵みを施したり。その天の使の顔はいなづまの如く輝き、衣は如何なる白さにも勝りて純く白かりき。
教20,7,而して、神は誡命を下して彼に霊感を与え、
教20,8,前より備えたりし方法により、モルモン経を翻訳するために天より能力を与えたり。
教20,9,この書の中には、堕落したる或る民の記録と、異邦人並びにユダヤ人に与うるイエス・キリストの完全なる福音とを載せたり。
教20,10,またこの書は霊感によりて与えられ、天の使たちも導きと恵みによりて他の人々に対して確認され、この人々によりて世に宣べ伝えられ、
教20,11,聖典の真実なることと、神は人々に真に霊感を与えて古えの代と同じくまた今の代にも神の聖き業に人々を召すことを世に証す。
教20,12,これを以て、また神は昨日も今日も世々限りなく同じ神にてあることを示すなり。アーメン。
教20,13,この故に、かくの如く大いなる証人あるにより、世の人々はこれらの人々によりて審判を受くべく、また将来この業を知る人々も皆正に同じく審かるべきなり。
教20,14,されば、信仰をしてこれを受け入れ義しい行いをなす人々は永遠の生命の栄冠を受くべし。
教20,15,されど信ぜずして心を頑固にし、これを受けいれざる人々はこのこと己れが罪せらるる所以となるべし。
教20,16,何となれば、これを主なる神語りたまいたればなり。而して、われら教会の長老たちおれを聞き、いと高きところに在す栄光の帝の御言を証す。願わくは、いと高きところの神に世々限りなく栄光あれ。アーメン。
教20,17,これらによりてわれらは知る。神天に在すことを。この神は限りなく且つ永遠にして、とこりえよりとこしえに至り変ることなき同じ神にして、天と地とその中にあるすべてのものを仕組みたまいし者なり。
教20,18,この神はまた人を男と女とに創り、これらを己が姿に象りて己が象さながらに創りたまえり。
教20,19,而してこれらに、唯一の生ける誠の神なる彼を愛してこれに事えよ。而も、彼らの礼拝すべき者はこの唯一の神なり。と誡命を与えたまえり。
教20,20,されど人はこの神聖なる律法を破りて肉欲と悪魔とに附き、堕落せる人となりたり。
教20,21,これを以て全能の神はその生みたまえるただ1人の御子を与えたまいしものにして、このことは神の下し

たまいし聖典に誌されたるが如し。
教20,22,彼は誘惑を受けたまいしがこれを心に留めたまわず、
教20,23,彼は十字架につけられ死して3日目にまたよみがえり、
教20,24,天に上りて御父の右に坐し、御父の御旨に従い、全能の能力を以て代を治めたもう。
教20,25,そは、信じて彼の聖き成によりてバプテスマを受け、信仰を以て終りまで忍ぶ者は何人もみな救われんためなり。
教20,26,すなわちその救いを受くる者は、ただにイエス・キリストが"時の絶頂"にこの世に肉身を受けて来りたまいし後に彼を信じたる者のみならず、またすべて始めより在りし者も、すなわちまだキリスト来りたまわざる以前に在り、すべてのことに於て彼をキリストなりと
教20,26-1,なしたる聖霊の賜により霊感を受けて語りたる聖き予言者たちの言を信じたる者も永遠の生命を得べく、
教20,27,また後に来らん者にして、御父と御子とを証する聖霊による神の賜と召とを信ずる者も永遠の生命を得べし。
教20,28,この父と子と聖霊とは1つの神会を為す神に在して、限りなく、終りなく、永遠なる者なり。アーメン。
教20,29,わえらこの事を知る。すなわち、すべての人々は悔改めてイエス・キリストの御名を信じ、その御名によりて御父を拝し、キリストの御名を信じて終りまで忍ばざるべからず。然らずんば、神の王国に救わるることを得ず。
教20,30,われらまたこの事を知る。すなわちわれらの主、救い主イエス・キリストの恵によりて儀とせらるることは正しい真なり。
教20,31,また、われらは知る。すなわちわれらの主、救い主イエス・キリストの恩恵によりて聖くさるることは、神を愛し、勢力をつくし、精神をつくし、能力をつくして神に仕うるすべての人々にとりて正しく且つ真なり。
教20,32,されど、人は時として恩恵より堕落し、生ける神より離るることなしとせず。
教20,33,この故に、教会員は誘惑に陥らざる様用心して絶えず祈るべし。
教20,34,真にすでに聖くせられたる者すらもまた用心すべし。
教20,35,これらのことは真実にして、かの聖典すなわちその書の予言に少しも増すことも減らすこともなきヨハネの黙示録に由り、また神の身声すなわち聖霊の賜と能力とによりてこの後来るべき神の啓示、または天使の導きと恩恵に由ることをわれらは知る。
教20,36,こはまた主なる神の語りたまいしところにして、願わくは聖き御名に誉と能力と栄光、世々限り無くあらんことを。アーメン。
教20,37,また、神の誡命としてバプテスマの仕方に就きて教会員に下されたるところ次の如し。およそ神の御前に自ら低くへりくだりてバプテスマを受けんと心に願い、真にへりくだりたる心と悔いる精神とを以て進み出で、真に自己の罪をすべて悔改めたることを教会員の前に
教20,37-1,進んでイエス・キリストの御名をその身に引き受け、而して終りまでキリストに仕えと決心し、罪の赦を得るまで"キリストのみたま"を受けたることをその行いによりて誠に明らかにする者は、すべてみなバプテスマによりてキリストの教会に受け入るべし。
教20,38,長老、祭司、教師、執事およびキリストの教会の会員たる喪nの義務は次の如し。使徒は長老にして、バプテスマを施すは彼の天職なり。
教20,39,また他の長老、祭司、教師および執事を按手聖任し、
教20,40,またキリストの肉と血の象徴なるパンと葡萄液とを頒つ式とを執り行い、
教20,41,またバプテスマを受けて教会に入りたる者に、聖典の示すところに則り、火と聖霊とのバプテスマを受くる按手を施して教会員たることを確認し、
教20,42,また教え、釈き、勧め、バプテスマを行い、教会を守護し、
教20,43,また按手を施して教会員たることを確認して、聖霊を与え、
教20,44,またすべての集会を指導することを以てその天職とす。
教20,45,長老は神の誡命と啓示に則り、聖霊の導くままに集会を指揮すべき者とす。
教20,46,祭司の義務は説き、教え、釈き、勧め、バプテスマを施し、聖餐式を執り行うべきことなり。
教20,47,また各会員の家庭を訪れ、かれらが声を挙げてもひそかにても祈りをなし、またすべて家庭の務めにいそしむように勧め、
教20,48,また他の祭司、教師、執事を按手聖任することを得、
教20,49,また1人も長老居らざる時は、集会を指導すべきものなりとす。
教20,50,されど長老その場に在る時は、ただ説き、教え、釈き、勧め、バプテスマを行うべきのみ。
教20,51,また各会員の家庭を訪れて、彼らが声を挙げてもひそかにても祈りを為し、すべて家庭の務めにいそし

むよう勧めをなすなり。
教20,52,すべてこれらの義務に於て、祭司はもし必要あらば長老を助くべきものとす。
教20,53,教師の義務は常に教会員を守護し、彼らと共にありて彼らを強くすべきものとす。
教20,54,また教会員の中に邪曲なきよう、互いの間に頑固なることのなきよう、また虚言、蔭口、悪口などもなき様注意すべきものとす。
教20,55,また教会員のしばしば集会することをはかり、またすべての会員にその義務をつくすようになさしむ。
教20,56,もし長老または祭司不在の時は、教師は集会を指導すべきなり。
教20,57,而してもし必要あらば、教会員中に於ける教師のすべての義務に就きて常に執事の助けを受くべきものとす。
教20,58,されど教師と執事とは、何れもバプテスマを行い、聖餐式を執り行い、または按手を施す権能なし。
教20,59,されど彼らは警告を与え、釈き勧め且つ教えて、キリストに来る様すべての人々を勧誘すべきなり。
教20,60,長老、祭司、教師または執事はことごとく各々に賜わる神の賜に按手聖任せらるべく、これを聖任するものの中にある聖霊の能力によりて按手聖任さるるものとす。
教20,61,このキリストの教会を組織する諸長老は、3ヶ月毎に1回大会を開きて集合すべきものとす。またはその大会に於て命ぜられ、または指定されたる所に従い時々会合すべし。
教20,62,その大会は、その当時為すべき必要なる教会の事務を何事によらずこれを為すべきものとす。
教20,63,長老たるものは、所属教会の指示の挙手に由り他の長老より或いは大会より免除を受くべきものとす。
教20,64,各祭司、教師または執事たち、ある祭司によりて按手聖任せられたる場合には、当時仮に正銘書をその祭司より受くることを得。而して、この証明書を長老に提出する時は免状を交附せらるべし。而して、この免状によりてその天職たる義務を執行する権能を得るものな
教20,64-1,または、ある大会よりその免状を受くるもの差支えなし。
教20,65,正式に組織せられたるわが教会支部のある所にありては、何人といえどもその教会支部の指示を挙手によらずしてはわが教会内のいかなる職にも按手聖任さるる能わず。
教20,66,されど管理長老、巡回監督、高等評議員、大祭司および長老は、指示の挙手を得べき教会支部のなき地方に於て聖職に按手任命する特権を有つことを得。
教20,67,大神権の各長（すなわち管理長老）、監督、高等評議員、大祭司などは、いずれも高等評議員会または総会の司令により聖職の按手任命を受くべきものとす。
教20,68,バプテスマによりて受け入れられたる後の教会員の義務は左の如し。長老または祭司たちは、新会員の聖餐に与りまた長老たちの按手によりて教会員たることを確認さるるに先だち、何事も生前と行わるるよう、わがキリストの教会に関する全般の事項を釈き教うるに充
教20,68-1,事実を費すべきものとす。
教20,69,而して会員たる者は、聖典に適える行為と信仰あらんために、すなわち主なる神の前に聖き道を履み得んために、彼らが会員たる資格のあることを信仰深き行為と会話とを以て教会員および長老たちの前にて明らかに示すべし。
教20,70,すべて御名、子女を有するキリストの教会員は、その子女を集会に於て長老たちの許に連れ来り。長老たちはイエス・キリストの御名によりて按手を施し、且つ御名によりてこれに祝福を授くべきものとす。
教20,71,神の前に自己の責任を知る年齢に達し、且つ悔改めを為す能わずんば、何人といえどもわがキリストの教会に受け入れらるる能わず。
教20,72,およそ、すべて悔い改むる者には左の方式によりてバプテスマを施すべし。
教20,73,神の召を受け、イエス・キリストよりバプテスマを施す権能を授けられたるものは、バプテスマを宇検と出頭したる男、または女と共に水中に下り立ち、その男または女の姓名を呼び上げて次の如く言うべし”われはイエス・キリストより権能を受けたれば天父と御子と
教20,73-1,御名に由りて汝にバプテスマを施す、アーメン”と。
教20,74,かく言いて、その男または女を水中に沈め、而して再び水より出で来るべし。
教20,75,会員はしばしば会合してパンと葡萄液とに与り、主イエスを記念する必要なり。
教20,76,而して長老または祭司、この式を執行すべき。而してその式、作法次の如し。すなわち、その時彼は教会員と共にひざまずきておごそかに祈り、父なる神の御名を呼び奉りて言うべし。
教20,77,”永遠の父なる神よ、われら御子イエス・キリストの御名によりて願い奉る。ここにこのパンをいただくすべての人々が、御子のからだの記念にこれをいただくよう、また喜びて御子の御名を受け、御子を常に忘れず、またその下したまえる誡命を守ることを永遠の父な
教20,77-1,御前に証明し、かくして御子の”みたま”常に一同と共にましますよう、こnパンを祝いきよめたまえ。アーメン”と。

教20,78,葡萄液を頒つ時の方式は、すなわちさかずきをとりてまたかく言うべし。
教20,79,"永遠の父なる神よ、われら御子イエス・キリストの御名によりて願い奉る。ここにこの葡萄液をいただくすべての人々がかれらの為に流したまいし御子の地の記念にこれをいただくよう、また御子を常に忘れぬことを永遠の父なる神の御前に証明し、かくして御子の"
教20,79-1,一同と共にましますよう、この葡萄液を祝いきよめたまえ。アーメン"と。
教20,80,誰にてもキリストのきゅおうかいいんにして罪を犯し、または過ちに陥りたる者は聖典の指図するところの則りて処置すべし。
教20,81,わがキリストの教会を組織する各支部教会は、教会の諸長老の催す各大会に出席するためその教会より1人以上の教師を派遣する義務あり。
教20,82,この派遣教師は前回の大会以来教会に加入したる各会員の名簿を携えて出席するか、然らずんばこれを誰か祭司の手によりて大会に送り届くべし。こは誰にてもあれ時々他の長老たちによりて指名せらる1長老が、全会員の名前を載せたる正式なる名簿を1冊の本に記帳
教20,82-1,ためなり。
教20,83,こはまたもし誰にても会員除名せられたる時は、かくて教会の総名簿よりその成を抹消せんがためなり。
教20,84,すべてその居留する教会より転会する教会員たちは、もし面識なき教会に行く時は彼らが正式の会員にして善良なる教会員たる身分にあることを証明する紹介状を携うるを得べし。この証明書はそれを受くる会員、もし誰にても長老、祭司の知己ならばその長老、祭司に
教20,84-1,署名せらるべく、然らざる時は所属教会の教師または執事により署名せらるるもよろし。
教21,,教義と聖約　第21章
教21,*-*,1830年4月6日、ニューヨーク州フエイヤットにて予言者ジョセフ・スミスにたまわりし啓示。この啓示は、ピーター・ホイットマー（初代）の家に於て、末日聖徒イエス・キリスト教会が指定されたる期日に始めて組織されたる時に下したまえるものなり。これよ
教21,*-*-1,バプテスマを受けたりし6人の人々この会合に加わりたり。この人々は神命に従い教会を組織せんと欲し、且つ組織せんと決意したることを全員一致言い表したり。第20章を見よ。この人々はまた、ジョセフ・スミス（2代目）およびオリヴァ・カウドリが教会の管理
教21,*-*-1-1,ことを採決の結果これを承認し、且つ支持せり。ジョセフは按手霊を施して、それよりオリヴァは同じくジョセフ・スミスを按手聖任せり。聖餐式執行の後、ジョセフ・スミスとオリヴァとは、参加者の1人1人に各人が聖霊を受け、また末日聖徒イエス・キリスト教会
教21,*-*-1-1-1,ことを確認さるるために按手せり。わが教会の歴史、第1巻、75頁（英文）を見よ。わが教会記録に就きて。主は教会を嘉納したまい、且つ管理者を承認したまいし旨を表したもう。
教21,1,見よ、汝らの中に誌さるる1つの記録あらん。その記録に於て、父なる神の御こころと汝らの主イエス・キリストの恩恵とにより汝は聖見者、翻訳者、予言者、イエス・キリストの使徒、教会の長老と称せられん。
教21,2,また汝は聖霊に感じて教会の基を築き、それを最も聖き信仰に築き建てん。
教21,3,その教会は、汝らの主の1834年4月の6日に組織せられ且つ創立せられたり。
教21,4,この故に汝ら教会員は、彼が上より受くるままに汝らに与うる誡命と彼の言とを皆心にとめてよく聞き、わが前に全く聖き道を履むびきなり。
教21,5,そは彼の言は、汝ら待ったき忍耐と信仰とを以て、あたかもわが口より聞くが如くにこれを受け入るべきなればなり。
教21,6,これらのことを為さば、地獄の門も汝らに打勝たざるべし。而して、誠に主なる神は汝らの前より暗やみの能力を追い払い、汝らの為と神の皆の栄光のためにもろもろの天をも震い動かしめん。
教21,7,主なる神かくの如く言う。われは彼に霊感を与えて、全を為すために大いなる能力を以てシオンの大事を押し進めしむ。われ彼の勤勉なるを知り。また彼の祈りを聞けり。
教21,8,然り、われはシオンのために彼の泣き悲しむを見たり。されば、われはもはやシオンのために彼を嘆かざらしめんとす。そは彼がその罪を赦されて悦び、彼の業の上に下すわが祝福を示されて悦ぶ時代の来りたればなり。
教21,9,見よ、われはわが葡萄園に働く者に大いなる祝福を与うれば、彼らは彼の言を信ぜん。その言はかの"慰め主"によりわれを通じて彼に与えられ、然もその"慰め主"は、イエスが誠に悔いたる心を持つ者に罪の赦しを与えんがため、世の人の罪を追うて罪深き人々によ
教21,9-1,十字架に付けらるることを世に表すなり。
教21,10,この故にわが使徒オリヴァ・カウドリ、汝によりて彼が聖職の按手任命を受くるは宜べなり。
教21,11,またこれは汝、彼の手によりて長老となり、また彼は汝にとりて第1の長老となる儀式なれば、かくて汝はこのキリストの教会の長老となりてわが名を負う者、

教21,12,すなわちわが教会員と世の人々、然り、異邦人の前に教えを説くわが教会の最初の説教者となるるなり。誠に主なる神、かくの如く言う。見よ、みよ、汝はユダヤ人にとりてもまた最初の説教者なり。 アーメン。
教22,,教義と聖約　第22章
教22,*-*,われらが主の1830年にこの末の代に創立せられたる末日聖徒イエス・キリスト教会に予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。すでに他の教会にてバプテスマを受けたる者にして、再びバプテスマの式を経ることなくこの教会に加入せんと欲する者あるに
教22,*-*-1,1830年4月、ニューヨーク州マンチェスターにてこの啓示を給う。バプテスマは、必ず制定されたる洋式に則り、主なる神より与えられたる権能により執行されざるべからざることを述べたもう。
教22,1,見よ、われ今汝らに告ぐ。すべて旧き誓約は、この事に於てわれこれを廃らしめたり。而してこの事は新しき且つ永遠の誓約にして、すなわち始めよりありしところのものなり。
教22,2,これを以て、たとえ人百度バプテスマを受くるといえども、そは効なきものなり。そは、汝らモーセの律法にてもまた汝らの死にたる業によりても、狭き門より入ること能わざればなり。
教22,3,われ、わが為にこの最后の誓約をここに立てさせ、またすなわち古えの時代に於ける如きこの教会を建てさする所以は、実に汝らの死にたる業あるがためなり。
教22,4,これを以て汝ら、わが命じたる如くかの門より入れ。而して汝らの神を議せんとすることなかれ。 アーメン。
教23,,教義と聖約　第23章
教23,*-*,1830年4月、ニューヨーク州マンチェスターにて、予言者ジョセフ・スミスによりて、オリヴァ・カウドリ、ハイラム・スミス、サミュエル・エッチ・スミル、ジョセフ・スミス（初代）およびジョセフ・ナイト（初代）に下したまえる啓示。以上5人たちの熱心な
教23,*-*-1,結果、予言者は主に伺いその事得としてこの啓示を受く。
教23,1,見よ、オリヴァよ。われいささか汝に告ぐ。見よ、何Jは祝福せられたり、何ら罪せらるることなし。されど汝、誘惑に陥らざる様にかぶりを慎しめ。
教23,2,汝は、汝の天職を教会員にまた代の人々の前に知らしむべし。さらば汝の心は開けて、今より後いつまでも真理の教えを語らん。アーメン。
教23,3,見よ。ハイラムよ。われ、いささか汝に告ぐ。汝もまた何ら罪せらるることなし。されば汝の心は開け、汝の舌はゆるみたり。而して汝の天職は人を教え諭し、また絶えず教会を強くするにあり。これを以て、汝の義務はいつまでも教会にあり、而してこれは汝の家族の
教23,3-1,アーメン。
教23,4,見よ、われいささか汝に告ぐ。サミュエルよ。汝もまた罪せらるることなければなり。而して汝の天職は人を教え諭し、また教会を強くするにあり。されど、汝はいまだ世の人々の前に教えを説くべき召を受けざるなり。アーメン。
教23,5,見よ、ジョセフよ、われいささか汝に告ぐ。汝もまた罪せらるることなければなり。而して汝の天職は人を教え諭し、また教会を強くするにあり。これ、今より後いつまでも汝の義務なり。アーメン。
教23,6,見よ、ジョセフ・ナイトよ。これらの言によりて、われ汝に明らかに示す。すなわち汝は、汝の十字架を負いて心の中にてもまた声を出しても世の人々の前に祈り、家族の中にても祈り、友の中にても祈り、またすべての所に於ても祈らざるべからず。
教23,7,而して見よ、真の教会に加わり絶えず汝の口より教えを説き勧むるは汝の義務なり。汝はかくして働く者の酬いを受くべし。 アーメン。
教24,,教義と聖約　第24章
教24,*-*,1830年7月、ペンシルベニヤ州ハーモニーにて予言者ジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリにたまえる啓示。教会の組織以来いまだ4ヶ月を経ざるに迫害いよいよ激しくなりたれば、教会の指導者たちは半ば世にかくれて身の安全を図るの余儀なきに至れり。わが
教24,*-*-1,歴史、第1巻、101頁（英文）を見よ。主は、お叱りの言葉を以て激励したもう。ジョセフとオリヴァの1人1人に誡命を下したもう。
教24,1,見よ、汝召を受け、選ばれてモルモン経を誌し、わが導きと教えを施す者の業に従う。而してわれは汝を苦難のうちより救い上げ、汝はすべての敵よりのがれまたサタンの能力と暗黒より免れたることを汝に教え告げたるぞ。
教24,2,さりながら、われは汝が犯したる罪を宥恕せず。さりながら、汝行きて今より罪を犯すことなかれ。
教24,3,汝の務めを全力を尽して遂行せよ。而して汝の畑に種を蒔き、これを失わざる様にしたる後速にコールスヴィル、フエイヤットおよびマンチェスターにある教会に赴け、さらば教会員らは汝を助くべし。而して、われはこの世のことにも霊のことにも、共に彼らに祝福を

教24,4,されど、もし彼ら汝を受け入れずんばわれ祝福を与えず、かえって彼らに咀いを遺らん。
教24,5,而して、汝は引きつずきわが名によりて神を呼び、かの"慰め主"によりて汝に与えらるべきことを記録し、また教会の人々にすべての聖典を釈き明すことを為しつずけよ。
教24,6,汝お語りまたは書き誌すべきことは、その場に及びて汝に与えらるるにより彼らこれを聞くべきなり。もし彼らこれを聞かずんば、われ祝福を与えずしてかえって彼らに咀いを遺らん。
教24,7,汝はシオンに於ける汝の務めに全力を注ぐべし。さらば、これにて汝は強められん。
教24,8,苦しみを忍べ。汝は数多の苦しみを受くべければなり。されど、これに耐えよ。見よ、われ汝と共に在ればなり。誠に、われ汝の生涯汝と共に在らん。
教24,9,俗世の働きに就きては、われ汝に力を与えじ。そは俗世のことは、汝の天職を怠らず勤めよ。さらば汝は役目を全力を尽して遂行し、またすべての聖典を釈き明し、絶えず按手を施して教会員を確認するに必要なるものを与えらる。
教24,10,また、汝の兄弟オリヴァは世の人々の前と教会員に絶えずわが名を証すべし。されど、彼はわが事業につきて充分に語り得ると想うべからず。されど見よ、われは終りまで彼と共に在り。
教24,11,彼はわれにありて光栄を得ん。されど、彼は一人にて光栄を有つことなからん。弱き釈きにも、強き時にも、縄目にある時にも、自由なる時にも、ただわれに在りて光栄を得べし。
教24,12,而していかなる時と場所にありても、彼は口を開きて夜も昼も高鳴るラッパの響の如き声もてわが福音を宣ぶるべし。然る時は、われ人の中に知られざる程の力を彼に与えん。
教24,13,わが命ずる時のほか、また悪鬼を追い出し、病める者を医し、毒蛇、毒薬の毒を消す時のほか奇跡を求むることなかれ。
教24,14,而して、これらのことは望む者によりて求めらるるにあらざれば汝これらを為すべからず。そは聖典に適わせんがためにして、汝は誌されたる所に従いて行うべければなり。
教24,15,汝いかなる所に入るといえども、人々わが名によりて汝を受け入れずんば、証として汝の足の塵を彼らに向かいて掃い、道ばたに於て汝の足を潔めて以て祝福を与うることなく咀いをのこすべし。
教24,16,また何人たりとも汝に手荒なことを為さんとする者あらば、われ彼に打たれよとわが名によりて汝に命ず。されど見よ、われわが時至らば必ずその者を汝の言によりて打ち叩かん。
教24,17,また何人たりとも汝を訴うる者あらば、彼はかえって律法によりて咀われん。
教24,18,汝は財布も、旅の嚢も、2枚の上衣も携うることなかれ。教会の人々は汝になくてならぬその時に、食物、衣服、靴、金銭、旅の嚢など入用なるものを汝に与うべければなり。
教24,19,何となれば、汝は大なるはさみを以て最後にわが葡萄園を刈り込むべき召を受けたるものなればなり。然り、また汝より聖職に按手任命せられたる者もまた、御名すべて正にこれにならいて為すべきなり。 アーメン。
教25,,教義と聖約　第25章
教25,*-*,1830年7月、ペンシルベニヤ州ハーモニーにて予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。予言者の妻、エマ・スミスに向ってたまわりし主の言、彼女の木無を明らかに定め、その務めを立派に仕上ぐる日のあるを示したもう。主の訓戒は、またすべての者
教25,1,わが語る時に、汝の主なる神の声を聴け。わが娘なるエマ・スミスよ。まことに、われ汝に告ぐ。すべてわが福音を受け入るる者は、わが王国に於てわが息子わが娘なればなり。
教25,2,わが意に就きて、今汝に1つの啓示を与う。汝もしちゅじつにしてわが前に徳の道を履まば、われ汝の生命を保ちシオンに於て1つのゆずりを与えん。
教25,3,見よ汝の罪赦されたれば、汝はわが召したる選ばれし婦なり。
教25,4,汝が見ざりし物に就きてはつぶやくことなかれ。そが汝および世の人に見せられざりしは、わが深きゆくさきの智恵より出でたる所なればなり。
教25,5,汝の有つ天職の務めは、汝の夫なるわが僕ジョセフ・スミス(2代目)を、苦難の時に慰めの言を以て優しき心にていたわるためにあり。
教25,6,汝は彼の行く時従い行きて、彼のため書記となる者なき間その書記となるべし。かくして、われわが僕なるオリヴァ・カウドリを何所なりともわが欲する所に遣わさんがためなり。
教25,7,汝また彼の手により按手聖任されて聖典を釈き明し、わが"みたま"によりて受くる所に従い教会員に熱心に説き勧むべし。
教25,8,彼は按手を施すによりて汝は聖霊を受け、汝の時は記録することと教えを多く学こととに費さるべし。
教25,9,而して、汝おそるる要なし。汝の夫、教会員の中にありて汝を指示すべければなり。そは、彼らの信仰に従いて、何事にまれわが啓示せんとすることをすべて彼らに啓示せんために彼の天職あればなり。
教25,10,またまことにわれ汝に告ぐ、汝はこの世の事をさしおきて、この世に勝世のことを求めよ。
教25,11,またわが心に適うところを汝に与うるが故に、汝はわが為に聖なるうたを選びてわが教会の用に供する

を得ん。
教25,12,すべて心の歌は、われの喜びなり。然り、義しき者の歌はわれに対する祈りなり。彼らの頭に祝福を与えてその応えとなさん。
教25,13,この故に汝の心をはげまして喜び、汝のなしたる誓約を固く守るべし。
教25,14,たえず優しき心をもち、たかぶりを警めよ。彼を夫に持つことと、その夫に来るべき光栄とを汝悦べ。
教25,15,たえずわが誡命を守れ、さらば汝義の冠を受けん。されど、わが誡命を守らずば汝はわが居る所に来るを得ず。
教25,16,誠にまことにわれ汝に告ぐ。これすなわち、すべての人に語るわが声なり。 アーメン。
教26,,教義と聖約 第26章
教26,*-*,1830年7月、ペンシルベニヤ州ハーモニーにて予言者ジョセフ・スミス、オリヴァ・カウドリおよびジョン・ホイットマーに給りし啓示。かれらが直ちに任を就く様指図を給う。教会の事に関する全員一致の原則を再び確言したもう。
教26,1,見よ、われ汝たに告ぐ。汝らは聖典を学び、教えを説き、コールスヴィルに於ける教会員を確認し、また次回の大会を開くために汝らを西部に遣わす後まで、この地に於て汝らに要求せらるる如き仕事を仕遂ぐるために専ら汝らの時を費すべし。然る後に、為すべき事は
教26,1-1,示さるべし。
教26,2,すべてのことは、大いなる祈りと信仰とによりて、各教会各々の全体一致によりて為されざるべからず。そは汝ら何事もすべて信仰によりて受くべければなり。 アーメン。
教27,,教義と聖約 第27章
教27,*-*,1830年8月、ペンシルベニヤ州ハーモニーにて予言者ジョセフ・スミスに給まりたる啓示、葡萄酒とパンとを以て聖餐式を執行すべき宗教上の儀式を準備するため、ジョセフはこの際用うる葡萄酒を手に入れんとして出発せり。その途上、彼は1人の使者に行き逢い
教27,*-*-1,啓示を受く。最初の4節はその当時に誌され、残部は翌9月に誌されたり。当教会の聖餐式にては、通常葡萄酒の代りに水を用う。純度の確ならぬ葡萄酒を聖餐式に用いざる用警告さる。主は多くの古えの予言者の名を挙げためい、末日の予言者も同様、主はこれらと将
教27,*-*-1-1,時期に聖餐を共にすることを約したもう。ジョセフ・スミス(2代目)とオリヴァ・カウドリを、先に使徒に按手聖任する事を公に言いたもう。激励の訓戒を与えらる。
教27,1,汝の主、汝の贖い主なるイエス・キリストの声に耳を傾けよ。その声は生命あり。能力あり。
教27,2,見よ、われ汝らに告ぐ、汝ら聖餐に与る時、もし汝ら誠心よりわが栄光のためにこれをなさば、すなわち汝らのために葬られたるわが体と汝らの罪の赦しのために流されたるわが血とを父の御前に記念してこれをなさば、汝ら何を食し何を飲むもあえて差支えなし。
教27,3,それがため、われ今汝らに1つの誡命を与う。すなわち汝らの敵より葡萄酒もまた強き酒をも買うことなかれ。
教27,4,それがために、誠に汝ら地上に打ち建てらるべきこのわが父の王国に於て、汝らの中にて新に造りたるもののほかは何ものをも飲むことなかれ。
教27,5,見よ、これわが智恵の存するところなれば汝ら驚き怪しむことなかれ。そは、われ葡萄の蔓の実より造りたるものをこの世に在りて汝らと共に飲み、また完全なるわが永遠の福音を載せたるモルモン経を汝らに顕さんために天より遣わしたるモロナイ、すなわちエフライ
教27,5-1,木の記録の鍵を託したるモロナイと共に飲む時来ればなり。
教27,6,而して、またわれ末の世に関し世の始めよりすべての聖なる予言者たちの口によりて告げられたる、かのすべてのものを原に復す鍵を託せるエライヤスと共に飲み、
教27,7,またエライヤス、ザカリヤを訪れし時、汝の妻男の子を生まん、その子をヨハネと名づくべし、而してその子、エライヤスの霊気に充さるべし、と約したるかのザカリヤの子にして、
教27,8,正にアロンの如く召して聖職の按手任命を受けしめんがために、汝らわが僕たち、ジョセフ・スミス(2代目)とオリヴァ・カウドリを汝らが受けたる小神権に按手任命するためわが遣わしたるかのよはねと共に飲み、
教27,9,また、全地が咀いをもて撃たれざらんがため、先祖の心に子らを思わせ、子らの心に先祖を思わしむる力の鍵を託せるエライジャと共に飲み、
教27,10,また、今に至まで約束を留むるヨセフ、イサク、ヤコブ、アブラハムたち汝らの先祖と共に飲み、
教27,11,またすべての人の先祖、すべての人の君、最も老いたる者たるミカエル、すなわちアダム、
教27,12,およびわが汝らに遣わして、汝らを聖職に按ん主任命し汝らの使徒たること、また汝らがわが名の特別の証人たることを確認し、また汝らが導きと教えを施す働きと、わが彼らに啓示せるところと同じものとの鍵を有つことを確認せしめたるかのペテロ、ヤコブ、ヨハネ

教27,13,すなわちわが王国の鍵と、終りの世に於ける、および天と地の両つにあるすべてのものを1つに寄せ集むべき"時満ちたる"時代に於ける福音の神権の時代とを託したる3人と共に飲み、
教27,14,また、わが父がこの世の中よりわれに与えたまいしすべての人々と共に飲む時来ればなり。
教27,15,この故に、汝の心をはり上げて喜べ。汝の腰を引きからげ、わが物の具をことごとく身に甲うべし、汝悪しき日に遭いて立ちむかい、すべてのこと成就し立ち獲んためなり。
教27,16,されば腰に真理の帯をしめ、胸に正義の胸当をつけ、われわが天使を遣わして汝に託せる平和の福音もて足ごしらえをなして立ち、
教27,17,左手に悪しき者の火矢をことごとく消すべき信仰の建てを執り、
教27,18,首領に救いの兜を被り、右手にわが汝に注ぐ"みたま"の剣を執り、口に啓示の言葉を保ち、およそわれに願うすべてのものにつきては賜うところに甘んじ、わが来るまで忠信なれ。さらば汝は引き上げられて、わが在るところに汝もまた在らん。 アーメン。
教28,,教義と聖約　第28章
教28,*-*,1830年9月、ニューヨーク州フエイヤットにて予言者ジョセフ・スミスによりてオリヴァ・カウドリに給わりし啓示。ハイラム・ページなる1教会員はこれより先ある石を手に入れ、その助けによりてシオンの建設と教会制度とに関する啓示を受けつつありと公言せ
教28,*-*-1,会員はこの主張に惑わされ、オリヴァ・カウドリすらこれによりて悪しき影響を受けたり。よりてある指定せられたる大会の直前に予言者はこの件に関して主に熱心に伺い、その結果この啓示を受けたり。わが教会の歴史、第1巻、109頁（英文）を見よ。教会の大管
教28,*-*-1-1,ジョセフの地位を明らかにす。オリヴァ、正しからざる仮定を設くることを警めらる。レーマン人に赴くべきオリヴァの使命を宣べたもう。彼はサタンに惑わされたりしハイラム・ページと共に働くべきこと。ハイラム・ページは主なる神より任命もされず、また民によ
教28,*-*-1-1-1,教会の啓示を受くる者たることをも承認されず。
教28,1,オリヴァよ、見よ、われ汝に告ぐ。わが与えたる啓示と誡命とに関し、かの"慰め主"によりておよそ汝が教うるすべての事は、わが教会の人々をしてこれを聞かしむるなり。
教28,2,されど見よ、誠にまことにわれ汝に告ぐ。わが僕ジョセフ・スミス（2代目）のほか、何人たりともこの教会に於てわが誡命と啓示とを受くるために任命せらるることなし。そは、彼は正にモーセの如くわれより啓示と誡命とを受くる者なればなり。
教28,3,されば、汝はわが彼に与うるところに就きて正にアロンの如くこれに従い、以て力と権威とによりて教会員に誡命と啓示とを忠実に告げ知らすべし。
教28,4,汝は何時にても、もしかの"慰め主"に導かれて説きもしくは教えんとする時は、或いはもし、いつも誡命として教会員に語らんとする時は、汝はこれをなすことを得べし。
教28,5,されど、汝は神の誡命として何事も誌すべからず。ただ汝の智恵より出でたるものとして誌すべし。
教28,6,また、汝は己が上に長たる者にしてまた教会の長たる者にしてまた教会の長たるものに命令すべからず。
教28,7,われは、わが代りの者を命ずるまで彼に奥義の鍵と封じたる啓示とを与えたればなり。
教28,8,さて見よ、われ汝に告ぐ、汝はレーマン人の所に赴きてわが福音を彼らに説き教うべし。而して、彼ら汝の教えを受けなばレーマン人の中にわが教会を建てさせよ。而して、われ汝に啓示を与う。べきもこれを神の誡命として誌すべからず。
教28,9,され見よ、われ汝に告ぐ、いずこにシオンの市を建つべきかはいまだ啓示せられず。何人もこれを知らざるなり。されど、そはこの後啓示せられん。見よ、われ汝に告ぐ。そはレーマン人の国境なるべし。
教28,10,汝この大会の終るまでは、この地を立ち去るべからず。而して、わが僕なるジョセフ・スミスは大会の指示の挙手により任命せられこの大会を管理すべければ、汝は彼の語るところを述べよ。
教28,11,また、汝はひそかに汝の兄弟ハイラム・ページを連れ行きて、彼がその石によりて記録せしものはわれによるものにあらずサタンの欺きしことを彼に語るべし。
教28,12,見よ、これらのことはこれまでわが彼に命じたることなく、また何事といえども教会の誓約にもとりてこの教会の何人にも命ぜらるることもなければなり。
教28,13,そは、すべての事は秩序正しくなされざるべからず、而して信仰深き祈りにより、教会員総体の承諾によりてなされざるべからず。
教28,14,汝はレーマン人の中に旅する前に教会員の誓約に従い、すべてこれらの事を解決する様助くべし。
教28,15,汝が行く時より帰る時まで、汝の為すべき事は汝に与えらるべし。
教28,16,而して、汝は何時にても常に口を開き、喜びの声を以てわが福音を宣べざるべからず。 アーメン。
教29,,教義と聖約　第29章
教29,*-*,1830年9月、ニューヨーク州フエイヤットにて6人の長老居合せたる席上予言者ジョセフ・スミスにより

て給わりし啓示。これは1839年9月26日より始まる大会に先立つ数日前に給わりし啓示なり。選民の呼び集めらるる事を細かに述べたもう。主の再臨、切
教29,*-*-1,ことの断言。この世が邪悪に満ちたる結果起る災厄。"福千年"とこれに続いて来る審判の実況。霊界の創造とこの世の創造との区別。人類がこの世に於て生くる目的。人間の自由意志。幼くして死にたる子供らは確に贖わる。
教29,1,イエス・キリスト、汝の贖い主、かの大いなる"われあり"の神、その慈悲の腕汝の罪を贖いたる神の声に耳を傾けよ。
教29,2,われは、わが声を聞きてわが前にへりくだり、強き祈りを以てわれを呼ぶほどのわが民を、正に雌鶏が雛を翼の下に集むる如くに集めん。
教29,3,見よ、誠にまことにわれ汝らに告ぐ、今や汝らの罪は赦されたり。この故に汝らはこの啓示を受くるなり。されど、禍汝らの上に下らざらんため、よく憶えて今より罪を犯すことなかれ。
教29,4,われ誠に汝らに告ぐ、汝らは世の人の中より選ばれ、高鳴るラッパの響の如く歓喜の声を以てわが福音を宣ぶる者となれり。
教29,5,汝らの心をはり上げて喜べ。そは、われ汝らの真中に在りて御父に汝らのとりなしをすればなり。而して御父が汝らにその王国を与えたもうは御父の好意なり。
教29,6,而してすでに誌されたる如く、すなわち信仰をもてわれに願い、わが命に従いて共になりて祈るところは何にてもあれ汝らに与えられん。
教29,7,汝らはまた、わが選民を集むべき召を受けたり。そはわが選民はわが声を聞き、その心を頑固にせざればなり。
教29,8,この故に彼らはこの地の1つの処に集り、悪しき人々に艱難と滅亡との下るべき日のために、その心構えとすべての備えとを為すべしと御父は命を下したまえり。
教29,9,時すでに近づけり。世の熟する日将に近づけり。その時、すべてたかぶる者と悪をおこなう者は藁の如くにならん。而して邪悪のこの世になからんためわれこれを焼きすてん、と万群の主は言う。
教29,10,そは時すでに近づき、わが使徒たちの語りし処は成就さぜるべからざればなり。また彼らの言いしところを、われその如くなせばなり。
教29,11,また、われ能力と大いなる栄光とを以て天の万群と共に天より現われ、人々と共に正義を以て1、000年の間この世に留まり悪しき人々はこれに耐えざればなり。
教29,12,また誠にまことにわれ汝らに告ぐ、エルサレムに於てわれと共に導きと恵を施す業に従いたる12人の使徒たち、われ火の柱にて来る時わが右の方に坐し、正義の衣服を着け、われと同じく栄光の冠を頂き、以てイスラエルの全家を、すなわちわれを愛しわが誡命を守り
教29,12-1,ほかならぬ者を審かんこと父の御旨により固き神の命として出でたり。
教29,13,誠にシナイの山に於けるが如く、ラッパの音は高く且つ長く鳴り響きて全世界は震動し、すなわちわれに在りて死にたる者たちは正義の冠を頂かんため、われと同じく正義の衣服を着けんため、またわれと共に居りてわれら1つにならんため出で来らん。
教29,14,されど見よ、われ汝らに告ぐ。この大いなる日の来る前に火は暗くなり、月は血と変り、星は天より落ちん。而して上には天に、下には地に、更に大いなる前兆あるべし。
教29,15,また、多くの人々のうちに泣き悲しむことあらん。
教29,16,また、烈しき雹遣わされてために地の収穫は損われん。
教29,17,また世の悪事あるが故に、悪しき人々の上にわれ報いを為さん。そは彼ら何としても悔改めざるが故なり。そは、わが怒りのさかずき満ち充ちたる故なり。見よ、もし彼らわが言を聞かざればわが血彼らを潔めざらん。
教29,18,これを以て、われ主なる神、また地の面にあぶを遣わさん。これらは地に住める人々にとりつきてその肉を食い、そこにうじを生ぜしめん。
教29,19,而して人々の舌はこわばり、われに反して声を挙ぐること能わず。肉は骨より離れ眼は落ちくぼむべし。
教29,20,而して、森の獣と空の取り彼らを貪り食わん。
教29,21,また全地の中の浮れ女なる。かの大いなるにくむべき教会はこれらの事に就きて語りし予言者エゼキエルの口によりて言われし如く猛火によりて焼払われん。この予言はいまだ現れずといえども、この事われ今生くるが如く違わず来るべし。およそ、にくむべき悪は世を
教29,21-1,支配すべからざるが故なり。
教29,22,また誠にまことにわれ汝らに告ぐ。この"福千年"過ぎ去りて人々再び彼らの神を拒み始むる時、その後僅の間のみ地を助けおくなり。
教29,23,やがて終末は来り、天地は焼き尽されて過ぎ去り、新しき天と新しい地とあらん。
教29,24,すべて古きもんは過ぎ去り、天地すらも、またその中にあるすべてのものも、すなわち人、獣、空の鳥、

海の魚も万物ことごとく新しくならん。
教29,25,されど一筋の神の毛、1粒の微塵といえども失わるることなからん。それらのものは、御名わが手によりて造られしものなればなり。
教29,26,されど見よ、われ誠に汝らに告ぐ、この世の過ぎ行く前、わが天使長ミカエルはその持てるラッパを吹き鳴らすべし。それより、すべて死にたる者は眼を覚まし、計の開かるる故に御名ことごとく出で来らん。
教29,27,而して、義しき者たちは皆わが右に集められて永遠の生命を得れど、わが左に在る悪しき者たちはわれこれを御父の前に有つを恥ず。
教29,28,この故に、われその者たちに言わん。去れ、汝ら呪われし者たちよ。行きて、悪魔と悪魔の使たちに備えられたる永遠の火に入れ、と。
教29,29,され見よ、われ汝らに告ぐ、われわが口より、彼らわが許に帰れと何時たりとも決して言わざりしは、誠に彼らはわが許に来ること能わず、そは来る権能なきが故なり。
教29,30,されど、必ずしもわがすべての審判は人間に与えらるるにあらざることを憶えよ。ただ、わが口より語りし如く正にみなその如く成るべし。すなわち、わが"みたま"の能力なるわが能力の言もて造りしものは、何者によらず、何事に於ても、およそ先なるものは後に在
教29,30-1,ものは先に在るべし。
教29,31,われはわが"みたま"の能力によりて霊のものもこの世のものもすべてのものを造りたり。
教29,32,すなわちわが業の始めに当り、先に霊のものあり、次にこの世のものあり。而してまたわが業の終りには、先にこの世のものあり、次に霊のものあり。
教29,33,かく言うは、これただ汝らの自ら覚らんがためにして、われにとりてはわが業に始めもなくまた終りもなし。されど、汝この事をわれに尋ねわれ承知したるによりて、汝らの覚らんがためにかく答うるなり。
教29,34,この故に、われ誠に汝らに告ぐ。われにかかわるすべては霊のことなり。われは何時たりとも、いまだ嘗て俗世の事にかかわる律法を与えたることなし。以下なる人んも、人の子らにも、わが造りし汝らの先祖アダムにも与えたることなし。
教29,35,見よ、われはアダムに自ら自由意志を行うことを許したり。われは彼に誡命を与えしが、俗世にかかわる誡命を与えたることなし。わが誡命は霊に関わるものなればなり。わが誡命は肉体のものにも俗世のものにもあらず、また肉欲のものにも情欲のものにもあらず。
教29,36,アダムは悪魔に誘惑せられたればかく成れり。（見よ、悪魔はアダムより先に在りし者なり。彼、われに叛きて曰く"われに汝の光栄を与えよ。その光栄はわが能力なり"と。かく言いて、また彼は天群の3分の1をその自由意志によりてわれに叛き去らしめたり。
教29,37,而してこれらのものは、皆投げ落とされて悪魔とその使たちとなれり。
教29,38,見よ、彼らの居るべき1つの処始めより備えられたり。そはすなわち地獄なり。
教29,39,さりながら、悪魔が人の子らを試むるは是非必要なり。すなわち人は悪魔の誘惑なければ己が自由意志を使い得ず。何となれば、人もし苦きを知らざれば甘きを得ざればなり）。と
教29,40,これを以て、悪魔はアダムを誘惑し、彼は禁断の実の果実を食して神の誡命を破りたり。かくてアダムは悪魔の誘惑に負けたる故に、悪魔の意志に左右さるる者となりたり。
教29,41,この故にわれ主なる神は、アダムが罪を犯したる故に彼をエデンの園より、すなわちわが前より追い出し、そのために彼は霊の死を受けたり。これすなわち第1の死にして、同様の死すなわち最后の死もまた同じく霊の死なり。而してこは、われ"去れ、咀われし者たち
教29,41-1,時、悪しき者たちに向いて宣言せられん。
教29,42,されど見よ、われ汝らに告ぐ、われ主なる神は悔改めとわが生みたる独子の泣を信ずる信仰による贖いとを宣ぶるために天使らを遣わすまで、アダムとそのすえをして肉体の死のために死ぬることなからしめたり。
教29,43,かくしてわれ主なる神は、また人に救いを得べき試みの世を定めたり。すなわち信ずる者は、皆その肉体の死によりよみがえりて不死不滅に入り永遠の生命を得んためなり。
教29,44,されど、信ぜざる者はよみがえりて不死不滅となり永遠に神の御前より断ち切られん。そは、彼ら悔い改めざる故に霊の堕落より贖われ得ざるためなり。
教29,45,何となれば、彼らは光明よりも暗黒を好み、その行うところ悪しくして、彼らのつき従う事を欲する者より報いを受くればなり。
教29,46,されど見よ、われ汝らに告ぐ。かの幼き子供らは、わが生みたる独子によりて世の始めより贖わるるなり。
教29,47,それ故に、幼き小児らは罪を犯すこと能わず。サタンは、幼き小児ら成長してわが前に責任を知り始むる年までこれを試むる能力なければなり。
教29,48,何となれば、この幼き小児らに就きては正にわが意に従いわが欲する如くその父たる者に大いなる事求めらるる故なり。

教29,49,而してわれまた、誠に汝らに告ぐ。およそ知識ある者にわれ悔い改めよと命ぜざりしか。
教29,50,されぼ、いまだ覚らざる者はただ誌されたるままに為すのみ。今はただこれまでにて宣ぶることを止む。
アーメン。
教30,,教義と聖約　第30章
教30,*-*,1830年9月、ニューヨーク州フエイヤットにて予言者ジョセフ・スミスによりてデビッド・ホイットマー、ピーター・ホイットマー（2代目）およびジョン・ホイットマーに給まりし啓示。こは、フエイヤットに於ける3日に亘る大会の後なるが、教会の長老たちの
教30,*-*-1,散会せざる先に下したまえるものなり。わが教会の歴史、第1巻、115頁（英文）を見よ。主は先の3人に1人1人命令を与え、且つオリヴァ・カウドリがレーマン人の中に伝道に赴くべき事実を再び述べたもう。
教30,1,見よ、デビッドよ。われ汝に告ぐ。汝人を怖れたれば、力を得んためにわれに依りたのむべきにこれを為さざりき。
教30,2,然るに、汝の心は汝の造り主なるわれに属ける事の上にあるよりもむしろこの世の事の上に在り、また、汝の召されたる導きと教えを施す業の上いあらず。汝はわが"みたま"に就きて心を留めず、また汝の上に置かれたる人々を敬まわずして、わが命ぜざる人々のため
教30,2-1,つけられる。
教30,3,これを以て、汝は汝独りにてわれに問い、汝が受けたる事に就きて篤と考うるに任せらる。
教30,4,而して、われ更に命令を与うるまで汝の父の家に止まれ。而して汝は教会員の中、世の人々の前、またその附近の地方に於て導きと教えを施す業に勤めよ。アーメン。
教30,5,見よ、ピーターよ、われ汝に告ぐ、汝は兄弟オリヴァと共に旅に赴け。何となれば、今やわが福音を宣べんため汝の口を開くがわが益となる時来りたればなり。されば怖るることなくして、汝の兄弟が与うる言と忠告とを心にとめてよく聞け。
教30,6,またすべて彼の苦難と共に汝苦しむとも、常に汝と汝の兄弟の難を免れんことをわれを信じ且つ祈りて汝の心を励ますべし。われは、レーマン人の中にわが教会をつて建つる権能を彼に与えたればなり。
教30,7,教会員の中に於ては、彼オリヴァの上にはその兄弟なるジョセフ・スミス（2代目）を除くほか何人をも教会の事に関する管理者として任命したることなし。
教30,8,この故に汝はこれらのことをよく心に留め、わが命を守ることに専ら勤めよ。さらば汝は祝福を受けて永遠の生命を得ん。アーメン。
教30,9,見よ、わが僕なるジョンよ。われ汝に告ぐ、汝今より後、高鳴るラッパの如き声を以てわが福音を宣べ始めよ。
教30,10,汝は兄弟フイリップ・バーローの家に居りて働き、またそこの周りの地方に働け。誠に何所にても汝の教えを聞く者ある時は、われ再び汝にそこより出で行けと命ずるまでそこにて働け。
教30,11,而して今より後、汝の働きはことごとく汝の全身全霊をあげてシオンの中に於てせよ。然り、汝は世の人の為し得る事を怖れず。常にわが為に口を開きて語るべし。われ汝と共に在ればなり。　アーメン。
教31,,教義と聖約　第31章
教31,*-*,1830年9月、予言者ジョセフ・スミスによりてトマス・ビー・マーシュに給わりし啓示。トマス・ビー・マーシュはこの月始めにバプテスマを受け、この啓示を給わりし時はすでに当教会の長老に按手聖任せられ居たりき。彼が主に忠順なるを褒めたもう。彼の家族
教31,*-*-1,つきて保証したもう。彼に当教会の教えを説き儀式を執行する様任命したもう。"慰め主"彼の導きと教えを施す働きを指導したもう事を約束さる。
教31,1,わが子、トマスよ。汝はわが業を信仰する故に幸福なり。
教31,2,見よ、汝は先に家族のためにしばしば悩みたり。それにもかかわらず、われは汝と汝の家族に小さき児らに至るまで祝福を与えん。汝ら御名信じて真理を覚り、わが教会にありて汝と1つになるべき時来るなり。
教31,3,汝の心を励まして喜べ、そは汝が伝道する時来りたればなり。汝の舌は弛まれば、今の代の人々に大いなる喜びのよき音ずれを宣べよ。
教31,4,汝はわが僕ジョセフ・スミス（2代目）に啓示せられたる事を世に宣べよ。また今より教えを説き始め、すでに白くなりて焼かれんとする畑に刈り入れを為せ。
教31,5,この故に、汝の全身全霊を挙げて鎌を入るべし。さらば汝の罪は赦され、汝は背に刈り束をつけ加えられん。そは働く者がその値を得るは相応しき故なり。これを以て汝の家族は生きん。
教31,6,見よ、われ誠に汝に告ぐ、汝ただ少しの間家族と離れて外に赴きわが言を宣べよ。さらば、われは汝の家族たちの為に居るべき処を1つ備えん。
教31,7,誠にわれ民の心を開けば、彼ら汝を受け入るべし。われ汝の手によりて1つの教会を建てん。
教31,8,また汝彼らを強くなし、彼らの集められるる時に対する準備を為さしむべし。

教31,9,苦難を耐え忍び罵る者に罵り返すことなかれ。柔和を以て家を治め而も毅然たれ。
教31,10,見よ、われ汝に告ぐ、汝は教会員にとりて病を医す者とならん。されど、世の人々には病を医す者にはあらず、おは、世の人汝を受くる心なきが故なり。
教31,11,何所にてもわが意のある所に赴くべし。されば、われ汝の為すべき事行くべき所に就きては"慰め主"によりて汝に告げん。
教31,12,誘惑に陥りて汝の報いを失わざる様に常に祈れ。
教31,13,終りまで忠実なれ。さらば見よ、われ汝と共に在り。これらの言は人間の言にあらずまた世の人々より出でし言にあらずしてわれより出でし言なり。すなわち父の御意により、イエス・キリスト汝の贖い主より出でし言なり。
アーメン。
教32,,教義と聖約　第32章
教32,*-*,1830年10月、予言者ジョセフ・スミスによりてパーレー・ピー・プラットおよびザイバ・ピーターソンに給わまりし啓示。モルモン経により、レーマン人が受くべき予言せられたる祝福をすでに教会員は知りたれば、教会の長老たちはレーマン人に就きて非常に心
教32,*-*-1,切なる願望を感じたり。さればその結果、西部のアメリカ・インド人種族に長老たちを当時遣わさるべきか否かを就きて主の御心を表したまわらん事を懇願す。これに従いてこの啓示を給わる。わが教会の歴史、第1巻、118頁（英文）を見よ。宣教師たちは聖典に誌
教32,*-*-1-1,事に就きて、主より理解を給わるままに他目もふらず誌されたる事のみを説く様訓戒を給わる。
教32,1,さて今、わが僕なるパーレー・プラットに就きて、見よ、まことに彼はわが福音を宣べ、われに就きて学び、柔和にしてへりくだりたる心を有つべしと、われ今生き芋思うごとく彼に告ぐ。
教32,2,われの彼に命ぜしは、彼がわが僕オリヴァ・カウドリおよびピーター・ホイットマー（2代目）と共に荒野に赴きてレーマン人の中に入る事なり。
教32,3,而して、ザイバー・ピーターソンもまた彼らと共に行け。さらば、われ自らも共に行きて彼らの真ん中に在らん。われは父に彼らを擁護すれば、何ものもかれらに打ち勝つものなからん。
教32,4,彼らは書に誌されたる所に心を注ぎ、このほかに啓示を受けたりと称することなかれ。而して、かれらが覚らんがためにわれが誌されたるところを表さんことを常に祈るべし。
教32,5,彼らはこの言に心を留め、これを軽んずることなかれ。さらばわれ彼らを祝福さん。　アーメン。
教33,,教義と聖約　第32章
教33,*-*,1830年10月、ニューヨーク州フエイヤットにて予言者ジョセフ・スミスによりてエズラ・テールおよびノースロップ・スウィートに給まりし啓示。予言者はこの啓示を記すに当り。信仰を以て熱心に求むる者には主は常に喜びて教えを垂れたもうことを証言す。主
教33,*-*-1,腐敗したるさまを宣べたもう。当教会が荒野より起り来り、主によりて創立せらるる事。悔改めとバプテスマとを宣ぶるために長老たちを委任したもう。主の再臨の切迫。
教33,1,わが僕エズラおよびノースロップよ。見よわれ汝らに告ぐ汝ら耳を清めて主なる汝らの神の声を聴け。わが言は生命あり能力あり両刃の剣よりも利くして関節と骨髄、霊と精神とを透してこれを割ち心の念と志望とを験すなり。
教33,2,われ誠にまことに汝らに告ぐ汝らはゆがみて片意地なる今の代の人々にわが福音を宣べんため高鳴るラッパの響の如く汝らの声を挙げんために召されたり。
教33,3,見よ畑はや白くして刈り入れを待つ。然も日はすでに傾き働き人をわが葡萄園に呼び入るる最後の時なり。すなわち第11時なり。
教33,4,而してわが葡萄園はことごとく朽ち腐り小数を除きて役に立つものなし。人々は多くの場合、祭司の偽善売教の故に道に違いすべて心腐りたり。
教33,5,誠にまことに、われ汝らに告ぐ、われ当教会を創立しこれを荒野の中より予備出したり。
教33,6,誠にその如く、われ世界の4方よりわれを信じわが言を聴くわが選民を集めん。
教33,7,誠にまことにわれ汝らに告ぐ、畑は早白くして刈り入れを待てり。これを以て、畑に汝の鎌を入れ、勢力を尽し、思を尽し、体力を尽して刈り入れを為せ。
教33,8,汝ら口を開け、さらば満さるることを得ん。而して、汝らエルサレムより荒野を旅したる古えのニーファイの如くなるべし。
教33,9,誠に汝ら口を平木てあらん限り説け。さらば汝らの背には刈り束を増し加えられん。見よ、われ汝らと共に在ればなり。
教33,10,誠に汝ら口を開け、さらば満さるることを得ん。曰く"悔い改めよ。主の道を備え、その道筋を直くせよ。天国は近づきたればなり。
教33,11,誠に汝ら悔い改め、汝らの罪を赦されんためにことごとくバプテスマを受けよ。然り、汝ら正にバプテスマ

を受けなば、火と聖霊のバプテスマ次で至らん"と。
教33,12,見よ、誠にまことにわれ汝らに告ぐ、これすなわちわが福音なり。而してわれを信仰すべし。もしわれを信仰せずば決して救わるるを憶えよ。
教33,13,而して、われわが教会をこの磐の上に建てん。まことに汝らもまたこの磐の上に建てらる。汝ら絶えずこの磐の上にあるならば、地獄の門もこれに勝つを得ざるなり。
教33,14,汝ら教会の信条と誓約とを記憶してこれを守れ。
教33,15,またおよそ信仰を有つ者には、按手を施して教会に入りたることを確認せよ。さらば、われ彼らに聖霊の賜を与うべし。
教33,16,而してモルモン経と聖典とは、われより教えのために汝らに与えらる。而して、わが"みたま"の能力はすべてのものに生命を与うるなり。
教33,17,この故に忠実にして常に祈り、汝らの燈火を整えて火をともし、油を備えて以て新郎の何時来るともよき備えを為すべし。
教33,18,見よ、誠にまことに汝らに告ぐ、われ速に来るなり。誠に然り、 アーメン。
教34,,教義と聖約　第34章
教34,*-*,1830年4月、ニューヨーク州フエイヤットにて予言者ジョセフ・スミスによりてオルソン・プラットに給まりし啓示。この啓示を給まりし彼は当時19才なりき。彼は6週間以前に彼の兄弟パーレー・ピー・プラットより、この回復されたる福音の宣べらるるを始め
教34,*-*-1,改心してバプテスマを受けし者なり。わが教会の歴史、第1巻、127頁（英文）を見よ。主は彼の従順なるを褒めたもう。聖霊の彼に言えと命じたもう。主の再臨の確実なること。
教34,1,わが子オルソンよ。汝の贖い主、イエス・キリスト、主なる神のこれより汝に告ぐる所に耳を傾け、聞き、且つ見よ。
教34,2,われは世の光、世の生命なり。その光は暗黒に照る。而して暗黒はこれを悟らざりき。
教34,3,而してわれはその生命を与うるほどに世を愛したり。すべてわれを信ずる者の神の子とならんためなり。されば、汝はわが子なり。
教34,4,而して、汝はこれまで信ずる故に幸福なり。
教34,5,されど汝はわが福音を宣ぶるためにわれより召されたれば更に幸福なり。
教34,6,すなわち、召されて汝は長く且つ高鳴るラッパの如き声を挙げて、今の代のゆがみて片意地なる人々に悔改めを叫び、われ再び来る時のために主の道の備えをなせばなり。
教34,7,見よ、誠にまことにわれ汝に告ぐ、われ能力と大いなる栄光とをもて雲に乗り来るべき時まさに近づけり。
教34,8,而してわれ来るべき時は、すなわち大いなる日なり。すべての国民はこの時怖れおののけばなり。
教34,9,されどそお大いなる日の来る前、日は暗くなり。月は血と変り、星は光を出さず、また空より落つる星もあらん。而して大いなる滅亡は悪しき人々を待つ。
教34,10,これを以て声を挙げて限り語れ。主なる神、語りたればなり。また予言せよ。さらば、そは聖霊の力によりて汝に与えられん。
教34,11,汝もし忠信ならば、見よ、われ来る日までわれ汝と共にあり。
教34,12,誠にまことに、われ汝に告ぐ、われ速に来る。われは汝の主、汝の贖い主なり。誠に然り、 アーメン。
教35,,教義と聖約　第35章
教35,*-*,1830年12月、予言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンとに給まりし啓示。この啓示を誌せる書のはしがきに、予言者は"12月、シドニー・リグドンは主に伺うために来れり。而して彼と共にエドワード・パートリッヂ来る。彼は敬虔の好模範にして、如何
教35,*-*-1,子たちとなり得るか。古えの使徒の為せる如く、シドニーによりて、また聖霊与えらるべしと約束さる。予言者ジョセフを助けよと命ぜられ、また末ついにイスラエル族の贖わるるは確なりと宣べたもう。
教35,1,主なる汝の神の声を聴け。神はすなわちアルパにしてオメガなり。始めにして終りなり。神の道はとこしえにかわらぬ1すじにして、きのうも今日もとこしえに同じなり。
教35,2,われは神の子イエス・キリストにして、すべてわが名を信ずる者は皆神の子たちとならんため、世の罪のため十字架につけられたり。すなわち、われらひとつとならんために、われ父に居りてひとつ父われに居りたもうてひとつなる如く、彼らもわれにありてひとつとな
教35,2-1,ためなり。
教35,3,見よ、誠にまことに、われわが僕なるシドニーに告ぐ、われ汝を見、また汝の業を見たり。われ汝の祈りを聞きて、1つの更に大いなる業のために汝を備えたり。
教35,4,汝は、大いなる業を為すべき者なるが故に幸福なり。見よ、汝は正にヨハネの如くわが前に道を備うるために、また来るべきエライジャの前に道を備うために遣わされたり。されど、汝はこれを知らざりき。

教35,5,汝は真に悔改めを証する水のバプテスマを授けしが、彼らは聖霊を受けざりき。
教35,6,されど、今われ汝に命ず。汝、水のバプテスマを授くべし、されば正に古えの使徒の如く、按手によりて彼ら聖霊を受けん。
教35,7,またこの国、すなわち異邦人の中に1つの大いなる業起らん。そは人々の愚さと憎むべき行いは、すべての人々の眼の前に明らかにさるべければなり。
教35,8,われは神なり、わが腕は届かぬところなし。されば、すべてわが名を信ずる者には奇跡と徴と驚異とを示さん。
教35,9,またおよそ信仰を以てわが名によりてこれを願う者は、悪例を追い出し、病める者を医し、盲目の目を開け、みみしいに聞かせ、唖に物言わせ、あしなえに歩くことを得しめん。
教35,10,而して大いなる事の人の子らに示さるべき時速に来らん。
教35,11,されど信仰なくば、バビロンの滅亡のほかは何事も人々に示さるることなからん。この滅亡とは、バビロンが徒し神を拝みたる罪のため、怒りのさかずきをすべての国民に飲ましめしものなり。
教35,12,わが今の代に遺りしこの完全なる福音を喜びて受くべき者のほかには、善を為す者1人もなし。
教35,13,この故に、われは無学にしてさげすまるる世の弱き者たちを召し、わが"みたま"の能力によりて諸々の国民を打たしむ。
教35,14,彼らの腕はわが腕にして、われは彼らの楯とならん。われは彼らの腰をひきからげん、されば彼らはわが為に雄々しく戦わん。而して、彼らは敵を足の下に履みにじらん。われは彼らのために剣を下し、わが憤りの火によりて彼らを護らん。
教35,15,また、貧しい者柔和な者たちはわが福音を説き聞かせられ、わが来る時を待ち望みてあらん。わが来る時は近ければなり。
教35,16,而してもはやすでに夏近ければ、彼らはいちじくの木の比喩を悟べし。
教35,17,われはわが僕なるジョセフの手によりて、わが完全なる福音を世に遺れり。而して弱きに当りてわれ彼を祝福せり。
教35,18,われは封ぜられたるところのものの奥義、すなわち創世の前より存し、また今よりわれの再び来らん時までに出で来るべき事の鍵を彼に与えたり。もし彼われに居らば然あらんも、彼もしわれを離れなば他の者を置きてこれに代らしめん。
教35,19,これを以て、信仰を失わざる様彼を守護すべし。而してそは"慰め主"すなわち知らざるところなき聖霊によりて与えられん。
教35,20,われ汝に1つの誡命を与う。すなわち、汝は彼の為に書き誌すべし。わが聖典はわが選民の救われんため、正にわが胸中にあるが如くい与えられん。
教35,21,そはわが民わが声を聞き、われを見、また眠ることなくわが来る日を待つことあらん故にして、わが潔きが如く彼らも潔められんためなり。
教35,22,さてわれ汝に告ぐ、汝は彼と共に留れ、さらば彼汝と共に旅せん。彼を捨つることなかれ。さらばこれらの事は必ず成就せん。
教35,23,見よ、汝書き誌さずば彼は予言する力を与えられん。而して汝はわが福音を説き、彼に言の与えらるるままに聖き予言者らを呼び求めて彼の言の証を為すべし。
教35,24,汝の為すべき義務あるすべての誡命と誓約とを守れ。さらば汝のためにわれ天をも震い動かさん。さらばサタンは怖れおののき、シオンは丘の上にて悦び且つ栄えん。
教35,25,而してイスラエルは、わが時節来りて救われん。わが与えたる鍵により彼らは導かれてもはやいささかもあわてふためくことなからん。
教35,26,汝は心をはげまして悦べ、汝の贖いは近づけばなり。
教35,27,怖るな小さき群よ、わが来るまで王国は汝らのものなり。見よ、われは速に来るなり。誠に然り、 アーメン。
教36,,教義と聖約　第36章
教36,*-*,1830年12月。予言者ジョセフ・スミスにより、エドワード・パートリッヂに給まりし啓示。第35章の前書を参照。啓示を受けし彼エドワードは、教えを説く様にと命じたもう。主の求めたもうところに従う志あらば、あらゆる人々は導きと教えを施す職を委任さ
教36,1,イスラエルのいと大いなる神、主なる神、わが僕なるエドワードにかくの如く告ぐ。見よ、汝は幸福なり。而して汝の罪は赦されたれば、高鳴るラッパの如き声をもてわが福音を宣ぶるために汝は召されたり。
教36,2,わえ、わが僕なるシドニー・リグドンの手によりてわが手を汝の頭の上に按かん。さらば汝はこれによりてわが"みたま"、聖霊、すなわち王国に属ける平和なることを教うる"慰め主"を受けん。
教36,3,その時汝高らかに声を挙げ、"ホザナよ、いと高き神の御名に栄光あれ"と言いてそれを宣ぶるべし。

教36,4,われ今すべての人々に就きて、この召と誡命とを汝に与う。
教36,5,すなわちこの召と誡命とを奉じて、わが僕シドニー・リグドンとジョセフ・スミス（2代目）の前に来る者は、みな聖職の按手任命を受けて諸々の国民の中に永遠の福音を宣べんために遣わさるべし。
教36,6,すなわち、また彼らは悔改めを叫びてかく言うべし"汝らこの不従順なる世より自らを救え。誠に、肉の汚れある衣服を憎みて火の中より出で来れ"と。
教36,7,われまたわが教会の長老たちにこの誡命を与う。すなわち真心を以てこの誡命を奉ずる者は、ことごとく正にわが今語りし如く聖職の按手任命を受けて福音を宣ぶるために出で行くを得ん。
教36,8,われは、イエス・キリストなr。この故に汝ら腰をひきからげよ。さらば、われにわかにわが神殿に来らん。誠に然り、 アーメン。
教37,,教義と聖約　第37章
教37,*-*,1830年12月、予言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンとに給える啓示。この啓示の中にて、この末日の神権の時代に於ける教会員の集合に就きて最初の誡命を与えたもう。将来教会は西方に移ること。教会を強くすべき長老たちの義務。
教37,1,見よ、われ汝らに告ぐ。汝らオハイオに行くまではこれ以上翻訳に従事する必要なし。そは汝らに敵する者ある故にして、また汝らの為なり。
教37,2,われまた汝らに告ぐ。汝らこの地方にわが福音を宣ぶるまで、今有る程の教会員を強くするまで、殊にコールスヴィルの教会員を更に強くするまでは他所に赴くべからず。見よ、彼らは篤き信仰を以てわれに祈りてあればなり。
教37,3,われまた、教会員に1つの誡命を与う。彼らはわが僕オリヴァ・カウドリの彼らの所へ帰る時までにオハイオに集合する必要あり。
教37,4,見よ、これわが智恵のある所にして、われ来るまで人々ことごとく自ら欲する所を為さしめよ。誠に然り、アーメン。
教38,,教義と聖約　第38章
教38,*-*,1831年1月2日、ニューヨーク州フエイヤットに於ける教会の大会にて予言者ジョセフ・スミスによりて給わりし啓示。イエス・キリスト自ら創造主なることを宣したもう。悪人の運命を叙べたもう。義しき者に立派なるゆずりの与えらるる約束。神より権能を与え
教38,*-*-1,ことを明瞭に約したもう。永遠の富を称えたもう。教会のすべての会員に勤勉なる奉仕は欠くべからず。
教38,1,主なる汝の神、すなわちイエス・キリスト、"われあり"と言いし大いなる神、アルパにしてオメガ、始めにして終りなる神、とこしえの広大なる広がりを見、また世の創られざる前より天に於ける天使の大群をことごとく見たるその神、
教38,2,よろずのものわが眼の前にあれば、知らざる所なきそお神汝に言う。
教38,3,われはわが言を出してこの世界を造り、またよろずのものわれによりて出で来りたる者なり。
教38,4,われは、エノクのシオンをわが懐に取りたる者なり。誠にわれ告ぐ、すべてわが名を信ずる者は皆、われはキリストなれば、わが名によりわが流せる血潮によりて御父の前に彼らの為にとりなしを為したり。
教38,5,されど見よ、悪人の残りは世の終末に来るべき大いなる日の審判の時まで、われこれを暗黒の鎖に繋ぎ置きたり。
教38,6,およそわが声を聞かんともせずして心を頑固にする者は、誠にわれかくの如く繋がん。彼らの受くる最後の裁判は、誠にまことにまことに禍なるかな。
教38,7,されど見よ、誠にまことにわれ汝らに告ぐ、わが眼は汝らの上にあり。われは汝らの真中にあれど、汝らわれを見ることを得ず。
教38,8,されど汝らのわれを見る日は速に来りて、汝らわれ有るを知らん。そは暗黒の幕すぐに裂けて、潔からざる者はその日に堪うることを得ざればなり。
教38,9,この故に汝ら腰をひきからげて備えを為せ。見よ、王国は汝らのものにして、敵する者汝らに打勝つこと能わざらん。
教38,10,誠にわれ汝らに告ぐ、汝らは潔けれども、いまだことごとくの者は潔からず。わが悦ぶところの者のほかに1人もあることなし。
教38,11,すべての人はわが前に腐りたり。而して、暗黒の力は人の子らの中にありてすべての天群の前に於て世を支配せり。
教38,12,この故に世は静まり返り、すべての永遠なるものは苦しみ、天の使たちは世の毒麦を集めてこれを焼捨てんために世を刈り取る大命を待ちつつあり。而して見よ、敵する者は皆1つに集められたり。
教38,13,われ今、密室にかくされたる1つの秘密、すなわち時節至たば誠に汝らに亡びを来らすべきことを汝ら

に示さん。されど、汝らはこの事を知らざりき。
教38,14,されど、われ今この事を汝らに語る、この故に汝らは幸福なり。こは汝らの邪曲なる故にもあらず、また汝らの不信仰なる心の故にもあらず。誠に汝らの中わが前に罪ある者なきにあらねど、われは汝らの弱きを憐まんと欲すればなり。
教38,15,この故に汝ら今より後強くなれ、怖るるなかれ、王国は汝らのものなるが故なり。
教38,16,而してわれ汝らの救われんために1つの誡命を与う。そは、われ汝らの祈りを聞き貧しい者の訴えたればなり。われは富める者を造りたれど、一切の人はわがものにしてわれは人を偏より見る者にあらざるなり。
教38,17,われこの世をして富ましめたれど、見よこはわが足台なり。これを以て、われ再びその上い立たん。
教38,18,われは声明して、俗世の富に勝る富を汝らに与えんとす。すなわち約束の地にして、乳と蜜との流るる地なり。而してこは主の来りたもう時、咀いのその上にあらざる地なり。
教38,19,汝らもし心を尽して求めなば、われ汝らにゆずりの地としてこれを与えん。
教38,20,これわが汝らと立つる誓約なり。われ汝らにこれをゆずりの地として与え、またこの世のある限りいつまでも汝らの子孫のゆずりの地として与えん。また汝らとこしえにこれを保ちてもはや失うことなからん。
教38,21,されど、誠にまことにわれ汝らに告ぐ、汝ら王も統治者も有たざる時至らん。そはわれ王となりて汝らを護るべければなり。
教38,22,この故に、汝らわが声を聞きてわれに従え。さらば汝らは1個の自由の民となり、わが来るときわが律法のほか律法を有たざるべし。そは、われは汝らの立法者なればなり。なんぞ、わが手を留むるものあらんや。
教38,23,されど、誠にわれ汝らに告ぐ、汝らわが任命したる職に応じて互いに教え合うべきなり。
教38,24,ことごとくの者、兄弟が己が身の如くに思い、わが前に徳と聖きを履み行うべし。
教38,25,われ重ねて汝らに告ぐ、汝ら皆己が身の如くに兄弟を思うべし。
教38,26,汝らの中誰か12人の息子を有つに、その1人にのみ偏よることをせざればその子たちよく父に仕う。然るに、すなわち1人に向いて汝礼服を着けて比所に座せよと言い、また他に向いて汝ぼろを着て彼所に居れと言い、しかも息子たちに向いて、見よ、われ公平なりと
教38,26-1,得んや。
教38,27,見よ、こは1つの比喩を以て汝らに語るところなれど、正にわれ在るが如く真なり。われ汝らに向いて言わん。汝らひとつとなれ。もしひとつとならずば、汝らはわがものにあらず。
教38,28,われ、また汝らに告ぐ、汝らの敵は密室に在りて汝らの生命をうかがえり。
教38,29,汝らは遠国に戦あることを聞けば、間もなく大いなる戦遠国にあらんと言う。されど汝らは己が国の人心を知らざるなり。
教38,30,われは汝らの祈りによりてこれらのことを示すなり。この故に汝らの胸に智恵を貯えよ。人間の邪悪は世を震い動すよりも大いなる声を以て汝らの耳に語るやり方にて、その邪悪によりこれらのことを汝らに明らかにするおそれあればなり。されど、もし汝らに備えあら
教38,30-1,ことなからん。
教38,31,これ汝らが敵の力より免れ出で、汚れなく罪なき1個の義しき民としてわれに集められんためなり。
教38,32,すなわち、この故にわれ汝らに誡命を与う。汝らすべからくオハイオに行け。われ、そこに於て汝らにわが律法を与え、また天よりの能力を授けん。
教38,33,而してわれそこより、何人にてもわが意に適う者をすべての国民の中へ出で行かしめ、またその為すべきことを告げん。何となれば、われ1つの大いなる事業を前途に有す。これイスラエルの救われんためにして、われわが欲するところに彼らを導けば如何なる力かわが
教38,33-1,や。
教38,34,さて、またわれこの地方の教会員に1つの誡命を下さん。すなわちこの教会員の中、或る人々は任命を受くれどもこの任命は教会員の支持の挙手によりて為すべきなり。
教38,35,任命されたる人々は貧しき人々乏しき人々に心を留めて、その苦しまざるよう救助を施すべし。而して彼らを、わが命ずる所に遣わすべし。
教38,36,またこの人々は、当教会の財産に関する事を管理するを以て仕事とすべし。
教38,37,而して売渡すこと能わざる農場を有てる者は、善しと見るままにそのまま残し置くかまたはこれを賃貸すべし。
教38,38,すべてこれらの財産は、心を留めてこれを保存するようにすべし。また天より権能を与えられて遣わされたる人々ある時は、すべてこれらの財産を教会の手の中に収集すべし。
教38,39,而して汝らに与うるが御父のみこころなる富を得んと欲せば、汝らはすべての人々の中にて最も富める者となるべし。そは汝ら永遠の富を得べかればなり。また、この世の富はわがものにして汝らい与うること違いなし。されど、汝ら高ぶりを心せよ。然らずば、汝ら古

教38,39-1,ニーファイ人の如くなるおそれあり。
教38,40,われ、再び汝らに告げて1つの誡命を与う。汝ら長老、祭司、教師また会員に至るまで、あらゆる人々精力を尽しその手の働きを尽して為すべきことを為し、わが命じたることを準備し且つこれを為し遂ぐべし。
教38,41,また汝らはすべて温和にしてへりくだり、皆ことごとくの人その隣人にとりて警めの声となる教えを説くべし。
教38,42,また、汝ら悪しき人々の仲間より離れよ。己れ自らを救え。汝ら、主の器をもてるものは潔くあれ。誠に然り、 アーメン。
教39,,教義と聖約　第39章
教39,*-*,1831年1月5日、ニューヨーク州フエイヤットにて予言者ジョセフ・スミスによりてゼームス・コーヴィルに給える啓示。ゼームス天コーヴィルは、予言者ジョセフによりて主の命じたもう如何なる誡命にも服従すべきことを誓約す。わが教会の歴史、第1巻、14
教39,*-*-1,(英文)を見よ。主イエス・キリスト、人が神の子となり得る諸条件を細かに述べたもう。ゼームス・コーヴィル、彼が主の誡命に服従すれば今までに知らざりし程の大いなる祝福あるを約束さる。
教39,1,永遠より永遠に在る。大いなる"われあり"の神、すなわちイエス・キリストの声を耳を傾けて聴け。
教39,2,すなわちこれは世の光にして世の生命なり。光は暗黒に照る、而して暗黒はこれを悟ざりし1つの光なり。
教39,3,また"時の絶頂"にわが民に来りしに、わが民われを受けざりし光なり。
教39,4,されど、われを受け入れたる者には皆わが子となる権能を与えたり。而して正にその如くわれを受け入るる者には、皆われわが子となる権能を与えん。
教39,5,而して、誠にまことにわれ汝に告ぐ、わが福音を受け入るる者はわれを受け入るるなり。また、わが福音を受け入れざる者はわれを受け入れざる者なり。
教39,6,そもそも、これわが福音なり。すなわち、悔改めと水のバプテスマ、而して後火と聖霊によるバプテスマあり。すなわちすべての事を示しまた王国の平和なることを教うるかの"慰め主"のバプテスマ来らん。
教39,7,さて見よ、われ今汝に告ぐ、わが僕なるゼームスよ。われは、汝の業を見て汝を知る。
教39,8,誠にわれ汝に告ぐ、汝の心今わが前に正し。而して、みよ、われ大いなる祝福を汝の頭に与えたり。
教39,9,それにも関らず、汝は嘗て大いなる悲しみに逢えり。そは、高慢と世の慮りの故にしばしばわれを捨てしことあればなり。
教39,10,されど見よ、汝もし汝に語るわが声を聞かんとするならば、汝の救いの時はすでに来れり。わが声は汝に告ぐ"起て、わが名を呼び、バプテスマを受けて汝の罪を洗い去れ。さらば汝わが"みたま"を受け、またいまだ知らざる程の大いなる1つの祝福を受けん"
教39,11,もし汝かく為さば、われ汝の為に1つの更に大いなる業を備えたり。わが末の世に遺りたるわが完全なる福音と、イスラエルお家に属するわが民を回復せんがために発したる誓約とを宣ぶるべし。
教39,12,その時汝にその権能留まらん。而して汝は大いなる信仰を与えられ、われは汝と共にありて先立ち行くべし。
教39,13,汝はわが葡萄園に働くため、わが教会を建つるため、またわがシオンを起して以てこれが丘の上に悦び且つ栄えんがために召さるるなり。
教39,14,見よ、誠にまことにわれ汝に告ぐ、汝は等号の国々に行くために召されずして、オハイオ河に行くために召さる。
教39,15,而してわが民オハイオ河に集まれば、われ人の子たちのいまだ嘗て知らざる程の恵を貯えたり。その祝福は彼らの頭上に注がれん。而して人々はそこよりすべての国民へ進み行かん。
教39,16,見よ、実にまことにわれ汝に告ぐ、オハイオ州に於ける民は大いなる信仰をもてわれを呼び求めて、われはすべての国民に対するわが審判の手を止むべし、と思うなり。されどわれは、わが言にそむくこと能わず。
教39,17,この故に汝能力を尽して、忠実なる働き人をわが葡萄園に呼び込み、以てこれを最后に葡萄園の刈り込みを為すべし。
教39,18,彼ら真に悔い改めてわが完全なる福音を受け入れ聖き者とならば、われ審判の手を止めん。
教39,19,この故に、汝出で行きて高らかなる声を挙げ"天国は近きゅけり"と言い、また"ホザナよ、いと高き神に御栄あれ"と叫べ。
教39,20,進み行きて水のバプテスマを施し、わが来る時の為にわが前に道をととのえよ。
教39,21,そは、時近ければなり。何人もその日その時を知らざれども、そは確に来らん。
教39,22,およそこれらのことを受け入るる者は、われを受け入るるなり。彼らは時来らば集められまた永遠にわが許に集められるべし。
教39,23,また、汝バプテスマを施す者には皆これに按手をなすべし。されば、彼らは聖霊の賜を得てわが来ることの徴を待ち、且つわれを知らん。

教39,24,見よ、われ速に来るなり。誠に然り、 アーメン。
教40,,教義と聖約　第40章
教40,*-*,1831年1月、ニューヨーク州フエイヤットにて予言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに給える啓示。この啓示の記録に先立ち、予言者は記して"ゼームス・コーヴィル主の御言を捨て彼が当教会に属する以前の教義と人々の許へ再び背き去りたる故に、余と
教40,*-*-1,シドニー・リグドンとに次の啓示を給う"と言えり。
教40,1,見よ、誠にわれ汝らに告ぐ。わが僕なるゼームス・コーヴィルの心は、嘗てわが言に従わんと誓約したるによりわが前に正しかりき。
教40,2,而して彼は喜びてわが言を受け入れたれど、サタンは直ちに彼を誘惑し、迫害の恐怖と世の慮とは彼をしてわが言を捨てしめたり。
教40,3,それがために彼はわが誓約を破りたれば、われはわが意の善しと見る如くに彼を処置すべし。 アーメン。
教41,,教義と聖約　第41章
教41,*-*,1831年2月４日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて教会に給わりし啓示。当時、この教会のカートランド支部はその信徒数急に増しつつありき。而して、聖徒らは一般に主の誡命に従い日々を遺らんと努め居りしも、予言者は教会員中す
教41,*-*-1,ひそかに或る奇態なる考えを抱き偽りの霊を信ずる者ありと言えり。わが教会の歴史、第1巻、146頁（英文）を見よ。主の律法を守ることに就きての誡命。教会管理に関して更に深き知識を授けたもう御約束。エドワード・パートリッヂを全教会最初の監督に命令し
教41,1,主なる汝らの神言う、汝らわが民よ、わが声を聞き且つ耳を傾けよ。およそ、わが言を聞く者よ、われ汝らを悦びてすべての祝福に勝る大いなる祝福をこれに与え、またわが名を知ると告白したるもわが言を聞かざる者には、すべての咀いに勝るいと厳しき諸井を以てこ
教41,2,聴け、汝らわが召たる教会の長老たちよ。見よ、われ汝らに1つの誡命を与う。すなわち、汝らわが言に適わせんために集合せよ。
教41,3,また、汝らが信仰の祈りによりて、教会を治むる方法を知り、わが前にすべてのものを直くせんためにわが律法を受くべし。
教41,4,而して、われ来る時はわれ汝らを治むる者となるべし。見よ、われ来るは速にして、汝らにわが律法の保たるるを知らしめん。
教41,5,わが律法を受けてこれを行う者はすなわちわが弟子にして、わが律法を受けたと言いてこれを行わざる者はわが弟子にあらず。これらの者は、汝らの中より追い出さるべし。
教41,6,何となれば、王国の子らに属する物を与うる価値なき者、すなわち犬に与うるは宜しからず。すなわち、ぶたに真珠を投げ与うるはよろしきにあらざればなり。
教41,7,また、わが僕ジョセフ・スミス（2代目）が住みて翻訳の業を為すべき住家を1軒建つるは宜しきに適えることなり。
教41,8,また、わが僕シドニー・リグドンはわが誡命をよく守らば、彼の善しと思う生活を為すもまた宜しきに適えることなり。
教41,9,また、われわが僕エドワード・パートリッヂを召したり。而して、われ1つの誡命を与う。すなわち彼は教会員の支持によりて教会の監督に按手聖任せられ、彼の商品をのこし置きて彼の時間の役務に費し、
教41,10,またわが律法を与うる時に、それによりて命ぜらるる如くすべてのことを処理すべし。
教41,11,そは、彼のこころはわが前に潔くして古えのナタナエルの虚偽なきが如くなればなり。
教41,12,これらの言は汝らに与えられたるものにして、わが前に潔きものなり。この故に汝らこころを用いてこれを守るべし。そは、審判の日にこれらのことは汝らの上に応報を与うべければなり。誠に然り、 アーメン。
教42,,教義と聖約　第42章
教42,*-*,1831年2月９日、オハイオ州カートランドにて、12人の長老居合わせたる席上予言者ジョセフ・スミスによりてこの啓示を下したまい、先に約したまえることを果したもう。第38章、32節を見よ。予言者はこの啓示を目して、特に教会の律法を包含する啓示な
教42,*-*-1,聖書およびモルモン経の示すところに従い、また末日に於ける啓示によりすでに告げられまたこれより告げられまたこれより告げらるべき所に従い、教会の長老たちは2人づつ組みて西の方へ出で行き、教えを説きバプテスマを施すべしと命ぜらる。モーセの十誡中にあ
教42,*-*-1-1,誡命を再び教えたもう。犯罪をなしたる教会員は、国法によりて処理さるべきこと。教会員、教会を樹て貧者を助くるために、持てる財産を分つべきは欠くべからざることなり。新エルサレムの敷地は、後に示さるべきこと。高慢心と高価なる衣装とを禁じたもう。怠惰

教42,*-*-1-1-1,指弾さる。長老たちの手を按きて、なやめる者に按手礼を施すべきこと。主に在りて死する者は関する慰めの証言。男女関係の罪は法度なること。教会規律の根本信条。
教42,1,まことに生ける神の子、世の救い主、イエス・キリストなるわが名によりて集れるわが教会の長老たちよ、わが言を聴け。汝らはわが名を信じわが誡命を守るを以て、わが言を聴け。
教42,2,われ再び汝らに告ぐ、汝らすべからくわが与えんとする律法を聴き、これを耳に入れて従うべし。
教42,3,われ誠に汝らに告ぐ、汝らわが命じたる誡命によりて寄り集り。この1つの事に就きて汝ら心を合わせわが名いよりて御父に願い求めたる故に、正にその願うところ与えらるべし。
教42,4,見よ、われ誠に汝らに告ぐ、われ今汝らにこの最初の誡命を与う。すなわち、汝らの中わが僕ジョセフ・スミス(2代目)とシドニー・リグドンとを除くほかは、ことごとくわが名によりて出で行くべし。
教42,5,而して、われ彼らに1つの誡命を与う。すなわち、彼ら暫しの間他所に進み行くべし。帰り来るべき時期は"みたま"の能力によりて告げ知らさる。
教42,6,汝らわが"みたま"の力によりて他所に進み行きて、2人づつ組みてわが名によりてわが福音を説き、高鳴るラッパを以てする如き声を挙げて神の御使たちの如くわが言を宣ぶるべし。
教42,7,而して進み行きて水にてバプテスマを施して言え"汝ら悔い改めよ。悔い改めよ。天国は近ければなり"と。
教42,8,而して汝らこの所を出でて西の方の地方へ往き、汝らを受くる民を見ばそのすべての地方にわが教会を打ち樹るべし。
教42,9,すなわち汝ら集りて1つとなり、かくて汝らわが民となりてわれ汝らの神となるために、新エルサレムの都市の備えらるる時上より啓示せらるる時の来るまでこのことを為すべし。
教42,10,われまた汝らに告ぐ、わが僕エドワード・パートリッヂはわが任命したる役務をそのまま務むべし。彼罪を犯さば、われこれに代るべき別の者を命ぜん。誠に然り、アーメン。
教42,11,またわれ汝らに告ぐおよそ誰か権威ある者より聖職に按手任命され、またその者の権威を有てることと、教会の長たる者たちより正式の按手聖任を受けたることとが教会員の知る所にあらざれば、何人といえどもわが福音を宣べんために出で行くこと、または教会を創立
教42,11-1,許されざるべし。
教42,12,また当教会の長老、祭司、および教師たちは、聖書と完全なる福音を載せたるモルモン経とに誌されたるわが福音の原則を教うべし。
教42,13,また彼らは誓約と教会の信条とを守りてこれを実行すべし。而して彼らは"みたま"に導かるるまま以上のことを以て教えとなすべし。
教42,14,この"みたま"は、信仰の祈りによりて汝らに与えらる。而して汝らもし"みたま"を受けざる時は教うべからず。
教42,15,わが聖典が完全に与えらるる時まで、汝らの教えに関してはわが命じたる如くすべてこれを守りて行うべし。
教42,16,汝ら"慰め主"によりて声を挙ぐる時は、わが善しと見るままに語り且つ予言を為すべし。
教42,17,そは見よ、"慰め主"はすべての事を知り且つ父と子とを証すればなり。
教42,18,さて見よ、われわが教会員に告ぐ。汝ら人を殺すなかれ。人を殺す者は、この世に於てもまた来世に於ても許さるることなし。
教42,19,われ、また重ねて言う。汝ら人を殺すなかれ、されど人を殺す者は死に至らん。
教42,20,汝ら盗むなかれ。盗みて悔い改むるこころなき者は捨てらるべし。
教42,21,汝ら偽りを言うなかれ。偽りを言いて悔い改むるこころなき者は捨てらるべし。
教42,22,汝ら誠心を以て妻を愛してこれと結ぶ合うべし。その他の者に愛着することなかれ。
教42,23,婦女を見て情欲の念を起す者は信仰に背くなり。"みたま"を与えらるることなし。もし悔い改めずんば、捨てらるべし。
教42,24,汝ら姦淫することなかれ。姦淫をなして悔い改めざる者は捨てらるべし。
教42,25,されど、姦淫をなしたる者誠心を以てこれを悔い改め再びなさざる時はこれを赦すべし。
教42,26,もしこれを再びする者は、赦さるることなくして捨てらるるべきなり。
教42,27,汝ら隣人の悪口を言いまたこれに害を与うることなかれ。
教42,28,これらのことに関するわが律法のわが聖典に誌されたることは、汝らのよく知るところなり。故に罪を犯して悔い改めざる者は捨てらるべし。
教42,29,汝らもしわれを愛すれば、われに仕えわがすべての誡命を守るべきなり。
教42,30,見よ、汝ら貧しき者のことを思い起し、彼らに与えざるべからざる扶助のために、破るべからざる誓約と証文とを以て己が財産を神に奉献せよ。

教42,31,また汝らの財物を貧しき物に分かち与うれば汝らこれをわれに為すなり。汝らこれらの財物を、あが教会の監督とその副監督なる2人の長老、または大祭司ら、例えばかかる目的のために監督が聖職に任命せんとし、またはすでに任命して特に按手したる大祭司らの前に
教42,32,これらの財物わが教会の監督の前に捧げられたる後、またわが誡命に適えるわが教会員より取り去る能わずと言うわが教会の財産奉献にかんするこれらの証を彼が受けたる後は、人々ことごとくわれに対して責任を持たされ、自己の財産を管理する者、すなわち自己と家
教42,32-1,養うに足るだけ奉献によりて受けたる財物に就きての管理人とせらる。
教42,33,重ねて言う。この大1回の奉献を為したる後、教会の所有する財物、または何れの教会員個々の有する財物にしても、自己の生計に必要なるほかなお余りある時は、これは教会の監督に捧ぐべき残余にして、折々持たざる者に施すために貯え置き、かくてすべて必要ある
教42,33-1,充分に給与せられてその足らざるに従いて受くる様にすべきなり。
教42,34,この故に、すべての余りはこれをわが倉庫に貯え置きて、教会の高等評議員会らの命ずるところにより、貧しき人々および乏しき人々に給与し、
教42,35,かつまた、教会の公益のために土地を買い礼拝の家を建て、やがて啓示さるべき新エルサレム建設のために使用すべし。
教42,36,そは、われわが神殿に来る時わが誓約の民のその日1つに集らんがためにして、またわが民を救わんがためにこれをなすなり。
教42,37,およそ罪を犯して悔い改めざる者は教会員より捨てらるべく、その時彼がわが教会の貧しき者乏しき者の為に奉献したる財物、言い換うれば彼がわれに捧げたる物は再び彼に返さるることなし。
教42,38,そは汝らがそれを捧ぐるならば、彼らのいと小さき者に捧ぐるとも皆われに捧ぐればなり。
教42,39,わが予言者の口をして言わしむる所は成就すべし。そは、われ異邦人の中に手わが福音を信ずる者の富を聖くしてこれをイスラエルの族なるわが民の中の貧しき者に与うればなり。
教42,40,重ねて言う、汝のこころの中に高慢あるべからず。汝の着る衣服はすべて質素ならしめ、而してその美しさは汝の手の工に成る美しさならしめよ。
教42,41,また、汝の為すすべての事は皆わが前に潔くあらしめよ。
教42,42,汝怠惰なることなかれ。およそ怠惰なる者は働く者のパンを食することもなく、またその衣服も着るべかざればなり。
教42,43,汝らの中、誰にても病める者ありてその病人病を医さるべき信仰を有たざるも而もわれを信ずる時は、薬草と柔かなる食物とを与えて全く懇ろに養うべし。しかも、この事は敵の手によりて為さるべからず。
教42,44,また、教会の長老を2人またはそれ以上呼びてその人の為に医しを祈り、わが名によりて按手を為すべし。而して、もしその人死ぬる時はすなわちわれにありて死し、その人生くる時はすなわちわれにありて生くるなり。
教42,45,汝相愛して共にこの世に生きよ。されば死にたる者を失いたるために涙を流し、ことに栄光ある復活の望みを有たざる者のためにいよいよ歎き悲しめ。
教42,46,およそ、われにありて死ぬる者は死を味わうことなし。そは死は彼らにとりて甘ければなり。
教42,47,また、われにあらずして死ぬる者は禍なるかな。そは、死は彼らにとりて苦ければなり。
教42,48,重ねて言う。およそわれにありて医さるべき信仰ありて、死の命を受けざる者は医さるべし。
教42,49,見よ信仰ある者は見、
教42,50,聞く信仰ある者は聞き、
教42,51,起つ信仰あるあしなえは起たん。
教42,52,また、かかる信仰を有たずといえども、われを信ずる者はわが子たる権能を有てり。彼らわが律法を破らずば、汝は彼らの欠点を堪え忍ぶべし。
教42,53,汝、自己の持てる管理の職の上に立つべし。
教42,54,汝の兄弟の衣服を取るなかれ。汝の兄弟より受くる物はその値を払うべし。
教42,55,もし、汝の得るところ汝の生計以上ならば、すべての事わが言いたる如く行われんためにこれをわが倉庫に納むべし。
教42,56,汝、願うべし。さらば、わが聖典は約束の如く汝に与えらるる故に汝はこれらを安全に保護すべきなり。
教42,57,されどこの聖典に関しては、汝沈黙も守りて全部の聖典を受くるまでは人々にこれを教えざるを宜しくとす。
教42,58,われ汝らに1つの誡命を与う。すなわち、汝らその時よりすべての人々にわが聖典を教うべし。そはわが聖典は、すべての国民、すべての血族、すべての国語の民およびすべての世の人々に教うべきものなればなり。
教42,59,汝の受けたるところのもの、すなわちわが聖典の中にて律法として汝に与えられたる事は、すべからく取りて以てわが教会を支配する律法となすべし。

教42,60,この律法に従いて行う者は救われ、これに従わざる者にしてもし引きつずき従わざれば救われざるべし。
教42,61,汝もし願い求むれば、啓示を啓示の上に受け、知識の上に知識を受け、かくて悦びをもたらし永遠の生命をもたらすべき奥義にして平和なることを知るを得べし。
教42,62,汝願い求めよ。然らばわが時至りて新エルサレムを建つべき処を示さるべし。
教42,63,また見よ、わが僕らは東に西に北に南に遣わさるべし。
教42,64,今やすなわち東に行く僕らは、わが教会に改宗せんとする人々に西に逃れよと教えよ。これまさにこの世に来らんとすることと秘密結社あるに由るなり。
教42,65,見よ、汝すべてこれらの事を守るべし、さらば汝の酬いは大いならん。そは、汝には王国の奥義を知らさる、されど由の人々にはこれらを知らさるることなければなり。
教42,66,汝らは受けたる律法を守りて忠実なれ。
教42,67,また汝らは交互教会の誓約を受け、たとえばこの国にても新エルサレムにても身を立つるに足る者となるべし。
教42,68,この故に、智恵の欠くる者はわれに求めよ、さらばわれは惜しむことなくこれに与えて咎むることなかるべし。
教42,69,汝らのこころをはげまし且つ悦べ、そは王国すなわち言い換うれば教会の鍵は汝らに与えられたればなり。誠に然り、アーメン。
教42,70,祭司および教師たる者たちは、ちょうど平教会員の如く自己の財産の管理人たる務めを有す。
教42,71,長老または大祭司たちにして、すべての事に就き副監督として監督を補佐するために任ぜられたる者は、前に誌したる如く貧しき者を助くるためにまたはその他の目的のために監督の所に奉献せらるる財産によりてその家族を養わるべきなり。
教42,72,または、彼らは副監督および監督によりて最適なりと考えられまたは決定さるることもあり得る如き管理人の務めまたはその他の務めの何れの役務に従うとも、そのすべての勤めに対して正当なる報酬を受くべきなり。
教42,73,而して、監督もまたその教会にて為すすべての勤めのために自己の生計費または正当なる報酬を受くるものとす。
教42,74,見よ、われ誠に汝らに告ぐ、汝らの中何人にても不貞の故によりその連れ合を去りたる時、また換言すれば彼らもし誠にへりくだりたるこころを以て汝らの前にその実を証言する時は、これを汝らの中より追い出すことなかれ。
教42,75,されど何人にても姦淫の故を以てその連れ合を離れたる時、姦淫したる者は、その連れ合のなお生存し居る時は汝らの中より追い出さるべし。
教42,76,われまた汝らに告ぐ、汝ら慎重にして事こまかに問いただし、もしこの種の人すでに結婚したる時はこれを汝らの中に受け入れざる様にすべし。
教42,77,而してもしいまだ結婚せざる時は、彼らすべての罪を悔い改むべし、然らずばこれを教会に受け入るるべからず。
教42,78,重ねて言う。およそ、このキリストの教会に属する者は皆教会の誡命と誓約とをすべて遵奉すべし。
教42,79,汝らの中何人にても人を殺す者ある時は、この者を引き渡してその国の法律によりて処置せしむ。そはかかる人は許しようもなく、その国の法律に従いて立証さるるものなることを憶えよ。
教42,80,何人にても、もし姦淫をなしたる男女ある時は、その男女いずれかを2人または2人以上の教会の長老によりて審きを為し、教会員中の2人の証人をしてその男女いづれかに対してあらゆる言葉の立証をなさしむべし。而して敵の証人を用うべからず。もし2人以上の証
教42,80-1,なお可なり。
教42,81,さりながら、この姦淫を為したる男または女は2人の証人の言によりて罪ありとせられ、長老たちはこれを教会にはかり、この男または女に対する教会の賛否の挙手を経てかくて神の律法に叶える処置を為すべし。
教42,82,なお能うれば監督も出席すること必要なり。
教42,83,而して汝らの前にもたらさるるすべての訴えは、皆かくの如くに処置すべし。
教42,84,もし他人の物を奪い取る男女ある時は、これを引き渡してその国の法律に問うべし。
教42,85,もし盗みを為す男女あらば、これを引き渡してその国の法律に問うべし。
教42,86,もし虚言を言う男女あらば、引き渡してその国の法律に問うべし。
教42,87,何にても不法なる行為ある男女は引き渡して律法に問うべし。すなわち、神の律法によりて処置すべきなり。
教42,88,もし汝の兄弟または姉妹汝に害を与うる時は、兄弟姉妹と汝との間にて相会し、もし彼ら罪を告白せばこれを許して和げ、

教42,89,されど兄弟姉妹にしてもし告白せざる時はこれを教会に引き渡し、すなわちこれを教会の会員に引き渡さずして長老に引き渡し、その集りにてこれを処置し決して人々の前に於てこれを為すべからず。
教42,90,汝の兄弟姉妹、多くの人々に対して罪を犯したる時は、多くの人々の前に於てこれに懲戒を加うべし。
教42,91,何人にても公然罪を犯したる者は、その男女は公然これを詰責して以て恥を与うべし。もしその男女、真を告白せざればこれを神の律法に付すべし。
教42,92,何人にてもひそかに罪を犯したる者はその男女をひそかに詰責し、以てその者をして罪を犯したる相手および神に対してひそかに罪を告白する機会を得しむべし。これ教会員をしてその男女を詰責せしめざらんがためなり。
教42,93,汝らすべてをかくの如く処理すべし。
教43,,教義と聖約　第43章
教43,*-*,1831年2月、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給まりたる啓示。当時みだりにわれは啓示を告ぐる者なりと主張する者たちありて、これがためにこころをかき乱されたる会員もありたり。わが教会の歴史、第1巻、154頁（英文）を見
教43,*-*-1,この啓示の中、前半は当教会の長老たちに話しかけたもう。教会に給う啓示は、特に啓示を受くるために任命されたる1人のもを通じて下したもうこと。他の者のみだりなる虚偽の主張や虚偽の教えに耳を傾けざる様、長老たちを警めたもう。長老たちは啓示の"みたま
教43,*-*-1-1,人を教うるために出で行くなり、人の造りたる教義を教えらるるためにあらず。種が将来来りたもうは確なること。主の再臨の前に来るべき大いなる禍、この啓示の後半はこの由の国民に宣べたもう。主の警告、宣言および誡命。
教43,1,聴け、わが教会の長老らよ。而してわれ汝らに告げんとする言に耳を傾けよ。
教43,2,見よ、誠にまことにわれ汝らに告ぐ、汝らはわが手より誡命と啓示とを受くる様聖職に任命したる者より律法として誡命を受けたり。
教43,3,われが汝らに任命したる者は、もしわれに背かざれば、彼が取り去らるるまで誡命と啓示とを受くるために何人といえども他に任命さるることなし。このことを汝ら確に知るべし。
教43,4,されど、誠にまことに汝らに告ぐ。彼によるにあらざれば、何人もこの賜を受くるために任ぜらるることなし。そは彼この賜を失うときは、自己に代りとして他の1人を任命する権能のほか何ものをも有せざればなり。
教43,5,われ今汝らにこの律法を与う。およそ啓示または誡命なりとて汝らの前に示さるる何人の教えをも受け入るることなかれ。
教43,6,これは汝らの欺かれざるためにして、またその教えのわれより出でしにあらざることを知らしめんためなり。
教43,7,誠にわれ汝らに告ぐ。われより聖職の按手任命を受くる者は正門より入りて、わがさきに汝らに語りし如くして聖職に按手任命せられ、而してわが任命したる者によりて汝らが受くべき、また受け居れる啓示を人に教うるなり。
教43,8,さて見よ、われ汝らに1つの誡命を与う。汝ら相集る時は、汝らの行いてわが教会を導く方法、わが与えたる律法と誡命との要点を実行すべき方法を知らんために互いに教え導くべし。
教43,9,かくて汝らはわが教会の律法に通じ、汝らの受け入れたるところによりて聖くせられ、またわが前に全く聖き行為をなす様義務を負わせられん。
教43,10,すなわち汝らかく行わば、汝らに与えられたる王国にいよいよ栄えあらん。汝らかく行わずば、汝らの雄与えられたるものすら取り去らるべし。
教43,11,汝らの中にある不正を払い去りわが前に聖くなるべし。
教43,12,汝ら王国の栄光を願わば、わが僕ジョセフ・スミス（2代目）を選び定めて信仰の祈りによりわが前に彼を支持すべし。
教43,13,またわれ汝らに告ぐ、王国の奥義を知らんと願わば彼に衣食を供し、またわが居あれに命じたる事業を果すために必要なる物を何にても彼に供すべし。
教43,14,汝らもしこの事をなさずば、われわが前に聖き民を置かんがため、彼は彼を受け入れたる人々の中に止まるべし。
教43,15,重ねて言う。聴け、わが任命したる教会の長老たちよ。汝らは教えを受くるために遣わせるるにあらずして、わが"みたま"の力によりて汝らに得させたることを人の子らに教えんためなり。
教43,16,汝らは、手nより教えを受くべきなり。汝らその身を聖くせよ、然らば能力を授けられ、かくて誠にわが語りし如く教うるを得ん。
教43,17,汝ら聴け。見よ、主の大いなる日は近づけり。
教43,18,主の天より声を発したもうべき日は来るなり。諸々の天は震え、地はゆれ動き、神のラッパは高く長く鳴り響きて眠れる国民に告げん"汝ら聖徒よ、よみがえりて生きよ。汝ら罪人よ、われ再び呼ぶ時まで眠りつずけよ"と。

教43,19,この故に　汝ら悪しき人々の仲間にあらざらんため、汝の腰をひきからげて立て、
教43,20,汝らの声を惜しむことなく挙げよ。而して老いたるも若きも繋がれたるも自由なるも、諸々の国民に向いて悔改めを叫び、主の大いなる日に備えよと呼ばわるべし。
教43,21,今、人なるわれ誠に声を挙げて汝らに悔改めを叫び、汝らわれを憎み嫌うならば、雷地の極より声を挙げ生きとし生ける者の耳に向いて"悔い改めよ。主のおおいなる日に備えよ"と叫ぶ日来らば汝ら果して何と言うべきか。
教43,22,然り、また電光東より西にひらめき、生きとし生ける者に声を発してすべて聞く有nの耳を鳴らしめ"悔い改めよ、主の大いなる日来る"と言う時汝ら何と言うべきか。
教43,23,また主天より声を発して言いたまわん"地の国民よ、耳を傾けて汝らを造りしかの神の言を聞け、
教43,24,汝ら地の国民よ、めんどりがその雛を翼の下に集むる如くわれ汝らを集めんとせしこと幾度ぞや。されど汝らは好まざりき。
教43,25,われ、わが僕らの口、天使らの導きと恵みを与うること、われ自らの声、雷の声、いなづまの声、暴風雨の声、地震と雹の声、飢饉とあらゆる疫病の声、ラッパの大いなる響、審判の声、1日中の慈悲の声、および光栄、誉、永遠の生命の富などの声によりて呼び、汝ら
教43,25-1,救いを以て救わんとなしたること幾度ぞや。然も汝ら好まざりき。
教43,26,見よ、わが激しき怒りのさかずき充ち満つる日来らん。
教43,27,誠に、われ汝らに告ぐ。これ、主なる汝らの神の言なり。
教43,28,この故に、汝ら働け。わが葡萄園に最后の働きを為し、地に住める人々の最后の呼び集めを為すべし。
教43,29,そは、わが時至らばわれ審判のため地上に来り、その時わが民は贖われてわれと共に地上を支配すべければなり。
教43,30,わが僕らの口によりてわが告げし、かの大いなる"福千年"は来らん。
教43,31,その時サタンは縛られん。而して、その後また釈かれし時たら暫し世を支配せん。而してそれより地球の終末は来るべし。
教43,32,その時義に生くる人々はまたたく間に変り、地球は火によりて焼き尽さるるごとくに過ぎ行かん。
教43,33,而して、悪しき人々は消えざる火に入れられて、その末路は彼らが審かるるためにわが前に来るまで世の如何なる人も絶えて知ることなし、また決して知らしむることなし。
教43,34,汝らこれらの言を聞け。見よ、われは世の救い主なるイエス・キリストなり。これらのことを汝らの胸にしかと銘ぜよ。汝らのこころに永遠の厳粛なることを銘記すべし。
教43,35,汝ら謹みて、わが誡命のすべてを守れ。誠に然り、　アーメン。
教44,,教義と聖約　第44章
教44,*-*,1831年2月下旬、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスおよびシドニー・リグドンに給える啓示。ここに宣べられたる要求に従い、教会は来る6月始めに大会を催すべしと取極めたり。長老たちは更に教えを受くるために集るべきこと。国の法律に基
教44,*-*-1,組織し、かくして反対者の謀ごとに陥らぬ様自らを強固にすること。
教44,1,見よ、かくの如く主汝らわが僕らに言う。わが教会の長老たち、東より西より北より南より、書簡またはその他の地方によりて予備集めらるるはわれが必要と見ることなり。
教44,2,彼ら忠実にしてわれを信ずる信仰を行いに表さば、彼らの会合する日にわれ彼らにわが"みたま"を注ぐべし。
教44,3,それより、彼らそのあたりの地業に進み行きて民に悔改めを説かん。
教44,4,また多くの人々改宗してこの教会に背離、ために汝ら人の定めし律法によりて組織を作る力を得ん。
教44,5,かくして敵は汝らを支配することなく、また汝らはあらゆることより護られ、またわが律法を護ることを得、またわが民を滅ぼさんと図る敵の束縛あらば如何なるものといえども汝らこれを打ち破ることを得ん。
教44,6,見よわれ汝ら貧しき者、乏しき者を訪れて救いを施さざるべからず。かくして汝らの受けたるわが律法により、よろずの事行わるるまで彼らを支うべし。　アーメン。
教45,,教義と聖約　第45章
教45,*-*,1831年3月7日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて教会に給える啓示。この啓示を誌すに先だち、予言者は当時に於ては多くのみだりなるうわさおよびつまらぬ作り話など公にされ且つ流布せられて、これがために人々当教会の事業を研
教45,*-*-1,または信仰を抱くことを妨げたりと言えり。わが教会の歴史、第1巻、158頁（英文）を見よ。イエス・キリストは、その民と御父との間の仲保者、エノクとその民との恵まれたる様。"先の日"に弟子たちに予言したまいし事を引用したもう。異邦人の時の徴は、福
教45,*-*-1-1,より明らかにせらる。この同じ代の異邦人の時満つること、主の審判に来りたもう前に多くの艱難あ

る中に、人の絶ゆるほどの疫病あること定めらる。いちじくの木と10人の処女のたとえ話の意味。東方の地より西方の国々へ民の集合すること。新エルサレム建設の約
教45,*-*-1-1-1,シオンの終局的勝利。
教45,1,王国を与えられたるわが教会の人々よ聴け。地の礎を据え諸々の天と天の万群とを造り、生きて動き実在するすべてのものを創りたる者の言を聴きて耳を傾けよ。
教45,2,また言う、死の汝らを捕えざる様わが言を聴け。すなわち、うかと過すひと時に夏は過ぎ去り、刈り入れは終わりて汝らは救われざるなり。
教45,3,御父と人との仲保者にして、また御父の前にとりなしをする者の言に耳を傾けよ。
教45,4,曰く"父よ、汝の悦びたまいし罪を犯さざりし者の蒙る苦しみと死とをそなわせたまえ。汝の子の流せる血、すなわち汝の崇められんがために後得たまいし、汝の子の血を見そなわせたまえ。
教45,5,その故に父よ。わが名を信ずるわが兄弟らを赦したまえ。かくて彼らをしてわれに来りて営得nの生命を得しめたまえ"と。
教45,6,わが教会の民よ、わが長老たちよ、共に聴け。今日と称うる日の中にわが声を聞け。而して汝らのこころを頑固にするなかれ。
教45,7,われ誠に汝らに告ぐ、われはアルパにしてオメガなり、始めにして終りなり、世の光なり世の生命なり。すなわち暗黒に照るに暗黒はこれを悟らざりし光なり。
教45,8,われはわが民に来れるに、わが民われを受けざりき。されどわれを受け入たる者には皆多くの奇跡を行う能力を与え、また神の子となる能力を与えたり。誠にわが名を信ずる者には永遠の生命を得る能力を与えたり。
教45,9,またかくの如く、わが永遠の誓約を世に遺りて世の光となし、またわが民とこの光を求め来る異邦人とのために1つの旗となし、わが前に道を備うるためわが前に立つ1人の使となしたり。
教45,10,この故に汝らこの光に来るべし。これに来る者にわれ古え人に為せると同じく道理を論じ、われ汝らにわが強固なる論拠を示さん。
教45,11,この故に汝ら相共に聴くべし。その時、誠にわれ正にわが智恵すなわち汝らがエノクとその兄弟らの神と言う者の智恵を汝らに示さん。
教45,12,エノクとその兄弟らは地より分たれわが許に受け入れられたり。その市は義しき者に日来るまでのこし置かるる市にして、而もその日はすべての聖き人々によりて求められたれど、悪事と憎むべき行いとのために彼らこれを見出すことなく、
教45,13,彼らはこの世をさすらう旅人にして巡礼なるを告白したりしが、
教45,14,彼らは1つの約束を与えられ、かの市を見出して肉体を以て見るべしとせられたり。
教45,15,この故に、汝ら聴くべし。さらばわれ汝らに理を語り、汝らに告げて、古え人に語れる如く予言を語るべし。
教45,16,而してわれ肉体をもて弟子たちの前に立ち、彼らに次の如く言いし時にわが弟子たちに示したる如く、それを明らかに汝らに示すべし。すなわちわれ言えり"われ汝らの先祖たちに為したる約束を成就せんために、天の雲に乗りわが栄光の中に来る日に於けるわが来るこ
教45,16-1,つきて問われし故に、
教45,17,また汝らは汝らの霊永らく汝らの体になきをとらわれとなりしことと見たる故に、われ贖いの日の来るべきさまと散乱したるイスラエル人の元通りになることを汝らに示さん。
教45,18,さて汝らはエルサレムにあるこの神殿を見、而もん万事らはこれを神の殿と称え、また汝らの敵もこれを見て決して倒壊することなしと言う。
教45,19,されど、われ誠に汝らに告ぐ、今の代の人には夜来る盗人の如くに滅亡襲い来らん。而して、この民は滅亡して万国の民の中に散らされん。
教45,20,また、汝らの見るこの神殿も崩れ果てて1つの石も他の石の上に残らざらん。
教45,21,されど今の代のユダヤ人目都合するは、わが今彼らにつきて語れるあらゆる荒廃来りたる後なり。
教45,22,汝ら世界の終末来るべきを知ると言い、また天と地と過ぎ行くべきを知ると言う。
教45,23,これにおいて、汝らの言う所はまことなり。汝らの言うが如くなればなり。されどわが語りたるこれらのことは、すべてのこと成就して初めて起るべし。
教45,24,而してわれこのことを、エルサレムに就きて汝らに語れり。而してその日の来る時、或る残れる人々は万国の民の中に散乱すべし。
教45,25,されどこれらの民は再び集められん。されど、異邦人の時満るつに及ぶまでそのままに置かれん。
教45,26,その日、戦につきて聞かん、また戦のうわさにつきて聞かん。全世界は揺れ動き、人々は怖れおののきて言わん。キリストは世の終末までこの世に来ることを延ばされたり、と。
教45,27,人々の相は冷やかになり、不法は満つべし。]

教45,28,異邦人の時始まるに及び、暗きに坐する者の中に光輝やき出でん、このひかりはわが完全なる福音なりとす。
教45,29,されど彼らはその光を受け入れず。そは、彼ら秤を認めざれば、人の教えの故によりてわれにこころを叛くればなり。
教45,30,而して、その時代に異邦人の時満つるべし。
教45,31,この時に当り、その世に立ちて而も地に溢るる懲しめを見終りて後初めて過ぎ行く人々在るべし。世を亡ぼすべき疫病、地を覆うべければなり。
教45,32,されどわが弟子たちは、聖地に立ちて動くことなかるべし。されど悪しき人々の中には、声を挙げて神をのろい死ぬる者たちあらん。
教45,33,また地震も至る所に起り多くの荒廃はきたらん。されどなお人々はわれに向かいてこころを頑固にし、互いに剣を執りて殺し合うべし"と。
教45,34,さて主なるわれ、これらんことを弟子たちに語りし時彼らこころを悩ませり。
教45,35,さればわれ彼らに言えり。汝らこころを悩ますことなかれ。そはすべてこれらの事起る時、汝らに為せる約束の成就するを汝らの知らんが故なり、と。
教45,36,この光の輝き初むる時に起ることは、汝らに示さんとする1つのたとえの如くなるべし。
教45,37,汝ら、いちじくの木を眺めてこれを見るに汝らの眼を以てす。而して、若芽萌え出でてその葉なお柔かなるや夏すでに近しと汝らは言う。
教45,38,人々すべてこれらのこと起るを見るその日に於て、誠にかくの如くならん。その時人々時すでに迫れるを知るべし。
教45,39,およそわれを畏るる者は、来るべき主の大いなる日、すなわち人の子の来る徴を待ち望みつつあらん。
教45,40,而して、人々種々の徴と驚異をと見ん。これらの徴は仰げば天あり、伏して見れば地に占め猿べければなり。
教45,41,人々は、血と火と烟霧とを見ん。
教45,42,主の日来る前、日輪は暗くなり、付は血と変り、諸々の星は天より落つるべし。
教45,43,而して、残れる人々はこの地に集めらる。
教45,44,その時、彼らわれを求めん。見よ、われ来らん。而して彼ら、われ能力と大いなる栄光の衣服を着けて天の雲に乗り、すべての聖き天使らと共に来るを見ん。
教45,45,されど主の腕の下らんとする前に、まず1人の天使ラッパを鳴り響かせん。然る時は、眠り居たりし聖徒ら雲の中にてわれと遇わんために出で来らん。
教45,46,この故に、汝ら穏かに眠り居たらば幸福なり。そは、汝ら今やわれを見てわが在るを知る如く、汝らはわれに来りて汝らの身も霊も生き、汝らの贖い完うせらるべければなり。而して、聖徒らは地の4方より出で来るなり。
教45,47,それより、主の腕は諸々の国民に下らん。
教45,48,それよりして主、その足をこの山の上に置けば2つに裂け、地はかなたこなたに揺れ動き、諸々の天もまた震い動かん。
教45,49,而して、主声を発すればその声地の極までも響きわたりて、世にある諸々の国民を悲しみ、これまでわらいたる者もその愚を覚らん。
教45,50,かくて侮る者は災を蒙り、嘲る者は焼きつくさるべし。また悪を待ち構えし者は叩き伐られて火に投げ込まれん。
教45,51,それよりユダヤ人はわれを仰ぎ見て問わん"汝の手と足にある傷は何ぞや"と。
教45,52,その時、彼らはわれの主なることを白ん。そはわれ彼らに向いて"この傷は、わが友の家にありて得たる傷なり。われは挙げられたる者なり。十字架につけられつらイエスなり。われは、すなわち神の子なり"と言えばなり。
教45,53,彼らこれを聞きて、その為したる悪事の故に泣き悲しみ、またそれより己れらの王を迫害したる故に嘆かん。
教45,54,それよりして、異教を奉ずる諸々の民は贖わるべし。およそ律法を知らざる者は第1回の復活に与るべし、こは彼らにとりてかなりの良きことなり。
教45,55,サタンは縛られて、人の子らのこころの中に入るべき所を与えられざらん。
教45,56,わが栄光をもて来るその日に、10人の処女につきてわが語りしたとえは成就すべし。
教45,57,賢くして真理を受け入れ聖霊の導きに従い騙されざりし者は、誠にわれ汝らに告ぐ、彼らは伐られて火に投げ入れらるることなくその日に堪うるべし。
教45,58,地はゆずりとして彼らに与えられ、彼らは殖え満ちて強くなり、その子孫らは罪を犯すことなく育ちて救いに入らん。

教45,59,主は彼らの中に在りてその栄光は彼らの上に輝き、主は彼らの王にして立法者たるべし。
教45,60,さて見よ、われ汝らに告ぐ、この章に就きては新約聖書の翻訳せらるるまでもはやこれ以上汝らに知らせざれども、その新約聖書にはこれらのこととごとく説き示されん。
教45,61,この故にわれ汝に命じて今これを翻訳せしめ、以てまさに来らんとすることの備えを為さしむ。
教45,62,われ誠に汝らに告ぐ、大いなる事汝らを待つ。
教45,63,汝ら外国に於ける戦の事を聞く、されど見よわれ汝らに告ぐ、戦は近し正に汝らの門口にあり。されば汝ら遠からずして汝らの国内に戦あることを聞かん。
教45,64,この故に主われ汝らに言えり。汝ら東の国より集り来れ。汝らわが教会の長老たちよ。寄り集るべし。汝ら西の国々へ進み行きて、そこに住める人々を呼びて悔改めを説き、彼ら誠に悔い改むれば教会をわが為に樹立すべし。
教45,65,汝ら精神とこころとを1つにして汝の財宝を集め、以てわがこれより指し示す世襲の財産を1つ贖うべし。
教45,66,而して汝らこれを新エルサレム、平和の地、避所の町、いと高き神の聖徒の安全の地と呼べ。
教45,67,而して、主の栄光その上に輝かん。主の恐ろしさもまたその処にあらん。ために悪しき人々そこに入り来らざれば、汝らはこれをシオンと呼べ。
教45,68,而して悪しき人々の中より、その隣人に刃物を向くるを欲せざる者は、ことごとく安全を求めて皆必ずこのシオンに遁れ来る。
教45,69,而して、天の下あらゆる国民よりシオンに集めらるる者あるべく、ただこの民のみ互いに戦をなすことなき民とならん。
教45,70,而して悪しき人々は互いに語り合いて言わん。シオンに住む民は恐るべき民なれば、われら上り行きてシオンと戦をなすことをせじ。怖るべき民なればわれら敵する能わず、と。
教45,71,義しき人々はすべての国民の中より集められ、永遠の悦びのうたを唱いてシオンに上り来らん。
教45,72,さてわれ汝らに告ぐ、わが善しと見るまでこれらのことは秘匿世の人に知れわたらざる様にせよ。そは汝らが世の人の眼の前に、而も汝らの敵の眼の前にこの事業を成し遂ぐるためにして、またわが命じたる事を汝らが成し遂ぐるまで世の人および敵人が知らざる結おう
教45,72-1,するためなり。
教45,73,而してまた、彼らこの事を知りたる時これらのことをよく考えんがためなり。
教45,74,そは主の現わるるや、主は彼らにとりて怖るべきものなればなり。かくて彼らは恐怖にとらわれ、遠く離れて立ちおののきふるえん。
教45,75,またすべての国民は、主の恐ろしいと主の威力とによりて怖れん。誠に然り、 アーメン。
教46,,教義と聖約　第46章
教46,*-*,1831年3月8日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて教会に給える啓示。聖餐式の集会に、教会員と熱心なる求道者のみに参加を許す習慣すでにやや一般的となりたり。わが教会の歴史、第1巻、163頁（英文）を見よ。教会の諸集会は
教46,*-*-1,"みたま"の導きたもうままに指導さるべきこと。会員も熱心なる真理の求道者もその聖餐式に参加するを拒むべきにあらざること。聖き"みたま"の多くの賜を枚挙したもう。神の"みたま"の感応にあらざる顕現を認識するために識別力を給わる約束。
教46,1,聴け、わが教会の人々よ、誠にわれ汝らに告ぐ、こは汝らの利益と学問とになるために汝らに告げられしなり。
教46,2,されど書き誌さるるところのものにかかわらず、わが教会の長老たちは始めより、またこれより先も、聖き"みたま"の導き示したもうままにすべての集会を指導することを常に許されたり。
教46,3,さりながら、汝ら世の人の前に於て行う公の集会より何人をも退けざることを命ず。
教46,4,あれ、また汝らに命ず、何人にても汝ら教会に属するものを聖餐会より斥くることなかれ。さりながら何人にてもあれ、もし罪咎あらば和ぎを得るまでこれに与らしむることなかれ。
教46,5,また汝らに告ぐ、熱心に王国を求むる者あらば何人にまれ聖餐会より斥くることなかれ。こは、教会に属せざる者に就きて言うなり。
教46,6,また、入会確認の会に就きて汝らに告ぐ、何びとにまれわが教会に属せざる人にして、而ももし熱心に王国を求むる人あらばこの人を斥くるべからず。
教46,7,されど、汝らに命ず、すべて何事も惜しむことなく与えたもう神に願うべし。また、"みたま"の汝らに証したもうところを汝らの為すはわれ正しく望むところなり。すなわち、汝ら全く聖きこころを以てこれを為し、わが前に正しく歩み、汝らの救いの末に就きて考え
教46,7-1,感謝とを以て何事をも為し、かくして悪霊または悪魔の教えまたは人の造りたる戒めに陥らざる様に為さんことを。そはある教えは人より出で、また他の教えは悪例より出ずればなり。

教46,8,この故に、汝ら欺かれざる様警むべし。また、汝ら欺かれざらんために熱心に最善の賜を求めよ。而して常に何の為に与えらるる賜なるかを憶ゆべし。
教46,9,わが誠に汝らに告ぐ。そはこの賜はわれを愛してすべてわが誡命を守る者、またかく為さんと求むる者の為に与えらる。こはおよそ求むる者、またはわれに願う者また寝返ども己が欲望を充さんために徴を願わざる者たちのすべてを益するために与えらるる故なり。
教46,10,われ、また誠に汝らに告ぐ、われは汝ら教会員に与うる神の賜の何なるかを汝ら常にこころに留め、常に憶えんことを欲す。
教46,11,すべての者、必ずしもあらゆる賜を与えられしにあらず。何となれば、賜は多くあれどすべての人は神の"みたま"によりえその1を受くればなり。
教46,12,ある者はある賜をたまわり、また他の者には別の賜をたまわり、かくしてすべての者これによりて益を得るなり。
教46,13,ある者は聖霊によりて、イエス・キリストは神の子にして而も世の人の罪のため十字架につけられたるを知る賜を得、
教46,14,他の者は彼らの言を信じ、かくして忠実にして止まざればまた永遠の生命を受くる賜を得、
教46,15,またある者は主のみ旨により、同じ主の悦ぶままに管理の務めの殊なるを知るを聖霊によりて受く。而して主の恵みは人の子らの有様に適わしむるなり。
教46,16,またある者は聖霊によりて、様々なる働きに就きてそれが神より出でしや否やを知る賜を与えらる。こは"みたま"の顕現のすべての人に与えられて、これより益を得させんためなり。
教46,17,また、わが誠に汝らに告ぐ。ある者には神の"みたま"によりて智恵となる言を賜わり、
教46,18,別の者には、すべての人々教えられて賢くなり且つ知識を持たんため知識となる言をたまわる。
教46,19,またある者には、自己の病を医さるる信仰をたまわり、
教46,20,また別の者には、人の病を医す信仰をたまわる。
教46,21,またある者には奇跡を行う業をたまわり、
教46,22,また別の者には予言する力をたまわり、
教46,23,また別の者には、霊を弁うる力をたまわる。
教46,24,またある者には異言を語る力をたまわり、
教46,25,また別の者には諸々の異言を釈く力をたまわる。
教46,26,すべて皆これらの賜は、神より来りて神の子たちを益するなり。
教46,27,およそ、教会の監督および神が聖職に按手任命したもうて教会守護の職に就かせたまい、また教会の長老たらしめたもう如き者には、すべてこれらの賜を見分ける力を与えらるべきなり。そは汝らのうち、神より賜を受けたりと称するも実は然かあらざる者なからんため
教46,28,すべて"みたま"によりて願う者は"みたま"によりて与えらるべし。
教46,29,ある者には、これらの賜ことごとく与えらるることもあらん。こは人々の中に首となるべき者ありて、すべての会員のこれによりて益を受けんためなり。
教46,30,"みたま"によりて願う者は、神の旨によりて願うなり。この故に、正にその願うが如く聴かるるなり。
教46,31,われ、また汝らに告ぐ。汝ら"みたま"によりて為すことは、何事にまれすべてキリストの名によりて為されざるべからず。
教46,32,汝ら如何なる祝福を受くるとも、"みたま"によりてこれを神に感謝せざるべからず。
教46,33,また汝らはつずけてわが前に徳と聖きを行いに表さざるべからず。誠に然り、 アーメン。
教47,,教義と聖約　第47章
教47,*-*,1831年3月8日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給まりたる啓示。これより先オリヴァ・カウドリは、当教会の歴史記者兼記録係を務め居たりき。ジョン・ホイットマーは、自らこの歴史記者の役に就くを求めざりしもこの地位に於て
教47,*-*-1,懇望されて、これにつきて神の御旨あらば御旨のままに従うべし、と答えたりき。わが教会の歴史、第1巻、166頁(英文)を見よ。ジョン・ホイットマー、教会の管理者として指名さる。
教47,1,見よ、わが僕ジョン、わが教会の正式の歴史を誌してこれを保存し、またわれのんん自に与うるすべての事を書き写し、彼が更に勤めを命ぜらるるまで汝わが僕ジョセフを助くるは必要なることなり。
教47,2,また、われ誠に汝らに告ぐ、彼も必要ならば何時にても集会に於て声を挙ぐるを得べし。
教47,3,またわれ汝らに告ぐ、彼は続けて教会の記録と歴史とを誌す様任命せらる。オリヴァ・カウドリは、われ別の役務に任命したればなり。
教47,4,これを以て、彼忠実ならば"慰め主"によりてこれらの事を書き誌さしむ。誠に然り、 アーメン。

教48,,教義と聖約　第48章
教48,*-*,1831年3月、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。ジョセフは、聖徒の居住に必要なる土地を入手する方法の様式に就きて主に伺いたりき。こは、オハイオ州に集合すべしとの主の命に従い、ニューヨーク州より同地に教
教48,*-*-1,移住し来る事より見て大切なる事なりき。すでにオハイオにて居を占めたる民は、新規に到着する者に保有する土地を分つべきこと、必要に応じて土地を購入すべきこと。民はこの事に就きて、管理の役員たる者の助言に従うべし。
教48,1,汝ら今居住せる所に当分の間止まることは必要なり。汝らの事情はかく為すに適当なればなり。
教48,2,汝ら土地を持てるならば、これを東方の兄弟たちに分ち与うべし。
教48,3,土地を持たざるならば、当分中今居住せる床との附近の地方に於て彼らに善しと思う土地を買わしむべし。今暫く彼らが住むべき土地を所有することは、是非必要なる事なればなり。
教48,4,汝ら能う限りの金銭を貯え、またすべて義しく得らる限りのものを得るは是非必要なり。こはやがてゆずりのための土地、すなわち市を買い得んためなり。
教48,5,その土地はいまだ汝らに示されず。されど汝らの兄弟東方より来る後、ある人々わが任命を受くることあるべきなり。而して、われこれらの人々にその土地に就きて示さん。すなわち、彼らはそれに関する啓示を受けん。
教48,6,而して、この人々土地を買うべき任命を受け、その市の基礎を置くことを始むべし。それより、すべての男子は家族と事情とに応じて教会の大管長会と監督との命に従い、汝らのすでに受けまたこの後受くべき律法と命令とにより、その家族と共に1つ所に酒豪し始むべ
教48,6-1,然り、アーメン。
教49,,教義と聖約　第49章
教49,*-*,1831年3月、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりてシドニー・リグドン、パーレー・ピー・プラットおよびレマン・コプレイに給まりたる啓示。わが教会の歴史、第1巻、167頁（英文）を見よ。レマン・コプレイは先に真の福音を信じた
教49,*-*-1,今なお前に属したるシェーカー、すなわちシェーキング・クエーカー教徒の教えを奉ずるところあり。これらの教徒の多くは実直なる人々にして、主はその僕らをこれらの人々の中にさし向けて働かせたもう。主の再臨の正確なる時日は、その大いなる出来事の起る以前
教49,*-*-1-1,示されず。人間に下したまえる神の律法として結婚の神聖なること。全然肉局食をせざることは要求せられず。主の大いなる日の来る前に、レーマン人の発展とシオンの樹立あるべきこと。
教49,1,わが僕なる、シドニー、パーレーおよびレマンよ、わが言を聴け。見よ、われ誠に汝らに告ぐ、われ汝らに1つの誡命を与う。すなわち、汝ら行きてシェーカー派の人々に汝らが受けたるわが福音を正にそのまま伝えよ。
教49,2,見よ、われ汝らに告ぐ、彼らは真理の1部を知らんことを願いて全部を知らんことを願わず。そは、彼らはわが前に義しからず是非悔い改めざるべからざればなり。
教49,3,この故に、わが僕シドニーおよびパーレーよ。われ汝らを遣わして福音を説かしむ。
教49,4,わが僕レマンは彼らより受けし教えによらずして、汝僕らが彼に教うるところを以て彼らと論ぜんためにこの役務に任ぜらる。かくの如く為すことによりてわれ彼を祝福せん。然らざれば彼は栄ゆることなからん。
教49,5,かくの如く主言いたもう、われは神なり。われ世の人々を購わんためにわが生みし独子を世に遣わして、およそ彼を受け入るる者は救われ彼を受け入れざる者は救われざるべきを定めたり。
教49,6,然るに世の人々は、正にその欲するままに人の子をあしらえり。彼は今自らの権能を持ちて父の栄光の右手に立ち天にありて統治す。而して、彼は地に下りてすべての敵を足の下に踏みつくるまで天にありて統治せん。然もその時は近づけり。
教49,7,われ主なる神、このことを語れり。されど、その日その時はこれを知る人絶えてなし。天の使たちも、彼の来る時までこれを知ることなかるべし。
教49,8,この故にわれすべての人の悔い改めんことを欲す。そは世の人々はすべて罪を負えり。われに残し置きたる聖き者共を除きてはことごとく罪を負いたればなり。
教49,9,この故に、われ汝らに告ぐ、われ汝らにわが栄光の誓約、すなわち始めよりありし所の誓約を与え、
教49,10,わが約束したるところはその通りわれ成就せり。されば万国の民は、その前に頭を下ぐべし。自らへりくだるにあらざれば卑くせられん。そは今自ら高ぶる者は、必ず力によりて屈服せらるべければなり。
教49,11,この故にわれ汝らに1つの誡命を与う。汝らこの民の中に行き、その名をペテロと言いし古えのわが使徒が言いし如くこの民に言うべし。
教49,12,”嘗て地上に在し、また来りたもうべき、始めなり終りなる主イエスの御名を新ぜよ。
教49,13,罪を赦さるるために聖き誡命に従い、悔い改めてイエス・キリストの御名によりてバプテスマを受けよ。
教49,14,而して何人にてもかくする者は、この教会の長老の按手によりて聖霊の賜を受くべし”と。

教49,15,また、われ誠に汝らに告ぐ、何人にても結婚を禁ずる者は神より聖職の按手任命を受けたる者にあらず、そは結婚は神の人に定めたるところなればなり。
教49,16,この故に、人各々1人の妻を有つことは義し、而してこの2人の者一体となるべし。すべてこれはこの世の造られたる目的に適わんためなり。
教49,17,すなわち、この世のいまだ創られしに従いて、人間の数のこの世に充たされんためなり。
教49,18,また、何人たりとも人は肉を食うべきにあらずとしてこれを人に禁ずる者は、神より聖職の按手任命を受けし者にあらず。
教49,19,見よ、野の獣空の鳥および地より生え出ずるところのものは、人が食い且つ着んがために、またこれを豊かに持つ様に神の定むるところなればなり。
教49,20,されど、人は他の人より勝れる物を持つことを許されず。ここに世の罪あればなり。
教49,21,またいたずらに地を流す者、すなわち肉を無意味に費す者は禍なるかな。
教49,22,また、われ誠に汝らに告ぐ、"人の子"の来る時は婦女の姿にて来らず、また地上に旅する男の姿にても来らず。
教49,23,この故に汝ら欺かるることなかれ。引つずき確乎として待ち望め。天は震いて酒に酔いたる人の如くかなたこなたによろめき、谷は高まり、山は陥り、けわしき所の平らにならん時を待て。すなわち、すべてこのことは天使のラッパを吹き鳴らす時にあるべし。
教49,24,されど主の大いなる日来る前に、ヤコブは荒野に栄えレーマン人は薔薇の如く華さくべし。
教49,25,シオンは諸々の丘の上に栄えて諸々の山に栄えて諸々の山の上に悦び、彼らはわが指し示したる所に寄り集らん。
教49,26,見よ、われ汝らに告ぐ、汝らわが命じたる如く出で行け。すべての汝らの罪を悔い改めよ。求めよ、さらば与えられ、叩けよ、さらば開かるることを得ん。
教49,27,見よ、われ汝らの前に立ちて行き、汝らの後ろにありて守らん。われまた汝らの中に在れば、汝らあわてふためくことなかるべし。
教49,28,見よわれはイエス・キリストなり。われ速に来るなり。誠に然り、 アーメン。
教50,,教義と聖約　第50章
教50,*-*,1831年5月、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示。予言者の言によれば、現に居る長老の中広くこの寄にある種々なる霊の現われを解せざる者ありしにより、この事に就きて特に伺いたる答としてこの啓示を給わる。いわゆる精
教50,*-*-1,発現は会員中に珍らしからず、これを以て示現を見、また啓示を受くるなりと主張する者ありたり。わが教会の歴史、第1巻、170頁（英文）を見よ。偽りの霊、世人を惑わす。虚偽の霊を見わける方法。偽りの霊の現われと、主の"みたま"の現われとの相違は暗黒
教50,*-*-1-1,違いの如し。ある長老たちに特別なる奉仕を求めらる。人々真理と恵みを受くることいよいよ多ければ、いよいよ智恵の進ことを約し給う。主は善き牧者にしてイスラエルの首石なり。
教50,1,聴け、汝らわが教会の長老たちよ。而して、生ける神の言に耳を傾けよ。而して、汝らわが教会員と広くこの世に知れわたれる多くの霊に関してわれに尋ね、而してわが承諾したるところに従いて汝らに与えらるべき智恵となる言をよく聞け。
教50,2,見よ、誠に汝らに告ぐ、世には偽りの霊なる多くの霊あり。これらの霊、この世に出で来りて世の人を欺くなり。
教50,3,またサタンは汝らをうち破らんがために、汝らをたぶらかさんとせり。
教50,4,見よ、われ主汝らを眺め、わが名を称うる教会員中に憎むべきことあるを見たり。
教50,5,されど忠実にしてよく耐え忍ぶ者は、生くるも死ぬるも幸福なり。その者は、永遠の生命を受くべければなり。
教50,6,されど人を欺く者や偽善者たちは禍なるかな。そは、われ彼らを引き出して審かんと主居いたまえばなり。
教50,7,見よ、われ誠に汝らに告ぐ、汝らの中に偽善者あり。彼ら若干の人を欺き、而もそれは力を敵に与えたり。されど見よ、かかる者はため直さるべし。
教50,8,然れども、偽善者たちは見破られて正にわがこころのままに生くるも死ぬるも断ち切らるべし。およそ、わが教会より断ち切らるる者は禍なるかな。その者たちは世に打負くればなり。
教50,9,この故に、すべての人はわが前に不義不正を為さざる様警むべし。
教50,10,主"みたま"によりてその教会の長老たちに言う。いざ、汝らの悟らんためにわれら共に論ぜん。
教50,11,われら正に人の相対して互いに論ずる如くに論ぜん。
教50,12,さて、人論ずる時は人によりて悟る。人として論ずればなり。今主なるわれもまた汝らの悟らんために正にかくの如く汝らと論すべし。

教50,13,この故に、主なるわれ汝らにこれを問う。そもそも、汝らは何のために聖職の按手任命を受けたるか。
教50,14,真理を教えんために遣わされたる"慰め主"、すなわち"みたま"によりてわが福音を宣べんためなり。
教50,15,それより、汝らは如何なるものとも知り得ざる諸々の霊を受け入れ、これらを神より来れるものとなせり。これにて、汝あ義しとせらるるや。
教50,16,見よ、汝ら自らこの問に答えよ。さりながら、われは汝らを憐まんと欲す。すなわち、汝らの中弱き者もこの後強き者とせられん。
教50,17,われ誠に汝らに告ぐ、およそわれによりて聖職の按手任命を受け、"慰め主"すなわち真理の"みたま"によりて真理の言を説くために遣わさるる者は、果して真理の"みたま"によりて教えを説くか、はたまた他の道によりてこれを説くか。
教50,18,もし何らか他の道によるとせば、これ神によるにあらず。
教50,19,重ねて言う。真理の言を受けし者は真理の"みたま"によりてこれを受けしや、はたまた何らか他の道によりてこれを受けしや。
教50,20,もし何らか他の道によるとせば、これ神によるにあらず。
教50,21,この故に真理の"みたま"によりて言を受けたる者は、また真理の"みたま"によりて教えらるるままにこれを受くることを汝ら知りて覚り得ざるは何ぞ。
教50,22,この故に、教ゆる者も受くる者も互いに相悟り、両者共に徳の導かれて共に悦ぶなり。
教50,23,人を徳に導かざるものは、神によるにあらず暗黒なり。
教50,24,神によるものは光明なり。その光明を受けて神に従うこといよいよ久しき者は、その受くる光明いよいよ明らかなり。その光明いよいよ明らかとなりてついには完き昼となるべし。
教50,25,またわれ誠に汝らに告ぐ、われこの事を言うは、汝ら真理を知りて暗黒を汝らの中より追い出さんためなり。
教50,26,およそ神より聖職に按手任命せられて遣わさるる者は、彼いと小さき者にてすべての人の僕なりとも、任命せられていと大いなる者とせらるるなり。
教50,27,この故に、この者はすべてのものの所有者なり。そは天に於ても地に於ても、御父の御旨によりてその子イエス・キリストを通じて遣わさるる生命も光明も、"みたま"も能力も、すべてのもの彼の支配となればなり。
教50,28,されど、人は潔くせられてすべての罪より潔めらるるにあらざれば、すべてのものの所有者にあらず。
教50,29,汝らもしすべての罪を洗われて潔くせらるるならば、イエスの名によりて何事にまれ欲するところを願え、さらば皆与えられん。
教50,30,されど、汝らこれを知れ。すなわち、汝らの願うところはすべて与えらえ、また汝らは首たる任命を受くれば諸々の霊の現われを弁うることを得ん。
教50,31,この故にもし汝らの了解し得ざる霊の現われを見、これを受け入るる能わざれば、汝らイエスの名によりて御父に問え。もし御父この霊の現われを汝らに与えたまわざる時は、この霊の現われは神によるにあらざることを知り得べし。
教50,32,而してまた、この霊の現われを制する能力汝らに与えらるるによりて、汝ら大いなる声を挙げてその霊の現われに対して神によるにあらざることを宣言すべし。
教50,33,その時、汝らこれを罵り責むるべからず。しかすれば、汝らかえって敗るべし。また高慢と喜悦のこころを以てこれを為すべからず。恐らくは、汝らこれによりてかえって捕えられん。
教50,34,神より受くる者は、その神によることを明らかにすべし。また受くべき価値あることを神により認めらるるを悦ぶべし。
教50,35,汝ら、すでに受けまた今より後に受くべき事をこころに留めなさば、王国は御父より与えられ、また御父の任命によらざるすべてのものに打勝つ力を与えられん。
教50,36,見よ、われ誠に汝らに告ぐ。わが僕の口より今わが言を聞き居る者は幸福なるかな。そは、汝らの罪赦さるればなり。
教50,37,わがこころに悦ぶ僕ジョセフ・ウェークフィールドおよび僕パーレー・ピー・プラットは、教会の人々の中に出で行きて、信仰を高むる言によりて彼らを強くすべし。
教50,38,また、わが僕ジョン・コリルまたはすべてわれよりこの聖職に按手任命を受けたる者たちも皆然り。而して彼らはわが葡萄園に於て働くべし。何人といえどもわが任命を受けたる者の為すところを妨ぐるなかれ。
教50,39,この故に、この事に就きてわが僕エドワード・パートリッヂは義しとせられず。さりながら彼よ悔い改めよ。さらば赦さるることを得ん。
教50,40,見よ、汝らは幼児なり。今はすべてのことに堪ゆる能わず。されば、汝らは恩恵と真理の智恵に於て生長せざるべからず。
教50,41,怖るるなかれ、幼児らよ。そは、汝らはわがものなり。われは世に打ち勝ちたり。汝らは御父がわれに与

えたまいしものに属すればなり。
教50,42,御父がわれに与えたまいしものは1つも失わるることなし。
教50,43,御父とわれとは1つにして、われは父に居り、父はわれに居たもう。汝らわれを受けたれば、汝らわれに居り、われ汝らに居る。
教50,44,この故にわれ汝らの中にあり。われは善き牧者にしてイスラエルの首石なり。この磐の上に築く者は決して倒るることなし。
教50,45,而して汝らわが声を聞き、われを見、われ在るを知るの日来らん。
教50,46,この故に、汝ら警めて備えを為せ。誠に然り、 アーメン。
教51,,教義と聖約　第51章
教51,*-*,1831年5月、オハイオ州トムソンにて予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。当時ニューヨーク州より移住しつつありし聖徒らはオハイオ州に到着し始めたるにより、これが居住するため1定の手配をする必要生じたり。この仕事は特に監督の役なりし
教51,*-*-1,エドワード・パートリッヂ監督はこのことに関して指図を求め予言者は主にこれを伺いしなり。わが教会の歴史、第1巻、173頁（英文）を見よ。移住会員に対する財産配分の為になされたる準備。金銭その他の財産の保管とその適当なる使用。オハイオ州の集合地は
教51,*-*-1-1,教会に奉献す。
教51,1,主なる汝の神言う。汝らわが言を聴け。さらば、われわが僕エドワード・パートリッヂに告げてわが命を与う。彼はこの民を組織する放送に就き命令を必ず受けざるべからず。
教51,2,この民は必ずわが律法によりて組織せられざるべからず、もしわが律法に由らざれば彼らは断ち切らるべし。
教51,3,この故に、わが僕エドワード・パートリッヂおよび彼の選びたるわがこころに適える人々は、この民にその家族数と財産状態と乏しきと必要に応じて、すべての人に平等にその配当を指定すべきなり。
教51,4,而して、わが僕エドワード・パートリッヂは、1人にその配当を為すや彼の配当を保証し、且つまたすなわち教会に於けるこの権利とこの相続財産とは、この人もし罪ありて教会の律法と誓約とに由り、教会員の指示の挙手を以て教会に属するに適しからぬ者なりと考え
教51,4-1,まではこれを奪わるることあるべからず、と言う証拠を彼に交付すべし。
教51,5,もしその者、罪を犯して教会に属するに適しからずと考えらるる時は、その者がわが教会の貧しき者の為に監督に奉献したる分に対しては、自分の所有なちと申し立つる権利なし。それ故、彼は授り物を保持すべからず、ただ証書を以て譲り渡さるる分に対してのみ所有
教51,6,およそ、すべてのことかくの如くその国の法律によりて保証せらるべきなり。
教51,7,而して、この民に属する物は皆この民に配当すべし。
教51,8,また、もしこの民に委任されたる金銭ある時は、この民の必要に応じ衣食を賄うためにこの金銭を受くべき1人の代理人を任命せよ。
教51,9,而して、すべての人の行うところ皆正しくしてこの民の中にて皆相等しく人皆一様に受け取るべし。これ正に、わが汝らに命じたる如く汝ら1つとならんためなり。
教51,10,この民に属する物を取りて別の支部教会に属する者に与うることあるべからず。
教51,11,この故に、もし別の支部教会この教会の金銭を受けんとする時は、契約に従いて必ず返済せしめよ。
教51,12,このことは監督または代理人を通じてこれを行うべく、而してこれらの人は教会員の指示の挙手によりて任命さるる者なるべきなり。
教51,13,また監督たる有nはこの教会に1つの倉庫を指定し、この民の必要以上に余れる金銭糧食は両つながらすべて比所に保存し、監督の手に於てこれを管理すべし。
教51,14,われ監督をしてこの役務に服せしむる故に、彼もまたこの中より自己とその家族との入用のために必要なる分を取り除き置くべし。
教51,15,かくの如く、われこの民にわが律法に従いて組織する特権を許す。
教51,16,而して暫しの間、われこの地を彼らの為に聖くし、われ主が彼らのため他に所を備えて、ここより外に行くを命ずるまでこれを彼らに与うべし。
教51,17,されど、その日もその時も彼らには示されず。その故に彼らはこの土地の間に数年間の働きをなせ。さらばその働きは彼らの利益にならん。
教51,18,見よ、これはエドワード・パートリッヂに示されたる1つの範例にして、こは他の土地にてもすべての支部教会にても以て範例となすべきことなり。
教51,19,およそ何人にまれ、忠実にして正しく、且つ賢き管理人はその主の悦びに入りて永遠の生命をつぐべし。

教51,20,われ誠に汝らに告ぐ、われはイエス・キリストにして汝らの思わざる時速に来るなり。誠に然り、 アーメン。
教52,,教義と聖約　第52章
教52,*-*,1831年6月7日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスにて当教会の長老たちに下したまえる啓示。カートランドに於ては同月3日に始まり6日に終る大会開催されたりき、この大会に於て大祭司の職に按手聖任する始めての特別なる任命式挙げらる
教52,*-*-1,この席上に於て人を惑す或る虚偽の例の現われありしも、見破られて責められたり。わが教会の歴史、第1巻、175頁（英文）を見よ。これに引つずき次の大会を開く場所をミズーリと指定す。長老たちは各自の任務を帯びて2人づつ相伴いて度に出で、教えを説きバ
教52,*-*-1-1,施す様指名せらる。
教52,1,見よ、主あh主の"みたま"の声により、主がこの末の世に召して選びたる長老たちにかくの如く言う。
教52,2,すなわち主なるわれ、今より次の大会までにわが汝らに為さしめんと欲するところを知らしむ。而してその大会は、誓約により世つぎにして而もヤコブの遺りの者なるわが民に、わが聖くして与えんとする所の土地、すなわちミズーリに於て開かる。
教52,3,この故にわが誠に汝らに告ぐ、わが僕ジョセフ・スミス（2代目）およびシドミー・リグドンは、家より立ちてミズーリの地に旅する準備を為し得るや、直ちに旅に出で立つべし。
教52,4,彼らわれに忠信ならば、彼らの為すべきことは告げらるべし。
教52,5,また彼らちゅしんならば、汝らのつぐべき土地を彼らに示さん。
教52,6,而して彼らもし忠信ならずば、すなわちわが意にわが正しと見る如く彼らは断ち切らるべし。
教52,7,またわれ誠に汝らに告ぐ、わが僕ライマン・ワイトとジェン・コリルは速に旅立つべし。
教52,8,またわが僕ジョン・マルドックとわが僕ハイラム・スミスもデトロイトを経て同じところに行け。
教52,9,而してかれらは、そこより旅して途中行く行く次の言を説きて意うべし。すなわち予言者たちと使徒たちの誌したるところ、および信仰の祈りにより"慰め主"によりて教えらるることのみを説きて言うべし。
教52,10,彼らは2人つづ出で行くべし。かくして途中至るところの集会に於て教えを説き、水によりバプテスマを施し、水のほとりに於て按手を行うべし。
教52,11,そは"われ義しきを為してわが業を短くせん。われ打ち勝つ審判を遣わす日来ればなり"と主言えばなり。
教52,12,わが僕ライマン・ワイトは、すべからく用心せよ。サタンは彼をもみがらの如くほん弄せんと欲すればなり。
教52,13,而して見よ、忠実なる者は多くのことの支配者とせらるべし。
教52,14,またわれ汝らの欺かれざらんために、あらゆるものに規範を与う。そはサタン普くこの地に在り、出で行きて諸々の国民を欺けばなり。
教52,15,この故に、悔いる精神を持ちて祈る者わが儀式に従うならばわれこれを受け入るべし。
教52,16,悔いる精神を持ちて語りまたその言柔和にして徳を建つる者わが儀式に従うならばこれ神より出ずるなり。
教52,17,またわが能力に服して畏れおののく者は強くせられ、且つ汝にわが与えたる啓示と真理とによりて讃美と智恵の果を結ぶべし。
教52,18,また打ち負けて、この規範に従いて果を結ばざる者はわれより出ずる者にあらず。
教52,19,この故に汝らこの規範により、一切の天が下なあるあらゆる場合の霊の現われを知ることを得ん。
教52,20,その時代来らん時、人々の信仰に従いてこの事彼らに成るべし。
教52,21,見よ、この誡命はわが選びたるすべての長老たちに与えらる。
教52,22,またわれ誠に汝らに告ぐ、わが僕トマス・ビー・マーシュおよびわが僕エズラ・テールもまた旅に出で、行く行く教えを説きて同じこの地に赴くべし。
教52,23,また、わが僕アイザック・モーレーおよびわが僕エズラ・ブースも旅に出で、行く行く教えを説きて同じこの地に赴くべし。
教52,24,またわが僕エドワード・パートリッヂおよびマーテン・ハリスは、わが僕シドニー・リクドンおよびジョセフ・スミス（2代目）と共に旅に出でよ。
教52,25,わが僕デビッド・ホイットマーおよびハーヴェー・ホイットロックもまた旅に出で、而して行く行く教えを説きて同じおの地に行くべし。
教52,26,また、わが僕パーレー・ピー・プラットは旅に出で、而して行く行く教え説きてすなわち同じこの地に行くべし。
教52,27,わが僕ソロモン・ハンコックおよびシメオン・カーターもまた同じこの地に行く旅に出で行く行く教えを説く

べし。
教52,28,わが僕エドソン・フラーおよびジェコブ・スコットもまた旅に出でよ。
教52,29,またわが僕レヴァイ・ダブルユおよびゼベデー・コルトリンもまた旅に出でよ。
教52,30,わが僕レイノルヅ・カフンおよびサミュエル・エッチ・スミスもまた旅に出でよ。
教52,31,わが僕ホイーラー・バルドウインもまた旅に出でよ。
教52,32,わが僕ニューエル・ナイトおよびセラ・グリフィンは共に按手聖任を受けてまた同じく旅に出でよ。
教52,33,然り、わが誠に汝らに告ぐ、これらの人々は皆1つの所に旅に出ずべし。されど各自異なりたる進路をとり、甲か乙の基礎の上に建つることなくまた他人の通りし跡を辿ることなかれ。
教52,34,忠実なる者は守護せられ、且つ多くの果によりて祝福せられん。
教52,35,またわれ馴染らに告ぐ、わが僕ジョセフ・ウェークフィールドおよびソロモン・ハンフリーは当方の国へ旅立つべし。
教52,36,彼らはその家族と共に働き、予言の成就さるるために、今までに見聞きし且つ最も確く信ずる所の予言者たちと使徒なる人たちのことのみを宣ぶるべし。
教52,37,ヒーマン・バセットに与えられしところのものは、彼の罪によりてこれを取りてシモンズ・ライダーの頭の上に与うべし。
教52,38,また、われ誠に汝らに告ぐ、ジェレド・カーターを祭司に按手聖任し、またジェージ・ジェームスをも祭司に按手聖任せよ。
教52,39,その余の長老たちは各々教会員を守護し、またその周りの地方にわが言を宣べよ。また自らの手を以て働き、教会員の中に邪神を拝む者と悪を為す者あらしむることなかれ。
教52,40,また汝ら貧しき者、乏しき者および病める者、悩める者たちを万事に憶えて憐れむべし。これらの事を為さざる者はわが弟子にあらざればなり。
教52,41,わが僕ジョセフ・スミス(2代目)、シドニー・リグドンおよびエドワード・パートリッヂは教会より推薦状を携帯すべし。またわが僕オリヴァ・カウドリにもまた1つ得させよ。
教52,42,かくして誠にわが語りし如く、もし汝ら忠実ならば、今は汝らの敵の地なれども汝らの世つぎの地なるミズーリの地に集まりて悦ぶことを得ん。
教52,43,されど見よ、主なるわれ、時来りてその市街の建つべきを早めん。而して寒気と悦びとを以て忠実なる者に冠を与えん。
教52,44,見よ、われは神の子イエス・キリストなり。さればわれ終りの日に彼らを高く挙ぐべし。誠に然り、アーメン。
教53,,教義と聖約　第53章
教53,*-*,1831年6月、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりてアルヂャノン・シドニー・ギルバートに給まりし啓示。予言者はギルバートの教会に於ける任命と仕事とに就きて主い伺いたりき。ギルバートは、長老に按手聖任さるべきこと。また、監督
教53,*-*-1,通り教会の代理人たるべきこと。
教53,1,見よ、われわが僕シドニー・ギルバードに告ぐ。われ汝の祈りを聞けり。而して汝は主なるわれのこの末の世に起したる教会内部に於ける汝の召と選びとに就きて、主なる汝の神によりて知らんことを求めたり。
教53,2,見よ、世の人の罪のため十字架につけられたる主なるわれ、汝この世の事を捨てつべしとの命を与う。
教53,3,汝、長老となるわが聖任を引き受けてわが言に従い、信仰と悔改めと罪の赦しとまた按手によりて聖霊を受くることを説くべし。
教53,4,また汝は今後与えらるるわが命令により、監督の任命する地に於てこの教会の代理人となるべし。
教53,5,また、われ誠に汝に告ぐ。汝わが僕ジョセフ・スミス(2代目)およびシドニー・リグドンと共に旅に出でよ。
教53,6,見よ、これらは汝の受くる最初の儀式にして、その余はゆくゆくやがてわが葡萄園に於ける汝の働きに従いて後に知らさるべし。
教53,7,重ねて言う。わが願うは終りまで忍ぶ者のみ救わるるを汝の知らんことなり。誠に然り、 アーメン。
教54,,教義と聖約　第54章
教54,*-*,1831年6月、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりてニューホル・ナイトに給まりし啓示。オハイオ州トムソン支部の教会の或る管理問題にて分裂し、彼らの中には自己の利益に専らなる様子見えたり。ニューエル・ナイトと他の長老たちは、
教54,*-*-1,如何にせんかと来りて予言者に尋ねたり。わが教会の歴史、第1巻、180頁(英文)を見よ。先に教会員となりて後、誓約を破りたりし者あり。ニューホル・ナイトはミズーリに旅すべきこと。
教54,1,見よ、誠にアルパにしてオメガ、始めにして終り、世の人の罪のため十字架につけられたる主、かくの如く言う。

教54,2,見よ、誠にまことにわれ汝に告ぐ、わが僕ニューエル・ナイトよ。わが汝を任命したる役務を固く守るべし。
教54,3,而して汝の兄弟たちもし敵の手より逃れんと欲せば、彼らはすべての罪を悔改めまことにわが前に真にへりくだりてざんげすべし。
教54,4,彼らわれになせる誓約を破りたれば、正にその誓約は徒となり、何の効もなきものとなりぬ。
教54,5,この罪を犯す者は禍なるかな。その人は海の深みに溺れたらむこそかえってよかりしならむ。
教54,6,されば誓約を守り、わが誡命に従いし者たちは幸福なるかな。その人たちは憐みを受くることを得ればなり。
教54,7,この故に敵に襲わざる様、汝ら今この地を去りて逃れよ。而して旅に出でて汝らの好む者を挙げて指導者となし、汝らのために金銭を支払う者たらしむべし。
教54,8,かくて汝らすべからく西の地方に行きレーマン人の境なるミズーリの地に至るべし。
教54,9,汝ら旅行を終らば、見よ、われ汝らに告ぐ、われ汝らに所を備うるまで世の人々の如く汝ら生計を求むべし。
教54,10,また言う、われ来るまで困苦を堪え忍ぶべし。見よ、われ速に来るなり。而してわが報いはわれと共にあり。早くわれを求めし者には彼らに安息あらん。誠に然り、 アーメン。
教55,,教義と聖約 第55章
教55,*-*,1831年6月、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりてウイリヤム・ダブルユ・フェルプスに給まりし啓示。ウイリヤム・ダブルユ・フェルプスとその家族は、あたかもその時カートランドに到着したるばかりなりき。而して予言者は彼に関する
教55,*-*-1,主に伺いしなり。ウイリヤム・ダブルユ・フェルプスは神の召を受けて選ばれし者と指名さる。バプテスマを受けて会員と確認さるる様指図さる。つずいて長老に按手聖任さる。教会のため文筆上の仕事を為してオリヴァ・カウドリを助くる様任命さる。
教55,1,見よ、かくの如く主に言う。わが僕なるウイリヤムよ、誠に全世界の主は言う。汝召されて選ばれたり。汝水のバプテスマを受け、而してもこのバプテスマを誠心もてわが栄光のために為さば、その後汝罪の赦しを得また按手によりて聖き"みたま"を受けん。
教55,2,それより、わが僕ジョセフ・スミス(2代目)の手により聖職に按手任命せられてこの教会の長老となり、生ける神の子イエス・キリストの為いよりて悔改めとバプテスマによる罪の赦しに就きて説くべし。
教55,3,何人といえども汝の手を按く者、もしわが前に罪を深く悔ゆるならば、われ聖き"みたま"を与うる力を汝に与えん。
教55,4,また汝は聖職の按手任命を受けてわが僕オリヴァ・カウドリを助け、幼児らもわが好める如くわが前に教えを受くるため、わが教会の学校のために書籍を印刷し、選択し、著作する仕事をなすべし。
教55,5,またわれ誠に汝に告ぐ、この目的のため、汝はわが僕ジョセフ・スミス(2代目)とシドニー・リグドンと共に、汝のゆずりとなるべき地に置かれてこの仕事を為すために旅立つべし。
教55,6,またわが僕ジョセフ・コーもまた彼らと共に旅立て、残りの者には、今より後わが心のままにその為すべきことを示さん。 アーメン。
教56,,教義と聖約 第56章
教56,*-*,1831年6月、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。豫てトマス・ビー・マーシュ長老と共に導きと教えを施す者の働きをなす旅をすべき任命を受けたりしエズラ・テール長老はマーシュ長老の準備成りし時、その使命に出
教56,*-*-1,なりたり。而して主はこの啓示を給りて、この事に関する予言者の伺いに答えたもう。主は命を下すはもちろん、これを取り消すことも為し得、また事実これを為したもう。エズラ・テールは、その高慢と利己主義のため叱責さる。セラ・ジェー・グリフインは、彼に代
教56,*-*-1-1,トメス・ビー・マーシュと旅をする任命を受く、富めるも貧しきも共に背く者は讃責さる。真にへりくだりたる心と悔いる精神とを以てする悔改めの必要。
教56,1,主なる汝の神言う。聴け、わが名を公言する人々よ。見よ、わが怒りは叛く者に向かいて燃ゆればなり。されば、われ国々の民に怒りを下すべき裁きの日に彼らはわが腕とわが憤りとを知らん。
教56,2,およそ自己の十字架を負いてわれに従わんとせず、またわが誡命を守る心なき者は救わるることなからん。
教56,3,見よ主なるわれ命ず、命に従う心なき者はわが時至らば断ち切らるるべし。わが命を出したる後、而もこの命破られたるなり。
教56,4,この故に揺われは、わが意のままに命令しまたこれを取り消す。而して主は言う、すべてこはわが命に背く者の負うべき責任なり。
教56,5,この故に、先にわが僕トマス・ビー・マーシュおよびエズラ・テールに与えたるわが命令はこれを取り消し、

更にわが僕トマスに新しく命ず。すなわち彼は速に度に出で立ち、ミズーリの地に行くべし。わが僕セラ・ジェー・グリフィンもまた彼と共に行け。
教56,6,見よ、われまたわが僕セラ・ジェー・グリフィンとニューエル・ナイトとに下せる命令を取り消す。そは、トムソンに在るわが民の頑固なることと彼らに叛逆あることのためなり。
教56,7,この故にわが僕ニューエル・ナイトは彼らと共に止まれ。而してわが前に悔いる精神を持つ者にして行く心ある者は御名彼と共に行くべく、わが命じたる土地へ彼の指導に従いて行くべし。
教56,8,またわれ誠に汝らに告ぐ、わが僕エズラ・テールはその高慢と我侭とを悔い改めざるべからず。而して彼の住める土地に就きわが与えたる以前の命令を守るべし。
教56,9,もし彼悔い改めてわが命令を守らんとせば、土地の配分いまだその地に行われざるが故に彼はなおミズーリの地に行くことを命ぜらる。
教56,10,万群の主なる神言う。然らずば、彼は出せる金銭を返されてこの土地より出され、わが教会より断ち切らるべし。
教56,11,たとえ天地は過ぎ行くとも、この言は過ぎ行くことなくして必ず成就すべし。
教56,12,もしわが僕ジョセフ・スミス(2代目)が必ず金銭を払うべきならば、見よ、主なるわれは再びミズーリの地に於て彼ジョセフ・スミスに償わん。かくして、ジョセフに金銭を渡したる者たちはその為すところに従いて再び報いを受くべし。
教56,13,そは、彼らはその為すところによりて、誠にそのゆずりのための土地に於て報いを受くればなり。
教56,14,見よ、主かくの如くわが民に言う。汝ら為すべきこと悔い改むべきこと多し。見よ、汝らの罪はわれに達し、而も汝らは心のままに議らんと欲するによりその罪赦されざればなり。
教56,15,汝ら心に満足せず、真理に従わずして不義を喜ぶ。
教56,16,貧しき者に財物を与えんとせざる汝ら金持ちは禍なるかな。汝らの富は汝らを腐食すればなり。而して主の来りたもう日、また裁きの日、また主の怒りの日に汝らは歎き悲しみて言わん。ああ、刈り入れは終り夏はすでに過ぎ去りぬ。われは救われず、と。
教56,17,また真にへりくだりたる心を持たず深く罪を悔いる精神なく、腹に満足を抱かず、他人の物を取ることを止めず、その眼は貪りに満ち、己れの手を持って働かんとせざる汝ら貧乏人たちは禍なるかな。
教56,18,されど清き心、真にへりくだりたる心、悔いる精神を持てる貧しき物は幸福なるかな。そは彼らは、彼らを救い出さんために権能と大いなる栄光とを持って来る神の王国を見ん。地の豊かなるものは皆その人のものとなればなり。
教56,19,見よ、主は来らん。その報いを持ちて来らん。而して彼はあらゆる人々に報いを与え、貧しき者たちは悦びを得ん。
教56,20,而して、彼らの子孫は、いつまでも代々限りなく地をつぐ者とならん。今わが言わんとするところは是までに止む。誠に然り、 アーメン。
教57,,教義と聖約　第57章
教57,*-*,1831年7月、ミズーリ州ジャクソン郡シオンにて予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。主の命令に従い長老たちはカートランドよりミズーリへ旅したりしが、途中種々多くの経験を積み、また若干の反対にも逢いたり。レーマン人の劣化したる有様と
教57,*-*-1,ひろくこの民の間に文化、高雅、宗教などの欠けたる様をつらつら眺めて、予言者は悲しき心に祈りて絶叫せり"何時の日が荒野は薔薇の如く華さかむ。何時の日か今を盛りとシオンは建てられむ。末の世に万国の民の訪い来るべき主の神殿は何所にあるならん"と。わ
教57,*-*-1-1,わが教会の歴史、第1巻、189頁(英文)を見よ。指定せられ且つ聖くせられたる地。中心地を特に定めたもう。聖徒らは土地を購入する様指示せらる。これより来るべき他の者の為に準備を茄子ための命令。
教57,1,主なる汝の神言う。聴け、汝らわが教会の長老たちよ。わが命に従い、わが聖徒らの集る所と指示し聖くしたる地なるこの地、ミズーリに集り来れる長老たちよ。
教57,2,この故にこは約束の地にしてシオンの市を建つべき所なり。
教57,3,主なる汝の神かくの如く言う。汝らもし智恵を得んとすれば、そはここにあり。見よ、今インデペンデンスと称えらるる地はすなわち中心の地にして、神殿の建てらるる1地点はその西方に当り裁判所より遠からざる地所にあり。
教57,4,この故に聖徒たちは土地を贖うを賢しとす。また西の方ユダヤ人と異邦人との間を真直に走る境界線に至るまであらゆる土地を買入れ、
教57,5,また広野と境を接するあらゆる土地を、わが弟子たちが買入れ得るならば買入るるを賢しとす。見よ、彼らがこれを得て永久のゆずりとなすは賢きことなり。
教57,6,わが僕シドニー・ギルバートはわが命じたる職に在りて金銭を受け入れ、教会の代理人となりて、智恵の

働くままに義しく買入れ得ればすべて周りの土地を買うべし。
教57,7,またわが僕エドワード・パートリッヂはわが任命したる職に在りて、わが命じたる如く聖徒らにゆずりの土地を分配すべし。また、彼を助くる任命を彼より受けたる人々もかく為すべし。
教57,8,またわれ誠に汝らに告ぐ、わが僕シドニー・ギルバートはこの地に定住し、1軒店を開きて正直に品物を売り、かくして得たる金銭を以て聖徒のために土地を買い、また主の弟子たちがゆずりの地に定住するに必要なるものは何にても手に入るべし。
教57,9,また、わが僕シドニー・ギルバートに1つの免許証を得しむべし。これわが民に商品を遺らんがためにして、すなわち彼は自己の業務に雇いたる店員によりて商品を送るべし。見よ、これわが智恵の存するところなり。読む者須く了解すべし。
教57,10,かくして暗きに坐する者、死の蔭と死のあたりに坐する者にわが福音が説かれんためにわが聖徒たちを扶養すべし。
教57,11,また、われ誠に汝らに告ぐ、わが僕ウイリヤム・ダブルユ・フェルプスはこの地に定住して、教会のために印刷業者として職に就くべし。
教57,12,而して見よ、世の人々もし彼の著すところのものを受け入れなば(これわが智恵の存するところなり)、彼をして聖徒らのために正しき利益を彼の得るだけ収めしめよ。
教57,13,而してわが僕オリヴァ・カウドリは、たとえ如何なる地位にわれより任命せらるるとも、すなわちわが命じたる如く彼を助けて、彼によりて"みたま"が証したもう如くすべてのことわが前に正しとせらるる様、筆写、校訂、選択を為すべし。
教57,14,かくの如くわが今語りたるところの人々は、その家族と共に出来るだけ速にシオンの地に定住して正にわが語りし如く為すべし。
教57,15,さて集合に就きては、監督および代理人たる者はこの地に来れと命を受けたる家族たちのために、出来るだけ速に準備をなしてそのゆずりの地に定住せしむべし。
教57,16,而してその他の長老も教会員も為すべき事はこの後更に示さるべし。誠に然り、 アーメン。
教58,,教義と聖約　第58章
教58,*-*,1831年8月1日、ミズーリ州ジャクソン郡シオンにて予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。ミズーリ州ジャクソン郡に予言者とその1団が到着後、最初に迎えたる安息日に礼拝が守られ、2人の者バプテスマを受けて会員として迎えられたり。その週
教58,*-*-1,コーレスヴィルおよびその他の支部の会員たち到着せり、わが教会の歴史、第1巻、190頁(英文)を見よ。多数の者は、新集合地に於ける彼らに関する神の御旨を熱心に知らんとせり。多くの艱難を経たる後、続いて大いなる事の栄光と共に起るべきこと。監督会の
教58,*-*-1-1,或る義務。監督に警告さる。人々はその国の法律に従うべきこと、また教会の律法として啓示により給まりたる誡命を敬うべきを教えたもう。神の僕にはあらゆる事を強制することなくして、ただ勤勉活溌なることを求むべきこと。インデペンデンスにて土地を購入すべ
教58,*-*-1-1-1,ある者は止まりある者は導きと教えを施す働きの旅に出ずべきこと。各長老にその義務を割り当てたもう。東方に帰る者はシオンの地に関して見且つ知りたる事を証すべし。聖徒の集合は性急に指導せざること。
教58,1,聴け、汝らわが教会の長老たちよ。わが言に耳を傾けよ。汝らに関してわが欲するところ、また汝らを遣わしたるこの地に関してわが思うところをわれより知れ。
教58,2,われ誠に汝らに告ぐ、生くるも死ぬるもわが誡命を守る者は幸福なるかな。およそ艱難の中にも忠実なる者の酬いは天国に於て去らに大いなるべし。
教58,3,汝らは今後来らんとする事などに関する汝らの神のみこころ、および多くの艱難の後に続いて来るべき獲いっこうに就きては、現在肉眼を以てこれを見ることを得ず。
教58,4,多くの艱難の後に祝福は来る。この故に汝らが大いなる栄えの冠を受くべき日は来るなり。而してその時は未だ来らずといえども近きにあり。
教58,5,わが豫め告ぐるこの事を心に覚え、かくして汝ら須く心に銘じて次に来るべきものを受けよ。
教58,6,見よ、誠にわれ汝らに告ぐ、この目的のためにわれ汝らを遣わせるなり。そはすなわち汝ら従順ならんがため、またこの後来らんとすることの証をなす心構えをなさんためなり。
教58,7,また、汝ら基を開きかつ神のシオンの在るべき地の証をなる光栄を賜らんためなり。
教58,8,また貧しき者たちのために肥えたるもののもてなしの調えられんため、すなわちまことに肥えたるもののもてなし、おりを取りて精製せる葡萄の液などのもてなしを調えて、予言者たちの言うところは必ず成就さるべきを世に知らせんためなり。
教58,9,然り、立派に調えられたる主の家の晩餐にあらゆる国民を招かんがためなり。

教58,10,この晩餐にはまず富める者、学識ある者、賢き者、貴き者などあずかるべし。
教58,11,その後わが能力の日これに次で来る。その時貧しき者、足なえたる者、目見えざる者、耳聞えざる者などみな子羊の婚礼に来りて、やがて来るべき大いなる日のために備えられたる主の晩餐にあずからん。
教58,12,見よ、これらのことは主なるわれこれを語れり。
教58,13,またこれはこの証の言、シオンすなわち神のゆずりの市の門より世に出で行かんためなり。
教58,14,然り、この目的のためにわれ汝あをこの所に遣わし、わが僕エドワード・パートリッヂを選べてこの地に於ける使命に任ぜしむ。
教58,15,されど彼もし不信仰と心の暗き彼の罪を悔い改めざれば、滅びざらんがために彼に用心せしむべし。
教58,16,見よ、彼の使命はすでに与えられたり、再び与えらるることあるばからず。
教58,17,何人といえどもこの使命に立つ者は、古えの時代に在りし如くイスラエルの判事に任命せられ、神のゆずりの地を神の子らに分つなり。
教58,18,而してこの人はまた正しき人々の証詞と彼の副監督らの助けとにより、神の予言者らの与えたる王国の律法を以てその民を審くなり。
教58,19,われ誠に汝らに告ぐ、わが律法はこの地に於て守らるべきなり。
教58,20,何人も自らを支配者なりと思うべからず。されど神をして審く人をその聖旨のままに支配せしめよ。すなわち議する者または審判に坐する人を聖旨のままに支配せしめよ。
教58,21,何人もその国の律法を破ることなかれ。そは神の律法を守る者はその国の律法を敗る要なければなり。
教58,22,この故に今ある権力に服従し、統治すべき権能を持ちてすべての敵を脚下に踏みつくる者の統治する時の至るを待つべし。
教58,23,見よ、汝らがわが手より受けたる律法は教会の律法なり。汝らこの意義によりてわが律法を王焼けに言うべし。見よ、こはわが智恵の存するところなり。
教58,24,さて、われわが僕エドワード・パートリッヂに関して告げたる如く、この地は彼の居住の地にして、また彼の副監督として任命したる者たちおよびわれがわが倉庫の管理を命じたる者たちの居住する地なりとす。
教58,25,この故にその者たちは、彼らとわれとにて相議る通りにその家族をこの地に連れ来るべし。
教58,26,見よ、われ汝らにすべての事を悉く銘ずるは至当ならず、そは、すべての事已むを得ざれば為さざる者は怠惰なり、賢き僕にあらざればなり。これを以て彼は予期報いを受くることなし。
教58,27,われ誠に汝らに告ぐ、人は努めて善き業に従い、多くの事をその自由意志によりて為し、多くの正しき事を為し遂げよ。
教58,28,そは人自らの中に自由の意志ありて己れの事を自ら為す者なればなり。従って人善を為さば決してその報いを失わざらん。
教58,29,され度命令を受くるまでは何事をもなすことなく、疑いの心を以て命令を受けこれを不精不精に守る者は救われず、
教58,30,主は言う、人間を創りしはわれにあらずや。われ、わが命に従わざる者を罪なしとせざらんや。
教58,31,主は言う、われ約束してこれを果さざりしことあらんや。
教58,32,われ命を下すに人これに従わずば、われ我約束を取消し祝福を与えず。
教58,33,その時、人々心の中に言わん。こは主の御業にあらず、主の約束されざればなりと。されどかくの如き人は禍なるかな。その報いは地の下に潜み、天よりの報いあらざればなり。
教58,34,今、われこの地に就きて更に命令を下す。
教58,35,わが僕マーテン・ハリス当教会の監督に金銭を納入したるに就きては、汝須らく彼を教会の模範とすべし。これ、わが智恵の存する所なり。
教58,36,またこれはおよそこの地に来りてゆずりの地を受くる総ての者への律法にして、彼らは律法の命ずるところに従い金銭を納入すべし。
教58,37,またインデペンデンスに、教会の倉庫ならびに印刷所を建つる所となすため土地を購入するは賢し。
教58,38,わが僕マーテン・ハリスに関する他の命令に就きては"みたま"によりて彼に与えらるべし。かくして、彼はそのゆずりの地を自ら善しと見る所に従いて受くべし。
教58,39,されど彼は世の誉を得んと求むる故に、その罪を悔い改むべし。
教58,40,また、わが僕ウイリヤム・ダブルユ・フェルプスは、わが任命したる職にありてその土地に於てゆずりを受くべし。
教58,41,而して彼もまた悔い改むる要あり。彼は人より勝らんとしてわが前に充分謙遜にあらざれば、主なるわれの悦ぶところとならざればなり。
教58,42,見よ、およそすでにその罪を悔い改めたる者は赦され、主なるわれもはやこれを忘るべし。

教58,43,人罪を悔い改めしや否やは、見よ、彼は自らこれを告白しその罪を捨つべければ、その悔い改めたることはこれによりて知るを得べし。
教58,44,さて誠にわれわが教会のその余の長老たちに就きて告ぐ、彼らがこの地に於てそのゆずりの地を受くるの時期はいまだ長年の間至らず。ただ彼らは信仰の祈りによりてこれを願い、ただ主の命ずるところに従いてのみこれを受くべきなり。
教58,45,見よ、彼らは世界の隅々より人々を押し集めん。
教58,46,この故に汝ら寄り集まれ。而してこの地に止まることを命ぜられざる者は、この周りの地方に於て福音を説き然る後各自の家に帰り来るべし。
教58,47,彼らは行く行く教えを説きて至る所に真理の証をなし、富める者、位高き者、卑しき者、貧しき者を説いて悔改めを為さしむべし。
教58,48,世に住む民悔改むる心あらば、彼らに教会を建てさせよ。
教58,49,また教会員の支持の挙手によりてオハイオの教会の代理人を定め、シオンに於て土地を買うべき金銭を受け入れしむべし。
教58,50,われわが僕シドニー・リグドンに1つの誡命を与え、彼に"みたま"の示すところによりシオンの地の詳細と神の旨を述べたるところとを記録せしむべし。
教58,51,彼また金銭を得るために、申込書を附したる書簡をすべての教会員に遣わして、神の子らが受けつぐための地を贖わんがため彼の善しと見または彼の命ずるが如く、監督彼自らまたは代理人の手中に金銭を納めしむべし。
教58,52,見よわれ誠に汝らに告ぐ、主は弟子たちおよび人の子らその心を開きて、まことに出来得るだけ、速にこの地方の土地を全部買うことを意とす。
教58,53,見よ、ここに智恵ありて存す。彼らに血を流すことなくしてゆずりの血を受けしめんがためにかく為さしめよ。
教58,54,またすでに土地を手に入れたらば、あらゆる種類の動き人をこの所に送りて神の聖徒のために働きを為さしむべし。
教58,55,すべてこれらの事は秩序正しくなさるべく、また土地の特権に就きては教会の監督および代理人をして折々報告せしむべし。
教58,56,シオンに集ることに就きては性急にこれを為すべからず。また逃げ走りてこれを為すべからず。ただ教会の長老たち、時々に受けたる知識により大会にて相議る所の如くこれを為すべきなり。
教58,57,わが僕シドニー・リグドンは、この地と神殿を建つべき地点とを聖くして主に捧げよ。
教58,58,また大会の集会を召集せよ。その後わが僕シドニー・リグドンとジョセフ・スミス(2代目)はまたオリヴァ・カウドリと共に以前の土地に帰り、もと彼らの土地い於てわが命じたる事業の残りを完成し、またその大会によりて規定せらるべき残務を整理すべし。
教58,59,而してこの地より帰る者皆その知るところと最も確く信ずるところとを途々証すべし。
教58,60,ザイバ・ピーターソンに与えたるところのものを彼より取り去るべし。されど彼を教会内の1会員としてあらしめ、彼がすべての罪を充分懲しめらるるまで兄弟たちと共に自らの手を以て働かしむべし。そは彼の罪を告白せずしてこれを隠さんと思えばなり。
教58,61,この教会の長老たちの残りの者にしてこの地に来らんとし、而もその中に限りなく非常なる恵みを受けたる者ある人たちはまたこの地に於て大会を開くべし。
教58,62,而して彼らの開くこの大会は、わが僕エドワード・パートリッヂこれを司会すべし。
教58,63,またこの人々も家へ蛙に途々福音を説き、また彼らに啓示されたるところのことを証して帰るべし。
教58,64,誠にその声はこの地より出で行きて、全世界と世のあらゆる隅々までも及ばざるべからず。すなわち、わが福音はあらゆる人々に説き教えられざるべからず。これを信ずる者には徴伴う。
教58,65,見よ、それ人の子は来るなり。 アーメン。
教59,,教義と聖約　第59章
教59,*-*,1831年8月7日、ミズーリ州ジャクソン郡シオンにて予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。この啓示を誌すに先立ち、予言者は当時わが民の集合し居たりしシオンの地に就きて1々ありのままを書き誌す。わが教会の歴史、第1巻196頁(英文)を
教59,*-*-1,主の命じたもう如くその土地は聖くせられ、将来神殿を建つるべき敷地神に献げられたり。主はこれらの誡命は特にシオンに住む聖徒の守るべきものなりとしたもう。従順にジャクソン郡に集合したるにより人々を賞め給う。モーセの十誡にある若干の誡命を再び述べた
教59,*-*-1-1,安息日の神聖を強調さる。すべての事に、神の御手のあるを告白せざるは悲しむべき罪なり。
教59,1,主は言う。わが命に従い、誠心を以てわが栄光を仰ぎ見て今この地に集り来れる人々は、見よ、幸福なる

かな。
教59,2,そは生くる者は地をつぐことを得、死ぬる者は全く働きを休みて安息を得。されど彼らのなしたる業はその人々につき従いて、わが備えたる父の住まいに於て冠を受けしむればなり。
教59,3,然り、その足シオンの地の上に立ちて、わが福音に従い居る者は幸福なるかな。その者は報いとして地の善きものを受け、而も地はそれを力強く生ずべければなり。
教59,4,またわが前に忠実にして勤勉なる者は、天より祝福をもて冠を受くべく、また誠に少からざる誡命とその時々に関する啓示とを与えらるるなり。
教59,5,この故に、われ彼らに1つの誡命を与う。曰く、汝心を尽し、勢力と思いと体力とを尽して主なる汝の神を愛すべし。また、イエス・キリストの名によりて神に仕うべし。
教59,6,汝己れの如く汝の隣りを愛せよ。汝盗むなかれ。また、姦淫を犯すなかれ。また、人を殺すなかれ。また何事にてもこれに類することを為すことなかれ。
教59,7,すべての子tに就きて、主なる汝の神に感謝すべし。
教59,8,汝誠に真にへりくだりたる心と悔いる精神とを以て、汝の神に義しき捧物となすべし。
教59,9,汝なおさら充分に世の汚れに染まざる様、祈りの家に行きてわが誠実に汝の正式を捧ぐべし。
教59,10,そは誠にこの聖日は、汝命ぜられて働きを易み、いと高き者に礼拝を捧ぐべき日なればなり。
教59,11,さりながら汝の誓言は、正しく毎日常に神に捧げられざるべからず。
教59,12,されどこの主の聖日に於ては、いと高き者に汝の捧物と聖式とを奉りて、兄弟たちに向い主の前に於て汝の罪を告白するを忘るべからず。
教59,13,而して汝この日には他に何事をもなすことなかれ。ただ汝が断食を完からしめんため、言い換うれば汝悦びを以て充されんため、真心をこめてその食物を支度することのみを為すべし。
教59,14,誠にこれは断食と祈りにして、言を換えて言えば悦びと祈りなり。
教59,15,而して汝ら感謝と愉快なる心と顔容とを以てこれを為さば、一一多く笑いてこれを為すなかれ、そは罪悪なればなり、されば悦ばしき心と愉快なる顔容とを以てなせ、一一
教59,16,われ誠に汝らに告ぐ、汝らこれを為さば地に満つるすべてのものは汝らに与えらるべし。すなわち野の獣、空の鳥、木によずるもの、地上を歩くものは汝らのものとなるべし。
教59,17,然り、また汝ら食物、衣服、家屋、小屋、果樹園、野菜畑、葡萄園など何れにしても、それらのために地より生ずる諸々の草と善きもの、
教59,18,然り、すべてこれら季節によりて地より生ずるものは、皆人の為人の用いんために造られ、眼を楽しませ、また等しく心を悦ばせんためなり、
教59,19,然り、これらは肉体を健にし人に元気をつくるよう、食物、衣服、味、香りのために造らる。
教59,20,而して、すべてこれらのものを人に与えたるは神の悦びとするところにして、この目的のためにこれらは造られたれば、人は適量にこれを用いて貪らずまたは無理に取りて用うべからず。
教59,21,およそ人何事にも神を怒らせずまたは何事にも神の怒り燃ゆることなし、ただすべての事の中に神の御手のあることを告白せず、その誡命に従わざる者に神の怒りあり。
教59,22,見よ、こはすべて律法よ予言者らとによるなり。これを以てこの事に就きてもはやわれを煩わすことなかれ。
教59,23,されど汝知るべし。正しき業を行う者はよき報いを得、すなわちこの世に在りては平和を得、次の世に在りては永遠の生命を得ん。
教59,24,主なるわれこの事を語り、而して"みたま"これが証をなすなり。 アーメン。
教60,,教義と聖約　第60章
教60,*-*,1831年8月8日、ミズーリ州ジャクソン郡にて予言者ジョセフ・スミスによりて下し給える啓示。この啓示は、すでに東部に帰るべき任命を受けて、如何に歩を進むべきか、また如何なる道をとり如何様にして旅行すべきかを知りたき望みを有ちたりし長老たちに係
教60,*-*-1,なりき。自らの才能を用いることを怠り、受けたる知識を証せざりし者たちを責められる。オハイオ州に長老たちの帰ることに就き特に訓えらる。その他いまだシオンに到着せざる者は、神の言を宣べつつ帰り来るべきこと。
教60,1,見よ、主なる神、その教会の長老たちにかく言う。彼らの立ち出でたるもとの地にこれより速に帰るべき教会の長老たち、見よ、汝らのこの地まで来りたるはわが悦ぶところなり。
教60,2,されど汝らの中、或る人々はわが悦ぶところにあらず。そは彼ら人を怖れて、己が口を開かんとせずしてわが与えたる才能をかくすによる。禍なるかな、かかる人々よ。わが怒りは彼らに向かいて燃ゆればなり。
教60,3,彼ら今より更にわれに忠実なるにあらざれば彼らの持つものまでも取り去られん。
教60,4,主なるわれは上は諸天を支配し、また世の万群の中にありて統べしらす、故にかれらをもてわが宝とする

日には、すべての人々神の能力に就きて言われしことの何なるかを覚るところあらん。
教60,5,されど、誠ににわれ今汝らの立ち出でて来りし地へ帰るべき旅に関して語らん。汝ら、1隻の船を調うべし。これを買うとは汝らの欲するままにせよ。そはわれの関せざるところにして、汝ら船に乗りて速にセント・ルイスと称うる地に向って行け
教60,6,而して、わが僕シドニー・リグドン、ジョセフ・スミス（2代目）およびオリヴァ・カウドリはその所よりシンシナチに旅して行くべし。
教60,7,この地に於て汝らは怒ることなく疑うことなく高き声を挙げ、わが言を宣べて人々の上に聖き手を挙げよ。われ汝らを聖く為し得る故に、汝らの罪赦さるればなり。
教60,8,而してその余の人々は2人づつ相伴いてセント・ルイスより旅に出で悪しき人々の集りの中に急ぐことなくわが言を説き、ついにその出で来りし教会に帰り行くべし。
教60,9,すべてこれらは教会のためにして、このためにわれ彼らを遣わしたるなり。
教60,10,わが僕エドワード・パートリッヂは、わが与えたる金銭の1部を割きて、帰れとの命を受くるわが長老たちに与うべし。
教60,11,而してこれを返済し得る者は代理人の手によりてこれを教会に返済せしめ、また返済し得ざる者には返済を要求せず。
教60,12,さてわれまた、これよりこの地に来るべきその余の者共に就きて語らんとす。
教60,13,見よ、彼らはわが福音を悪しき人々の集りの中にて説かんがために遣わされたる者なり。これを以てわれ彼らに1つの誡命を与う。すなわち汝らは時を空しく過すことなかれ。また、人々に知られざらんがために汝らの才能をかくすべからず。
教60,14,汝らシオンの地に達しわが言を宣べたる後は速に帰り来りて、悪しき人々の集りの中に急ぐことなく、また怒ることなく、争うことなくわが言を宣べよ。
教60,15,而して汝らを受け入れざる者には、これに向って汝らの足の塵を掃い去れ。ただし彼らをして怒らざらしめんために、その面前に於てこれをなさず人知れず為すべし。また、審判の日に於ける彼らに対する1つの証として汝らの足を洗うべし。
教60,16,見よ、こは汝らにとりて充分にして、また汝らを遣わしたる者の意なり。
教60,17,而して、わが僕ジョセフ・スミス（2代目）の口により、シドニー・ルグドンおよびオリヴァ・カウドリに就きて知らしむべし。その余はこの次に、誠に然り、　アーメン。
教61,,教義と聖約　　第61章
教61,*-*,1831年8月12日、マクイルウエインス・ベンドなるミズーリ河の岸にて、予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。予言者と10人の長老たちは独木船にてミズーリ河を下りたりき。河下りの第1日、すでに多くの危険なる目に逢いたり。長老ウイリヤ
教61,*-*-1,・フェルプスは、権能を執りて河の面を乗り来る"破壊者"を白日の示現中に見たり。わが教会の歴史、第1巻、203頁（英文）を見よ。長老たちは急速に河を下らざること、急げば教えを説く機を失する故なり。長老たちは、水上にある"破壊者"の能力を証するた
教61,*-*-1-1,所まで船路にて来るを許されたり。シオンに来ること遅き者は、これに就きて警めらるべし。組織せられたる支部に就き、大管長会の慎重なる考慮必要なり。非教会員に教えを宣ぶる特別なる働きは、そのために任命されたる長老たちに託されたり。
教61,1,見よ、而してすべての権能を持ち、永遠より永遠に存し、すなわちアルパにしてオメガ、始めにして終りなる者の声を聴け。
教61,2,見よ、誠に主汝らにかく言う。この地点に集れるわが教会の長老たちよ。主なるわれは罪を赦し、且つへりくだれる心を以て罪を告白する者に恵み深くあれば、今汝らの罪は赦されたり。
教61,3,されどわれ誠に汝らに告ぐ、汝らわが教会の長老たちより成るこの全隊が急ぎて水の上を移り行くを要せず。この河の両岸に住める人々不信仰の中に今滅びつつあるのに、然かするには及ばざるなり。
教61,4,さりながら、われ汝らが証をなさんためにそれを許せり。見よ、多くの危険水の上にあり。特にこの後更に危険多し。
教61,5,主なるわれ、わが憤りの中の水の上に多くの滅びあるべしと定めたればなり。然り、特にこのあたりの水の上に滅びあり。
教61,6,さりながらすべて生くる物はわが手の中にあるならば、汝らの中忠信なる者は水のために死ぬることなかるべし。
教61,7,その故に、わが僕シドニー・ギルバートおよびわが僕ウイリヤム・ダブルユ・フェルプスの両人は、急ぎて彼らの用と氏名に赴く必要あり。
教61,8,さりながら汝らが1つになるため、また邪曲のために滅びさらんために、汝らの為したるすべての罪の故に

懲しめを受くるまでは汝らの別るるを許すを欲せざりき。
教61,9,されど今われ誠に汝らに告ぐ、汝らの別るるはわが心にかなうところなり。この故にわが僕シドニー・ギツバートおよびウイリヤム・ダブルユ・フェルプスは、先の隊を率いて急ぎ出で立ち、かくて彼らの使命を遂行せよ。さらば、信仰によりて汝らは勝利を得べし。
教61,10,彼ら忠信ならば主の加護あり。また、主なるわれ彼らと共に在らん。
教61,11,而して残りの者には被服のため必要なるものを取らしむべし。
教61,12,わが僕シドニー・ギルバートには、彼に必要ならざる物も汝の心に適うまま携えしめよ。
教61,13,さて見よ、われ汝らのためにこれらに就きて1つの誡命を与えたり。而して主なるわれは、古えの人々となしたる如く汝らと共に論らわん。
教61,14,見よ主なるわれ、始めには水を祝福したりしが、末の世に於てはわが僕ヨハネの口によりて水を咀いたり。
教61,15,この故に、何人も水の上にて安全ならざる時代来るべし。
教61,16,而して心の義しき者のほか、何人も水の上よりシオンに行くこと能わずと言わるる時代来らん。
教61,17,主なるわれ、始めに於て地を咀いし如く、正に今末の世に於ては聖徒らが地の豊なる者を受けんために、その時期に於て聖徒らの用に地を祝福せり。
教61,18,さて、われ汝らに1つの誡命を与う。およそ1人に言うところは万人にこれを言うなり。すなわち、汝らこれらの水に就き預め兄弟たちを警めよ。これらの水の上を度せぬ様にせよ。これ彼らの信仰を失い、その孫締に陥らざらんがためなり。
教61,19,主われ命じたれば、"破壊者"水の上に浮ぶ。而してわれこの命を取消さず。
教61,20,主なるわれ昨日汝らを憤りたり。されど、今日わが憤りは解けたり。
教61,21,この故にわれの就きて語りたる者たちは急ぎて旅に出でよ。われ重ねて言う、彼ら急ぎて旅に出ずべし。
教61,22,今暫しの後彼らその使命を果したらば、河の上を行くも陸の上を行くもわれあえて係わりなし。その後は彼ら自らの判断によりて知らさるる毎kこれを為せ。
教61,23,さて、わが僕シドニー・リグドン、ジョセフ・スミス(2代目)およびオリヴァ・カウドリに就きて、彼ら帰途に就く間は再びただ運河の上以外水の上を行くべからず。すなわち言い換うれば、ただ運河のほかは水の上を旅して帰り来ることなかれ。
教61,24,見よ、主なるわれ、わが聖徒たの旅路に就きて1つの途を指示せり。見よ、すなわち聖徒らは旅してシオンに上り行けと命ぜられたれば、運河を捨てたる後は陸を旅すべし。
教61,25,而して彼らはイスラエルの子孫の為したる如くし、途々天幕を張るべし。
教61,26,而して見よ、この命令はすべての兄弟たちに伝うべし。
教61,27,さりながら水を支配する権能を与えらるる者には、"みたま"によりて彼の行くあらゆる途は示さるべし。
教61,28,この故に今度為すべきことはすべてわれに帰する故に、彼は水上にても陸上にても、生ける神の"みたま"の命じたもう如く為すべし。
教61,29,而して聖徒の行くべき道、すなわち主の陣営の聖徒の旅行すべき道は汝らに示さる。
教61,30,またわれ誠に汝らに告ぐ、わが僕シドニー・リグドン、ジョセフ・スミス(2代目)およびオリヴァ・カウドリは、シンシナチに達するまで悪しき人々の集りの中にて口を開くべからず。
教61,31,彼ら其所に於て、その人々に向い神を仰いで声を挙げよ。然り、今やその滅亡の期熟したる民の悪に向いて憤りの燃ゆる神に声を挙げよ。
教61,32,而して、彼らは其所を去りて兄弟たちの集る所に向いて行け。其所にては悪しき人々の集りの中に於けるよりも、汝らの働きを要すること今日なお大いなればなり。
教61,33,さて残る人々に就きては、これらは旅に出で宣ぶるべき言の与えらるるに応じて、悪しき人々の集りの中にてこの言を宣べ伝うべし。
教61,34,彼らこのことを為さば、彼らの衣よりその罪除かるべし。さらば、彼らわが前に潔白とならん。
教61,35,彼ら旅するには、彼らの心に適う2人づつ相伴いて行け。ただわが心に悦ぶ僕レイノルヅ・カフンおよびわが僕サアミュエル・エッチ・スミスは、彼らの家に帰り着くまで別るるべからず。これわが有する賢き目的のためなり。
教61,36,さてわれ誠に汝らに告ぐ、1人に言うところは万人に言うなり。幼児らよ、心安かれ。われ汝らの唯中にあり。われ汝らを捨てしことなければなり。
教61,37,汝らわが前にへりくだれば、王国の祝福は汝らのものなり。
教61,38,汝ら腰に帯し、油断なく真面目に人の子の来るを待て。人の子は汝らの思わざる時来ればなり。
教61,39,汝ら誘惑に陥らざる様、また生くるも死ぬるも人の子の来る日に堪えんことを常に祈るべし。誠に然り、

アーメン。
教62,,教義と聖約　第62章
教62,*-*,1831年8月13日、ミズーリ河の岸にて予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。この日の予言者と彼の助言者たちはシオンの地に行く途中なる数人の長老に行き逢い、楽しく挨拶を交したる後この啓示を受け1同激励せられたり。忠実なる長老たちの働
教62,*-*-1,賞めたもう。シオンに行く途中の者たちは、将来再び帰り来りてその導きと教えを施す働きをつずくることを語りたり。
教62,1,見よ、且つ聴け、汝らわが教会の長老たちよ。人々の弱きを知り、誘惑に陥る者を救う方法を知る主なる汝らの神、すなわちイエス・キリスト、汝らの仲保者かくの如く言う。
教62,2,誠にわが眼は、いまさなおシオンに上り来らざる者の上にあり。この故に汝らの氏名いまだ果されず。
教62,3,さりながら汝らは幸福なり。汝らの為したる証は、天使らの見るために天に録されたればなり。天使らは汝らに就きて悦び汝らの罪赦さる。
教62,4,さて汝らはこの旅をつずけよ。汝らシオンの地に寄り集まりて集会を開き、共に悦びていと高き者に正式を捧ぐべし。
教62,5,然る後汝ら帰りて証するがよし。すなわちその帰りは、汝らの意に適う如く総体にて帰るもまた2人づつ伴いて帰るもわれの意とするところにあらず。ただ忠実にして、寄に住む人々にまたは悪しき人々の集りの中にて喜びの音信を宣ぶるべし。
教62,6,見よ、主なるわれは約束の成就されんために、また汝らの中の忠実なる者を護りミズーリの地に於て共に悦ばしめんとして汝らを寄せ集めたり。主なるわれは、忠実なる者に約束して決して欺く筈なし。
教62,7,もし汝らの中、誰にても馬またはろばまたは車に乗らんことを願う者ありて、もしすべてに感謝する心を以て主の御手より恵を受くるならば、主なるわれは喜びて彼に以上の恵みを与うるものなり。
教62,8,これらのことは、"みたま"の判定し且つ指示したもう所に従いて汝の為すに任せらる。
教62,9,見よ、王国は汝らの者なり。見よ、みよ、われは常に忠実なる者と共に居るなり。誠に然り、 アーメン。
教63,,教義と聖約　第63章
教63,*-*,1831年8月、オハイオ州カートランドえ予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示。予言者はこの啓示の前書に誌して曰く"今わが教会の揺らん期に当り、人々はどの途われらの救いにかかわるあらゆる問題に就き主の言を給らんことを切望せり。またシオンの地
教63,*-*-1,今われらの考うる最も重要なるこの世の目的物なるにより、余は聖徒の集合、土地の買収その他に就き更に導きを給わらんことを主に願い求めたり"と。わが教会の歴史、第1巻、207頁（英文）を見よ。悪人に対するおごそかなる警告、神の現われと悪魔の能力によ
教63,*-*-1-1,造り出されたるしるし。姦淫の罪を特に咎めらる。聖徒らはシオンに来る能力あるにより、シオンに集れと命じたもう。されど混乱を生ずるを避くるため、、不必要に急がざること。土地は金銭を以て買収すべきこと、暴力を以て取るなかれ、主にありて死ぬる物は幸福
教63,*-*-1-1-1,"福千年"の間に死ぬる者の境遇。シドニー・リグドン、高慢の故に叱責せらる。権能なきに主の御名を用うる者は罪に定めらると宣言せらる。
教63,1,聴け、汝ら人々よ。而して汝らの心を平木、遥かなるかなたより耳を傾けよ。よく聞けよ。主の民と自ら称うる人々よ。主の言と汝らにかかわる主の意とを聞け、
教63,2,誠に汝らに告ぐ、悪しき者叛く者たちに向かいて憤りに燃ゆる者の言を聞け、と。
教63,3,その者は取らんと思えばその人を取り、護らんと欲すればその人の生命を護る。
教63,4,その者は護り立てんこころあらば欲するままに守り立て、壊らんと欲するときは人を地獄に投げ入るるを得。
教63,5,見よ、主なるわれ声を上ぐれば事従わざるべからず。
教63,6,この故にわれ誠に告ぐ、悪しき者たちは要人せよ。叛く者たちは怖れ震い、神を信ぜざる者たちは口をつぐむべし。そは、わが憤りの日は旋風の如く彼らに襲い来りて、すべて生くる者われの神なることを知るべければなり。
教63,7,その時、誌しを求むる者はこれを見るべし。されど救いを得ることなからん。
教63,8,われ誠に汝らに告ぐ、汝らのうち徴を求むる者あり、然り、かくの如き者は誠に始めよりすらありたるなり。
教63,9,されど見よ、信仰に徴によりて来らず、徴は信ずる者に伴いて来るなり。
教63,10,然り、徴は信仰によりて来る、人の欲するところ好むところに従って来るにあらず、ただ神の御意によるなり。
教63,11,それ、徴は信仰によりて来り偉大なる業をなすなり。信仰なければ何人も神の御旨に適わず。また神の怒りを受くる者は神この者を悦びたまわず。この故に、かかる人には神これに徴を示したまわず、ただこれを怒りて

罪ありとなしたもうなり。
教63,12,この故に主なるわれ、汝らの中信仰を得んために徴と驚異とを求めて、人のためにわが栄光を現さんとしてこれらを求めざる者を悦ばす。
教63,13,さりながらわれ汝らに誡命を与うるに、汝らの多くはわが誡命より背き去りてこれを守らざりき。
教63,14,汝らのうち、姦淫をなす男女ありたり。この中ある者は汝らを離れたれど、ある者は依然汝らと共にあり。この事は今後汝らの前に発かるべし。
教63,15,かかる人々は要人して速に悔い改むべし。そは審判の係締の如く彼らに襲い来りて、その愚なる行為明らかにせられ、その行いの彼らの身につき従いて民の眼に見られざらんがためなり。
教63,16,而して、われ誠に汝らに告ぐ、われ先に告げたる如く、女を見て欲情を起す者あらば、すなわちもし誰にても心の中に姦淫をなさば、それらの者は"みたま"を受くることなくして信仰を拒み且つ怖れを抱くべし。
教63,17,この故に主なるわれ言いたり。すなわちおよそ怖れを抱く者、信仰なき者、すべて虚偽を言う者、虚偽を好てこれを為す者、あそびめを買う者、魔術を行う者たちは燃ゆる硫黄の湖にその分を受くべし。これすなわち第2の死なりとす。
教63,18,誠にわれ告ぐ、これらの人々は最初の復活に与ることなし。
教63,19,さて見よ、主なるわれ汝らに告ぐ、かかる事汝らの中にあるにより汝ら義しとせられず。
教63,20,さりながら、信仰して堪え忍びわが意を行う者は勝利を得て、地球の本質変る時至らばこの世の上に於てゆずりの地を与えられん。
教63,21,また誠にかの山の上にてわが使徒たちに締めされたる雛形の如く地球の本質変るべき時至らば、汝らのゆずりの地与えられん。されど汝らはこれに就きいまだ完全なる説明を受けざるなり。
教63,22,さてわれ誠に汝らに告ぐ、われ先に言いし如く、われ汝らにわが意を知らせんと欲するに、見よ、われ汝らにわが意を知らするに誡命を以てせず、そは汝らのうち誡命に従いて守らざる者多くあるを以てなり。
教63,23,されど、わが誡命を守る者にはわれ王国の奥義を示さん。而してこれは彼の中にて生ける水の井戸となり、生ける水は湧き出でて永遠の生命とならん。
教63,24,さて見よ、主の聖徒にかかわる主なる汝らの神の意はかくの如し。すなわち汝らはシオンの地に寄り集るべし。されど、混乱を生じてこれが疫病を起さざるよう、急ぎて事を為すなかれ。
教63,25,見よ、シオンの地、主なるわれわが手の中にこれを保たん。
教63,26,さりながら主なるわれは、カイザルの物はこれをカイザルに返す。
教63,27,この故に、われは汝ら土地を贖いて以て先んじて寄の人々を制し、また世の人々に対して権利を保ちて世の人々の怒ることなからしめんと欲す。
教63,28,そはサタン彼らの心を動して汝らに向かいて怒らしめ、血を流すことうを為さしむればなり。
教63,29,この故にシオンの地は、ただ購入によるか然らずんば血を流すことによるか、これらのことによりてのみこれを得べきものとす。この他にゆずりの血汝らに無し。
教63,30,もし、土地を購入によりて得るならば汝らは幸福なり。
教63,31,もし血を流すことに依らば、流血は汝らに禁ぜられしところにして、見よ、敵は襲いかかりて町より町、会堂より会堂に汝らを苦しめ、ゆずりの地を受くるに堪うる者ほとんどなからん。
教63,32,主、われは悪しき人々に対して怒り、地に住める人々には今わが"みたま"を与えず。
教63,33,われ怒りて誓いをなし地の面に戦あれと命じたれば、悪しき者悪しき者を殺し、あらゆる人々恐怖におそわれん。
教63,34,而して聖徒らもまたほとんど逃るること能わざらん。さりながら主われは聖徒らに与し、御父の前より天下り来り、消えざる火を以て悪しき人々を焼き尽さん。
教63,35,見よこのことは、今起ることなくともやがて起るなり。
教63,36,この故に、主なるわれすべてこれらのことの地の面にあるべきを定めたるを以て、われは聖徒らのシオンの地に集ることを欲するなり。
教63,37,また、人ことごとくその手に正義を取り腰に忠信を纏いて、世に住める人々に警めの声を挙げ、言と逃げ走ることと両つながらによりて悪人の上に荒廃のおそい来るを宣べんことを欲す。
教63,38,この故に、この農場に住めるカートランドのわが弟子たちは彼らの俗務を処理すべし。
教63,39,この農場の世話をなせるわが僕タイタス・ビリングスは、その土地を処分して明年の春シオンの地に上り来るための準備を為すべし。而してかれは、わが後に命ずるまで来るを許さず而もわが為に保留する人々を除きて、今その土地に住む人々を伴いて来るべし。
教63,40,また余し得るすべての金銭は、その多少はわが関する所にあらずこれをことごとくシオンの地に送り、これを受け入るるためにわが任命せる有Nに受け取らしめよ。
教63,41,見よ、主なるわれわが僕ジョセフ・スミス(2代目)に、シオンの地に上り行くべき者とわが弟子の中にて止

まるべき者とを"みたま"によりて見分け得る能力を与えん。
教63,42,わが僕ニューエル・ケイ・ホイットニーには、なお暫しの間、彼の店言い換うればかの店舗を保持せしむべし。
教63,43,さりながら、彼をして頒ち能う限りの金銭はこれをシオンの地に送らしむべし。
教63,44,見よ、これらのことは彼の自由なり、彼をして懸命に処理せしむべし。
教63,45,われ誠に告ぐ、彼をこの土地に留まるべきわが弟子たちの代理人として、彼をこの代理人たる権能を有する職に任ぜよ。
教63,46,彼は今や速に教会員を訪い、わが僕オリヴァ・カウドリと共にこれらのことをその人々に解き証すべきなり。見よ、これ誠にわが命じたる如く金銭を得るに就きてのわが意なり。
教63,47,忠信にして堪え忍ぶ者は世に打ち勝たん。
教63,48,シオンの地に財宝を送る者は、この世にありてはゆずりを得、その行為は彼の身に伴い、また来るべき後の世に於てよき報いあるべし。
教63,49,誠に、この後主にありて死ぬる者は幸福なるかな。主来りて古き者過ぎ行きすべてのもの新しくなる時、彼ら死にし者よりよみがえり、その後死ぬることなく聖き町にて主お御前に1つのゆずりを受けん。
教63,50,而して主の来る時生き永らえ、信仰を保つ者は幸福なるかな。さりながら、その人齢充つれば死ぬるべく命ぜらる。
教63,51,この故に、幼児は年老うるまで長じ、老いたる者は死なん。されど、彼らは塵の中に眠るにあらずして瞬く間に変らん。
教63,52,これを以てこの事あるがため、使徒たちは死者の復活に就きて世の人々に教えを説きしなり。
教63,53,これらのことは、汝らの待ち望まねばならぬことにして、主の言い方によりて言えばこれらのことはすでに近づけり。すなわち、やがて人の子の来る日にこれらのことはあるなり。
教63,54,その時までは賢き者たちの中に愚なる処女たちあるべし。而して、その時悪しき者と正しき者とは全く分たる。またその日にわれわが天使たちを遣わして悪しき者を抜き取り、これを消えざる火の中に投げ入れん。
教63,55,さて見よ、われ誠に汝らに告ぐ、主なるわれ今わが僕シドニー・リグドンを悦ばず。彼は慢心していさめを容れずして"みたま"を悲しませたり。
教63,56,この故に彼の書きしものを主は容れず、故に彼は今1度これを書く改むべし。而してその後なお主の受くるところとならずば、見よ彼はわが任じたる職に留るを得ず。
教63,57,またわれ誠に汝らに告ぐ、柔和なる心を以て罪人に悔改めよと警めの言を告げんと心に希う者あらば、その者をこの権能を有する職に按手任命せよ。
教63,58,そもそも今は警めを継ぐる時にして、多くの言を費すべき時にあらざるなり。主なるわれは、末の世に於て欺かれざればなり。
教63,59,見よわれは天より来り、わが能力は地の上にあり、われはすべてのものの上にあり、すべてのものの中にあり、すべてのものを貫きてあり、またすべてのものをたずぬ。されば、すべてのものわれに従うべき日来るなり。
教63,60,見よ、われはアルパなりオメガなり。すなわちイエス・キリストなり。
教63,61,この故に、世の人々わが名を如何様に口に上すかを気を付けよ。
教63,62,見よ誠にわれ告ぐ、世には多くこの罪の宣告を受くる者あり。彼らは主の名を用い、空しく主の名を用いておよそ権威なし。
教63,63,この故に、わが教会の人々はその罪を悔改めよ。さらば主なるわれその者たちをわがものとすべし。然らざれば、彼ら断ち切らるべし。
教63,64,およそ天より来るものは聖きことを憶えよ。故に心してこれを語り、また"みたま"の導きのままにこれを語らざるべからず。さらばこれにて罪あることなく且つ汝ら"みたま"を祈りによりて与えらる。この故に、これを為さざればなお依然罪あるなり。
教63,65,わが僕ジョセフ・スミス(2代目)およびシドニー・リグドンは、"みたま"による祈りによりて教えらるるままに1軒の住宅を求むべし。
教63,66,これらのことは、堪え忍ぶことによりて始めて打ち勝つものにして、およそ耐え忍ぶ者は一層優れ且つ永遠の大いなる栄光を得、然らざる者は更に大いなる罪ありとせられん。 アーメン。
教64,,教義と聖約　第64章
教64,*-*,1831年9月11日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて教会の長老たちに下したまえる啓示。すでにシオンに旅する様命を受けたる兄弟たちに1隊は、10月中に旅立つ様忙しく準備中なりき、罪人に対する主のけん責。死に当らざる罪を
教64,*-*-1,悔い改めたる時これを許すべきこと。互いに許せ。またすべての人を許せ。1人1人に教訓を給う。人の子の来るまでの間の時を"兄弟"と呼ぶ。今は、民の犠牲の時なり、民の"什分の一"を捧ぐる時なり。聖徒、借

金に就きて警告さる。偽りを言う者、偽善者、お・
教64,*-*-1-1,使徒にして予言者なりと言う者は発かるべきこと。
教64,1,見よ、。主なる汝らの神、かくの如く告ぐ。汝らわが教会の長老たちよ、耳を傾けて聞き、汝らに関するわが意を受けよ。
教64,2,われ誠に汝らに告ぐ、われは汝らが世に勝たんことを欲す。この故にわれ汝らを憐れまん。
教64,3,汝らの中罪を犯せる者あり、されどわれ誠に告ぐ、この度限りわが栄光と人々の救いのためわれ汝らの罪を赦せり。
教64,4,われは汝らを憐れまん。そは、われ汝らに王国を与えたればなり。
教64,5,而して王国の奥義の鍵は、わが僕ジョセフ・スミス（2代目）わが儀式に従えば、彼の生くる間わが命じたる方法によりて彼より取り去らるることなし。
教64,6,いわれなくして彼を陥入れんとする機をこれまでねらう者あり。
教64,7,さりながら彼は罪を犯したり。然れども、誠にわれ汝らに告ぐ、主なるわれは死に当るべき罪を犯さずしてわが前に罪を告白し、赦しをわれに乞う者にはその罪を赦すなり。
教64,8,古えわが弟子たちにして陥入れんとする機をならい心互いに相赦すことなき者ありたるが、彼らはこの悪のために苦しみまた甚だしき懲しめを蒙りしなり。
教64,9,この故にわれ汝らに告ぐ、汝ら互いに赦し合うべきなり。そは、人その兄弟の過ちを赦さざれば、その人主の前に罪に値する故にして、そは更に大いなる罪なお彼に在ればなり。
教64,10,主なるわれは、その赦さんと欲する者を赦す。されど汝らにはすべての人を赦すことを求めらる。
教64,11,汝ら心の中に言うべきなり。神をして汝とわれとを審判、また汝の行為によりて汝に報いを与えしめよ、と。
教64,12,また己が罪を悔い改めずしてこれを告白せざる者は、汝らこれを教会の前に引き出して、神の誡命または啓示何れか聖典に示されたるが如くに処置すべし。
教64,13,汝らこれを神の御栄の顕れんためになすべし。もとより汝らが彼を赦さざるためにあらず、また彼を憐れまざるためにもあらず、汝らが律法の前に義しとせられ、汝らの律法者をして怒らせぬためなり。
教64,14,誠にわれ告ぐ、汝らはかかる理由にてこれらのことを為すべし。
教64,15,見よ主なるわれは、わが僕なりしエズラ・ブースとまたわが僕アイザック・モーレーとを怒りたり。そは彼ら律法も誡命も守らざりし故なり。
教64,16,彼ら心中に悪を求めたれば主なるわれわが"みたま"を取り去りたり。彼らは悪しからざりしものを悪しとしてとがめたるなり。それにもかかわらず、われわが僕アイザック・モーレーを赦しぬ。
教64,17,見よ、またわが僕エドワード・パートリッヂも罪を犯し、サタンは彼の身も霊も滅ぼさんとす。されどこの事の彼らに知らされ、彼らその悪を悔い改むる時には彼らは赦されん。
教64,18,さて誠にわれ告ぐ、わが僕シドニー・ギルバートは数週間の後以前の職務に帰り、シオンの地に於て代理人として働くことはわが必要とするところなり。
教64,19,而して彼のこれまでに見聞したることは、弟子たちの滅びぬように彼らに知らしむるためなり。この故に、われこれらのことを語るなり。
教64,20,重ねてわれ汝らに告ぐ、わが僕アイザック・モーレーは彼の耐え得ぬ如き誘惑を受け、また汝に害を与うる如き悪しき助言を為すは善からず、われすでに彼の農場を売り払うことを命じたり。
教64,21,わが僕フレデリック・ウイリヤムスがその農場を売り払うはわが意にあらず。主なるわれは、今より5年の間カートランドの土地を固く保有せんと欲するなり。この年月の間にわれ悪人たちを滅ぼさざるべし、これによりて救わるる者何程かあらんためなり。
教64,22,而してその後に至りて、心を打ち開けて素直にシオンに行かんとする者は主われこれを罪ありとせざるべし。そは主なるわれ人の子らの心を得んことを要すればなり。
教64,23,見よ、人の子の来るまで今より後を"今日"と称えらる。誠に"今日は犠牲の日、わが民の"什分の一"を捧ぐる日なり。この"什分の一"を納めたる者は人の子の来る時火に焼かるることなし。
教64,24,"今日"を過ぐれば火に焼かるる時来らん。われ主の言い方によりて語る、われ誠に告ぐ、明日すべて高ぶる者と悪を行う者はわらのごとくにならん。われは万群の主なれば、彼らを火にて焼きつくし、すべてバビロンに留まる者1人も助くることなからん。
教64,25,この故に汝らもしわれを信ずるならば、"今日"と称えらるる中に汝らの働きをせよ。
教64,26,わが僕ニューエル・ケイ・ホイットマーおよびシドニー・ギルバートが、ここにある店舗および財産を売り払うはわが善しとするところにあらず。そは、この地に残れるわが教会の人々がシオンの地に行かぬ先にかくするは智恵あることにあらざればなり。
教64,27,見よ、汝らの敵より金を借ることは律法に言われたるところ、すなわち禁ずるところなり。

教64,28,されど見よ、いかなる時にも言わるるは、主は欲する時に取り意に善しとすれば払うことなり。
教64,29,この故に汝らは主の代理人なれば主の用向を有てる者なり。されば、何事にまれ主の意に従いて汝らの為すところはすなわち主の業務なり。
教64,30,主は聖徒らがシオンの地に於てゆずりを得んために、末の世に於て汝らを置きて彼らの必要なる者を与えしむ。
教64,31,見よ、主われ汝らに述ぶ。されば、わが言は確にして彼らのゆずりを受くるは過ちなし。
教64,32,されどすべてのことは、その時節至りて成らざるべからず。
教64,33,この故に全を為すにうむことなかれ。これ汝ら今偉大なる1事業の基礎を置きつつあればなり。それ、小なる事より偉大なる事起る。
教64,34,見よ、主は真心と喜びて事に従う精神とを求む。喜びて従順に従う者たちは、この末の世に於てシオンの地の善きものを食わん。
教64,35,而して叛く者たちは、シオンの地より断ち切られて外に追い出され、その地をつぐことなからん。
教64,36,われ誠に告ぐ、叛く者たちはエフライムの血筋にあらず。この故に彼らは抜き捨てらるべし。
教64,37,見よ、主なるわれはこの末の世に於て、わが教会をある小山の上、すなわちある高き所に坐せる1判事の如く為して諸々の国民を審かしむ。
教64,38,およそシオンに住める民は、シオンに関するあらゆることを審くべし。
教64,39,およそ偽る者、偽善者たちは彼らによりて証明され、使徒にして予言者にあらざる者たちも彼らによりて知らるるなり。
教64,40,およそ判事たる監督およびその副監督たる者たちも、もしその管理人の職に忠実ならずば罪ありとせられ、他の者代りてその地位に置かれん。
教64,41,見よわれ汝らに告ぐ、シオンは反映して主の栄光そこに留らん。
教64,42,而してシオンは民の旗標となり、民は天下の万国より比所に集り来るべし。
教64,43,而して万国の民シオンの怖るべきによりておののき、シオンの怖るべき者たちによりて怖るる時至らん。主この事を語れり。 アーメン。
教65,,教義と聖約　第65章
教65,*-*,1831年10月、オハイオ州ジャイラムにて予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。予言者はこの啓示を1つの祈りと称す。神の王国の餓鬼は火tおに委ねられたり。神の王国と天国とは別々の名前なること。すでに地上に来れる神の王国は、いよいよ進
教65,*-*-1,末ついに天国とならむことの祈願。
教65,1,見よ、而して天より遣わされたる者の言うが如き声を聴け。こは勢い強く、力も強く世の隅々までも達するものにして、誠にその声は人々に聞ゆなり。曰く、汝ら主の道を備え、その道を直くせよ、と。
教65,2,神の王国の餓鬼はこの世の人の手に委任され、福音はここより転じ行きて世の果にまでも達せん。あたかも人手によらず山より切り出されたる石の転がり出でて、ついに全世界に充ち満つるが如し。
教65,3,ここに1つの声ありて叫ぶ。曰く、汝ら主の道を備え、子羊の晩餐に備え、花むこのために用意せよ。
教65,4,主に祈り、聖き御名を唱え、神の驚嘆すべき御業を民の中に知らしめよ。
教65,5,主の御名を呼びてこの世に神の王国を来らせ、世に住める人々をしてこれを受け、来るべき時代の備えを為さしめよ。その時、人の子は地上に建てらるべき神の王国にかなうため、彼の栄光に輝く衣を召されて天の中より下りたもうべし。
教65,6,これを以て、願わくは天の王国の来らんため、まず神の王国を出で行かせたまえ。神よ、かくして天に於ける如く、地に於ても栄光あらせたまえ。またかくして、汝の敵を征服したまえ。誉と能力と栄光とは、ときはかきはに神のものなればなり。 アーメン。
教66,,教義と聖約　第66章
教66,*-*,1831年10月25日、オハイオ州オレンヂにてウイリヤム・イー・ムレリンに予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる消し。その日は、ある重要なる大会の第1日なりき。わが教会の歴史、第1巻、219頁(英文)を見よ。啓示を受くる者の悔改めと改心と
教66,*-*-1,賞めたもう。個人的の弱さと、特殊な誘惑に陥り易きを警めたもう。もし、導きと教えを施す業に献身すれば、正義に於て大いなる成功を治め、ついに祝福を受くることを予め告げたもう。
教66,1,見よ、主はかくの如く、わが僕ウイリヤム・イー・ムレリンに言う。汝、己れの邪曲を退けてわが真理を受け入れたれば、汝は幸福なるかな。こは、主なる汝らの贖い主、世の救い主、わが名を信ずる者を皆救う救い主の言なり。
教66,2,われ誠に汝に告ぐ、汝は人の子らに遣わされたるわが完全なる福音、すなわちわが永遠の誓約を受け入れたるために幸福なり。こは、古えの予言者たちと使徒たちとによりて誌されし如く、人の子らの生命を得てこの末

の世に顕るべき栄光に与る者とならしめんためのも
教66,3,われ誠に汝に告ぐ、わが僕ウイリヤムよ。汝は潔くなれり。されどことごとく潔きにあらず。この故に悔い改めよ。われの見て喜ばざるところを悔い改むべしと主は言う。主は名njそれらのことを示すべければなり。
教66,4,さて誠に主なるわれ、今汝に就きてわが欲するところ、すなわち汝にかかわるわが意を示さん。
教66,5,見よ、われ誠に汝に告ぐ、汝国より国に町より町を経廻りて、わが福音のいまだ宣べられざるこの周りの地方にこれを宣ぶることはわが意なり。
教66,6,この土地に長らく留まるべからず、またいまだなおシオンに上り行くべからず。されど汝送り得るならば遅れ、そのほかに汝の財産を顧るなかれ。
教66,7,汝東の地方に行きて、あらゆる土地にてあらゆる人々に向い、そのあらゆる教会堂にて証をなして人々と論ずべし。
教66,8,汝、わが僕サミュエル・エッチ・スミスを伴え。彼を見捨てることなく汝の教えを与うべし。およそ忠実なる者は何所に在りても強くせられん。而して、主なるわれ汝と共に行かん。
教66,9,病める者には按手を施せ、然らばその者は癒えん。主われ汝を遣わすまでは帰るなかれ。苦しみに堪えよ。求めよ。さらば与えられん、叩けよ、さらば開かるることを得ん。
教66,10,煩わしさを求むるなかれ。すべての不正を捨てよ。姦淫を犯すなかれ。そはすなわち汝が悩まされ来りし1つの誘惑なり。
教66,11,汝、これらの言を守れ。そはこれらの言は皆真実なればなり。而して汝の務めを全力を尽して遂行し、多くの人々の頭に永遠の喜びのうたを宿らせて、シオンに推し勧めよ。
教66,12,汝、終りまでこの事をつずくべし。さらば恩恵と真理に充ち満ちたるわが父の右手に坐して永遠の生命の冠を受けん。
教66,13,誠に主なる汝の神、汝らの贖い主、すなわちイエス・キリストかくの如く言う。 アーメン。
教67,,教義と聖約　第67章
教67,*-*,1831年11月、オハイオ州ハイラムにて、予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。啓示の下りしはある特別大会の際にして、予言者ジョセフ・スミスによりてすでに主より受けたる啓示の公表は熟慮の後実行に移されたり。第1章の前書を見よ。多くの
教67,*-*-1,兄弟たちは、当時出版するため編集せられたる啓示は彼らに降りし聖霊によりて証せられし如く誠に真実なりと厳かに証せり。予言者の記録によれば、本書第1章として知られたる啓示を神より受けたりし後、啓示と言とに関して予言者と人々との間に若干の会話ありた
教67,*-*-1-1,その次にこの啓示を給わる。主、その誡命の真実なることを確言したもう。その座に居りし或る者の持てる秘かなる野心、すなわち神の啓示の言葉遣いよりも、われらは上手なる言葉遣いを為すという野心暴露さらる。最も賢き者すらいと小さき啓示の1つだに真似し得
教67,*-*-1-1-1,主挑みたもう。
教67,1,見よ、而して聴け。比所に寄り集りたるわが教会の長老たちよ。汝らの祈りはわれこれを聞き、汝らの心はわれこれを知り、汝らの願いはわが前に達せり。
教67,2,見よ、見よ、わが眼は汝らの上にあり。而して、永遠の宝はわが汝らに与うる財宝なり。
教67,3,汝らは汝らに給わる恩恵を受くべしと信ぜんと努めしが、見よ、われ誠に汝らに告ぐ、汝らは心の中に怖れを抱きたれば誠にこれがために恩恵を受けざりしなり。
教67,4,さて主なるわれ、汝らの眼前にある誡命の真理なることに就きて1つの証をなす。
教67,5,汝らの眼は、今までわが僕ジョセフ・スミス(2代目)の上にあり。汝らこれまで彼の言を知り彼の欠点を知れば、汝らは心中に彼に優る言を以て表すために知識を求めたり。これもまた汝らの知るところなり。
教67,6,さて、汝ら今わが誡命の書より正にその中の最も小さいものを捜せ。而して汝らの中にて最も賢き者を指定せよ。
教67,7,すなわち汝らの中誰にても、もし汝らの選べるわが誡命の如くに書くことを得ば、汝らわが誡命の真理なるを知らずと言うことをわれ正しとせん。
教67,8,されど、もし汝らにして汝らの選びしものと同じものを書き得ざる時に、もし汝らわが誡命は真理なりと証せざれば罪ありとせらるべし。
教67,9,汝ら、わが誡命には義しからざるところなきを知る。およそ義しきことは天より来る。すなわち、光明の御父より来るなり。
教67,10,またわれ誠に何自らに告ぐ、今汝ら充分に謙遜ならざるが故に、もし汝ら猜忌と恐怖とをとり棄ててわが前にへりくだらば、幕は裂けて汝らわれを見またわれ在るを知らん。こは汝ら肉欲を有する心にても肉体の心にてもこれを見るにあらずして、霊の心を以てこれを見
教67,10-1,これ汝らの特権にして、またこの導きと教えを施す業に按手聖任したる汝らに与うる約束なり。

教67,11,およそ神の"みたま"によりて変るにあらざれば、いかなる時にも肉身にて神を見たる者誰もあらざるを以てなり。
教67,12,また、肉体を有する者は何人も神の前に留ること能わず。肉欲の心に従う者もまた然り。
教67,13,汝らは今神の前に留ること能わず、また、人の為に導きと恩恵を施す天使と共に居ることも能わず、また、人の為に導きと恵みを施す天使と共に居ることも能わず。この故に汝ら全くせらるるまで引きつずき耐え忍ぶべし。
教67,14,汝ら心をひるがえすことなかれ。わが時節至りて汝ら適しき者となるや、わがジョセフ・スミス(2代目)の手によりて汝らに附与せられたるものを見、且つこれを悟ることあらん。 アーメン。
教68,,教義と聖約　第68章
教68,*-*,1831年11月、オハイオ州ハイラムにてオルソン・ハイド、ルーク・エス・ジョンソン、ライマン・イー・ムレリンらに関し、予言者ジョセフ・スミスによりて下したまいし啓示。この啓示は、上記の長老たちに関し神の御旨を知らせたまえと言う祈願に答えて給り
教68,*-*-1,聖なる神権に按手聖任されたる者の言は、彼ら聖霊に感動したるままに語る時聖典の言と呼ばる。更に監督を按手聖任することの予表。アロンの正統の子孫の有する権利。大祭司は監督に按手聖任され得ること。小児に関する両親の義務、特に福音の原則に就きて教うべ
教68,*-*-1-1,安息日を聖日として守ること。怠惰なること、この寄のものを貪ることは、共に罪あるとせらる。
教68,1,わが僕オルソン・ハイドは、人々より人々へ、国より国へ、悪しき人々の集りに於て、また彼らの会堂に於て生ける神の"みたま"によりて永遠の福音を宣べ、且つすべての聖典に関して論じ、これを彼らに解き明すべき聖職の按手任命を受くることによりて召されたり
教68,2,見よ、見よ、こはかくの如き神権に按手聖任されて出で行く使命を受けたる御名の者にとりて1つの範例なり。
教68,3,すなわち、また聖霊によりて感ずるままに語るべきことは彼らに対する範例なり。
教68,4,およそ聖霊に感じたる時語るところはことごとく聖典の言となり、主の意となり、主の精神となり、主の言となり、主の声となり、世の救いに導く神の能力となるべし。
教68,5,見よ、わが僕らよ、これ主の汝らに約束するところなり。
教68,6,この故に、汝ら大いに元気を出して怖るることなかれ、そは主なるわれ汝らと共に在りて汝らを守ればなり。されば汝ら、われすなわちイエス・キリストに就きて、われは生ける神の子、昔在り、今在り、後に来るべき者なることを証すべし。
教68,7,これ、わが僕オルソン・ハイドまたわが僕ルーク・ジョンソン、わが僕ライマン・ジョンソンわが、わが僕ウイリヤム・イー・ムレリンおよびそのほかわが教会の忠実なるすべての長老たちに言う主の言なり。
教68,8,汝ら全世界に出で行き、一切の生くる者に福音を説き、わが汝らに与えたる権威を以て働き、御父と、子と、聖霊の名によりてバプテスマを施すべし。
教68,9,信じてバプテスマを受くる者は救わるべし、然れど信ぜざる者は救われず。
教68,10,而して、信ずる者はまたそれに伴う徴に恵まるることすなわち録されたるが如し。
教68,11,また、汝らには時代の徴と、人の子の来るべき徴とを知さるべし。
教68,12,すべて御父の証したもう者たちには、これに永遠の生命を結び固むる権能を汝らに与えられん。アーメン。
教68,13,それ誓約と誡命のほかに附け加えらるべき事項次の如し。
教68,14,更に今後然るべき主の時機至らば、他の監督たちを教会の為に特に按手任命し、すなわち最初の監督と同じく教会の役務に服せしむべき者たちなおあるなり。
教68,15,これを以てこの監督となるべき者は、それにふさわしき大祭司たちにして、もしアロンの正統の子孫にあらざる限りは、メルケゼデク神権の大管長会より任命されざるべからず。
教68,16,もしその者アロンの正統の子孫なる時は、またもしその者アロンの息子たちの長子なる時は監督職に就くべき適法なる権利あるものとす。
教68,17,およそアロンの息子たちの長子たる者は、アロン神権の管理者たる権を有し、またこの神権の鍵すなわちその権能を保つ者なればなり。
教68,18,アロンの正統の子孫にして且つその長子たるにあらずば、アロン神権の鍵を保つべきこの職につく適法なる権利なし。
教68,19,さりながらメルケゼデク神権の大祭司は、小神権に属する職のすべての職を行う権能あれば、アロンの正統の子孫を見出し得ざる時は、メルケゼデク神権の大管長会の按手によりてこの権能に召されて特に按手聖任されしならば、監督の役職を行うことを得、
教68,20,またアロンの正統の子孫も、またこの大管長会の使命を受け、それにふさわしき者と認定せられ、油をそ

そがれてこの大管長会の手によりて聖職の按手任命を受けざるべからず。然らざれば、その神権の職を行うべき適法なる権威を認めず。
教68,21,されど、父より息子に伝わるべきその神権の権利に関する定法あるにより、アロンの正統の子孫は、もしいつにてもその系統を証明し得るとき、または上記の大管長会の手により主より来る啓示によりて真に確証せらるる時は、油をそそがれてその職に任命せられんこと
教68,21-1,を得べし。
教68,22,また、この監督職を行うために特にその訳に按手任命せらるる監督あたは大祭司は、教会の大管長会の前に於けるほか、如何なる罪に対しても吟味を受けまたは罪の宣告を受くることなし。
教68,23,されどこの大管長会の前にありて、言い破るべからざる証によりて罪ありとせられたらば罪の宣告を受くべきなり。
教68,24,されど彼もし悔い改めなば、教会の誓約と誡命とに従いこれを赦すべし。
教68,25,また、シオンまたは組織せられたるシオンのステーキ部内にて子供を有する両親あらば、その小児8才の時、悔改め、生ける神の子キリストの信仰、バプテスマと按手による聖霊の賜などの教義を教えて理解せしめざれば、罪その両親の頭に留るべし。
教68,26,およそシオン、またはその組織せられたるステーキ部内に住める者の律法はかくの如し。
教68,27,またその子供たちは8才の時、彼らの罪の赦しを得さすバプテスマと按手を受くべし。
教68,28,また両親はその子供たちに祈ることと、主の前に正しく歩むこととを教えざるべからず。
教68,29,シオンに住む民は、また安息日を守りてこれを聖くすべし。
教68,30,シオンに住む民は、その任命せられたる働きあらば、これを憶えて全く忠実に務むべし。およそ怠る者は主に憶えらるべければなり。
教68,31,今やわれ主は、シオンに住める民を悦ばず。そは、怠る者その中にあり、彼らの子らもまた今や次第に悪事に増長し、永遠の富を熱心に求めずしてその眼は貪欲を以て充さるればなり。
教68,32,かかることはあるべからず。故にすべからく彼らの中よりこれを無くすべきなり。この故にわが僕オリヴァ・カウドリは、シオンの地にこの言を伝えよ。
教68,33,われまた彼らに1つの誡命を与う。およそ、祈るべき時にわが前に祈りをなすことを守らざる者は、わが民を審く者の前に覚えらるべし。
教68,34,これらの言は真実なれば、これを以て、これに背きまたこれより取捨すべからず。
教68,35,見よ、われはアルパなりオメガなり、さればわれ速に来る。 アーメン。
教69,,教義と聖約　第69章
教69,*-*,1831年11月、オハイオ州ハイラムにて予言者ジョセフ・スミスによりて給まりたる啓示。11月1日に催されたる特別大会にて、啓示の集録を速に出版する企画可決せられたり。11月3日、現在本書大133章に載せられたる啓示は"教義と誓約"に附け加えら
教69,*-*-1,"追加"と呼べる。大会の議決により、オリヴァ・カウドリは啓示と誡命を集録せる原稿を印刷に附するため、ミズーリ州インデパンデンスへ持参する命を受けたり。また彼はミズーリ州に教会樹立のため先に寄附せられたる金を携行するはずなりき、彼の旅路は寒村を
教69,*-*-1-1,辺境へ向わんとする道なりき。旅行の同伴者欲しかりき。わが教会の歴史、第1巻234頁（英文）を見よ。ジョン・ホイットマーは、オリヴァ・カウドリの身の安全と、また彼の為に同道すべきこと。ジョン・ホイットマーは、歴史記録者並びに記録係として彼の義務
教69,*-*-1-1-1,行うこと。巡回長老よりの報告と計算書は、ミズーリ州インデペンデンスが忠信なりし、シオンの地へ差立つるべきこと。
教69,1,主なる汝の神言う。わが僕オリヴァ・カウドリの為にわが言うことに耳を傾けよ。真実にして忠信なる者彼と共に行くにあらざれば、われより受けたる命令とシオンの地に携行すべき金銭とを彼1人に預くるはわが智恵にあらず。
教69,2,この故に主なるわれは、わが僕ジョン・ホイットマーわが僕オリヴァ・カウドリと共に行かんことを欲す。
教69,3,彼はまたわが教会に関して、これより目に見るところ知るところのすべての重要なる事件を誌して、教会の歴史録を作ることをつずけんことを、
教69,4,また、彼はわが僕オリヴァ・カウドリその他の人々より助言と助力とを受けんことを欲す。
教69,5,而して、また広く世に遣わされたるわが僕らは、その管理人の職に付ての報告書をシオンの地に送り出さざるべからず。
教69,6,シオンの地は、すなわちこれらのものを受けて処理すべき地位にあればなり。
教69,7,さりながら、わが僕ジョン・ホイットマーは、度々、諸書諸教会を経廻欄り、かくしてそれだけ容易に知識を得べきなり。

教69,8,而して彼は教えを説き解釈をなし、書き、写し、選択し、教会員のためにまたシオンの地にこれより成長する青年たちのためになるすべてのものを手に入れて、これをとこしえに代々所有すべきなり。 アーメン。
教70,,教義と聖約　第70章
教70,*-*,1831年11月、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給まりたる啓示。予言者が記録に残したる歴史によれば、11月の1日より12日までに4回の特別大会開かれたり、最後の集会にて、後に"教義と誓約"と呼ばるる"誡命の書"の重要
教70,*-*-1,考慮されたるが、予言者はこれはこの終末の世の教会の基となるものにしてまた世を益するものなることを述べ、 わが救い主の王国の奥義の鍵が再び人間に委任せられたることを示したり。わが教会の歴史、第1巻、235頁(英文)を見よ。この書の印刷と配布とに
教70,*-*-1-1,処理は、予言者ととに指名されたる長老たちに委任さられたり。この事業によりて増加する余剰財産は、教会の為に奉献さるべきこと。神の御業に働く仕事を物質的に支うるために容易を為すこと。俗世のこと、例会のこと、何れの義務に任命さるるとも勤勉に働く者は
教70,*-*-1-1-1,受くるにふさわし。
教70,1,見よ、而して聴け。汝らシオンの民および汝ら遠くの所にあるわが教会のすべての民よ。わが僕ジョセフ・スミス(2代目)、またわが僕マーテン・ハリス、またわが僕オリヴァ・カウドリ、またわが僕ジョン・ホイットマー、またわが僕シドニー・リグドン、またわが
教70,1-1,ウイリヤム・ダブルユ・フェルプスらに誡命としてわが下す主の言を聞け。
教70,2,われ彼らに1つの誡命を下す。この故に汝ら耳を傾けて聞け。かくの如く主は言えばなり。
教70,3,主なるわれ彼らに命を下して、わがすでに与えまたはやがて与えんとする啓示と誡命との管理人に任じたり。
教70,4,而してこの管理人の職のことに就きては、われ審判の日に聞きただすところあらん。
教70,5,この故に、われ彼らを任命してこの役務に就かしむ。されば、こは神の教会に於ける彼らの役務にして、すなわちその役務を管理し、それらに関することすなわちそれらによる利益を処理することなり。
教70,6,この故にわれ彼らに1つの誡命を与えて、これらの利益は教会員にもまた世の人々にも与えざらしむ。
教70,7,さりながら、彼らの必要なる物に対する必要以上に利益を受けたらば、須らくこれをわが倉庫に納むべし。
教70,8,而してその利益は、シオンに住む民とその子孫は王国の律法に従いて世つぎとなるならば、これをシオンの住民に聖くして与えまたその子孫にも与うべし。
教70,9,見よ、これはすでに主なるわれの任命を受け、またはこれより受けんとするあらゆる人が、その管理任の職務に於て主より要求せらるることなりとす。
教70,10,見よ、およそ生ける神の教会に属する者は何人もこの律法を免るることなし。
教70,11,誠に監督も神の倉庫を管理する代理人も、またこの世に属けるものの管理人の職に任ぜられたる者も、御名この律法を免るることなし。
教70,12,およそ霊のことを授くる任命を受けたる者の、この世に属けるものを授くるため管理人の職に任命せられたる者と正に同じ値を得るは相応しきなり。
教70,13,否、それにも増す豊かなる値すらあるべく、すなわちその豊かさは"みたま"の顕れによりて更に豊けくなるべし。
教70,14,さりながら、この世につけるものに就きては汝ら皆平等にしてこれをおしむなかれ、然らずば豊なる"みたま"の顕れは取り去らるべし。
教70,15,今、この誡命はわが僕あが今なお存する中、彼らのためと彼らの頭上にわが祝福の現われんことと、その精励の報酬とその安全とのために彼らに与えらるるなり。
教70,16,食糧と衣服とゆずりと家と土地とに就きては、主なるわれ如何なる事情にてもこれを配置し、主なるわれ如何なる所へもこれを送らん。
教70,17,そは、彼ら多くの事に忠実にして罪を犯さざりしを以て、良く行いたればなり。
教70,18,見よ主なるわれは恩恵深くして彼らを祝福すれば、彼らこれらの悦びを得ん。誠に然り、 アーメン。
教71,,教義と聖約　第71章
教71,*-*,1831年12月1日、オハイオ州ハイラムにて予言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンを書記として聖典の翻訳を再び始め、両人はこの啓示を受くるまで左様に働きたり。時の事情により、両人は暫くの間専ら旅に出でて教えを説かねばならぬこととなれり。公
教71,*-*-1,教会の反対者に立ち向うこと。受けたる誡命の証を立て、またなおこれより受くる誡命に備うるために証を立つること。
教71,1,見よ、主その僕なる汝ジョセフ・スミス(2代目)およびシドニー・リグドンにかくの如く言う、今や誠に時至れ

り。誠にわが心のまま汝らに与うる限りの"みたま"と能力とに従い、汝ら口を開きてわが福音と王国に就けることを宣べ、聖典より王国に就きての奥義を
教71,1-1,明すべきことの必要にして且つわが善しと見る時は至れり。
教71,2,わが誠に汝らに告ぐ、われ再び汝らに知らしむるるまでは、汝ら暫くこの附近に在る世に人々および教会の人々にも福音を宣べよ。
教71,3,誠にこは暫くの間、わが汝らに与うる1つの使命なり。
教71,4,この故に汝らわが葡萄園にて働き、世に住める人々に呼びかけて証をなし、これより来るべき誡命と啓示とのために途を備うべし。
教71,5,さて見よ、こは智恵なり。故に読む者すべからく悟りてまたこれを受くべし。
教71,6,およそこれを受くる者は更に豊に与えらる。能力すら与えらるるが故なり。
教71,7,この故に汝らの敵に公にも私にも、共に立合うよう呼びかけよ。而して敵を言い破るびし。汝ら忠信ならば、彼らの恥は明らかにせらるべし。
教71,8,されば汝らお敵をして、主に対して強く抗弁せしめよ。
教71,9,誠に主汝らにかくの如く告ぐ、汝らに刃向う刃は栄ゆることなからん。
教71,10,もし何人にても声を挙げて汝らに逆らう者あらば、わが時節至りて言い破れん。
教71,11,この故にわが誡命を守るべし。そは真実なればなり。誠に然り、 アーメン。
教72,,教義と聖約　第72章
教72,*-*,1831年12月4日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによちて下し給える啓示。数人の長老および会員は、その為すべき義務を知らんため、また教会の教えにつきて更に啓発されんために集り居たりき、わが教会の歴史、第1巻、239頁（英文
教72,*-*-1,東部支部教会の監督職に関する事務を勤むる監督を、今1人任命することの必要指示さる。この監督の記録は、シオンの監督に送り届くべきこと。ニューエル・ケイ・ホイットメー、第2の監督として指名されて教会より任命せらる。監督の義務更に拡張さる。会員証明
教72,1,っころして主の声を聴き、且つ耳を傾けよ。汝ら寄り集れる者、すなわち王国と権能とを与えられたるわが教会の第祭司らよ。
教72,2,主、誠にかくの如く言う。1人の監督が、汝らにまたは汝らによりて、主の葡萄園なるこの地方の教会員のために任命さるることはわが必要と見るところなり。
教72,3,主はあらゆる管理人の手より、今もとこしえにも管理人の職に関する報告書を差出すことを求むるにより、汝らが監督を設けたるはこの・誠に賢きことなり。
教72,4,今忠実にして賢き者はわが父の彼に備えたまえる住家をつぐ資格ありと認めらる。
教72,5,われ誠に汝らに告ぐ、わが葡萄園なるこの地方の教会の長老たちは、わが葡萄園なるこの地方にてわれより任命を受くる監督にその管理人の職の報告書を差出すべし。
教72,6,これらのことは、記録して以てシオンの監督に手渡すべし。
教72,7,而してこの監督の義務は、すでに下したる誡命と会議に於ける指示の挙手とによりて公にせらるべし。
教72,8,さて今われ誠に汝らに告ぐ、わが僕ニューエル・ケイ・ヒイットニーは、この任命を受けてこの権能ある聖職に按手任命せらるる人なり。これ誠に汝らの贖い主、主なる汝らの神の御旨なり。誠に然り、アーメン。
教72,9,すでに下りたる律法に附加えて、主の葡萄園のこの地方の教会に按手聖任されたるかんとくの義務に就きて知らせたる主の言は誠にかくの如し。すなわち、
教72,10,主の倉庫を守り、主の葡萄園のこの地方に於ける教会の資金を受け納め、
教72,11,豫て命ぜられし如く長老たちより報告書を受け、支払うべき金あらば受け取りたるものに対して支払をなすべき長老たちの不足するところを授く、
教72,12,かくして、これはまた聖くされて教会員のために貧しき者乏しき者に与えらるるなり。
教72,13,また支払うべき金を持たざる長老には、その報告書を受け取りてこれをシオンの監督に送り、監督は主がその手の中に与えたもうものを以て彼の負債を償うべし。
教72,14,教会員の為また世の人の為に、福音と王国に就ける事を執る行いて霊に就ける事に働く忠信なる者の働きは、シオンの監督をしてその負債を償わしむるに足るものとす。
教72,15,かくの如くそは教会より出ず、その故は、教会の律法として、すべてシオンに来る者はすべての物をシオンに於ける監督の前に置かねばならぬ故なり。
教72,16,さて誠にわれ汝らに告ぐ、主の葡萄園のこの地方に於けるあらゆる長老たちは、その管理人の職の報告書を主の葡萄園なるこの地方の監督に出ださざるばからず。
教72,17,すなわち、主の葡萄園のこの地方に於ける判事、すなわち監督よりシオンの監督に宛てたる1通の証明書によりてすべての人迎え入れられ、これによりてゆずりを受くるためのすべての用を弁じ、且つまた賢き1人の管

理人また忠実なる1人の働き人として迎えらるるも
教72,18,この証明書を持たざれば、シオンの監督より証人を得ることなし。
教72,19,さてわれ誠に汝らに告ぐ、主の葡萄園のこの地方に於ける教会の監督に報告を為すべきすべての長老は、その長老の働く懲戒または諸教会によりて推薦を受け、かくて彼自身とその報告がすべてに於て証人せらるる様になすべし。
教72,20,また、わが教会の記録に関する管理人となるべき任命を受けたる人々は、すべてのことに就きて1人の監督または監督らに補助を要求し得る権利あり。すなわち、
教72,21,かくして啓示は公にせられて世の果まで進み行き、またよろずに就きて教会を益する資金もまた得られ、
教72,22,また、かくして彼らもすべてその為すところを承認せられ、また賢き管理人として認められるるなり。
教72,23,さて見よ、以上は如何なる地に建てらるるとも、わが教会のあらゆる数多の支部の以て範例となすべきところなり。われ今言わんとする所をこれにて止む。アーメン。
教72,24,聖き"みたま"によりてシオンに行くことを指示され、またシオンに行くべき特権ある教会員たる有nに就きて、教会の会員に関し王国の律法に附け加えて少しくわれ言わんとす。
教72,25,すなわちこれらの者をして、シオンの監督へ教会の3人の長老よりの証明書または監督の証明書を1通携えしむべし。
教72,26,これを携えざる時は、シオンの地に行く者は賢き管理人と認められざるべし。これもまた1つの範例なりとす。 アーメン。
教73,,教義と聖約　第73章
教73,*-*,1832年1月10日、オハイオ州ハイラムにて予言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに下し給える啓示。前年12月上旬以来、ジョセフとシドニーとは説教に従事し居たりしが、これによりて新聞に寄せたる誹謗的書面の流布によりて先に引き起こされたる興
教73,*-*-1,大いに軽減するに成功せり。わが教会の歴史、第1巻、241頁（英文）を見よ。長老たちは、その説教と訓しとをつずくる様に命令さる。ジョセフ・スミスとシドニー・リグドン翻訳の業を再び始むべきこと。
教73,1,誠に主、かくの如く言う。彼らは大会まで、この附近の地方の教会に引きつずき福音を説きまた教えを説く必要あり。
教73,2,見よ、その後大会に於ける指示の挙手によりて彼らの為すべき様様の使命は彼らに知らさるべし。
教73,3,さて主は言う。われ誠にわが僕ジョセフ・スミス（2代目）ならびにシドニー・リグドンに告ぐ、汝ら再び翻訳を為す必要あり。
教73,4,而して出来得ることなれば、大会まで附近の地方に教えを説き、而してその後は完結するまで翻訳の業をつずくる必要あり。
教73,5,更に知らさるるまで、これを以てすなわち今誌されたるところを以て長老たちの範例となすべし。
教73,6,われ今、この上汝らに言うことなし、汝ら腰に帯して真面目なるべし。誠に然り、 アーメン。
教74,,教義と聖約　第74章
教74,*-*,1832年1月、オハイオ州ハイラムにて予言者ジョセフ・スミスは啓示によりて、パウロのコリント人への第1の書簡、第7章第14節に関するこの説き明しを給まりたり。
教74,1,そは、不信者なる夫は妻によりて聖くなり、不信者なる妻は夫によりて聖くなればなり。然らずば、汝らの子供らは潔からず。されど、今は聖き者なり。
教74,2,そは使徒の時代にありて、イエス・キリストの福音を信ぜざるすべてのユダヤ人の間には割礼の律法行われたりき。
教74,3,割礼の律法に就きては、民の間に大いなる論争起れり。そは不信者なる夫は、その子供らが割礼を受けて今は成就せられたるモーセの律法に従わんことを願いたればなり。
教74,4,而してその子供らはモーセの律法に従いて育てられたれば、先祖の言伝えに心を留めてキリストの福音を信ぜず、これを以て聖からざる者となれり。
教74,5,この故に、これを以て使徒（パウロ）は教会に書簡を送りて人々に1つの誡命を与えたり。この誡命は神より出でしにあらずパウロにより出でたるものにして、すなわちもし彼らの中モーセの律法を廃棄するにあらざれば、ある信者はある不信者と共に結べるることなか
教74,6,かくするはその子供らに割礼を施すことなく、またユダヤ人の間に行われし故にその小さき子供らを聖からずとなす言伝えを廃棄するためなり、と言うものなり。
教74,7,然れども、小さき子供らはイエス・キリストの贖罪により聖くせられて聖き者なり。而して、これ聖書の真意なり。
教75,,教義と聖約　第75章

教75,*-*,1832年1月5日、オハイオ州アムハストにて予言者ジョセフ・スミスによりて下し給える啓示。この事は、先に取り極められたる大会の節に起れり、ある長老たちは、彼らの使命を人々に理解せしむるに困難を感じ、彼らの直面せる義務に就きて更にくわしく知らん
教75,*-*-1,願えり。これに次でこの啓示を給わる。わが教会の歴史、第1巻、242頁(英文)を見よ。2人づつ連れ立ち旅すべき長老たちへ個人的の指導として訓え。絶えざる祈りと不動の信仰の必要。不在長老の家族を世話し、扶養するための指示。
教75,1,誠にまことに、われ汝らに告ぐ、われ、すなわちアルパにしてオメガ、汝らの主にして汝らの神なるわれ、わが"みたま"の声によりてこれを語る。
教75,2,汝ら出で行きてわが福音を宣べ、わが葡萄園にはさみを入れんことを志望せし者よ、聴け。
教75,3,見よ、われ汝らに告ぐ、汝ら出で行き、ひまどることもなく怠ることもなくして、全力を尽して働くはわが意なり。
教75,4,また、高鳴るラッパの響の如く汝らの声を挙げ、わが汝らに与える啓示と誡命とに従いて真理を述ぶるはわが意なり。
教75,5,かくて汝ら忠実ならば、多くの束を背に加えられ、名誉と栄光と、不死不滅と、永遠の生命との冠を受けん。
教75,6,この故に、われ誠にわが僕ウイリヤム・イー・ムレリンに告ぐ、われ東方の国々へ行けと彼に命じたる任命はこれを破棄す。
教75,7,而してわれ更に1つの新なる任命と命令とを彼に与えて、以て彼の心に抱ける不平を懲らしめんとす。
教75,8,彼は罪を犯したり。さりながら、われこれを赦し、彼は南方の国々へ行けと再び言う。
教75,9,而してわが僕ルーク・ジョンソンは、彼と共に行きわが両人に命じたることを述べ伝うべし。
教75,10,また、彼らの必要なるすべてを教えたもう"慰め主"を与えたまえと主の名を呼び求めよ。
教75,11,また、気落ちせざらんがために常に祈りをなせ。彼らこれをなさば、われ誠に終りまでも彼らと共にあらん。
教75,12,見よ、これ汝らに関する主なる汝らの神の聖旨なり。誠に然り、アーメン。
教75,13,また、誠に主なる神かく言う。わが僕オルソン・ハイドおよびわが僕サミュエル・エッチ・スミスをして東方の国々へ旅ゆかしめ、両人にわが命じたることを宣べしめよ。而して彼ら忠実なれば、見よ、われ終りまでも彼らと共にあらん。
教75,14,われ、また誠にわが僕ライマン・ジョンソンおよびわが僕居る孫プラットに告ぐ、彼らも東方の国々へ旅行け。見よ、みよ、われもまた終りまでも彼らと共に在り。
教75,15,われまた、わが僕アサ・ドッヅおよびわが僕カーヴィス・ウイルソンに告ぐ、彼らもまた西方の国々へ旅行き、誠にわが両人に命じたる如くわが福音を宣べよ。
教75,16,而して、およそ忠信なる者はすべてのことに打ち勝ち、終りの日に高く挙げらるるべし。
教75,17,われまた、わが僕メージャー・エヌ・アシュレーおよびわが僕バー・リッグスに告ぐ、彼らもまた南方の国へ旅行すべし。
教75,18,誠にわが今命じたる如くすべてこれらの人々は、旅して家より家、村より村、町より町へ行くべし。
教75,19,而して、汝ら以下なる家に入りても、家の者汝らを受け入るるときはその家に祝福を残すべし。
教75,20,また如何なる家に入りても、家の者汝らを受け入れざるときは速にその家を立ち去り、足の塵を払いて彼らに背く証となすべし。
教75,21,さらば、汝ら喜悦を以て充され、且つ審判の日には汝らこの家を審く者となりて家の者を罪に定むべきことを知らん。
教75,22,その審判の日には、異教徒たちはこれらの者よりも一層耐え易かるべし。この故に、腰に帯引きしめて忠実なれ。さらば汝らすべてのものに打ち勝ち、終りの日には高く挙げらるるべし。誠に然り、アーメン。
教75,23,また、主かくの如く言う。汝らに関して、主の聖旨を知らんと死亡せるわが教会の長老たちよ。
教75,24,見よ、われ汝らに告ぐ、およそ世の人々に福音を宣べんため、召されて必ず世人に遣わさるべき人たちの家族を扶養するを援くるもまたその人たちの家族を扶養するも教会員の義務なり。
教75,25,この故に、主なるわれこの誡命を汝らい与う。すなわち、汝らの兄弟たち喜んで心を開くにより、汝らは家族のために住む所を求め与うべし。
教75,26,かく家族のために住む所を得かつこれらのために教会の補助を得る者は、すべて皆東に西に来たに南に、広く世間に出で行かざるべからず。
教75,27,求めよ、さらば与えられ、叩けよ、さらば開かるることを得ん。而して"慰め主"により、・よりその行くべき所を示されん。
教75,28,また、われ誠に汝らに告ぐ、およそ己れの家族を扶養せざるべからざる男子には、ことごとく彼をして扶

養せしむべし。然もこの者は決して冠を失うことなし。而してかかる者は教会の中にて働かしむべし。
教75,29,あらゆる人は、すべてのことに精励せよ。怠惰なる者は悔い改めて行いを改むるにあらざれば、教会の中にて地位を与えらるることなし。
教75,30,この故い、わが僕シメオン・カーターおよびわが僕エマー・ハリスは神のために働くことに於て2人一致共同すべし。
教75,31,また、わが僕エズラ・テールおよびわが僕トマス・ビー・マーシュ、
教75,32,また、わが僕ハイラム・スミスおよびわが僕レイノルヅ・カフン、
教75,33,また、わが僕ダニエル・スタントンおよびわが僕シーモール・ブランソン、
教75,34,また、わが僕シルヴェスター・スミスおよびわが僕ギデオン・カーター、
教75,35,また、わが僕ラッグルス・イームスおよびわが僕スティヴン・バーネット、
教75,36,また、わが僕マイカ・ビー・ウェルトンおよびわが僕イーデン・スミスも2人一致共同すべし。誠に然り、 アーメン。
教76,,教義と聖約　第76章
教76,*-*,1832年2月16日、オハイオ州ハイラムにて予言者ジョセフ・スミスとヂソニー・リグドンに給いし示現。この示現を誌すに先だち、予言者は"先に下したまえる諸々の啓示よりして、人間の救いに関する多くの大切なる箇所聖書より削り去られまたは聖書の編纂さ
教76,*-*-1,紛失せること明白なり。現在残る真理よりしても、もし神が人が肉体の説きに為せる行為によりてすべて各々に報いを給うならば、聖徒らの永遠の住家と言う意味を有する天なる言葉は、1つ以上更に多くの王国をその中に含むこと自ら明らかなりと思わる"と誌せり。
教76,*-*-1-1,シトニー・リグドンとこの事に関し思いを凝らし、疑いなく祈りの心もて考え居たるとき、ここに誌せる如き栄光に満ちたる示現を給まりたり。わが教会の歴史、第1巻、245頁（英文）を見よ。真理も、智恵もまた奥義すらも、啓示によりてこれを受くるにふさわし
教76,*-*-1-1-1,ことを約したもう。義しき者にも義しからざる者にもついに来る復活。かの2人の長老、イエス・キリスト生きたもうと厳粛なる証を親しく立つ。ルシフェルの放逐と、サタンとしてのこの世に於ける悪の活動。"滅亡の子"となる者の恐るべき運命。日、月、星、の光
教76,*-*-1-1-1-1,それぞれ明らかなる区別あること。その光栄に入る人々の資格。救い主の御業の光栄ある完成。
教76,1,聞け、汝ら諸々の・よ、地よ耳を傾けよ。喜べ、そこに住む者たちよ。主は神にして、主の他に救い主なければなり。
教76,2,主の智恵は偉大にして、その為したもうところは驚嘆すべく、その御業の終は誰も知る者なし。
教76,3,その企ては敗るることなく、またその御手を止め得る者絶えてなし。
教76,4,永遠より永遠に主は同じにして、その齢は尽くることなし。
教76,5,主かくの如く言う。主なるわれはわれを畏るる者に恩恵と憐みとを与え、終りまで義しく且つ真実にわれに仕うる者に誉を与うるを喜ぶ者なり。
教76,6,彼らの得る酬いは大きく、その栄えは永遠なるべし。
教76,7,われは彼らにすべての奥義、すなわち昔より今に至り、またこれより永き未来にわたるわが王国のあらゆるかくれたる奥義を知らしめ、わが王国に就けるすべてに関するわが旨を知らしめん。
教76,8,誠に家員の驚異をも彼らは知らん。またやがて起るべきこともわれ彼らに示さん。すなわち多くの代のことを彼らに示すべし。
教76,9,而して、彼らの智恵は大いなるものとなりてその覚りは天に届かん。彼らの前にはすべて賢き有nの智恵も滅し、慎み深き者の覚りも物の数ならず。
教76,10,そはわが"みたま"によりて彼らの覚りを開き、わが能力によりてわが意の秘密を彼らに知らしむればなり。すなわち、誠に人の眼いまだ見ず、人の耳いまだ聞かず、人の心にいまだ入らざるものをも知らしむと。
教76,11,われらジョセフ・スミス（2代目）およびシドニー・リグドンは、わが主の1832年2月16日、"みたま"を感じ、
教76,12,神に関する物事を見て覚るよう、"みたま"の能力によりてわれらの眼は開けわれらの覚りは明るくなれり。
教76,13,すなわち、誠に始めより御父の懐に在りし、御父の生みたまいし独子によりて、御父の定めたまいたる創世の前に始めより在りし物事を見て覚れり。
教76,14,われらこの御方に就きて証をなす。その証はすなわち御子イエス・キリストの完全なる福音にして、われらは展開の示現の中に御子にまみえ御子と言葉を交えたり。
教76,15,われら、先に主の命じたまいたる翻訳の業に従いつつありし説き、ヨハネ伝第5章29節に至れり。誌され

たるところはすなわち、
教76,16,人の子の声を聞きて出で来る者にかんする死者の復活のことを語りて、
教76,17,善を為したる者は正しき者の復活によみがえり、悪を行いたる者は正しからざる者の復活によりがえるべし、と。
教76,18,すなわち、この事われらを驚かせたり。そは"みたま"によりてわれらに与えられたればなり。
教76,19,われらこれらの事を思いめぐたせる時、主われらの覚りの眼に手を触れたまいたれば、われらの両眼開けて主の御栄あたりに輝やけり。
教76,20,而して、われら御父の右に御子の栄光を見、その無上完全なるものを受けたり。
教76,21,またわれら、聖き天使らおよび御座の前に聖とせらるる者たちが神と子羊とを拝み、しかも永遠に神と子羊とを拝むを見たり。
教76,22,さて、この狐疑対に就きて為されたる様様の証の挙句、われらの為す最後の証はすなわち"主は実に生きたもう"こと是なり。
教76,23,われらは、彼がすなわち神の右に座したもうを見たり。また、御父の生みたもう独子なりと証たもう声を聞けり。
教76,24,すなわち諸々の世界は彼の手により、彼の手を経て、また彼に因りて先に造られ、また現に造られ、これに住む者たちも皆神より生れた息子と娘なることを証したもう。
教76,25,われらまたこの事を見てこれが証をなす。すなわち、神の御前に於て権威ありし神の1天使、御父に愛せられてその懐に在りし神の生み給える独子に叛きて、神と御子の前より突き落され、
教76,26,天の群衆彼のために泣き悲しみたれば"滅亡"と呼ばる。彼はすなわちルシフェルなりき。
教76,27,われら、彼の堕つるを見たり。おお、彼は堕ちたり。おお暁の子といえども堕ちたり。
教76,28,われらいまだなお"みたま"に感じつつある間に、主はわれらに命じってこの示現を誌さしめたもう。そは、われらの見たるはサタンにして、神に叛きてわれらの神の王国と神のキリストとを取らんとせし古き蛇、すなわち悪魔なりければなり。
教76,29,この故に、彼は神の聖徒らと戦をなして彼らを攻め囲めり。
教76,30,われらは、彼と戦て敗れたる者の苦痛を示現の中に見たり。そはその時、主の御声次の如くわれらに来りたればなり。
教76,31,すなわち、神の能力を知りこれに与る者とせられしも、而も悪魔の能力により打ち破られて真理を否み、神の能力に反抗する者共に突きて主はかくの如く言いたもう。
教76,32,彼らはすなわち"滅亡の子"にして、この世に生れざりしならばかえって善かりしならん。
教76,33,そは、彼らは怒りを盛る器にして、悪魔とその使たちと共に永遠に神の怒りを受くる様定められしもんあればなり。
教76,34,而して、この世に於てもまた来るびき世に於ても赦さるることなしと、この者たちにつきてわれ言えり。
教76,35,すなわち、彼らは聖霊を受けて後これを否定し、また父の生みたもう独子を印南てこれを自ら十字架に附け、公にこれを辱しめたればなり。
教76,36,これらの者は、悪魔とその使らと共に硫黄の日の燃ゆる湖に行くべき者にして、
教76,37,すなわち第2の死がその上に力を奮う唯一の者たちなり。
教76,38,誠に然り。彼らは神の怒りによる苦痛を受けし後、主の時節に及びても贖いを受けざる唯一の者たちなり。
教76,39,これ、この世のいまだ造られざりし前に御父の懐にありこの世に来りて殺されたまいし子羊の勝利と栄光とに由り、すべて他の者たちは死せる者の復活によりて呼び出だされればなり。
教76,40,その時天より声ありてわれらに証せる福音、すなわち喜びの音信とはかくの如し。
教76,41,それ、イエスは由に来りたもうて由のため十字架に附けられ、由の罪を負い、世を聖くし、あらゆる不義を潔めたもう。
教76,42,これ、彼が御父より手の中にわたされて造りしあらゆるものを彼によりて救わんためなり。
教76,43,彼は御父の栄光を輝かし、彼の手に成るすべてのわざを救うなり。ただ"滅亡の子"たちを除く。そは、御父が御子を顕したまいし後これを受け入れざるを以てなり。
教76,44,この故に、彼は"滅亡の子"たちを除くほか、すべてのものを救いたもう。すなわち"滅亡の子"たちは永劫の罰に行くべし。そは無限の罰、永遠の罰、悪魔とその使たちと共に永久に住むことにして、そこにては死なざるうじと消えざる火とありて彼ら苦しむなり。
教76,45,而もその終、その場所、その苦しみもこれを知る者絶えてなし。
教76,46,ただその罰を受くる者のほか、過去、現在、未来にわたりて何人にも示さるることなきなり。

教76,47,さりながら、主なるわれ、示現によりて多くの人にこれを示せどもこの示現は直ちにまた閉さる。
教76,48,これを以て、その果、幅、高さ、深さまたその不幸のさまもその罰を受くと定められたる者たちの他には何人といえどもこれの解る者なし。
教76,49,また、われら御声を聞きぬ。曰く、この示現を誌すべし。見よ、これ神に従わざる者の苦患を見する示現の終りなり、と。
教76,50,されば、われら重ねて証をなす。すなわちわれら眼にて見、耳にして聞きし故なり。而して、こはすなわち正しき者の復活によりて出で来る者たちに関するキリストの福音の証なり。
教76,51,これらの者は、イエス・キリストの証詞を受入、その御名を信じ、その葬られたまいしさまに従い御名によりて水中に沈められてバプテスマを受けし人々なり。こは、主の与えたまいし誡命によるものにして、
教76,52,すなわち、かく誡命を守ることによりてあらゆる彼らの罪を洗い潔め、聖霊を授くる権能を結び固められ按手聖任せられたる者の按手によりて聖霊を受けんためなり。
教76,53,而して、これらの者は信仰によりて打ち勝ち、御父が義しく且つ真実なる者に皆注ぎたもう約束の聖き"みたま"によりて結び固めらる。
教76,54,而して、これらの者は"長子"の教会員にして、
教76,55,御父はこれらの者の手にすべてのものを与えたまい、
教76,56,また、彼らは御父の無上完全と御父の栄光とを受けたる祭司にして、また王なるなり。
教76,57,而して、エノクの神権に等しく、また神の生みたもう独子の神権に等しかりしメルケゼデクの神権に等しきいと高き神の祭司なり。
教76,58,この故に彼らは誌されたる如く神々にして、すなわちまた神の子なり。
教76,59,この故に、すべてのものは皆彼らのものなり。生けるも死ぬるも、現在のものも、はた未来のものも皆然り。すべては彼らのものにして、彼らはキリストのもの、キリストはまた神のものなり。
教76,60,この故に彼らはすべてのものに打ち勝たん。
教76,61,これを以て人は人を誇るよりも、むしろ神を誇るべし。神はすべての敵を脚の下に従わせたもう。
教76,62,これらの者は神とそのキリストとの御前に、いつまでも限りなく住まわん。
教76,63,これらの者はイエスがこの世に於てその民を治めんために天の雲に乗りて来りたもう時、彼に連れられて共に来らん。
教76,64,これらの者は、第1の復活に与らん。
教76,65,これらの者は、義しき者の復活に出で来らん。
教76,66,これらの者は、シオンの山にまた生ける神のいと聖き神聖なる町に来りぬ。
教76,67,これらの者は、数限りなき天使の群に来り、すべてが相集る時に来り、エノクの教会および"長子"の教会に来る者なり。
教76,68,これらの者は、神とキリストとがすべてを審きたもう者にて在す天にその名を誌さるる者なり。
教76,69,これらの者は、新しき誓約の仲保者にして而も自らの血を流してこの待ったき贖罪を為し遂げたるイエスによりて完くせられたる義人たちなり。
教76,70,これらの者の体は火の光栄に属し、その光栄は日輪の光栄にしてすなわち神の光栄なり。この神の光栄たるや最高の光栄にして、而も書の中には大空の日輪をその光栄の表徴として誌せり。
教76,71,われら、また月の光栄の世界を見たり。誠に見よ、これらのものは月の光栄に属する者にして、その光栄は御父の無上完全を受けたる"長子"の教会員の光栄とは異る。すなわち月輪の光栄の大空に於ける日輪の光栄と異るが如くなり。
教76,72,見よ、これらの人々は、律法無くして死にたる者なり。
教76,73,また、これらはひとやに繋がれし人々の霊にして、御子のこれらの有Nを訪れて福音を時たまいしは、彼らが肉体にて人のごとく審かれんためなり。
教76,74,而してこれらの者は、肉体に在る時イエスの証詞を受けず、後に至りてこれを受けたる者なり。
教76,75,またこれらの者は、世に在りては義しき者なりしも人間の巧智によりてその眼を暗まされたる者なり。
教76,76,これらの者は、イエス・キリストの栄を受くるもその完きを受けざる者なり。
教76,77,これらの者は御子の輪在を受くるも、御父の無上完全に与るを許されざる者なり。
教76,78,これを以て、その体は月の光栄の体にして日の光栄の体にあらず、その光栄の異ること月輪と日輪と異るが如し。
教76,79,これらの者はイエスの証詞をなすに雄々しからず、この故に彼らはわれらの神の王国の冠を得ざるなり。
教76,80,さて、これ月の光栄に突きてわれらの見たる示現の終りにして、而も主はわれらがなお"みたま"に感じつつある間にこれを誌せと命じたまえるものなり。

教76,81,われらまた星の光栄を見たり。その光栄は更に小さき光の光栄にして、大空に於ける月輪の光栄と諸星の光栄と異るが如し。
教76,82,これらの者はキリストの福音も受け入れず、また、イエスの証も受け入れざりし者たちなり。
教76,83,これらの者は、聖き"みたま"を否まざる者なり。
教76,84,これらの者は地獄に突き落さるる者なり。
教76,85,すなわちこれらの者は、主すなわち子羊なるキリストがその御業を為し終えたもうときまで、すなわち最後の復活に至るまで悪魔より贖われざらん。
教76,86,これらの者は、永遠の世界に於て主の無上完全なるものを受けずして、月の光栄に在る者たちの導きと教えとによりて聖き"みたま"を受く。
教76,87,而して、また月の光栄に在る者たちは、日の光栄に在る者たちの導きと教えとによりて聖き"みたま"を受く。
教76,88,また星の光栄に在る者たちは、彼らに導きと教えを与うるために任命せられたる、または任命されてこれらの守護霊となりたる天使たちの施すによりて聖き"みたま"を受く。そはこれらの者は救いを受嗣者となればなり。
教76,89,われらかくの如く星の光栄を天の示現にて見たれども、そは人智の秤知らざるものなりき。
教76,90,而して、こは神より現わして見せられたる者の他に知る者絶えてなし。
教76,91,また、われらかくの如く月の光栄を見たれども、そは如何なる点に於ても星の光栄に勝る、すなわち光栄と能力と、勢いと、支配の及ぶ所に於て皆勝りたるを見たり。
教76,92,またわれらかくの如く日の光栄を見たれども、こはあらゆる点に於て他より勝れたり、すなわち比所に於ては神すなわち御父その御座より永遠に治めたもうなり。
教76,93,そもそも、父なる神の御座の前にはすべてのもの皆畏れ敬いて額づき、永遠に御栄を讃め奉る。
教76,94,神の御前に住む者は"長子"の教会員なり。彼らは見らるる如く見、知らるる如く知りて、神の無上完全と神の恩恵とを受く。
教76,95,而して、神はまた彼らをして能力と、勢い、支配の及ぶ所を神と等しくならしめたもう。
教76,96,およそ、日輪の光栄の1つなる如く日の光栄も1つなり。
教76,97,また、月輪の光栄の1つなる如く、すなわち月の光栄も1つなり。
教76,98,また諸星の光栄の1つなる如く、すなわち星の光栄も1つなり。而して諸星の光輝各々相異る如く、すなわち星の光栄の世界に於ける栄えの次第もまた随って各々相異る。
教76,99,これらの者は或はパウロに属き、或いはアポロに属き、また或はケパに属く者あればなり。
教76,100,これらの者は、或者は或1人に属くと言い、他の者はまた別の或1人に属くと言う。すなわちキリストに属く者、ヨハネに属く者、モーセに属く者、エライヤスに属く者、イザヤスに属く者、イザヤに属く者またはエノクに属く者もあり。
教76,101,されど彼らは福音を受け入れず、イエスの証詞も受け入れず、予言者も永遠の誓約も受け入れざりし者たちなり。
教76,102,最後に、これらはすべて聖徒らと共に集められず、従って高く挙げられて"長子"の教会に入れられ雲の中に迎えられえざる者共なり。
教76,103,これらの者たちは偽りを言う者、魔術を行う者、姦淫を行う者、娼婦を買う者、また何人にまれ偽りを好てこれを言う者たちなり。
教76,104,これらの者は地に於て神の怒りを受くる者なり。
教76,105,これらの者は永遠の火の報いを受くる者なり。
教76,106,これらの者はキリストが脚の下にすべての敵を征服し、その御業を完うせらるるその時の満つるまで地獄に投げ入れられ、全能の神の怒りを受けて苦しむべき者なり。
教76,107,その時イエスは御父に王国を引き私、御前に汚れなくこれを捧げて宣わん。われ勝ちぬ、われひとりにてさかぶねを踏めり。すなわち全能の神の烈しき怒りのさかぶねを踏めりと。
教76,108,然る後彼は栄冠を受け、その有ちたもう能力の御座につきて限り無くいつまでもすべ治めたまわん。
教76,109,されど見よ、まことに見よ。われらはまた星の光栄の世界とそこに住める民とを見たり。彼らの限り無く数大きこと大空の星の如くまたは海辺の砂の如し。
教76,110,而して、われら主の言いたもう声を聞けり。すなわちすべてこれらの者共は御名そのひざを折りかがめ、いつまでも限りなく御座にましますイエスに向いて、すべての口よりその罪を告白せざるべからず。
教76,111,そは彼らはその為せる行いによりて審かれ、すべての人はその行いによりて備えられたる住家に於て各自の領分を受くべければなり。
教76,112,彼らはいと高き神の僕となれども、神とキリストの在すところには決していつまでも来ること能わずと。
教76,113,こは、われらの見たる示現の終りにして、而もわれらなお"みたま"に漢字つつある間にこれを誌せと命

ぜられしものなり。
教76,114,されど、神の御業は偉大にして驚嘆すべく、われらに示されたるその王国の奥義はその光栄、勢い、支配の及ぶところ、如何なる智を以てもこれを量り知るべからず。
教76,115,而して、こはまたわれらなお"みたま"に感じつつある間に誌すことなかれと主の命じたまいしものにして、また人がこの事を口にするは法に適わざるものなり。
教76,116,またこれらのことは、人の言葉によりて知らすことを得るものにあらず。こは神を愛し神の前に自らを潔くする人々に神の与えたもう聖き"みたま"の力によりてのみ、ただこれを見これを悟るべきものなればなり。
教76,117,神はかかる人が独りこれを見、これを知る特権を与えたもう。
教76,118,かくして"みたま"の能力と顕現とによりて、人は肉体を持てる間に栄光の世界に於ける神の御前に出ずるに堪え得るなり。
教76,119,願わくば栄光と誉と支配と、限りなくいつまでも神と子羊とにあらんことを。 アーメン。
教77,,教義と聖約　第77章
教77,*-*,1832年3月、オハイオ州ハイラムにて予言者ジョセフ・スミスに給える啓示。ヨハネ黙示録の1部分に関するある解釈。
教77,1,問。黙示録第4章第6節に、ヨハネの言える"ガラスの海"とは何なるか。答。そは聖められ、不滅にせられ、永遠の状態となりたる地球なり。
教77,2,問。同節中に言わるる"4つの生物"によりて何を理解すべきか。答。そは、黙示録ヨハネが神のパラダイスなる天、および人と、獣と、這うものと、空の取りとの幸福を誌すに用いたる表象的言い表しにして、霊界のものはこの世のものの象にして、この世のものは霊
教77,2-1,象なればなり。すなわち、人間の霊は人の身体の象にして、また神の造りたまいしあらゆる獣およびその他の生物の霊も御名かくの如きを誌せしなり。
教77,3,問。この4つの気のもは1個1個の獣に限られたるか、または数ある種類、階級を表すものなるか。答。これらの4つの各個の獣に限らる。而して、こはヨハネに示されて、彼らが永遠の幸福を享くる際に於ける彼らの定められたる序列、すなわち彼らの創造の範囲内に
教77,3-1,生物の階級に属する乞い営を表すなり。
教77,4,問。その獣の有てる眼と翼とによりて、吾人は何を理解すべきか。答。眼は光明と智恵を表す。すなわち、彼らが知識に充ち満ちたることを示す。また翼は能力を表し、動くことなどを示すなり。
教77,5,問。ヨハネの言う24人の長老によりて何を理解すべきか。答。ヨハネの見たるこれらの長老たちは、先に忠実に導きと教えを施して死にたる者なり。また彼らは7つの教会に属したる長老にして、その時神のパラダイスに在りし者たちなりと覚るべし。
教77,6,問。裏に7つの印を以て封印したる、ヨハネの見たる巻物によりて何を理解すべきか。答。その巻物は啓示せられたる神の聖旨と、神の奥義と、神の御業とを載せ、またこの世のつずく7、000年間、すなわちこの世が存在する期間に関する神慮の秘密を載せたるもの
教77,6-1,覚るべし。
教77,7,問。この巻物に封印したる7つの印によりて何を理解すべきか。答。第1の封印は最初の1、000年間に起る事に当り、第2の封印は次の1、000年間、かくの如くして第7、000年に至ることを覚るべし。
教77,8,問。黙示録第7章第1節に記せる4人の天使によりて何を理解すべきか。答。こは神より遣わされたる4人の天使にして、この世の4つの部分を支配する権力を与えられて生命を救い、或いは壊り、また永遠の福音をあらゆる国民、あらゆる血族、あらゆる国語の民、あ
教77,8-1,世の人々に伝え、諸天を封印し、生命を得るよう結び固め、また暗黒の世界に投げ入るる能力を有てる者たちなりと覚るべし。
教77,9,問。黙示録第7章第2節に誌せる東の方より登りくる天使によりて何を理解すべきか。答。東の方より登りくる天使とは、イスラエル12支族を治むるため生ける神の印を与えられたる天使なり。これを以て、この天使は永遠の福音を有てる4人の天使に向って叫べり。
教77,9-1,われらの神の僕の額にわれらが印を捺すまでは、地も海もまた木々も傷うべからずと。汝らもし受け入るる心あらば、こはすなわちイスラエルの支族を集めて、すべてのものを回復するために来るべかりきエライヤスなりと覚るべし。
教77,10,問。この章に誌されたることの完うさるべきは何時なるか。答え。そは、この先第6の1、000年間に完うせらるべし。すなわち、第6の封印解かれたる時なり。
教77,11,問。イスラエル全体の支族より144、000、すなわち各々の支族より12、000づつを印せしことによりて何を理解すべきか。答。この印せられたる者たちは、永遠の福音を掌どるべき神の聖き神権に按手任命せられたる大祭司なり。そは"長子"の教会に来らん

教77,11-1,皆連れ来るために、この世の国民を掌どる堪能を与えられたる天使らによりて、あらゆる国民、あらゆる血族、あらゆる国語の民、あらゆる世の人々の中より按手任命せられたる者たちなればなりと解すべし。
教77,12,問。黙示録大8章に誌せるラッパの音によりては何を理解すべきか。答。神は6日にしてこの世を創り、7日目にその業を終えてこれを聖め、また地の塵より人を創りたまいし如く、主なる神は大7、000年目の始めに当り、この世を聖め、人類の救いを完うし、あら
教77,12-1,あらゆるものを審き、ただ御手の中に置きたまわざる者のみを除きて、その他の者をことごとく贖いたまわん。その説きすべてのもの最後に至るまで一切を結び片目たもうべし。故に7人の天使のラッパの音は、第7、000年目の始めに於ける神の御業の備えと結びな
教77,12-1-1,すなわち、彼のやがて来りたまわんときの途の備えなりと解すべし。
教77,13,問。目次徳第9章に誌されし事は何時完うさるべきか。答。そはキリストの来りたもう前、すなわち第7の印を釈きたる後に完うせらるべきなり。
教77,14,問。黙示録第10章に誌せる、ヨハネ食い尽くされたる小さき巻物によりて何を理解すべきか。答。こは彼がイスラエルの支族を集むる使命と儀式なりき。見よ、これこそ書に誌されたるが如く、必ず来りてすべてのものを回復するエライヤスなりと覚るべし。
教77,15,問。黙示録第11章に誌せる2人の証人によりて何を理解すべきか。答。そは回復の釈きに当り、末の世に於てユダヤ人に対して起るべき2人の予言者にして、ユダヤ人が集められて先祖の地にエルサレムの市を建てたる後ユダヤ人に予言を為すべき者なり。
教78,,教義と聖約　第78章
教78,*-*,1832年3月、オハイオ州ハイラムにて予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示。こは貧しき者の生計を確立するため、主よりエノク(ジョセフ・スミス2代目)に給いし制度なり。わが教会の歴史、第1巻、250頁(英文)を見るに次の註あり。すなわち"主
教78,*-*-1,啓示の中にて告げたまいし個人の名は、当時世に知らるること必ずしも望ましきにあらざるを以て、この啓示の中にてまた後に示されし若干の啓示の中にて、その兄弟らの名は本名以外の名前にて呼ばれたり。されど、今は最早個人の名前を秘して1時語らぬ必要は無く
教78,*-*-1-1,以て、その後には本名をカッコの中に誌せり"と。この世の事を律するために、民をして更に完全に組織すること必要なり。聖徒間の平等の精神に就きてじゅうじゅん教え給う。更に啓示を時々給うこと。"長子"の教会の会員たることの意義を定め給う。
教78,1,主、エノク(ジョセフ・スミス2代目)に語りて、主なる汝らの神は、わが教会の大神権に按手聖任せられて而も相集れる者たちよ耳を傾けよ、と言う。
教78,2,また天より汝らを按手聖任し、而も汝らがわが前に表したることによりて汝らに救いを来らしめんために、汝らの耳の中に智恵ある言を語る者の助言を翌聴け、と主なる神言う。
教78,3,誠に、われ汝らに告ぐ、時来れり、今やその時は近づけり。見よ、みよ、比所にてもまたシオンの地にても両つながら、わが民の中の貧しき者のために倉の事務を規定し確立して必ずわが民を組織せざるべからず。
教78,4,言い換うれば、汝らが採用したる仕事を押し進めんため、人の救いと天に在す父なる神の栄光とのために、わが教会にとりて限りなき永遠の施設と制度として、エノク(ジョセフ)の市なかるべからず。
教78,5,かくして、天に就ける事の義務に於ては必ず平等となるなえい。然り、天に就けるものを得んためには、地に就ける物に於てもまた平等となる。
教78,6,汝らもし、この世の物に於て平等ならざれば天の物を受くるに於ても平等なること能わざるなり。
教78,7,汝らもし、日の栄の世界に1つの所を得んことをわれに願わば、わが命じて汝らに求むるところを行いてその備えを為さざるべからず。
教78,8,さて、誠に主は言う。今この制度に共に加わりたる汝らにより、すべての事わが栄光のために為さるるはわが必要とするところなり。
教78,9,言い換うれば、わが僕アハシダ(ニューエル・ケイ・ホイットニー)、わが僕ガゼラム或いはエノク(ジョセフ・スミス2代目)、わが僕ペラゴラム(シドニー・リグドン)らは、シオンに居る聖徒らと共に相議るべし。
教78,10,然らずば、サタンは彼らの心を動して真理より離れしめ、その心を暗くして、彼らのために備えられたることを覚ること能わざらしめん。
教78,11,この故にわれ破り得ざる1つのきずな、すなわち永遠の誓約によりて汝ら備えをなし且つ組織せんために1つの誡命を与う。
教78,12,而してもしこれを破る物あらば、教会に於ける職と地位とを失い、贖いの日までサタンの手に打ち叩かるるままにわたされん。
教78,13,見よ、こはわれ汝らを備うる準備と、わが与うる礎と範例とにしてこれによりて汝らに与えらるる誡命を成就すべし。

教78,14,これ、汝らに如何なる艱難降るといえども、わが摂理によりて日の栄の下に在る他の一切の生くる物の上にわが教会員の自立せんがためにして、
教78,15,また汝らが来りて汝らのために備えられたる冠を得て、多くの王国の統治者とせられんためなり。かくの如く、アダム・オンダイ・アーメンの礎を建てたる"シオンの聖者"なる主なる神言う。
教78,16,この神は、すなわちミカエルを汝らの君に任命してその両脚を固うし、高き位に彼を置きて、生命の始めなく齢の終なき"聖者"の聖旨と導きとの下に救いの鍵を与えし神なり。
教78,17,誠にまことにわれ汝らに告ぐ、汝らはいまだ幼児にして、父なる神がその御手の中に如何に大いなる恵みを有ちてこれを汝らの為に備えたまいしかをいまだなお覚らざるなり。
教78,18,汝らいますべての事に堪うる能わず、さりながら心安かれ。われ汝らを導きて行けばなり。王国は汝らのものなり。それに属ける祝福も汝らのものなり。また、永遠の富も汝らのものなり。
教78,19,およそすべてを感謝して受くる者には栄光を与えられん。而して、この世のものもまた彼に加えらるることすなわち100倍よりも多からん。
教78,20,この故にわが汝らに命じたることを行うべしと。汝らの贖い主、すなわち御子アーマンは言いたもう。而してこの贖い主は、汝らを御許に引取る前にあらゆることを備えたもうなり。
教78,21,何となれば、汝らは"長子"の教会員なれば主は雲の中に汝らを取り上げ、あらゆる人にその与うべき分を頒ちたまえばなり。
教78,22,されば、忠実にして賢き管理人は、すべてのものを受けつぐべし。 アーメン。
教79,,教義と聖約　第79章
教79,*-*,1832年3月、オハイオ州ハイラム予言者ジョセフ・スミスによりて給まりし啓示。ジェレド・カーター再び東方の国に赴くべきを命じたもう。命を守らば、大いなる報いあるべき約束。
教79,1,誠にわれ汝らに告ぐ、わが僕ジェレド・カーターは再び東の国々に行き、比所より彼所に、市より市に、すでに彼が按手聖任せられたる按手聖任の権威を有ちて経巡り、大いなる喜びの音信、すなわち永遠の福音を宣ぶることはわが旨なり。
教79,2,われ"慰め主"を彼に遣わさん。而して、この"慰め主"は真理と行くべき所を彼に教えん。
教79,3,而して、彼忠実ならばわれ再び多くの束を以て彼に冠を与えん。
教79,4,わが僕ジェレド・カーターよ、この故に喜びて怖るるなかれ、汝の主、すなわちイエス・キリストこの事を言う。 アーメン。
教80,,教義と聖約　第80章
教80,*-*,1832年3月、オハイオ州ハイラムにて予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示。スティーヴン・バーネットとイーデン・スミスに導きと教えを施す働きに関して給える誡命。
教80,1,誠に、主かくの如く言う。わが僕スティーブン・バーネットよ。行けよ。世に出で行きて、汝の声を聞きて来る一切の生くる者に福音を説け。
教80,2,汝、伴侶となる者を求むるにより、わが僕イーデン・スミスを汝に与えん。
教80,3,この故に、汝ら出で行きてわが福音を説け。汝らは北に南に東に西に、何所へ行くとも関りなし。そは、何所へ行くとも首尾よければなり。
教80,4,この故に、何自らの今までに聞き、誠に信じ且つ真実なりと知るところを宣べよ。
教80,5,見よ、こは汝らを召したる者汝らの贖い主すなわちイエス・キリストの意なり。 アーメン。
教81,,教義と聖約　第81章
教81,*-*,1832年3月、オハイオ州ハイラムにて予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示。フレヂリック・ジー・ウイリヤムス召されて大祭司および当教会大管長会副管長となる。
教81,1,誠にまことに、わが僕フレヂリック・ジー・ウイリヤムスに告ぐ、汝語る者の声に、主なる汝の神の言に耳を傾け、また汝が召されて、すなわちわが教会の大祭司となり。またわが僕ジョセフ・スミス（2代目）の副管長となるその召を聴け。
教81,2,われはジョセフ・スミスに王国の鍵を授けたるが、こは大神権の大管長会に常に属するものなり。
教81,3,この故に、われ誠に彼を承認して祝福を授けん。また汝評議に、すなわちわが任じたる職務に忠実にして、また常に声を出しても心の中にも公にも秘にも祈る祈りに、また生ける人々の国と汝らの兄弟の間に導きと教えを施す業に忠実ならば汝にもまた祝福を授けん。
教81,4,これらのことを為して、汝は汝の同胞に最上の善を行いまた汝の主の栄光をいや増さん。
教81,5,これを以て汝忠実なれ。而してわれに命ぜられたる職務に服し、弱き扶け、垂れたる腕を挙げ、かよわきひざを強うすべし。
教81,6,而して汝終りまで忠実ならば、汝はわが父の家にわが備えたる住居にありて、不死不滅の冠と永遠の生命とを与えられん。

教81,7,見よ、みよ、こはアルパにしてオメガ、すなわちイエス・キリストの言なり。 アーメン。
教82,,教義と聖約　第82章
教82,*-*,1832年4月26日、ミズーリ州ジャクソン郡にて予言者ジョセフ・スミスに給まりたる啓示にして、エノクに給まりたる制度とその時代に於ける教会とを示したもう。此時は当教会の大会議にしてこの会議に於て予言者ジョセフ・スミスは大神権の大管長たることを
教82,*-*-1,支持せられたり。而して、スミスはこの大管長の任には1832年1月25日、オハイオ州アムハストに於ける大祭司、長老、および会員らの大会に於て先に按手聖任されたりしなり。わが教会の歴史、大1巻、267頁（英文）を見よ、めずらしき名前の説明には、大
教82,*-*-1-1,前書を見よ。主は罪を戒め悔改めを賞したもう。主の聖旨を尋ね求めて、然る後その聖旨に副わざる者は罪人なり。主の誡命に従えば、主は必ず約束を果したもう。聖徒らに管理の役を執行する誓約をなすことを命ぜらる。利己主義を抑えて、あらゆる人はその隣人の利
教82,*-*-1-1-1,求むべきこと。
教82,1,誠にまことにわれ汝らに告ぐ、わが僕らよ。汝ら互に罪を許したれば、主なるわれも正にその如く汝らを許すなり。
教82,2,それにも関わらず、汝らの中には今や甚しく罪を犯したる者あり、否、汝ら全部すら今や罪を犯したり。されど、われ誠に汝らに告ぐ、痛き審きの汝らの頭上に下らざらんため、今より後警めて罪より遠ざかれ。
教82,3,およそ、多く与えらるる者は多く求められ、また一層大いなる光に抗らいて罪を犯す者は、一層大いなる罪の宣告を受くべければなり。
教82,4,汝らわが名を呼びて啓示を求む。されば、われはこれらを汝らに与うるなり。されど、わが汝らに与うる言を守らざれば罪人となる。正義と審判とはわが律法に附きたる応報なり。
教82,5,この故に、われが1人に向いて言うことは、すべての人に向かいて言うことなり。汝ら警めよ。悪魔はその領分を拡げ、暗黒は支配せり。
教82,6,而して、神の怒りはこの世に住める人々に向いて燃ゆ。而も善を行う者1人もなし、皆正しき道より外れたればなり。
教82,7,さて、われ誠に汝らに告ぐ、主なるわれ、今汝らに罪を負わせざるべし。汝ら往きて今より罪を犯すなかれ、罪を犯す者には前の罪彼に帰るべしと主なる汝らの神言う。
教82,8,またわれ汝らに告ぐ、汝らに就けるわが意旨を覚らしめんために、今新しき1つの誡命を与う。
教82,9,すなわち言い換うれば、汝らの救いのためになるために、汝らわが前に如何なる行いを為すべきかを指示す。
教82,10,汝らわが言うところを行わば、主なるわれこれに対して責任あり。されど、汝ら何ら約束を受けず。
教82,11,この故にわれ誠に汝らに告ぐ、わが僕アラムとアハシダ（ニューエル・ケイ・ホイットニー）、マハラリールとペラゴラム（シドニー・リグドン）、わが僕ガゼラム（ジョセフ・スミス）、ホラーとオリハー（オリヴァ・カウドリ）、シャレマナセとマヘムソン（マーテ
教82,11-1,ハリス）らは、審判の直ちにつずきて下らざる限り汝ら銘々の管理の役に罪によりて破り得ざるきずなと誓約とによりて共に繋がれ、
教82,12,すなわち貧者のための事務、およびシオンとシネハ（カートランド）両地の監督職に就けるすべての事務を処理するは必要なることなり。
教82,13,今は、将来時来たらばいと高き神の聖徒とシオンのステーキ部の為に、われシネハ（カートランド）の土地を聖くしたればなり。
教82,14,すなわちシオンはその美と聖とを増し、その教生きは拡がりそのステーキ部は堅うせられざるべからず。われ誠に汝らに告ぐ、シオンは起ちてその美しき衣服を着けざるべからずと。われ誠に汝らに告ぐ、シオンは起ちてその美しき衣服を着けざるべからずと。
教82,15,されば、われ汝らにこの誡命を与う。すなわち汝らこの誓約によりて責任あり。而して、そは主の律法に由りてなさるべきなり。
教82,16,見よ、汝らのため、ここにまたわれに智恵あり。
教82,17,汝らは平等たるべし。言い換うれば、汝らの管理人の職に関する事を処理せんために、正当なる必要あらばすべての者その必要に応じて財産を要求する平等なる権利あるべきなり。
教82,18,こはすべて生ける神の教会のためにして、すべての人その財産を利用増加せしめ以て財産を殖して利益を得、またこれを100倍して主の暗に納め入れ、これが全教会の共有財産とならんためなり。
教82,19,すなわち、すべての人その隣人の利益を図り、誠心誠意神の栄光を顕すためにすべての事を為すなり。
教82,20,この精度は、汝ら罪を犯さずば、汝らにとりてまた汝らの子孫にとりて永遠の精度となるためにわが定め

たるところなり。
教82,21,而して、この誓約に対して罪を犯し心を頑固にする人は、わが教会の律法に従って処理し贖いの日に至るまでサタンに付して打ち叩くに任せられん。
教82,22,さて、われ誠に汝らに告ぐ、汝ら不義の財を以て己が友を得よ。こは智恵あることなり。然らば、彼らは汝らを滅ぼすことなからん。
教82,23,審判はただわれひとりに任せよ。そは審くことはわが事にしてわれ応報を与えん。平安汝らと共にあれ。わが祝福はいつまでも汝らと共にあれ。
教82,24,汝らもし堅固にして堕落せずば、王国は正になお汝らのものにして永遠に然あらん。誠に然り、 アーメン。
教83,,教義と聖約　第83章
教83,*-*,1832年4月30日、ミズーリ州インデペンデンスにて予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示。この啓示は、予言者スミスが兄弟らと共に会議に列席したる時に給まりたり。婦女小児らの、夫および父親らに扶助を求むる権利。寡婦または孤児らの教会に扶助を
教83,1,教会に属せる者にして夫または父親を失える婦女および小児らに関し、教会の律法に附け加えて誠に主かくの如く言う。
教83,2,妻たる者は夫の死に至るまで夫に扶養を要求する権利あり。而して彼らもし罪を犯すことなくば、教会の中に在りて正会員たる資格を得ん。
教83,3,彼らもし忠実ならずば、教会の中に在りて正会員たる資格を得ず。されど国の法律に従ってそのゆずりの土地に留ることを得。
教83,4,すべて子女たる者丁年に達するまで養育の義務を両親に要求する権利を有す。
教83,5,丁年に達したるのちその両親相続物として彼らに与うるもの無き時は、教会すなわち言い換うれば主の倉庫に向かいて要求する権利を有す。
教83,6,而してこの倉庫は教会員の捧物によりて支えられ、寡婦孤児および貧者も同じくこれより給与を受くべし。 アーメン。
教84,,教義と聖約　第84章
教84,*-*,1832年9月22日および23日に、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示。9月の月中に長老たちは東部諸州の伝道より帰り始め、また彼らの働きの報告を作製し始め居たりき。以下の啓示を受けたるは、この喜びの時節に彼らが
教84,*-*-1,居りたる時のことなりき。予言者はこれを神権に関する啓示と名づく。わが教会の歴史、第1巻、286頁（英文）を見よ。1つの神殿は、この代の中にシオンの地に建てらるべきこと。モーセよりさかのぼりてアダムに至るまでの聖なる神権の系譜。聖なる神権と小神
教84,*-*-1-1,間の関係。これら両つの神権を保有する者はモーセおよびアロンの各息子らと呼ばるること。これら神権に達する者の祝福と特権。罪の束縛。新しい且つ永遠の誓約。"みたま"の賜、明記さる。主、その僕らを共と呼びたもう。伝道の働き最も必要なり。邪悪のため、
教84,*-*-1-1-1,来らんとす。
教84,1,こは、神お僕ジョセフ・スミス（2代目）と6人の長老たち心を合わせて天に声を挙げたる時、これらの者に下したまえるイエス・キリストの啓示なり。
教84,2,誠にその予言者たちの口によりて語りたまえる如く、主の民を回復する目的を以てまた新エルサレムの市となるべきシオンの山に立つためにその聖徒らを集むる目的を以てこの末の世に創立せられたる主の教会に関する主の御言なり。
教84,3,而してこの市は、ミズーリ州の西境に在りて示したまい、またジョセフ・スミス（2代目）および主の御旨に適いし他の者たちの手によりて献ぜられたる神殿の敷地より始めて建てられん。
教84,4,誠にこは主の御言にして、すなわちこの新エルサレムの市は聖徒らの集合によりてまずこの場所より始めて建てらるべし。すなわちこの場所とは神殿の敷地にして、またその神殿は今の代に建てらるべきものなり。
教84,5,誠に主のために1つの宮居建てらるるまでは、今の代はことごとくは過ぎ行かざるべし。雲その宮居の上にかかり、その雲はすなわち主の栄光にして而もその栄光宮居の中に満つるべし。
教84,6,さてモーセの子孫は、モーセが妻の父なるエツロの手より受けたる聖なる神権によりこの神権を受けつぎ、
教84,7,エツロはカレブの手よりこれを受け、
教84,8,カレブはエリフの手よりこれを受け、
教84,9,エリフはエレミの手よりこれを受け、
教84,10,エレミはガドの手よりこれを受け、

教84,11,ガドはイザヤスの手よりこれを受け、
教84,12,イザヤスは神の御手よりこれを受けたり。
教84,13,イザヤスはまたアブラハムの時代に在りて、彼より祝福を受けたり。
教84,14,而してこのアブラハムはメルケゼデクよりこの神権を受け、メルケゼデクは代々父の系統によりてこれを受けつぎノアに至るまでさか上る。
教84,15,また代々父の系統によりてノアよりエノクに至り、
教84,16,エノクよりアベルに至る。こおアベルは、その兄弟の陰謀によりて殺されし者なるが、彼は神の命により人間の始祖なるアダムの手よりこの神権を授けられたり。
教84,17,この神権は、すべての世に神の教会連綿として在り。而して生命の始めなく齢の終りなくあるなり。
教84,18,主はまたアロンとその始祖の末に至るまで1つの神権を確認したまい、この神権もまた、神の最も聖き神権に等しきかの神権と共に連綿として代々いつまでも在るものなり。
教84,19,而してこの大神権は福音を授け、また王国の奥義の鍵、すなわち神の知識の鍵を保つものなり。
教84,20,この故に、これを以て礼式を執り行う時に神の能力顕る。
教84,21,而して、この神権を以てする礼式と神権の権能なくしては、肉身を持てる人間に神の能力顕るることなし。
教84,22,そはこれなくしては、何人も神の御顔、すなわち御父の御顔を見て生き得る者なければなり。
教84,23,さてモーセは、荒野に於てイスラエルの子たちにこの事を明らかに教え、その民神の面を見ることを得んために孜々として彼らを聖くせんことを努めたり。
教84,24,されどその民その心を頑固にしたれば、神の御前に出るに堪えざりき。故に主の憤り彼らに向って燃えたれば、主は怒りたまい、彼ら荒野に在る間主の休息に入るべからずと誓いたまえり。この休息とは、すなわち主の無上完全なる栄光なり。
教84,25,この故に、主はモーセを彼らの中より取り去りたまい、またかの聖なる神権も同じく取り去りたまえり。
教84,26,されど小神権は続きたり。而して、この神権は天使の人を助くる鍵と備えの福音の鍵とを保つ。
教84,27,またこの福音は悔改めとバプテスマ、罪の赦し、肉体に関わる誡命の律法の福音にして、主は怒りの中にアロンの1家と共にイスラエルの子らの中にこれをヨハネに至るまで続かせたまえり。而してこのヨハネ網これを育て上げたまい母の胎より聖霊に満たされたる者な
教84,28,ヨハネいまで幼かりし時バプテスマを受け、神の天使により生れて8日にしてこの神権に按手聖任せられて権能を受けたるは、ユダヤ人の王国をたおし、その民の目の前に主の満ちを直くし、すべての能力を御手の中に持ちたもう主の来りたもう時のためにその民を預め
教84,28-1,置かんためなりき。
教84,29,更にまた長老と監督との職は、大神権に属する欠くべからざる附属の職なり。
教84,30,更にまた教師と執事との職は、小神権に属する欠くべからざる附属の職にして、この小神権はアロンとその子孫に確認せられたるものなり。
教84,31,この故にわれモーセの息子らにつきて言いし如く、すなわちモーセの息子らとまたアロンの息子らとは、主の宮居の中にありて神の喜びたもう捧物と犠牲とを奉るべし。而してその宮居は、わが指定したる如き聖くされたる土地に今の代に主のため建てらるべきものなり
教84,32,またモーセとアロンの息子らは、シオンの山上主の宮居の中に在りて主の栄光に充たさるべく、而して汝らはモーセとアロンの息子たちなり。またわれの召して、わが教会を打ち建てんために遣わしたる多くの者たちもまた然り。
教84,33,およそ忠実にしてわが今語れる2つの神権を得、而してその天よりの召を全力を尽して遂行する者たちは、"みたま"により聖められてその肉体再新さる。
教84,34,これらの者はモーセの息子たちょとなり、アロンの息子たちとなり、アブラハムの子孫となり、また教会員にして王国の民となり神の選民となる。
教84,35,主は言う、またすべてこの神権を受け入るる者は、われを受くるなり。
教84,36,そは、わが僕らを受け入るる者はわれを受ければなり。
教84,37,また、われを受け入るる者はわが父を受くるなり。
教84,38,而して、わが父を受け入るる者はわが父の王国を受くるなり。この故にわが父のもてるすべては彼に与えらるべし。
教84,39,而してこは神権に属ける誓詞と誓約によりて然るなり。
教84,41,されど何人にまれ1度この誓約を受けて後これを破り、またことごとくこれに違背する者はこの世に於ても未来の世に於ても罪の赦しを受くることなかるべし。
教84,42,而して汝らが受けたるこの神権に来らざる者はすべて禍なるかな。この神権は今日比所に居る汝らの上

に、天よりわが声によりて今やこれを確認し、且つまたわれは正に天の衆軍とわが天の使たちに汝らを預けたり。
教84,43,われ今汝らに1つの誡命を与えて汝ら自らを警めしむ。すなわち汝ら永遠の生命なる言に努めて心を留めよ。
教84,44,そは、汝ら神の口より出るすべての言によりて生くべければなり。
教84,45,主の言は真理にして、およそ真理なるものはすべて光なり。およそ光なるものはすべて"みたま"にして、すなわちイエス・キリストの"みたま"なり。
教84,46,"みたま"は世に来るあらゆる人々に光を与え、また"みたま"はその声を聴く全世界のあらゆる人々を照すなり。
教84,47,この"みたま"の声を聴くすべての人は神に来る。すなわち、御父の許に来るなり。
教84,48,御父はこの者に、汝らに新に結びて確認したまいし誓約を教えたもう。而してこの誓約は汝らのために確認したまいしものなれども、ただに汝らのためのみならず、また全世界のために為したまいしなり。
教84,49,されど全世界の人々は罪の中に伏し、暗黒と罪のかせとにうめき苦しめり。
教84,50,これに由りて汝らは、彼らが罪のかせの下にあることを知るを得。そは彼らわが許に来らざるによりてなり。
教84,51,およそわが許に来らざる者は罪のかせの下にあればなり。
教84,52,またわが声を受け入れざる者はわが声を知らず、故にわれに属ける者にあらざるなり。
教84,53,これに由りて、汝ら義しき者と悪しき者との区別を知り得ん。然も、全世界の人々は今なお罪と暗黒との下にうめくのを知り得ん。
教84,54,而して汝らの心は過ぎにし時に暗かりき。そは汝らの不信仰なるため、また汝らが受けたるものを軽んじたるためなりき。
教84,55,すなわち、その虚栄と不信仰とは全教会をして咀いを受けしめたり。
教84,56,而して、この咀いはシオンの子らすなわちすべての子らの上に留りたり。
教84,57,されば人々悔い改めて、新なる誓約すなわちモルモン経と先にわが与えたる以前の誓約とを思い起して、ただにこれを口にするのみならず、またわが誌したる所に従いてこれを実行するまで以前この咀いの下にあるべし。
教84,58,すなわち、これ御父の王国に適う実を結ばんためにして、然らざればシオンの子らの上にはなお下るべき1つの懲しめと審き残るべし。
教84,59,そもそも、王国の子たちはわが聖地を汚してよきか。まことにわれ汝らに告ぐ、決して然らず。
教84,60,誠にまことにわれ今わが言を聞く汝らに告ぐ。その言はわが声にして、汝らこれらのことを受くれば幸福なるかな。
教84,61,すなわち、われ汝らの罪を許してこの誡命を与う。その誡命とは、汝らに伝えたるこれらのことを全世界に証するに、汝らの心の中に厳かと祈りの精神とを確く執りて失わざることなり。
教84,62,この故に汝ら全世界に出で行くべし。われ何所にても汝らの行く能わざる所に汝らを遣わさん。かくして、証は汝らより出で全世界に知られ、一切の生くる者に及ぶなり。
教84,63,而して、われわが使徒たちに語りし如く汝らに告ぐ、そは汝らはわが使徒にしてすなわち神の大祭司たちなり。また汝らはわが父のわれに与えたまいし者なり。汝らは誠にわが友なり。
教84,64,この故に、われわが使徒たちに語りし如く更に汝らに語る。すなわち、およそ汝らの言を信じ、罪を赦されんため水によりてバプテスマを受くる人はすべて聖霊を受けん。
教84,65,而して、信ずる者にはこれらのしるしともなわん。
教84,66,すなわち、わが名によりて彼らは多くの驚嘆すべき業をなし、
教84,67,わが名によりて悪霊を追出し、
教84,68,わが名によりて病める者を医し、
教84,69,わが名によりて盲者の目を平木、みみしいの耳を明け、
教84,70,おしの舌、言葉を出し、
教84,71,毒を盛らるることも害を受けず、
教84,72,蛇の毒も彼らを害する力なからん。
教84,73,されど、われ彼らに1つの誡命を与う。すなわちこれらのことを誇ることも、世の人々の前に語ることもなかれ。そはこれらは、汝らの益と救いとのために与えらるればなり。
教84,74,誠にまことにわれ汝らに告ぐ。汝らの言を信ぜず、聖霊を受くるために、罪を赦されんためわが名によりて水に入れてバプテスマを受けざる者は罪の宣告を受け、父とわれの在るわが父の王国へ来ることを得ず。
教84,75,而して、汝らに与えたるこの啓示と誡命とは、今直ちに全世界に施され、またこの福音をいまだ受けざり

しすべての人々に及ぼすべきなり。
教84,76,されど、誠にわれ、わが王国を与えられたるすべての者たちに言う。彼らは以前の悪行を悔い改むべしと、汝らより彼らに向いて宣べざるべからず。何となれば、彼らは神を信ぜぬ悪心のため咎めらるべき者なればなり。また、シオンに於ける兄弟たちにも、われ汝らを
教84,76-1,時これに叛きたることに対して咎めらるべし、と宣べざるべからず。
教84,77,われまた汝らに告ぐ、わが友よ。以後、われ汝らを友と呼ぶべし。汝らは、わが能力によりて福音を説くためにわれと友い在りて旅したる時代に於けるわが友の如くなるべしと言う、この誡命を汝らに与うるは必要なることなり。
教84,78,何となれば、われは彼らに財布も旅のふくろも、また2つの上衣も携うることを許さざりし故なり。
教84,79,見よ、われ世の人を試さんために汝らを遣わす。而して働く者はその値を得るに適わし。
教84,80,およそ、出で行きてこの王国の福音を宣べてすべての事に終始忠実なる者は、何人も心に衰えを感ずることなく、また心暗くなることもなし。体も手足も関節も衰えず。神知りたまわずにはその頭髪一筋も地に落つることなく、また飢ゆることも渇くこともなかるべし。
教84,81,この故に、明日のことを思いわずらうことなかれ。何を食い、何を飲み、また何を着んと憂うることなかれ。
教84,82,野の百合の如何にして育つかを思え。労せず、紡がざるなり。されど、この世の王国全盛の時だにも、その装いこの花の1つにも如かざりき。
教84,83,天に在す汝らの父はこれらのものすべて汝らになくてならぬことを知りたもう。
教84,84,この故に、明日のことは明日の憂うるに任せよ。
教84,85,汝らまた預め何を言わんと憂うることなかれ。ただ終始生命の言を心に蓄うべし。さらば必要の時に当り、すべての人に適いたる言うべき言を与えらるべし。
教84,86,この故に、この誡命は神により福音を宣ぶる働きのために教会より召されたるすべての忠信なる者に与えらるるなれば、汝らの中何人にても出でてこの王国の福音を宣ぶる者は、今この時より財布と旅のふくろを携うることはかれ。
教84,87,見よ、われは世の人々のなせるすべての義しからざる行為を責め、また来るべき審判に就きて教うるために汝らを世に遣わす。
教84,88,誰にても汝らを受け入るる者には、われもまたそこにあらん。そは、われ汝らの前に先立ちて行くべければなり。われは汝らの右に在り、また左に在らん。わが"みたま"は汝らの心の中に在り、またわが天使らは汝らを囲みて懐き支えん。
教84,89,誰にても汝らを受くる者は、われを受くるなり。故にこの者たちは、汝らに糧と衣服と金銭とを与えん。
教84,90,而して、誰にても汝らに糧か、衣服か、金銭かを与うる者は必ずその報いを失わじ。
教84,91,而して、およそこれらのことを為さざる者はわが弟子にあらず、故にこれによりて汝らわが弟子を知るを得ん。
教84,92,汝らを受け入れざる者には、汝らのみ独りこれより離れ去りて、熱くとも冷くとも、水すなわち清き水もて汝らの足を洗い清め、天に在す汝らの父にその証を為して再びその人の許に帰るべからず。
教84,93,而して如何なる村、また如何なる市に入るとも汝ら同じく為すべし。
教84,94,さりながら勉めて尋ね、能力を惜しむなかれ。汝らを拒み、または汝らの言を拒み、またはわれに関する汝らの証詞を拒む、その家、村、或いは市は禍なるかな。
教84,95,われ重ねて言う。汝らを拒みまたは汝らの言を拒み、またはわれに関する汝らの証詞を拒むその家、村或いは市は禍なるかな。
教84,96,そは、全能者は世の人々の邪悪を懲さんとて諸々の国民の上にわが手を置きたればなり。
教84,97,また、疫病出で来りてわが業の完うせらるるまでこの世より止むことなからん。而して、わが業は正義に適いて短くせられん。
教84,98,すなわち、ついにいと小さき者より大いなる者に至るまでことごとく、その中に留まれるわれを知りて主に就ける知識に充たされ、目と目と相見人々声を挙げ共に声を合せてこの新しきうたを唱わん。すなわち、
教84,99,主は再びシオンを興しませり。主は恵みもてその民イスラエルを選び、かれらを贖いたまえり。そは、先祖の信仰と誓約とによりて恵みに入りしなり。
教84,100,主はその民を贖いたまえり。サタンは縛られたり、もはやこの世の時なし。主は万物を1つに集めたまえり、主は天よりシオンを下したまえり。主は下よりシオンを挙げたまえり。
教84,101,地は生みの苦しみをなし、その力を出せり。真理はその中に建てらる。天は地にほほ笑み、地はその神の栄光をまとう。神はその民の唯中に立ちたまえばなり。
教84,102,栄光も、名誉も、力も、威勢もわが神に帰し奉る。神は愛憐に充ちたまえばなり。義しきと、恵みと真理と平和、ときはかきはに神にあれ、アーメン。

教84,103,また、われ誠にまことに汝らに告ぐ、汝ら出で行く者ことごとくわが栄光の福音を宣べ、また家族あれば贈物として金銭を受け、またこれを彼らに仕送り、または神の命じたもう如く彼らのために利用するは必要なることなり。かくの如くそはわれに善しと見ゆればなり
教84,104,すべて家族を有たざる者にして而も金銭を受くる者は、啓示を公にし、これを印刷に附し、またシオンを設立するために聖くする目的にてこれをシオンの監督またはオハイオの監督に送れ。
教84,105,何人にても、もし汝らの中の誰かに1着の上衣または衣服を与えなば、古きものをとりてこれを貧しき者に与え喜びて行くべし。
教84,106,もし汝らの中、誰にても"みたま"の力強き者あらば、弱きところの者を伴い、かくしてこれを至極おだやかに教え導きて以て彼もまた強くならしむべし。
教84,107,この故に、汝ら小神権に按手聖任せられたる者を伴い、汝らに先立ち行きて約束をなさしめ、その途の備えをなさしめ、而して汝ら自ら充たす亜他業る約束を充たさしむ。
教84,108,見よ、古えのわが使徒たちがわれに教会を樹てたる次第はかくの如し。
教84,109,この故に各人皆自らの職務を守り、自らの天職を努め、頭の足に向いて入用なしと言わしむるなかれ。そは足なくして、いかで体の立つことを得んや。
教84,110,また体はあらゆる他の部分を要するなり。かくしてすべて互いに強め養いて、その系統完全に保たるるなり。
教84,111,見よ、大祭司は皆旅に出ずべきなり。また長老も小神権の祭司も皆旅に出ずべきなり。されど執事と教師とは、皆教会を護るために任命を受けて教会常任の教職者となるべし。
教84,112,而して監督ニューエル・ケイー・ホイットニーもまた巡回してすべての支部教会の中を廻り、貧しき者を探ねて富める者おごれるものの謙りによってその乏しきを賑わしめよ。
教84,113,彼はまた代理者を1人雇い、彼の命ずるに従いて彼の俗務を処理せしむべし。
教84,114,さりながら、監督はまたニューヨーク、アルバニーまたはボストンなどの市に行き、高き声を上げ福音の言もてこれらの市のすべての人々に、もし人々誠にこれらのことを拒まば大いなる荒廃と完全なる滅亡近きにあることを警むべし。
教84,115,もし彼ら誠に福音を拒むときは、彼らの審かるる時は近くその家は荒れ果つるに任されん。
教84,116,彼はわれを信ずべし。さらば、あわて惑うことなからん。而して、神知りたまわずには彼の頭髪一筋だに地に落つることなからん。
教84,117,われ誠に汝らに告ぐ、その余のわが僕らは事情の許す限り銘々の天職を有ち、大いにして名ある町村に出で行き、世の人々を正義の上よりその不義と不信仰なる行為をすべて責め、末の世に於ける荒らす憎むべきものを明白に而も納得する様に述ぶるべし。
教84,118,主なる全能者言う。汝と共に、われ彼らの王国を破らん。また地を揺り動かすのみならず、星の満ちたる天をも震わしめんと。
教84,119,主なるわれ、天の力を振わんために手を伸べたり。汝ら今それを見る能わず。されど、今暫しの中に汝らそれを見てわれ在るを知らん。而も、たまわれ来りてわが民と共に統べ治むることを知らん。
教84,120,われはアルパなりオメガなり、始めなり終りなり。アーメン。
教85,,教義と聖約　第85章
教85,*-*,1832年11月7日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりてミズーリ州シオンに於ける聖徒らに関して給える啓示。わが教会の歴史第1巻、298頁（英文）を見よ。シオンに於けるゆずりは奉献によりて受け納れらるべきこと。聖徒間のゆず
教85,*-*-1,する準備為さる。
教85,1,主の任命したまいたる主の書記の為すべき義務は教会の歴史を記録し、またシオンに起るあらゆる出来事、また財産を奉献して監督より適法にゆずりを受け取るすべての者に関し、
教85,2,また、その者たちの生活状態、その信仰および行為、またゆずりを受け取たる後教会に叛きたる者などに就きて一般的教会記録をなすことなり。
教85,3,神の与えたる律法に適いたる奉献によりてゆずりを受け取らざる者たちの名を、神の民の名と共に登録するは神の旨と誡命とに背けり。而して、この律法とは、神が応報と焼滅ぼしの日に備えてその民に什分の一を納めさせんがために下したるものなり。
教85,4,これらの人々の系図を誌すことあるべからず。或は教会の歴史または記録に見出され得る如何なる所にもこれを載することもあるべからず。
教85,5,万群の主言う。これらの人々の名もまたその父その子らの名も、決して神の律法の書に誌すことなかれ。
教85,6,そのささやく如何なるものをも貫き透し、その現わるるやしばしばわが骨までおののかしむるかの静かなる細き声かく言う。

教85,7,すなわち、われ主なる神1人の強くして力ある者を遣わさん。その手には笏を持ち、その体には光明の衣を着け、而してその口は言、すなわち永遠の言を発せん。同時にその腹は真理の泉にして神の家を整え、割当によりて聖徒のゆずりを取極めん。而してそれらの者の
教85,7-1,律法の書に見出され、その父、その子らの名はまた神の律法の書に登録せらる。
教85,8,然るに、神に召され人を受けたるに、神の匱を抑えんとして手を差出すその人は、まばゆき1条の電光に撃たるる木の如く忽ち撃たれて死のほこに倒るべし。
教85,9,而して、覚えの書に載せられざる者たちは、すべてその日にゆずりを与えられずして寸断にせられ、彼らの受くべき分は不信者の中に定められ、その所にて悲しみ切歯することあらん。
教85,10,これらのことはわれより言うにあらず、この故に主はその言いたもう如くまた成就したもうべし。
教85,11,また、大神権を有する者はもちろん小神権を有する者、教会員たちにして律法の書にその名を見出されざる者、或いは教会に叛きたること知られまたは教会より絶縁せられたること知られたる者は、その日に於ていと高き神の聖徒の中にあるゆずりを見出すことなかるべ
教85,12,故にエズラの書第2章61乃至62節に誌されたる如く、祭司の子らになされたると同じくこの者たちにもまたなさるべきなり。
教86,,教義と聖約　第86章
教86,*-*,1832年12月6日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示。小麦と毒麦とに関する主の譬話の解釈。末の世に対するその適用。
教86,1,誠に主、小麦と毒麦との譬話に就き、汝らわが僕たちにかくの如く言う。
教86,2,見よ、誠にわれ告ぐ、それ畑はこの世にして使徒たちは種蒔く者なりき。
教86,3,種蒔く者寝入りたる後、教会を大いに迫害する者、教会に叛く者、あそびめすなわちバビロンあり、こはすべての国民にそのさかずきより飲ましめ、而もその心の中には敵なるサタン坐して支配す。見よ、その者毒麦を蒔くなり。この故に、毒麦は小麦を塞ぎて教会を荒
教86,3-1,追いやるなり。
教86,4,されど見よ、末の世に今や主まさにその言を世に出し始めんとするに当り、葉すでに出でつつあれどもなおいまだ軟かなり。
教86,5,すなわち見よ、われ誠に汝らに告ぐ、天使らは夜昼主に向いて叫び、畑に遣わされて刈り取らんことを待ち構えつつあり。
教86,6,されど主、天使らに言う、汝ら小麦もまた損なわざるよう葉のいまだ軟らかなる時（すなわちまことに汝らの信仰弱きとき）毒麦を抜き取ることなかれ。
教86,7,この故に、小麦も毒麦も共に刈り入れの時充分熟するまで育つに任せよ。而して、それよりまず小麦を毒麦の中より選みて集め、小麦を取り集めたる後、見よ、みよ、毒麦は束につかねて畑は焼くばかりなり。
教86,8,この故に、かくの如く主汝らに言う。汝らはすなわち代々父の決闘によりて神権を有つ者たちなり。
教86,9,何となれば、汝らは肉に由りて正統なる由つぎにして、神の中にキリストと共にこの由より隠されたればなり。
教86,10,すなわち、この故に汝の生命と神権とは依然残されたり。而して由の始めよりこの方すべての聖なる予言者の口によりて語られたるすべての事の回復する時まで、汝と汝の血統とによりてこれは必ず依然残らざるべからず。
教86,11,さればもし汝ら絶えずわが善を行い、異邦人の光となり、この神権によりてわが民イスラエルを救う者とならば汝ら幸福なり。主、このことを得えり。　アーメン。
教87,,教義と聖約　第87章
教87,*-*,1832年2月25日、予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示と、戦争に就きての予言。北部諸州と南部諸州との分裂、神の懲しめの見てを現わす大いなる災厄。
教87,1,誠に、主は近く起らんとする戦争に就きてかくの如く言いたもう。そは間もなく南カロナイナの版単に始まり、ついに多くの人々の死と苦悩とに終るものにして、
教87,2,戦争はこの地に始まりてついにはすべての国民の上に押しよする時来らん。
教87,3,見よ、南の諸州は北の諸州に反して分裂し、而して南の諸州は他の諸国民、すなわち言うところの大英国の国民を呼び、こはまた他の国民より自らを防衛せんがために更にまた他の国民を呼び、かくしてそれよりすべての国民の上に戦争押しよするべし。
教87,4,而してその後多くの日を経て、奴隷主に反抗して起たん。而してこの奴隷たちは戦争のため隊を整え訓練を受くべし。
教87,5,また、その土地に残されたる遺りの者たちは、隊を整え甚しく怒りて激しき悩みをもて異邦人を苦しめん。
教87,6,かくして由の住民は刀と流血とによりて悲しむべく、また由に住む民は、飢饉、疫病、地震、天雷、また目

を射る如きすさまじきいなづまによりても、全能の神の激しき怒りと懲しめの手とを感知し、ついに神の命じたまいたる滅亡はすべての国々の最后とならん。
教87,7,かくして、聖徒らの叫びと聖徒らの血の叫びとは、その讐を復さんがため血より天に登りてサバオツの主の耳に達することなかるべし。
教87,8,この故に、汝ら主の日来るまで聖き所に立ちて動くことなかれ。見よその日の来るは速なればなり、と主は宣う。 アーメン。
教88,,教義と聖約 第88章
教88,*-*,1832年12月27日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示。予言者により"橄欖の歯"と名すけらる。わが教会の歴史、第1巻、302頁（英文）を見よ。"慰め主"の行いたもう聖務。真理の光。人間は霊と体とより成る。僕
教88,*-*-1,遣わし、順番にこれを訪う人の譬話。祈りと勉学とにより真理探求の訓戒。長老たちの証詞について災厄の証詞あるべきこと。主の再臨に従って起る光景。命ぜられし如く。順次ラッパを鳴らす天使たち。予言者塾の塾長会の義務。洗足の儀式。
教88,1,汝らに関する主の旨を受けんがために寄集れる者たちに、誠に主かくの如く言う。
教88,2,見よ、こは汝らの主の喜ぶところにして、また天使たちも汝らを見て喜ぶなり。汝らの祈りの施しはサバオツの主の耳に達し、聖められたる者たちすなわち日の栄の世界に住む者たちの名簿の書に誌さる。
教88,3,この故に、われ今更に別の"慰め主"を正にわが友なる汝らに遣わして汝らの心の中に共に在らしむべし、これすなわち約束の聖き"みたま"なり。この他の"慰め主"とは、すなわちヨハネの証詞の中に誌さるる通りわれがわが弟子たちに約束したると同じものなり。
教88,4,この"慰め主"は、われが汝らに永遠の生命、すなわち日の栄の王国に栄光に就きて約束するところのものなり。
教88,5,その栄光は"長子"の教会の栄光まことに最も聖き神の栄光にして神の子イエス・キリストによる。
教88,6,すなわち、キリストはいと高き所に昇れり、また同じくよろずの物の下にまで身を落せり、それにて彼はすべての物を含み以てすべての物の中に在りてすべての物を貫き真理の光となる。
教88,7,而してその真理は輝けり、こはキリストの光なり。また同じ彼は日輪の中に在り、而して日輪の光にしてまた日輪を造りしその力なり。
教88,8,また同じく月輪の中に在り、月輪の光にして月輪を造りしその力なり。
教88,9,また同じく星の光にして、また星を造りしその力なり。
教88,10,またすなわち汝らの立てる地を造りしその力なり。
教88,11,而して今輝きて汝らを照らすその光は、汝らの眼を明るくする彼によりて来り。而もまた汝らの理解を生かす光と同じ光なり。
教88,12,而してこの光は、神の前よりさし出でて広大なる宇宙に満ち充てり。
教88,13,すなわち、この光すべての物の中に在る光なり。こはすべてのものに生命を与え、而もすべてのものを支配する律法にして、すなわちすべてのものの中に在り、永遠の内に在り、自らの王座の上に在る神の力なり。
教88,14,さてわれ誠に汝らに告ぐ、そもそも汝らのために為されたる罪の贖いによりて、死せる者よりの復活は来るなり。
教88,15,而して、人間は霊と体とより成る。
教88,16,また死にたる者より復活することは、霊と体とを贖うことなり。
教88,17,されば、この霊と体との贖いはすべてのものを生かす者によりて来り、地の貧しき者と柔和なる者は地をつぐべしとその生かす者の胸の中に定められたり。
教88,18,これを以て、日の栄を受くる備えを為さんために、地はあらゆる不義より必ず聖められざるべからず。
教88,19,およそ、地はその創られたる目的を満たしたる有ち、父なる神の御前に在ると言う光栄の冠を受けべければなり。
教88,20,これ、日の栄の王国に属く人々は限り無くいつまでも地を所有せんがためにしてまた地はこの意志を以てそれが造られ、且つ創造せられ、またこの意志を以て人々は聖められるるがためなり。
教88,21,またわが汝らに与えたる律法、すなわちキリストの律法によりて聖められざる者たちは別の王国、すなわち月の栄の王国または星の栄の王国をつがざるべからず。
教88,22,そは、日の栄の王国の律法に従う能わざる者は日の栄に堪うる能わざればなり。
教88,23,また、月の栄の王国の律法に従う能わざる者は月の栄に堪うる能わず。
教88,24,また、星の栄の王国の律法に従う能わざる者は星の栄に堪うる能わず。この故に、この者は栄の国に適わざる者なり。これを以てこの者は栄の国にあらざる1種の国に堪えざるべからず。
教88,25,また、われ誠に汝らに告ぐ。地は日の栄の王国の律法に従えり。そはその創られたる目的を満たして、

律法を犯すことなければなり。
教88,26,この故に、地は聖くせられん。然り、地は死すべしといえども死よりまた生き、その生かすものの力と共に在れば、義しき者たちは地を受けつぐべし。
教88,27,この義しき者たちは、死するといえどもまた再び霊に生かさるる体となりてよみがえるべければなり。
教88,28,日の栄の霊の者たちも、肉体たりしと同じ体を受くべく、すなわち汝らは汝らの体を受けて、汝らの光栄は汝らの体を生かしたる光栄と同じからん。
教88,29,日の栄の1部によりて生かさるる汝らは、それよりそれと同じ栄、誠に完全なる栄を受くべく、
教88,30,月の栄の1部によりて生かさるる者たちはそれよりそれと同じ栄、誠に完全なる栄を受くべく、
教88,31,また、星の栄の1部によりて生かさるる者たちは、それよりそれと同じ栄、誠に完全なる栄を受くべし。
教88,32,而して、残れる者たちもまた生くべしといえども、彼らはまた再び自らの場所に帰り、その受くべかりしものを進んで受けざりしにより自ら進んで受くるところのものを受くべし。
教88,33,およそ、人贈物を与えらるるにこれを受けずば何の益あらんや。見よ、彼は送られたるものを喜ばず、また贈りし人をも喜ばざるなり。
教88,34,われまた誠に汝らに告ぐ。およそ律法によりて支配さるる者はまた律法によりて護られ、これによりて全くせられ聖くせらるなり。
教88,35,律法を破り律法を守らずして己れの欲するところを行わんとし、進んで罪の中に留りまた全く罪の中に住る者は、律法によりてもまた愛憐、正義、審判によりても聖くせられ得ず。さればこれっらの者たちは、なお常に穢れの中に止まらざるべからず。
教88,36,およそ、すべての王国には皆1つの律法を与えらる。
教88,37,それ、王国は多し。そは、如何なる空間にも王国なきは無くまた大なる王国も小なる王国も、その中に空間なき国はあらざるなり。
教88,38,而も、そのいかなる王国にも1つの律法を与えらる。且ついかなる律法にもまた或る制規と条件ありて、
教88,39,すべて、これらの条件に堪え得ざる者は、皆義しとせられざるなり。
教88,40,英智は英智に結びつき、智恵は智恵を受け、真理は真理を含み、徳は徳を愛し、光は光につく。また愛憐は愛憐を顧みて自らの愛憐を主張し、正義はその道を進み行きて自らの正義を主張し、また審判は王座に座してすべてのものを支配しすべてのことを執り行う者の前
教88,41,この王座に座する者は万物を含み、万物はその前にあり。また万物はその周りにあるなり。彼は万物の上に在り万物の中に在り、万物を貫きて在り万物の周りに在り、万物は彼に依りてあり、彼に因りてあるなり。彼はすなわちとこしえに神なり。
教88,42,また誠にわれ汝らに告ぐ。彼は昔より万物に1つの律法を与え、この律法によりて万物は時と期に随い運行を止めざるなり。
教88,43,而してこの運行の道は定まりて動かず、正に天地の道にして地とすべての遊星に通ずるものなり。
教88,44,而して、地と星とはまたその時と期に於て、分と時と日と週と月と年とに於て相互に光を与うるなり。すなわち、すべてこれらは神には年なれども人にはすなわち然らず。
教88,45,地はその道をかけり、日輪は昼間その光を与え、月輪は夜その光を与え、諸星もまた夜にその光を与え、みな神の能力の中にその光栄を顕してかけり行く。
教88,46,汝らの理解せんがためにわれこれらの王国を何に譬えんか。
教88,47,そもそも、これらは皆王国なれば、その何れにてもまた如何に小さきものにても、見たる人は皆みいつ堂々と進み神を見たるなり。
教88,48,われ汝らに告ぐ。彼は神を見たるなり。それにも関らず、その民に来りたる者をその民これを覚らざりき。
教88,49,その光は暗黒に輝くに暗黒はこれを覚らざりき。さりながら、汝らついにすなわち神を知るの日来らん。而して、汝ら神に生され神に依りて生かされん。
教88,50,その時汝らはわれを見たることを、われ在ることを、またわれは汝らの中にある真の光にして汝らわが中にあることを覚らん。然らざれば汝ら充ち満つること能わざらん。
教88,51,見よ、われ1つの畑を有ちてこれを耕やさんがために僕らを遣わさんとする1人の人にこれらの王国を譬えん。
教88,52,彼第1の僕に向いて曰く、汝畑に行きて働け。われ、第1時に汝の許に行かん。而して汝、わが悦ぶ面を見んと。
教88,53,彼、第2の僕に向いて曰く、汝もまた畑に行きて働け、われ第2時に汝の許にわが悦ぶ面をもて行かんと。
教88,54,また第3の僕に向いて曰く、われ汝を訪うべしと。
教88,55,またかくの如くして、第4より第12に至る。

教88,56,畑の主は第1時に第1の僕の許に至りて、その時間一杯彼と共に在り。僕は主の面の光輝によりて喜びを得たり。
教88,57,それより主、第1の僕の許を去りてまた第2の僕を訪い、第3、第4と次第に第12に及べり。
教88,58,かくの如くして、彼らことごとくその定められたる時刻と時と期に於て皆主の面の輝きを受けたり。
教88,59,すなわち、第1の僕より始めて最後より最初に及び、また最初より最後に至る。
教88,60,ことごとくのもの、その順序によりて各々時刻終るまですなわち主の命じたる如く為せり。これ、主彼にありて光栄を顕さんためまた彼主にありてことごとく者栄光を得んためなり。
教88,61,この故に、この譬をもてわれすべてこれらの王国とそこに住める人々とになぞらえん。すなわち、神の定めたる法令に従いすべての国々には時刻と時と期のあることを表すなり。
教88,62,またわれ誠に汝らに告ぐ。わが友よ。われこれらの言を汝らに残すは、われ近きに在る間に汝らわれを呼べと言うわが与うる誡命を汝らが心の中に思い廻らすためなり。
教88,63,すなわちわれに近づけ、さらばわれ汝らに近づかん。熱心にわれを求めよ。さらば、汝らわれを見出さん。求めよ、さらば与えられ、叩けよ、さらば開かるることを得ん。
教88,64,何にてもわが名によりて御父に願うところ汝らのため必要なることは汝らに与えらるべし。
教88,65,されど、もし何にても汝らに必要ならざることを願わば、かえって汝ら罪せらるることとなるべし。
教88,66,見よ、汝らの耳に入る声は荒野に呼ばわる者の声の如し。荒野と言うは、汝らその者を見得ざればなり。この声はわが声なり。そはわが声は"みたま"なればなり。わが"みたま"は真理なり。真理は常住無窮なり。而して、この真理汝らの中に在ればすなわちそは充ち
教88,67,而して、もし汝ら誠心誠意わが光栄を顕さんとすれば、汝らの全身光明に充たされて汝らの中に暗黒なく、その光明に充ちたる体はすべての事を理解せん。
教88,68,故に、汝らの心誠心誠意神に向わんがために、汝ら自ら聖くせよ。さらば、汝ら神を見るの時あらん。そは、神その面を汝らに現わすべければなり。而してその神の時、神の欲するまま、神の旨によりて起るべし。
教88,69,わが汝らと為したる、かの大いなる最後の約束を憶えよ。汝らの空しき考えと、過度の笑いとを遠く投げうつべし。
教88,70,汝ら切にここに停まれよ。而して、正にこの最後の王国に於ける最初の働き人たちの聖会を招集せよ。
教88,71,汝らの旅行中に警告をなしたる者たちに、主を予備てその受けたる警めを暫しの間心中に深く考えしむべし。
教88,72,見よ、みよ、われ汝らの羊群を護り、長老たちを起して彼らに遣わさん。
教88,73,見よ、われその時期に於けるわが業を急ぐべし。
教88,74,而して、われはこの最後の王国に於ける最初の働き人なる汝らに1つの誡命を与う。すなわち汝ら寄り集りて組織をなし、備えと聖めとをなすべし。誠に、われの汝らを清浄にせんため、わが前に汝らの心を潔め、また汝らの手と汝らの足とを清めよ。
教88,75,かくて、われは汝らがこの悪しき世の血によりて汚れざることを、汝らの父にして汝らの神なるわがっかみに証をなし、以てわが欲する時、わが汝らと約束したるこの約束を成就すべし。
教88,76,われまた汝らに1つの誡命を与う。すなわち、汝ら今より後祈りと断食とを続けて行うべし。
教88,77,またわれ汝らに1つの誡命を与う。すなわち汝ら互いにこの王国の教義を教ゆべし。
教88,78,汝ら熱心に教えよ。さらばわが恩恵は汝らに伴い、かくして汝らの理解する必要ある理論と原理と、教義と福音の律法と、神の王国に就けるすべての事は更に完全に教えらる。
教88,79,また天にても地にも地の下にも関わりあること、またすでに起りたること、今有ること、近く必ず起らんとすること、また国内に有ること、国外にあること、また戦争、諸国民の葛藤、地上に下る審判、而して国々と王国とに就ける知識などもまた然り、
教88,80,これ、汝らがわが汝らを召したる天職と、わが汝らに委任したる使命とを全力を尽して遂行するために、われ再び汝らを遣わす時に汝らすべての事に用意あらんためなり。
教88,81,見よ、われは民に証し民を警めんため汝らを遣わせり。されば、その警めを受けしことあるすべての人はその隣人を警むる責任あり。
教88,82,故に人々言逃れあることなし。罪は人々自らの頭の上にあり。
教88,83,われを求むること早き者は、われを見出して棄てらるることなからん。
教88,84,故に、汝ら留まりて勉め働くべし。かくして、汝ら主の口によりて指定さるる者たち御名律法を束ね、証詞を結び固め、来るべき審判の時のため聖徒らの備えをなすために、これを最後に異邦人の中に出で行く汝らの導きと教えを施す業の完成さるるためなり。
教88,85,またかくして聖徒は神の怒りすなわちこの世にても来るべき世にても悪しき人々を待ち設くる荒らす憎むべき者より免る。誠にわれ汝らに告ぐ、最初の長老たちにあらざる者は、主の口の彼らを呼ぶ時まで葡萄園につず

けて働くべし。そは、彼らの時いまだ至らず、また
教88,85-1,この世の血の汚れより潔められざればなり。
教88,86,汝らの束縛を解きたる自由を護り、罪に陥ることなくして主の来るまでその手を清浄になし置くべし。
教88,87,今より日ならずして、地は震いて酔いたる人の如くよろめき、日輪は面をかくして光を与うることを拒み、月輪は血を浴び、諸星激しく怒りていちじくの樹より落つるいちじくの如く落ち下らん。
教88,88,而して、汝らの証詞の後より民の上に怒りと憤りと来る。
教88,89,汝らの証詞の後より地震の証詞来る、すなわちそは血の唯中にうめきを起し人々は皆血の上に倒れ伏して立上ることを得ざらん。
教88,90,また雷の声、電の声、暴風雨の声、その境を越えて押寄せ来るわだつみの浪の声の証詞あり。
教88,91,而してあらゆるもの皆立騒ぎ、すべての人々恐怖に襲わるる故にまことに心気を失わん。
教88,92,而して、天使たちは天の唯中をかけりて大声に叫び、神のラッパを吹き鳴らして言わん"備えよ、備えよ。汝ら地に住める民よ。わが神の審判は来りたればなり。見よ、見よ、花むこは来る。ん万事ら出でてこれを迎えよ"と。
教88,93,而して、直に1つの大いなる徴天に現われ、すべての人々共にこれを見ん。
教88,93,また、ほかの1人の天使ラッパを吹き鳴らして言わん"かの大いなる教会すなわちすべての国民をしてその姦淫のために受くる怒りの裂けを飲ましめ、神の聖徒らを迫害し、聖徒らの血を流したる罪穢れの母よ。すなわち多くの海の上にまた海の島々の上に坐するかの教
教88,93-1,見よ、そは血の毒麦にして束につかねられ、これをしばる縄は強くして如何なる人も解く能わず。されば、まさに火の焼かるるばかりなり"と。かくして、この天使はそのラッパを長く高らかに吹き鳴らせばすべての国民その音を聞くべし。
教88,95,その後、半時ばかり天静まるや、直ちに天の幕開かるることあたかも巻かれし後より巻物の解き開かるるが如くして主の面現わるべし。
教88,96,而して、生きて地上に在る聖徒らは、その身変りて主に会うために空中に挙げられん。
教88,97,また、墓に眠りてありし者たちはその墓開かるる故に出で来り、天の柱の唯中にて主と会わんために彼らもまた挙げられん。
教88,98,すなわち、彼らはキリストのもの、最初の実なり。そはキリストと共に最初に天より下る者、また地の上墓の中などに在りて彼を迎えんがため最初に挙げらるる者たちなり。而して、すべてこの事は神の使ラッパを吹き鳴らす響によりて起る。
教88,99,この後、ほかに今1人の天使吹き鳴らすは第2のラッパなり。それより、キリストの来る時に彼に属く者の贖い来る。この者たちは福音を受けて肉を有てる人として審判を受けんがため、この者たちのために備えられたるひとやにありてその分を受け居りたる者たちなり
教88,100,また別のラッパ鳴るは第3のラッパなり。その時、審判を受くべき人々の霊来りて罪の宣告を受く。
教88,101,而して、この人々は残りの死者にして、その時より1、000年の終るまで、またこの世の終末まで再び生くることなし。
教88,102,また別のラッパ鳴り響かん。これ第4のラッパにして"かの大いなる終末の日すなわち世の終末まで残るべき者の中、なお罪穢れの中に留る者あり"と鳴り響く。
教88,103,また別のラッパ鳴り響かん。これ第5のラッパなり。これ第5の天使にして、天の唯中をかけりてあらゆる国民、あらゆる血族、あらゆる国語の民、およびあらゆる人々に福音を与うるなり。
教88,104,このラッパの響は、天上天下、はたまた地下に在るすべての人々に告ぐる声なり。すなわち、すべての耳聞えすべてのひざをかがましめ、人々そのラッパの響の"神を畏れて、御座に在す者にとこしえに栄えを帰せよ。神の審判の時まさに来りたればなり"と言うを聞く
教88,104-1,ことごとくの舌はイエスはキリストなりと告白すればなり。
教88,105,また別の天使第6のラッパを吹き鳴らして言わん"すべての国民をして姦淫のために受くる怒りの酒を飲ましめたる者は倒れたり。おお彼女は倒れたり、おお倒れたり"と。
教88,106,また別の天使ラッパを吹き鳴らして言わん。こは第7の天使にして、曰く"事業完うせられたり、完うせられたり。神の子羊は打勝ちてひとりさかぶねを踏めり。げに、全能の神の猛き怒りのさかぶねを踏めり"と。
教88,107,然る後、天使らは神の大いなる能力の栄えの冠を賜り、聖徒たもまた神の栄に充たされ、彼らのゆずりを受けて神と等しきものとせらるべし。
教88,108,それより第1の天使再びラッパを吹き鳴らし、すべての生ける人々の耳に告げて、人皆の秘れたる行いを発き、また第1の1、000年に於ける神の大いなる事業を明らかにせん。
教88,109,それより、第2の天使ラッパを吹き奈良市て、人皆の秘れたる行いと、人皆の心の中の思考を発き、第2の1、000年に於ける神の大いなる事業を明らかにせん。

教88,110,かくの如くして、第7の天使ラッパを吹き鳴らすに至らん。而して、彼は地と海の上に立上り、王座の上に在る者の鳴により誓いて言わん、時すでに尽く、と。また言う、悪魔と呼ばるるの古き蛇、サタンは縛られて1、000年の間解かるることなからんと。
教88,111,それより後、サタンは暫しの間解かれ、かくてサタンの軍勢を寄せ集めん。
教88,112,また第7の天使、すなわち天使の長ミカエルは、彼の軍勢すなわち天軍を寄せ集めん。
教88,113,而して悪魔はその軍勢、すなわち地獄の軍勢を集めて寄せ来り、ミカエルおよびその軍勢と戦わん。
教88,114,それより大いなる神の戦起り、悪魔とその軍勢とは皆その居るべき所に投げ込まれ、もはや聖徒らに対して少しも勢力なきに至らん。
教88,115,ミカエルは聖徒のために戦いて、王座に在る者の王座すなわち子羊の王座を奪わんとする者に打勝つべければなり。
教88,116,こは神の栄にして、聖められたる者の栄光なり。この者たちは、もはや死に逢わざるべし。
教88,117,されば、われ誠に汝らに告ぐ、わが友よ。汝らわが命じたる如く聖会を招集すべし。
教88,118,そは、必ずしもすべての人信仰なきが故に、汝ら努めて求め、互いに智恵ある言を教うべし。然り、汝ら最も善き書より智恵ある言を探し求めよ。また正に研究と信仰とによりて学問を求むべし。
教88,119,汝ら組織して必要なる物をことごとく調えよ。而して、祈りの家、断食の営、学問の家、栄光の家、秩序の家、神の家なる1つの家を建つべし。
教88,120,2-内容? かくして、汝らの入ることを主の御名に於てせよ。汝らの出ることを主の御名に於てせよ。またかくして、すべて汝らの会釈はいと高き者に汝らの両手を挙げ主の御名によりてこれをせよ。
教88,121,この故に汝らすべて軽々しきことを言うを止め、またすべての高笑すべての卑しき欲望、すべての傲慢と軽薄なる心および汝らのする一切の悪しき行いを止めよ。
教88,122,汝らの中に1人の教師を指名し、すべての人々1度に口利きたらしめずして1度に1人を語らしめ、他の人々は皆その言うところを聴くべし。すなわち、すべての人々語るや以てすべての者相互に啓発し、また人々をして互いに同様の特権を有たしめんためなり。
教88,123,汝ら互いに相愛するように心がけよ。貪るなかれ。而して福音の命ずる如く、互いに物を頒つようになれ。
教88,124,怠惰なるを止めよ。不潔なるを止めよ。互いに欠点を探すを止めよ。度を過ぎて眠るを止めよ。早く臥所に入りて疲れを休めよ。朝は早く起きて汝の肉体と精神とを活気づけよ。
教88,125,汝ら何よりもまず、外とうの如く愛のきずなをもて身に纏うべし。そは完き平和のきずなり。
教88,126,わが来るまで気落ちせぬ様に常に祈れ。見よ、みよ。われ速に来りて汝らをわれに受け入るべし。アーメン。
教88,127,ここにまた、予言者の塾の塾長のために用意されたる家の規律を示さん。この塾は教会のすべての役員、換言すれば大祭司より初めて執事に至るまで教会に於ける福音のために働く働きに召されたる人々に必要なるすべての事を訓えんとして設けられたるものなり。
教88,128,およそ、塾の塾長の家の規律とは次の如し、すなわち、塾長として教師として任命を受けたる者は、彼のために備えらるる家に在りてその立つべき地位に立つものとす。
教88,129,故に、この者は神の家に第1に入るべき物にして、高声にて語らざるも、家の中に在る会衆心して明らかい彼の言を聴き得る地位に在るべきなり。
教88,130,而して彼神の家に入り来る時は、彼は神の家に第1に入るべき者なれば、見よ、こは美しきことにしてかくて彼は人々の模範なるが、
教88,131,すなわち、神の前に跪き、永遠の誓約を憶えてまたは記念して祈りを捧げよ。
教88,132,而して彼に続きて人の入り来る時は、教師は立ち上りて天に向けて真直ぐに両手をさし上げ、次の如き言葉をもて兄弟または兄弟らに挨拶をなすべし。
教88,133,すなわち"汝は兄弟または兄弟たちなるか。われは主イエス・キリストの御名により、永遠の誓約を憶えまたは記念して汝らに挨拶す。その誓約に従い、固く動かず変らざる決意を以てわれ汝らを会員同士に迎え、永遠に感謝して神のすべての誡命を欠けなく行わんため
教88,133-1,愛のきずなのうちに神のめぐみにより汝らの友にして兄弟となる。アーメン。"
教88,134,而して、この挨拶を受くるに適しからずとせらるる者は、これを汝らの中に在らしむべからず。そは、汝らこの者をしてわが家を穢さしむべからざるが故なり。
教88,135,されど人あり、比所に入り来るに、わが前に忠実にして汝らに1人の兄弟またはもし兄弟たちにてあらば、その人らは両手を天にさし上げこれと同じ祈りと誓約とを述べ、或いはまたそのしるしにアーメンと言いて塾長にして教師なる者に挨拶をなすべし。
教88,136,見よ、われ誠に汝らに告ぐ、これ神の家、すなわち予言者の塾に於て汝らの互いに挨拶するために1

つの範例なり。
教88,137,而して汝らは、主の家すなわち予言者の塾にてすべて汝らの為すところを"みたま"の告ぐるままに、祈りと感謝とによりてこれを為す様に要求せらる。かくして塾は聖き処となり、汝らの教養の為に聖き"みたま"の宿る処とならん。
教88,138,およそ、今の世の血より潔められたる者にあらざれば、汝らの中の何人もこの塾に入らしむべからず。
教88,139,而して、彼を受け入るるには須らく洗足の儀式に依るべし。そは、洗足の儀式はこの目的のために制められたればなり。
教88,140,また言う、この洗足の儀式は教会の大管長または管理長老によりて執行せらるべきなり。
教88,141,その時は、まづ祈りによりて儀式を始め、パンと葡萄液に与りたる後、われに関するヨハネの証詞第13章に示されたる範例にならいて彼は腰に手ぬぐいをまとうべきなり。 アーメン。
教89,,教義と聖約 第89章
教89,*-*,1833年2月7日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給まりたる啓示にして、"智恵の言葉"として知らる。葡萄酒、強き飲料、タバコおよび熱き飲料などを遠ざくる様訓告せらる。肉の食用を適度にすること。健康によろしき食物。これ
教89,*-*-1,従いて生活する者たちに賜る約束。
教89,1,これ1つの智恵の言葉なり。すなわちカートランドに集れる大祭司たちの会議と、教会員と、シオンに於ける聖徒たちのため、
教89,2,挨拶に送るべき言葉にして誡命または強制に依らずして啓示と智恵の言葉によりて語られ、末の世に於けるすべての聖徒らに与えらるるこの世の救いの中にある神の方式と御旨とを公にするものなり。
教89,3,すなわち、これらは今聖徒と呼ばれ、或いは聖徒と呼ばれ得る者にして虚弱なる者、およびすべての聖徒中最も虚弱なる者の能力に適応する約束を有てる原理として下さるものなり。
教89,4,見よ、誠に主はかくの如く汝らに告げたもう。すなわち、末の世に於て悪しきを企つる人々の心中に現在存し、また将来在らんとする悪と企とのために、われ啓示によりてこの智恵の言葉を与えて今や汝らを警め、まった汝らを預め警むるものなり。
教89,5,すなわち、汝らの中に葡萄酒または強き飲料を飲む者あらば、見よ、それは宜しからず。また汝らの御父の眼にも適わざるなり。ただ汝集りて御父の前に聖餐を捧ぐる時にのみ用うべし。
教89,6,されど、見よ、これは誠に葡萄の実より造れる純粋なるものにして、汝らの手づから造れるものたるべし。
教89,7,また言う、強気飲料は腹のためにならず。ただ汝らの体を洗い清むるためなり。
教89,8,また言う。タバコは体のためにならずまた腹のためにもならざれば、人間のために良きものにあらずして、熟練と判断力とを以て用うべき、打身とすべての病める家畜に利く1種の薬草なり。
教89,9,また言う。熱き飲料は体や腹のためにならず。
教89,10,また、われ誠に汝らに告ぐ、すべて体のためになる青物は、人間の身体と活力と利用のために神これを定めたり。
教89,11,すなわち、その季節のあらゆる青物およびその季節のあらゆる果実、すべてこれらは慎みと感謝とを以て用うべきものなり。
教89,12,然り、獣の肉と空の取りの肉もまた感謝を以て人間の用うるために主なるわれ定めたり。さりながら、これらは控え目に用うべきものなりとす。
教89,13,また、これらは冬期と寒き時と飢饉の時以外に用うべからざることわが心jni適えり。
教89,14,すべての穀類は人間と戎類の生命の糧として用うるために定められる。これらはただに人間のみならずまた野の獣、空の鳥および地の上を走りまたは這い歩くすべての野獣のためにあるものなり。
教89,15,而して、飢饉の時と上の甚しき時にのみ、人の用いんがために神これらの生き物を造れり。
教89,16,すべての穀類は人間の食用としてよろし。蔓に生る実もまた然り。そは地下、或いは地の上何れかに実を結ぶ蔓なり。
教89,17,さりながら、人間には小麦、牛にはとうもろこし、馬には燕麦、鶏豚およびすべて野の獣には裸麦を用い、すべて有益なる獣のためと、またほかの穀類も然るが如く温和なる飲料を造るためとに大麦を用う。
教89,18,およそこれらの言葉を憶えて守り且つ行い、この誡命に従って歩むすべての聖徒らは、そのへそに健康を受けその骨に髄を受けん。
教89,19,また智恵と知識の大いなる宝まことに秘れたる宝を見出さん。
教89,20,而して、走れども疲れず、歩けども気を失うことなからん。
教89,21,主なるわれ彼らに1つの約束を与う。すなわち、さつりくの天使はイスラエルの小児たちが如く、彼らを過ぎ越して屠ることなかるべし。 アーメン。
教90,,教義と聖約 第90章

教90,*-*,1833年3月8日、オハイオ州カートランドにて給まりたる啓示ジョセフ・スミスへの啓示。教会の大管長としてのジョセフの地位再確認せらる。神託を受くる者の責務。世界中に説かるべき福音。資格ある僕は賞賛せられ、罪を犯す者は叱責せらる。
教90,1,主かくの如く言う。誠にまことに、わが子なる汝に告ぐ、汝の請願によりて汝の罪は赦さる。そは、汝の祈りと汝の兄弟らの祈りはわが耳に達したればなり。
教90,2,この故にわが与えたる王国の鍵を帯ぶる汝は今より後幸福なり。而してその王国は、これを最後に今や出で来りつつあり。
教90,3,われ誠に汝に告ぐ、この王国の鍵は汝この世に在る間にもまた来るべき世に在る間にも、汝より取り去らるること決してなかるべし。
教90,4,さりながら、汝を通じて神託を別の者に下さる。すなわち誠に教会にこれを下さるべし。
教90,5,而してすべての神託を受くる者は、これを決して軽々しきものと認てこれによりて罪の宣告を受け、また暴風雨来り、風吹き雨降りて彼らの家を打つ時、積まず来て躓きて倒れざらんがために謹みて神託を守るべし。
教90,6,われ、また誠に汝の兄弟たちシドニー・リグドンとフレデリック・ジー・ウイリヤムスに告ぐ。彼らもまた罪を赦され、またこの最後の王国の鍵を保つことに於て汝に等しと認めらる。
教90,7,またわが組織する様に命じたる予言者の塾の鍵を、汝の管理によりてまたこれを保なり。
教90,8,かくしてこれによりて、シオンとイスラエルの諸々の国民と、信ずる程の異邦人の救いのためにするかれらの導きと教えを施す業が完うされ、
教90,9,また、かくして汝の管理によりて彼らは福音の言を受け、彼らの管理によりて福音の言は世界の果まで出で行くためなり。すなわちまず異邦人に行き、然る後見よみよ、ユダヤ人に復り来らん。
教90,10,それより主の腕は力をもて現われ、脆門炉諸々の国民と異教の国々とヨセフの家に、彼らの救いの福音を真に信ぜしむる日来るなり。
教90,11,その日、イエス・キリストを啓示するために彼らの上に注がるる"慰め主"の施したもうによりてこの能力を授けられたる者たちの口より、あらゆる人々は己が国語と己が言にて完全なる福音を聞かん。
教90,12,今われ誠に汝に告ぐ、われ汝に1つの命令を与う。すなわち汝は導きと教えを施す業と大管長の職とを続くべし。
教90,13,而して汝予言者たちの言の翻訳を終りし後は、それ以後教会と塾との事務を統轄すべし。
教90,14,而して時々"慰め主"によりて現わさるるまま、神の啓示を受けて王国の奥義を現わすべし。
教90,15,而して支部教会を整頓し、学修研究してあらゆる善き書に通じ、また諸々の国語と国民とに通ぜよ。
教90,16,また会議を掌どり、この教会と王国に就けるすべての事務を整頓するを汝一生の仕事と使命とす。
教90,17,汝ら恥ずることも、またあわて惑うこともするなかれ。さりながらすべて汝らの慢心と自ら高うする念とを戒めよ。そは、汝らを陥入るるわなとなる故なり。
教90,18,汝らの家を整え、怠惰と不潔とを遥に遠ざけよ。
教90,19,さて、われ誠に汝に告ぐ、出来るだけ速に汝の副管長にして書き役なるフレデリック・ジーウイリヤムスの家族のため住む所を1つ備えよ。
教90,20,わが老たる僕ジョセフ・スミス(初代)をして、今住める所に引きつずきその家族と共に止まらしめよ。主の口より命ずるまではその土地を売ることなかれ。
教90,21,またわが副管長すなわちシドニー・リグドンをして主の口より命あるまで今住めるところに止まらしめよ。
教90,22,また、監督は勉めて1人の代理人を得んために探すべし。而してこの人は財産を貯え貯うる人にして、神に属ける信仰強き人なりとす。
教90,23,かくて、この人によりて彼はあらゆる負債を弁済するを得、主の庫をして民の前に悪評なからしむ。
教90,24,熱心に求め、常に祈りて信ぜよ。もし汝ら正しく道を歩み、汝らの互いに結びたる誓約を覚えなば、何事も結局は好都合となるべし。
教90,25,汝の家族に属せざる者たちに就きて汝の家族を少くせよ。徳にわが老いたる僕ジョセフ・スミス(初代)の家族は然り。
教90,26,わが事業を為し遂ぐるために汝に備えられたるものは、汝より取り去りてこれを適しからぬ者に与えざらんためなり。
教90,27,すなわち、これによりてわが汝に命じたる事業を成就する妨げとなる。
教90,28,また、われ誠に汝に告ぐ、わが婢ヴィーナ・ジャクス、費に堪うる金銭を受けてシオンの地に行くはわが意なり。
教90,29,而してこの金銭の剰余は、これをわれに捧ぐるがよろし。さらば、彼女はわが時到りて酬いを受くべし。
教90,30,われ誠に汝に告ぐ。彼女がシオンの地に行きて、監督の手よりゆずりの者を受くるはわが眼に善しと見るところなり。

教90,31,こは、彼女忠信ならば安んじてその地に止まり、その時より生涯怠ることなからんためなり。
教90,32,見よ、われ誠に汝に告ぐ、汝この誡命を書き誌して、シオンに在る汝の兄弟たちにいつくしみの挨拶をもて言え。われ汝をも召して、わが時到らばシオンを統轄する者となさん、と。
教90,33,故に、この事に関し彼らがわれを煩わしむる事を止めよ。
教90,34,見よ、われ誠に汝に告ぐ、シオンに在る汝の兄弟たちは悔改め始め、天の使たちかれらを悦べり。
教90,35,さりながら、われ多くのことを悦ばず。またわが僕ウリイヤム・イー・ムレリンはわが心に適わず、わが僕シドニー・ギルバートもまた然り。監督もまた然り。その他の者共も悔い改むべき多くの事あり。
教90,36,されど、われ誠に汝に告ぐ、主なるわれはシオンと争い、その強き者を説きつけ、シオンの打ち勝ちてわが前に潔くなるまでシオンを懲しめん。
教90,37,シオンはその場所より移さるることなかるべし。主なるわれこの事を言えり。 アーメン。
教91,,教義と聖約　第91章
教91,*-*,1833年3月9日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示。予言者は当時、ある人々によりて聖典と見なされ、また特に聖書外典として知られたる古文書の研究に従い居りたり。これらの文書は、聖典として認むべきものにあらず。
教91,*-*-1,これらの文書にある真理の識別に必要なる"みたま"の啓発。
教91,1,聖書外典に就き、主誠に汝らに言う。すなわち、この書の中には真実なること多く載せられてあり、而して、そは大概正しく翻訳せられたり。
教91,2,されど、その中には真実ならぬことも多く載せられてあり、而してそは人の手によりて書き入れられたるものなり。
教91,3,わが誠に汝らに告ぐ、聖書外典は翻訳する必要なし。
教91,4,故に、これを読む者自ら覚るべし。そは、"みたま"は真理を明らかにすればなり。
教91,5,およそ、"みたま"によりて啓発さるる者はそれより益を得べし。
教91,6,"みたま"によりて受けざる者は益を受くることを得ず。故にこれを翻訳する必要なし。 アーメン。
教92,,教義と聖約　第92章
教92,*-*,1833年3月15日、オハイオ州カートランドにてエノク（予言者ジョセフ・スミス）に給まりたる啓示。めずらしき名前の説明には、第78章の前書を見よ。協同精度入会に関する誡命。
教92,1,誠に、主かくの如く言う。わが先に与えたる誡命に従い組織されたる協同精度に、われわが僕ジェデラオマク（フレデリック・ジー・ウイリヤムス）に関し1つの啓示による誡命を下す。すなわち、汝ら彼に入会を許すべし。われ1人に言うところは、万人に向いて言う
教92,2,われ、またわが僕ジェデオマク（フレデリック・ジー・ウイリヤムス）に告ぐ。汝はこの精度の活溌なる会員となるべし。汝前に与えられたるすべての誡命を守ることに忠実ならば、いつまでも祝福せらるべし。 アーメン。
教93,,教義と聖約　第93章
教93,*-*,1833年5月6日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給まりたる啓示。主、御自身と御父との関係を明らかにしたもう。使徒にして黙示録なるヨハネの記録。神の長子なるイエス・キリスト。人は最初神と共に在りたり。元素は永遠なるも
教93,*-*-1,神の栄光は英智なり。人は最初罪なき者なりき。過ちを犯す者は、たとえ教会の最高幹部にある者といえども叱責を受く。
教93,1,誠に、主かくの如く言う。その罪を捨ててわれに来り、わが名を呼び、わが声に従い、わが誡命を守るあらゆる人々は、わが面を見てわれ在るを知ることあらん。
教93,2,また、われ世に来るあらゆる人を照らす真の光なること、
教93,3,われは御父にあり、御父はわれにあり、御父とわれとはひとつなるを知ることあらん。
教93,4,すなわち、御父の完きをわれに与えたまいしが故に父なり。われ世に在りて肉をわが幕屋となし、人の子らの中に住みしが故に子なり。
教93,5,われは、世に在りて御父より受くたれば御父の事業明らかに現われたり。
教93,6,さればヨハネは、わが栄光の全きを見てこれを誌せしが、ヨハネの全き記録はこれより後啓示せらるべし。
教93,7,彼、誌して言えり。すなわちわれ、世のいまだあらざりし始めに彼在りしと言う彼の栄えを見たり。
教93,8,この故に、太初に"言"ありき。そは彼は"言"なりき、すなわち救いの使命を有つ者なりしなればなり。
教93,9,すなわち、世の光にして、世の贖い主、世に来れる真理の"みたま"なり。そは世は彼に依りて造られ、人の生命と人の光とは彼によりてありたればなり。
教93,10,諸々の世は彼に依りて造られ、また人は御名彼によりて造られたり。また万物は彼に依り、彼を通じ、彼に因りて造られたり。

教93,11,而して、われヨハネ彼の栄光を見たることを誌す。すなわち、恩恵と真理に満ちたる父なる神の生み給える独子の御栄、すなわちこの世に来りて肉体をとり、われらの中に住みたまいし、真理の"みたま"の御栄として彼の栄光を見たり。
教93,12,またわれヨハネ、彼の最初に完きを受けずして恩恵に恩恵を受けしを見たり。
教93,13,されば、彼は始めに完きを受けずして絶えず恩恵に恩恵を加えられ、ついに完きを受けしなり。
教93,14,而して、かくて彼は神の子と呼ばれたり。そは、最初より完きを受けしにあらざればなり。
教93,15,また、われヨハネここに誌す。見よ、諸々の天開けて、聖霊はとの降る如く彼に下り、その上に止まり、天より1つの声来りて言えり"これわが愛しむ子なり"と。
教93,16,されば、われヨハネ彼は御父の完き栄光を受けたりと誌す。
教93,17,また彼は天地両つながらに於けるあらゆる権能を受けたれば、御父の栄光彼と共にありき。そは、御父彼に居たまいたればなり、と。
教93,18,もし汝忠信ならば、ヨハネ記録を完全に受くべし。
教93,19,われこれらのことばを汝らに告ぐるは、汝らわが言うところを聞きて礼拝の方法を覚りて知り、礼拝するものを知り、かくしてわが名によりて御父に来り、而して時至りて御父の完きを受けんがためなり。
教93,20,もし汝らわが誡命を守らば、御父の完きを受け、わが御父に於ける如く、汝らわれにありて栄を得べし。この故に汝らに告ぐ、汝ら恩恵に恩恵を加えらるべし。
教93,21,さて、われ誠に汝らに告ぐ、太初にわれ御父と共に在りき。われはその"長子"なり。
教93,22,およそ、われを通じて生るるすべての者は、われの栄を受くる者にして神の"長子"の教会員なり。
教93,23,汝らまた太初に御父と共に在りき。"みたま"すなわち真理の"みたま"なる御父と共に在りき。
教93,24,真理とは、事物の現在あるがまま、過去にありしまま、未来にあるがままの知識なり。
教93,25,およそこれよりも過ぎたるもの、及ばざるものは太初より虚り者なりしかの悪魔の霊気なり。
教93,26,真理の"みたま"神より出ず。われは真理の"みたま"なり。ヨハネわれに就き記録を為して言えり。彼は完き真理を受けたり。すなわち、完全にあらゆる真理を受けたり。
教93,27,而して、人もし彼の誡命を守たずんば完きを受くることなし。
教93,28,彼の誡命を守る人は真理と光とを受け、ついに真理によりて栄光を得て、すべての事物を知る。
教93,29,人はまた太初に神と共に在りき。英智、すなわち真理の光とは、創造されしにあらずまた造られしにあらず、実にかかるべきものにあらざるなり。
教93,30,あらゆる真理は、神の置きたまいし範囲に於て独立し、独りにて働くなり。すべての英智もまた然り。然らずば、存在なるものは無し。
教93,31,見よ、ここに人の自由意志あり。而して、ここに人の罪を受くる所以あり。何となれば太初より在りしところのものは人々に明白なり。然るに、人々はその光明を受け入れざればなり。
教93,32,すべて、光明を受け入れざる霊を有つ人々は罪を受く。
教93,33,人は霊なり。元素は永遠なるものにして、分つ能わざる様に結合したる霊と元素とは完き喜びを受く。
教93,34,この両つのもの、相離るる時人は完き喜びを浮くることを得ず。
教93,35,諸々の元素は神の宮居なれば、誠に人は神の宮居にして実に神の殿なり。故に、如何なる神殿にても穢さるる時は神これをこぼちたまわん。
教93,36,神の栄光は英智なり。すなわち、光明と真理なり。
教93,37,光明と真理はかの悪魔を棄つ。
教93,38,人のあらゆる霊は、太初に罪なきものなりき。而して神は堕落より人を贖いたもうたるにより、人はみな再び幼児の有様となり、神の前に罪なしとなりぬ。
教93,39,然るにかの悪魔来りて、不従順により、また先祖の言伝えによりて、人の子らより光明と真理を取り去りぬ。
教93,40,されど、われは汝らの小児たちを光明と真理の中に導き来れと汝らに命じたり。
教93,41,されど、われ誠にわが僕フレデリック・ジー・ウイリヤムスに告ぐ。汝は、今なお引きつずきこの罪に定められたり。
教93,42,すなわち、汝はいまだにわが誡命に従いて汝の子供たちに光明と真理を教え居らず、さればかの悪魔はいまだに汝を支配し居れり。これ汝の苦しみを受くる所以なり。
教93,43,われ今汝に1つの誡命を与う。すなわち、汝もし救われんと欲せば自身の家を整うべし。汝の家には正しからざること多ければなり。
教93,44,われ誠に、われ僕シドニー・リグドンに告ぐ、汝はその子供たちに就きいまだにわが誡命を守らざるところあり。故に、まず汝の家を整うべし。

教93,45,われ誠に、わが僕ジョセフ・スミス（2代目）に告ぐ、すなわちわれ汝らを友と呼ばん。汝らはわが友にして、われと共にゆずりを受くべければなり。
教93,46,われは汝らを世の為に僕と呼べり。されば、汝らはわが為に世の人々の僕たるなり。
教93,47,さて、われ誠にジョセフ・スミス（2代目）に告ぐ、汝は誡命を守らざりき。されば主の前にありて、必ず叱責を受けざるべからず。
教93,48,汝の家族共は必ず悔い改めて、或る事を捨て、また汝の言うことに一層誠実に心に留めざるべからず、然らずんば彼らの居る所より立ちのかされざるべからず。
教93,49,われ1人に対して言うことは、万人に向いて言うなり。汝らかの悪魔に征服せられて、今居る所より立ちのかされざる様常に祈るべし。
教93,50,わが僕にして、わが教会の1監督たるニューエル・ケイ・ホイットニーもまた必ず懲しめを受け、その家族を整うべきものなり。その家族の者共をして、家に在りて必ず今一層勤勉に事にかかわらしめ、また常に祈りをなさしむべし。然らざれば、彼ら今居る所より立ち
教93,51,さて、わが友よ。われ汝らに告ぐ、わが僕シドンー・リグドンを旅に行かしめよ。而して彼は急ぎ行きて、また主の喜ばしき年と救いの福音とをわが彼に言わしむる如く宣べよ。而して、汝ら信仰もて異口同音に祈らばわれ彼を支えん。
教93,52,また、わが僕ジョセフ・スミス（2代目）およびフレヂリック・ジー・ウイリヤムスも急ぎ行け、さればすなわち、信仰の祈りによりて言うべきところを与えられん。而して、汝らわが言う所を守らば、この世に於ても未来の世に於てもあわて惑うことなからん。
教93,53,われ誠に汝らに告ぐ、汝らわが聖き書を急ぎ翻訳して、歴史の知識、諸国の知識、王国の知識、神と人の律法の知識を得、而してこれらをすべてシオンの救いのため得んんことはわが欲するところなり。　アーメン。
教94,,教義と聖約　第94章
教94,*-*,1833年5月6日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給まりたる啓示。大管長会の事業のため家を建つることに就きての指示。印刷場を建つべきこと、或るゆずりの割当。
教94,1,再びわれ誠に汝らに告ぐ、わが友よ、われ汝らに1つの誡命を与う。すなわち汝らこのカートランドの地に於て、シオンのステーキ部たる市の設計と開始準備と基礎を置く仕事を始め、まずわが家より着手せよ。
教94,2,而して見よ、そはわが与えたる範式に則りて為せざるべからず。
教94,3,南に当る第1の敷地をわれに捧げて、大管長会のため大管長会の事業のため啓示を得るのに1軒の家を建つべし。またこの家は、教会と王国に関する一切の事に於て、大管長会が福音のために働く仕事を為すために建てらる。
教94,4,われ誠に汝らに告ぐ、その家は中より計りて、間口55呎、奥行65呎とすべし。
教94,5,而して、1階、2階などすべてわがこの後に教うる範式に則りてあるべし。
教94,6,またこの家は、この後わが教うる範式に則り、神権の制に則りて、その基礎の始めより主に捧ぐべし。
教94,7,そはまた、大管長階の事業のため全く主に捧ぐべきなり。
教94,8,而して、如何なる穢れたるものもその中に入り来らしむべからず。さらば、わが栄光其所に在り、われまた其所に在るべし。
教94,9,されど、もし何にても穢れたるものその中に入り来る時は、わが栄光其所にあらず、われまた其所に入り来らざるべし。
教94,10,また、われ誠に汝らに告ぐ。南に当る第2の敷地は、わが民に1軒の家を建つる地としてわれに捧ぐべし。而してその家は、わが聖典の翻訳とその他何にてもこれよりわが汝らに命ずることをすべて印刷するためなり。
教94,11,この家は中より計りて間口55呎、奥行65呎たるべく、また1階、2階あるべし。
教94,12,而して、この家は、その基礎の始めより全く主に捧ぐべし。この家はこれよりわが教うるごとく、すべてのことに於て範式に則りて聖く且つ穢れなくなるためにわが汝らに命ずる何にてもあれすべての事を印刷する仕事のための家なり。
教94,13,また第3の敷地は、わが僕ハイラム・スミスそのゆずりとして受くべし。
教94,14,また、来たに当れる第1、第2の敷地はわが僕レイノルヅ・カフンおよびジェレド・カーターそのゆずりとして受くべし。
教94,15,こは、われ主なる神の汝らに与えたる誡命に則り、彼らがわが家を建つべき委員としてわれに任命されたる仕事を為さんためなり。
教94,16,これら2つの家は、それに関してわが汝らに命を下す時まで建築すべきにあらず。
教94,17,されば今は、汝らにこれ以上言うところなし。　アーメン。
教95,,教義と聖約　第95章
教95,*-*,1833年6月1日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給まりたる啓示。民の先に

給える誡命に従いて家を建てずに怠りたることを懲しめらる。主の誡命に従うときは、それを建つる能力を与えらることをなお約束さる。使徒塾のため準備
教95,*-*-1,こと。
教95,1,誠にかくの如く、主わが愛する汝らに言う。汝らの罪赦されんために、愛する汝らをまた懲しむるなり。そは、懲しむるなり。そは、懲しめとともに汝らがすべてに於て誘惑より免るる様われ1つの途を備うる故にして、われもとより汝らを愛す。
教95,2,この故に汝らすべからく懲しめを受け、わが前に責められざるべからず。
教95,3,そは汝らわれに対して1つの甚だ重き罪を犯せり。汝らはそれにて、わが家を建つるに就きて与えたる万事に於ける大いなる誡命をこれまで考慮せざりしなり。
教95,4,そは、われその備えを以てわがくすしき業を行い、すべての人にわが"みたま"を注がんため、使徒たちをしてわが葡萄園に最後のはさみを入れしむる備えをなさしめんと思う故なり。
教95,5,されど見よ、われ誠に汝らに告ぐ。汝らの中聖職に按手任命されたる者は多し、而して、われ彼らを召したれど、その中選ばれたる者は少なし。
教95,6,選ばれ座る者たちは1つの甚だ重い罪を犯し、それにて彼らは白昼暗黒の中を歩めり。
教95,7,この故に、われ汝らに1つの誡命を与えたり。すなわちサバオツの主、釈けばすなわち最初の日の創造主、始めなり終りなる主の耳に、汝らの断食と哀しみとを達せしむるために汝らの聖会を招集すべし。
教95,8,然りわれ誠に汝らに告ぐ、われ汝らに1つの家を建てよと命じたるが、その家の中に於てわれは選びたる者たちに天より能力の祝福を授けんと思うなり。
教95,9,こは、御父の汝らに為したまいし約束なればなり。その故に、正にエルサレムに於けるわが使徒らの如く、われ汝らにここに留まれと命ず。
教95,10,さりながら、わが僕たちは1つの甚だ重き罪を犯したれば、予言者の塾中に諸々の争論起りたり。こは、われにとりていとなげかわしきことなり、と汝らの主は言う。故に、われこの者たちを懲しめんために外に遣わしたり。
教95,11,われ誠に汝らに告ぐ、汝ら1つの家を建つるはわが旨なり。汝らもしわが命令を守らば、これを建つる能力を与えらるべし。
教95,12,汝らもしわが誡命を守らざれば、御父の愛はつずいて汝らと共にあらず、その故に汝らは暗黒の中を歩かん。
教95,13,さて、比所に智恵と主の旨あり。すなわち、汝らその家を建てよ。されど、世の習しにならいて造らず。そは、われ世の習わしにならいて汝らの住むを許さざればなり。
教95,14,故に汝らの中、3人にこれよりわが示すところにならいてこれを建つべし。而して、汝らこの3人の者を按手任命してこの権能を与うべきなり。
教95,15,而してその家の大きさは、内に於て幅55呎、長さ65呎なりとす。
教95,16,またその内に1階は汝らの聖餐を捧ぐるため、説教のため、断食のため、祈りのため、および汝らの最も聖き祈願をわれに捧ぐるために献ずべしと汝らの主は言う。
教95,17,またその内の2階はこれをわが使徒たちの塾のため、われに献ずべしと神の子アーマンは言う。すなわち、アルパスまたはオメガス、誠に汝らの主イエス・キリストの言なり。アーメン。
教96,,教義と聖約　第96章
教96,*-*,1833年6月4日、オハイオ州カートランドにてエノク（予言者ジョセフ・スミス）に給える啓示にして、シネハ（カートランド）すなわちシオンのステーキ部または市の制度を示したもう。カートランドに於ける聖徒らに1つの範例として給わる。まずらしき名前の
教96,*-*-1,第78章の前書を見よ。この時大祭司の大会にして、考慮すべきことの主題は教会の所有するある土地の問題なりき。強固にすべきシオンのカートランドステーキ部。協同制度への加入許可。
教96,1,見よ、われ汝らに告ぐ、比所に智恵あり。これに依り、汝らこの事に就きて如何に為すべきかを知り得べし。われは、シオンの力を強くせんがためにわが置きたるこのステーキ部の強くせられん事を必要とすればなり。
教96,2,故に、わが僕アハシダ（ニュエール・ケイ・ホイットニー）に、汝らの中にて指定せられたる土地を責任を以て預らしむべし。われその土地の上にわが聖なる家を建てんと思うなり。
教96,3,またこの土地は、汝らの中の会議にてこれより決するところに従い、ゆずりを求むる者たちのために智恵によりて地区に細分せよ。
教96,4,この故に、汝らこの事と、また人の子らにわが言を明らかにするためにわが精度を利益するに必要なるかの分け前とを、責任を以て為す様に心を留めよ。
教96,5,見よ、誠にわれ汝らに告ぐ、汝らのため人の子らの心を鎮むるために、わが言の人の子らの中に出で行かんこと、われにとりて最も必要なることなり。誠に然り、アーメン。
教96,6,また、われ誠に汝らに告ぐ、われその捧物を受け入れまたその祈りを聞きたるわが僕ゾンブル（ジョン・ジョ

ンソン）に、以後わが命令を守らば永遠の生命を与えんと約束するは、わが智恵にしてまたわが必要とするところなり。
教96,7,そは、彼セツ（ヨセフ）の子孫たるにより、またその先祖になされたる約束の祝福にあずかる者なるによれり。
教96,8,われ誠に汝らに告ぐ、彼は該制度の一員となり。かくして人の子らにわが言を明らかにするを扶けしむるは必要なることなり。
教96,9,故に汝ら彼をこの祝福せられたる職に按手聖任せよ。さらば彼は、汝らの中に指定せられたる家にある諸々の障りを取り除くことをよく勉め、かくして彼はその家に住むことを得ん。誠に然り、 アーメン。
教97,,教義と聖約　第97章
教97,*-*,1833年8月2日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給まりたる啓示。この時より10日前に聖なる神権の制にならいて、カートランドに於ける主の家の首石は据えられたりき。わが教会の歴史第1巻、400頁（英文）を見よ。この啓示
教97,*-*-1,ミズーリ州ジャクソン郡のシオンに於ける聖徒の件に就き論ぜらる。シオンに於ける聖徒の為したる多くの働きを賞めらる。シオンに於ける塾を賞賛。シオンの地に於て、主の為に家を建つべしとの主の御旨。シオンの人々この誡命に従わば、大いなる祝福シオンに約束
教97,*-*-1-1,こと。シオンは"心清き者"と定義さる。シオンの人々忠信ならば、シオンは主の憤りを避くべき所なり。然らざれば多くの災厄その民の上に下るべきなり。
教97,1,誠に、われわが"みたま"の声なるわが声を以てわが友なる汝らに語り、かくしてシオンの地に在る汝の兄弟に就きてわが旨を汝らに示さん。その兄弟たちの多くは真にへりくだりて、智恵を覚り真理を見出さんと今よく勉めつつあり。
教97,2,誠にまことに、われ汝らに告ぐ、かくの如き人々は幸福なるかな。彼らは智恵と真理とを得べければなり。そは主なるわれ、すべて柔和なる人々に慈悲を示し、また誰にてもあれわが欲するところの者に慈悲を施し、かくて、わが彼らを審判せんときにわが正しきを認め
教97,2-1,ためなり。
教97,3,見よ、われ汝らに告ぐ、シオンに於ける塾に就きて、主なるわれはシオンに1つの塾あるを誠に喜ぶ。また、わが僕パーレー・ピー・プラットに就きても、彼われと共に在ればこれまたわが悦ぶところなり。
教97,4,彼引きつずき常にわれと共に在らば、われ他の誡命をこの先彼に命ずる時まで、彼はシオンの地にあるこの塾を引きつずき統括すべし。
教97,5,されば彼には、およそシオンに於ける教会と塾の教養となるすべての聖典と奥義とを釈き明すことに多くの恵を与えて祝福せん。
教97,6,塾に於けるその余の人々には、主なるわれ、喜びてこれに慈悲を示さん。さりながら、その中には懲しめられざるべからざる者たちありて、その者たちの行いは知らさるべし。
教97,7,斧は木の下に置かれたり。およそ、よき実を結ばざる木はことごとくきり倒されて火に投げ入れらるべし。主、われこの事を言えり。
教97,8,われ誠に汝らに告ぐ、すべてその心正直にして真にへりくだりその精神悔いることを知り、犠牲を捧げ、すなわち主なるわれの命ぜんとするあらゆる犠牲を捧げて、以て汝らの誓約を進んで守らんとする者たちはわれの嘉納するところなり。
教97,9,主なるわれ、彼らをして清き流のほとり、立派なる土地に植えられ、而も多くの貴き実を生ずる1本の豊産の木として実を結ばしむべし。
教97,10,われ誠に汝らに告ぐ、わが示す範式にならいてシオンの地にわれに家を1つ建つるはわが旨なり。
教97,11,誠に、須らくわが民の納むる什分の一によりて速にこれを建てよ。
教97,12,見よ、シオンを救う目的にてわれに1つの家の建てらるるために、主なるわれのわが民に求むる什分の一と犠牲とはこのことなり。
教97,13,すなわち、こはすべての聖徒の感謝を捧ぐる1つの場所となり、またすべてそれぞれの職と務めとに於て福音のために働く仕事に召されたることごとくの人々を教うる1つの場所となり、
教97,14,かくて、彼らが福音のために働く仕事を理解することに於て、理論に於て、原理に於て、教義に於て、また汝にその王国の鍵の授けられたるこの世の神の王国に関するすべてのことに於て完き者となるを得んためなり。
教97,15,而して、わが民主の名によりてわれに1つの家を建て、これを汚さざらんため穢れたるものをその中に入るを許さずば、わが栄光その家の植えに留まらん。
教97,16,然り而して、その中にわれ入り来る故にわれその中に在るべし。されば、この家は入り来るすべての心清き者は神を見ん。
教97,17,されど、もしわが家汚さるる時はわれその中に入り来らじ、さればわが栄光その家にあらざらん。そは汚

れたる神殿には、われ入るを欲せざればなり。
教97,18,さて見よ、もしシオンにしてこれらのことを行わば、シオンは栄え、拡り、大いに栄光に充ち、偉大となり、且つ大いに恐るべきものとならん。
教97,19,而して、世の諸々の国民はシオンを崇めて言わん。誠にシオンは、われらの神の市なり。誠にシオンはたおるることを得ず、またその場所より移すことも得ず、そは神そこに在し、主の御手そこにあればなり。
教97,20,また主、シオンの救いとなりシオンの高きやぐらとなると、その威勢の力によりて誓をなしたまいたればなり、と。
教97,21,故に、誠に主かくの如く言う。シオンよ喜べ、そはこれこそシオン、すなわち"心の清き者"なればなり。この故にシオンよ喜べ。1方、すべて悪しき者は悲しまん。
教97,22,見よ、みよ。報復は、神を畏れぬ者たちの上に旋風の如く速に来るなり。而して、誰かよくこれを免れんや。
教97,23,主の責罰は夜となく昼となく来り、またその風説はすべての人々を悩すべし。誠にそは、主の来るまで止めらるることなからん。
教97,24,そは主の憤り、人々の憎むべき行為とすべて人々の邪曲なる業に対して燃ゆればなり。
教97,25,さりながら、シオンもしわがすでに命じたるところを何にてもすべて守り行わば免れん。
教97,26,されど、シオンもしわがすでに命じたるところを何にても守り行わざる時は、われ激しき苦悩、疫病、災、剣、応報および焼尽す火をもて、すべてシオンの為したる業に従いてこれを報いん。
教97,27,さりながら、主われシオンの捧物を受け入れたることをこの度かぎりシオンに読み聞せよ。もしシオンにしてもはやこれ以上罪を犯さざれば、かかる事は一切シオンにおそい来らざるべし。
教97,28,而して、われシオンに恵を以て祝福し、祝福に祝福を重ね、またそのすえにもこれらを永遠に与えん。主なる汝らの神、かくの如く言う。 アーメン。
教98,,教義と聖約　第98章
教98,*-*,1833年8月6日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給まりたる啓示。迫害の時に忍耐すべきを申し付けらる。善は苦難の中より出で来るべきこと。その土地の立憲的法律は、聖徒らにより支持さるべきこと。善き人々は、その世俗的職務
教98,*-*-1,支持せらるべきこと。聖徒らは平和を宣言すべし。カートランドに於ける教会の罪人たち叱責さる。聖徒らは、その敵を許すべきこと。何時、抵抗が正当化さるるや。聖徒たち敵をゆるすならば祝福さるべきこと。
教97,1,誠に、われわが"みたま"の声なるわが声を以てわが共なる汝らに語り、かくしてシオンの地に在る汝の兄弟に就きてわが旨を汝らに示さん。その兄弟たちの多くは真にへりくだりて、智恵を覚り真理を見出さんと今よく勉めつつあり。
教97,2,誠にまことに、われ汝らに告ぐ、かくの如き人々は幸福なるかな。彼らは智恵と真理とを得べければなり。そは主なるわれ、すべて柔和なる人々の慈悲を示し、また誰にてもあれわが沿っするところの者に慈悲を施し、かくて、わが彼らを審判せんときにわが正しきを認
教97,2-1,ためなり。
教97,3,見よ、われ汝らに告ぐ、シオンに於ける塾に就きて、主なるわれはシオンに1つの塾あるを誠に喜ぶ、。また、わが僕パーレー・ピー・プラットに就きても、彼われと共に在ればこれまたわが悦ぶところなり。
教97,4,彼引きつずき常にわれと共に在らば、われ他の誡命をこの先彼に命ずる時まで、彼はシオンの地にあるこの塾を引きつずき統轄すべし。
教97,5,されば彼には、およそシオンに於ける教会と塾の教養となるすべての聖典と奥義とを釈き明すことに多くの恵を与えて祝福せん。
教97,6,塾に於けるその余の人々には、主なるわれ、喜びてこれに慈悲を示さん。さりながら、その中には懲しめられざるべからざる者たちありて、その者たちの行いは知らさるべし。
教97,7,斧は木の下に置かれたり。およそ、よき実を結ばざる木はことごとくきり倒されて火に投げ入れらるべし。主、われこの事を言えり。
教97,8,われ誠に汝らに告ぐ、すべてその心正直にして真にへりくだりその精神悔いることを知り、犠牲を捧げ、すなわち主なるわれの命ぜんとするあらゆる犠牲を捧げて、以て汝らの誓約を進んで守らんとする者たちはわえの嘉納するところなり。
教97,9,主なるわれ、彼らをして清き流のほとり、立派なる土地に植えられ、而も多くの貴き実を生ずる1本の豊産として実を結ばしむべし。
教97,10,われ誠に汝らに告ぐ、わが示す範式にならいてシオンの地にわれに家を1つ建つるはわが旨なり。
教97,11,誠に、須らくわが民の納むる什分の一によりて速にこれを建てよ。
教97,12,見よ、シオンを救う目的にてわれに1つの家の建てらるるために、主なるわれのわが民に求むる什分の

一の犠牲とはこのことなり。
教97,13,すなわち、こはすべての聖徒の感謝を捧ぐる1つの場所となり、またすべてそれぞれの職と務めとに於て福音のために働く仕事に召されたることごとくの人々を教うる1つの場所となり、
教97,14,かくて、彼らが福音のために働く仕事を理解することに於て、理論に於て、原理に於て、教義に於て、また汝にその王国の鍵の授けられたるこの世の神の王国に関するすべてのことに於て完き者となるを得んためなり。
教97,15,而して、わが民主の名によりてわれに1つの家を建て、これを汚さざらんため穢れたるものをその中に入るを許さずば、わが栄光をの家の植えに留まらん。
教97,16,然り而して、その中にわれ入り来る故にわれその中に在るべし。されば、この家に入り来るすべての心清き者は神を見ん。
教97,17,されど、もしわが家汚さるる釈きはわれその中に入り来らじ、さればわが栄光をの家にあらざらん。そは汚れたる神殿には、われ入るを欲せざればなり。
教97,18,さて見よ、もしシオンにしてこれらのことを行わば、シオンは栄え、拡り、大いに栄光に充ち、偉大となり、且つ大いに恐るべきものとならん。
教97,19,而して、世の諸々の国民はシオンを崇めて言わん。誠にシオンは、われらの神の市なり。誠にシオンはたおるることを得ず。またその場所より移すことも得ず、そは神そこに在し、主の御手そこにあればなり。
教97,20,また主、シオンの救いとなりシオンの高きやぐらとなると、その威勢の力によりて誓をなしたまいたればなり、と。
教97,21,故に、誠に主かくの如く言う。シオンよ喜べ。そはこれこそシオン、すなわち"心の清き者"なればなり。この故にシオンよ喜べ。1方、すべて悪しき者は悲しまん。
教97,22,見よ、みよ、報復は、神を畏れぬ者たちの上に旋風の如く速に来るなり。而して、誰かよくころを免れんや。
教97,23,主の責罰は夜となく昼となく来り、またその風説はすべての人々を悩ますべし。誠にそは、主の来るまで止めらるることなからん。
教97,24,そは主の憤り、人々の憎むべき行為とすべて人々の邪曲なる業に対して燃ゆればなり。
教97,25,さりながら、シオンもしわがすでに命じたるところを何にてもすべて守り行わば免れん。
教97,26,されど、シオンもしわがすでに命じたるところを何にても守り行わざる時は、われ激しき苦悩、疫病、災、剣、応報および焼尽す火をもて、すべてシオンの為したる業に従いてこれを報いん。
教97,27,さりながら、主われシオンの捧物を受け入れたることをこの度にかぎりシオンに読み聞せよ。もしシオンにしてもはやこれ以上罪を犯さざれば、かかる事は一切シオンにおそい来らざるべし。
教97,28,而して、われシオンに恩恵を以て祝福し、祝福に祝福を重ね、またそのすえにもこれらを永遠に与えん。主なる汝らの神、かくの如く言う。 アーメン。
教98,,教義と聖約　第98章
教98,*-*,1833年8月6日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給まりたる啓示。迫害の時に忍耐すべきを申し付けらる。善は苦難の中より出で来るべきこと。その土地の立法的法律は、聖徒らにより指示さるべきこと。善き人々は、その世俗的職務
教98,*-*-1,支持せらるべきこと。聖徒らは平和を宣言すべし。カータランドに於ける教会の罪人たち叱責さる。聖徒らは、その敵を許すべきこと。何時、抵抗が正当化さるるや、聖徒たち敵をゆるすならば祝福さるべきこと。
教98,1,われ誠に汝らに告ぐ、わが友よ、怖るるなかれ。汝ら心に慰めを得よ。然り、汝らいよいよ喜びて何事にも感謝すべし。
教98,2,而して、主に忍耐強く仕えよ。汝らの祈りはすでにサバオツの主の耳に達し、この封印と誓約とを以て誌さるればなり。すなわち、主はこれらのことの許さるるを誓いて命を出せり。
教98,3,この故に、主はこれらのことを成就すべしという不変の誓約を以てこの約束を汝らに与う。また主は言う、汝らのこれまでに悩まされたるすべてのことは、ついには御名汝らの為とわが名の栄光の為となるに至らん。と。
教98,4,さて、われ誠にこの国の法律に就きて汝らに告ぐ。わが民の、何事にまれわが命ずることを守り行わんことはわが旨なり。
教98,5,立憲的にして、且つ権利と特権とを支持してかの自由の主義を擁護するこの国の律法は、すべての人類に属し且つわが前に正しとせらる。
教98,6,この故に主なるわれは、汝とわが教会に属する汝の兄弟たちがこの国の立憲的法律なるその法律の力となることを正しと認むるなり。
教98,7,而して、人間の法律に関して何事にてもこれより過不及あらばそは悪より出ずるなり。
教98,8,われ、主なる神は汝らを自由ならしむ。故に、汝らは誠に自由なり。而して、かの法律もまた汝らを自由ならしむ。

教98,9,さりながら、悪人たち世を治むる時は国民悲しむ。
教98,10,この故に、汝ら正直なる人々と賢き人々を熱心に探し求めよ。また、汝ら善き人々と賢き人々とに従いてその力となるべし。然らずんば、何事にまれこれより劣れるものは悪より出ずるなり。
教98,11,われ汝らに1つの誡命を与う。すなわち、汝ら須らくすべての悪を捨て去り、すべての善に固く就くべし。また、須らく神の口より出ずるあらゆる言によりて生くべし。
教98,12,神は忠信なる者たちに、規則に規則を加え、誡命にいましめを加えん。かくしてわれはこれを以て汝らを試み汝らを験すべし。
教98,13,而して、誰にてもあれわがためにまたわが名のために生命を捨つる者は再びその生命を得、すなわち永遠の生命に至らん。
教98,14,この故に、汝らの的を怖るるなかれ。主は言う、われわが心に定めたり、すなわち汝らのわれに適しきを知るために、死に至までもわが誓約を守るや否や、すべてに於てわれ汝らを試すべし。
教98,15,汝らもしわが誓約を守らずば、われに適しからぬ者たちなり。
教98,16,この故に汝ら戦を棄て平和を宣言し、子らの心にその先祖を思わせ、先祖の心に子らを思わせんことを熱心に求むべし。
教98,17,而して、またユダヤ人の心に予言者らを思わしめ、予言者らの心にユダヤ人を思わしむることを勉めよ。これ、われ来りて咀いをもて全地を打ちすべて生くる者のわが前に焼尽されざらんためなり。
教98,18,汝ら心を騒がすなかれ、そはわが父の家には住居多く、われ汝らの為に1つの処を備えたればなり。而して、父とわれの居る処に汝らもまた在るべし。
教98,19,見よ、主なるわれは、カートランドの教会に在る多くの者を喜ばず。
教98,20,そは彼らは、彼らの罪と悪しき行いと、心の高ぶりと貪欲と、すべての憎むべき事などを棄てず、またわれの嘗て彼らに与えたる智恵と、永遠の生命の言葉に従わざればなり。
教98,21,誠にわれ汝らに告ぐ、もし彼ら悔い改めず、また何事にまれわが嘗て彼らに語りすべての事を守らずんば、主なるわれ彼らを懲しめてわが欲するままに為さんとす。
教98,22,また、われ汝らに告ぐ、もし汝ら何事にまれわが命ずるところを守りて為さば、主なるわれ、すべて怒りと憤りとを汝らより去り、かくて地獄の門は汝らに打勝つことなかるべし。
教98,23,さて、われ汝らの家族に就きて告ぐ。もし、人々汝らもしくは汝らの家族に1度危害を与うとも汝ら忍耐してこれを堪え、彼らをののしりまた讐を返さんとすることなくば汝らよき報いを得べし。
教98,24,されど、もし汝らそれを忍耐して堪えずんば、汝ら義しき衡の量る如くに量らるる者と見なさるべし。
教98,25,また、汝らの敵再び汝らに危害を与うとも汝らこれをののしらず、忍耐してこれに堪うる時は汝らの受くるよき報いは100倍とならん。
教98,26,また、敵汝らに3度危害を与うともこれを忍耐して堪うれば、汝らの受くるよき報いは前の4倍に倍増しせらるべし。
教98,27,而してこれらの3度の証は、もし何らの敵悔改めずんばこれに反対して立ち決して消し去らるることなかるべし。
教98,28,さて、われ誠に汝らに告ぐ、その敵もしわが応報より免れてわが審判の前に引出さるることなくば、汝らわが名によりて彼らを警め、決して彼らがもはや汝らにも汝らの家族にも子々34代に至るまで襲い来らざる様にすべし。
教98,29,然るにそれより、もし汝らの敵、汝らの子孫または34代のすえに至るまで襲い来たらば、われその敵を汝らの手に引渡さん。
教98,30,そこに於て汝その生命を赦さば、汝義しきによりてよき報いを得べく、またその報いは汝の子々孫々34代のすえに至るべし。
教98,31,さりながら、汝の敵は汝の手に委ねらる。されば、もし汝彼の為したる業によりてこれに報ゆれば汝は義しとせらる。また、もし敵汝の生命をねらい汝の生命にかかわる時は、汝の敵は汝の手に委ねられて汝は義しとせらる。
教98,32,見よ、こはわが僕ニーファイとm汝の先祖ヨセフ、ヤコブ、イサク、アブラハムおよびすべてのわが古えの予言者および使徒たちにわが与えたる律法なり。
教98,33,また、こはわが古えの人々に与えたる律法なり。すなわち、主なるわれ命を下さずは彼らは如何なる国民、血族、諸々の国語の民、または世の人々に向いても戦に出で行くべからず。
教98,34,而して、もし如何なる国民、諸々の国語の民、または世の人々彼らに向いて万一戦を宣すとも、彼らはまずその人々、国民、または諸々の国語の民に平和の旗を掲げざるべからず。
教98,35,もしその人々、平和の申出を受け入れず、また2度も3度もかくする時は彼らその証を主の前に持ち来るべし。

教98,36,然る時、主なるわれ彼らに命を下し、彼らがその国民、諸々の国語の民、または世の人々に対して戦に出で行くことを義しとすべし。
教98,37,而して、主なるわれは彼らのために戦い、その子らのために戦い、その孫たちのために戦い、彼らがすべての敵に讐を返すまで34代のすえまで戦わん。
教98,38,見よ、汝らの神なる主は言う、こはわが前に義しとせらるるためすべての人々に与うる1つの範例なり、と。
教98,39,また、われ誠に汝らに告ぐ、もし汝の敵はじめて汝に襲い来りし後、悔い改め来りて汝の赦しを乞わばこれを赦すべし。而してこれをもはや敵に対する証として懐くべからず。
教98,40,かくの如くして2度3度に至り、また敵汝に対して罪を犯す度毎にこれを悔い改むれば、彼を赦して7度を70倍するに至れ。
教98,41,されど、もし敵汝に対して罪を犯し、最初にこれを悔改めずとも彼を赦すべし。
教98,42,而して、もし敵汝に対して2度罪を犯し、これを悔い改めずとも彼を赦すべし。
教98,43,而して、もし敵汝に対して3度罪を犯し、これを悔い改めずとも、また汝彼を赦すべし。
教98,44,されど、もし敵汝に対して4度罪を犯す時は、汝これを赦さずしてこれらの証を主の前に持ち来るべし。さらば、彼悔い改めて汝に対して犯せるすべての事を4倍にして返すまで、それらの証は消し去らるることなかるべし。
教98,45,而してもし彼然せば汝真底より彼を赦すべし。されどもし彼然せざる時は、主なるわれ汝の敵に100倍の応報を与えん。
教98,46,われ応報を与えて汝の敵の子に及ぼし、われを憎むすべての者の中の彼の孫に及ぼしこれを3代4代に及ぼさん。
教98,47,されど、もし彼の子または孫たち悔い改めて心を尽し、勢力を尽し、精神を尽し、体力を尽して彼らの神なる主に立返り、彼らのすべて犯したる罪、またはその父の犯したる罪、またはその父祖の犯したる罪の4倍を償わば、その時汝の怒りを彼らより取り去るべし。
教98,48,主なる汝の神言う。然る時はもはや応報を彼らに返すことなく、また彼らの罪をもはや彼らに背く証として決して主の前に持ち出すことあるべからず。　アーメン。
教99,,教義と聖約　第99章
教99,*-*,1833年8月、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示。福音のために働く仕事に就きてジョン・マードックに給える指示。
教99,1,見よ、主かくの如くにわが僕ジョン・マードックに言う。すなわち、汝は東の国々に入りて家より家、村より村、町より町へ廻り行き、迫害と悪事の中に在りて、その住民にわが永遠の福音を宣ぶるため召さるるなり。
教99,2,およそ、汝を受け入るる者はわれを受け入るるなり。汝は、わが聖き"みたま"の正銘の中にわが言を宣ぶる能力を受くべし。
教99,3,また、1人の小さき幼児の如く汝を受け入るる者はわが王国を受け入るるなり。彼らは幸福なるかな、わが慈悲を得ればなり。
教99,4,また汝をしりぞくる者は、何者にまれわが父とその家よりしりぞけらるるなり。されば、彼らに対する証として途の傍秘かなる所にて汝の足を浄むべし。
教99,5,見よ、みよ、われ速に来りて審判をなし、われに対して犯したる彼らの神を畏れぬ行為をすべて心より覚らしめん。こは聖典の巻々にわれに就きて誌されたるが如し。
教99,6,さて、われ誠に汝に告ぐ、汝は汝の子供らのために衣食の備えをなし、彼らをシオンの監督の許に懇に送りとどくるまでは外に出で行くこと必要ならず。
教99,7,而して数年の後、汝もしわれに願わば汝もまたかの善き地に上り行きて汝のゆずりを得るを許さるべし。
教99,8,然らずば、汝取り去らるるまでつずけてわが福音を宣ぶるべし。　アーメン。
教100,,教義と聖約　第100章
教100,*-*,1833年10月12日ニューヨーク州ペリスバーグにて予言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに給える啓示。この両人は永らく家族と離れ居りし故、家族の身の上を稍懸念し居りたり、彼らの家族につきて、安心せよとの確なる御言。その地方に於ける多くの
教100,*-*-1,シドニ・リグドン予言者の代弁人となり、また聖典の解釈にては偉大なる者となるべきこと。シオンに於ける諸々の事に関する保証。
教100,1,誠に、主かくの如く汝らに告ぐ、わが友シドニーとジョセフよ。汝らの家族は健在なり。彼らはわが手の中に在りて、われはわが心に善しと見る如く彼らに為すべし。われには、あらゆる能力あればなり。
教100,2,故に汝らわれに従いて、わが汝らに与えんとする助言を聴くべし。
教100,3,見よ、みよ。この地この周りの地方には、われは多くの民を有てり。さればこの東方の地に於て、この周り

の地方に高価ある門戸開かるべし。
教100,4,この故に、主なるわれ汝らをしてこの地に来らしめたり。何となれば、かくの如きは人々を救うために必要なりし故なり。
教100,5,この故に、誠にわれ汝らに告ぐ。この民に向かいて汝らの声を挙げ、而してわが汝らの心に与えんとする思想を語れ。さらば、汝ら人々の前にあわて惑うことなかるべし。
教100,6,そは、汝らの言うべきことはその時その瞬間に与えらるべければなり。
教100,7,されど、われ1つの誡命を汝らに与う。すなわち、汝ら何事にまれわが名によりて宣ぶる事は、すべてに於て厳粛なる心、柔和なる精神を以てこれを宣ぶるべし。
教100,8,さらば、われこの事を約束す。すなわち、汝らこれを為さば、聖霊汝らに注がれて何事にまれ汝らの語るすべてのことを証せん。
教100,9,わが僕シドニーよ。汝がこの民に語る代弁人となるは必要なり。誠に、われ汝をこの天職に聖任せん。すなわち、汝須らくわが僕ジョセフの代弁人たるべし。
教100,10,而して、われは彼に強き証を為す能力を与えん。
教100,11,また、汝が彼の代弁人たらんがためにすべての聖典を力強く釈き明す能力を汝に与えん。また彼は、汝がこの世に於けるわが王国の事に就けるよろずのことの確実なるを知らんがために汝にとりて啓示を与うる者となるべし。
教100,12,この故に、汝の旅をつずけて心を悦ばすべし。見よ、みよ、終りまでもわれ汝たと共にあればなり。
教100,13,而して、今われシオンに関し一言汝らに告ぐ、シオンは少しの間懲しめを受くるとも贖わるべし。
教100,14,汝の兄弟なるわが僕オルソン・ハイドおよびジョン・グールドはわが手の中に在り。彼らわが誡命を守らば救わるべし。
教100,15,この故に汝ら心安かれ。万事は正しき行いを為す人々と教会の聖めのために結局好転すればなり。
教100,16,われは、義しくわれに仕えんと欲する1つの清き民をわがためにおこさんと欲す。
教100,17,而して、すべて主の名を呼びてその誡命を守る者は救わるべし。誠に然り、 アーメン。
教101,,教義と聖約　第101章
教101,*-*,1833年12月16日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスにたまえる啓示。当時ミズーリ州に集合し居たりし聖徒らは、非常なる迫害を蒙りつつありたり。暴徒は聖徒らをジョクソン郡に於けるその家族より追出し、聖徒らの中にはヴァン・ビュー
教101,*-*-1,居を定めんとしたる者ありしも、迫害は彼らに従って至りぬ。その当時、教会の主体はミズーリ州クレイ郡に在りたり。教会の個々の会員に対する死の脅威しばしばなりき。教会の人々は、家庭の諸道具、衣服、家畜その他の個人的財産を失い、またその収穫の多くは損
教101,*-*-1-1,受けたりき。わが教会の歴史、第1巻、456頁（英文）を見よ。聖徒たちが罪を犯したるためにその身の上に降りかかりたる苦難。主の憤りは、万国の民に注がるべし。シオンより嘗て放逐されたる者の中、心潔き者たちは復帰すべし。シオンに属する他のスーテキ部
教101,*-*-1-1-1,設立さるべきこと。福千年の平和時代に附髄せる幸福なる有様。貴人と"かんらん"の木の譬話。聖徒の集合を続くべきこと、嘗て敵のため圧迫を受けたる者たちは、その損害の保証をせがむべきこと、合衆国憲法の創設は、主によりて指図せらる。女と不正なる判事の
教101,1,われ誠に、苦しめられ迫害せられ、そのゆずりの地より放逐せられたる汝の兄弟たちに就きて汝に告ぐ。
教101,2,そは、彼ら罪を犯したる結果、主なるわれは彼らを苦しめたる苦難を彼らの身の上に襲い来らしめたるなり。
教101,3,されど、われなお彼らをわが手に有つべし。而して、われ来りてわが宝の珠を飾る時彼らをわがものとなさん。
教101,4,故に彼らは、その独子を犠牲となすを命ぜられたるアブラハムの如くにすら、必ず懲しめられ試みられざるべからず。
教101,5,およそわが懲しめを耐え忍ばずして、われを拒む者は聖くせらるるを得ず。
教101,6,見よ、われ汝に告ぐ、彼らの中にはあつれき、総論、嫉み、紛争および汚らわしき貪りの欲望ありき。故にこれらによりて、彼らはそのゆずりを汚せり。
教101,7,彼ら、彼らの日mなる珠の声に耳傾くること遅かりし故に、彼らの神なる珠は彼らの祈りに耳傾けて事ある時に彼らに答うることを遅くす。
教101,8,事なき時に、彼らわが助言を軽んじたり。されど事ある時は、彼ら止むを得ずわれを探し求む。われ誠に汝に告ぐ、彼ら罪を犯すといえども、わが旨の中彼らに対して愛憐に充つ。われ必ずしも全く彼らを捨てんとせず、されば怒りの日に慈悲を思い起すべし。

教101,9,われ誓いを立て、わが汝に与えたる先の誡命によりてわが命を下せり。すなわち、われわが民のためにわが怒りの刃を下さんと。およそ今までにわが言いたる事は、御名その如くなるべし。
教101,10,わが誓を立て、わが汝に与えたる先の誡命によりてわが命を下せり。すなわち、われわが民のためにわが怒りの刃を下さんと。およそ今までにわが言いたることは、御名その如くなるべし。
教101,11,わが憤りは、これより間もなく万国の民に限りなく注がる。而して、われこのことを彼らの持つ邪悪のさかずき満つる時に為さん。
教101,12,その日、すべてのやぐらの上に在る者、すなわちイスラエルの民は救わるべし。
教101,13,また、これまで追散らされたる者たちは集められるべし。
教101,14,またすべてこれまで、泣き悲しみ居る者たちは慰められるべし。
教101,15,またすべてこれまで、わが名のために生命を与えたる者たちは冠を受けん。
教101,16,故に、シオンに就きて汝ら心安かれ。そは、一切生くる者わが手の中に在ればなり。汝らつつしみて、わが神なることを知れ。
教101,17,シオンの子ら如何に追い払わるるとも、シオンはその場所より移るべからず。
教101,18,およそ滅亡ずして存し、心の聖き者たちは帰り来らん。これらの人々とその子供たちは永遠の喜びの歌を唱いて彼らのゆずりに来り、シオンの荒れたる地を築き上げん。
教101,19,すなわち、予言者たちの言に応ぜんためにすべてこれらのことは起るべし。
教101,20,見よ、わがこれまでに定めたる所の他に定められたる所なし。またわが聖徒らの集合すべき業のため、これまでにわが定めたる所の他に何ら定められたる所はあるべからず。
教101,21,されど、ついに聖徒を容るる余地なき日来たらば、その時はわれ彼らに指定すべき他の場所あり、而してこれらの地はシオンのあげ幕またはシオンの力となるためにステーキ部と呼ばれん。
教101,22,見よ、およそわが名を呼び、わが永遠の福音によりてわれを礼拝する者たち寄り集りて聖き場所に立つはわが旨なり。
教101,23,されば、これより来らんとする啓示に備えよ。その時、この世を隠せるわが幕屋の中なるわが神殿の覆いの幕は取り去られて、あらゆる生者共にわれを見るべし。
教101,24,その時、すべて全地の面に住めるあらゆる腐るべきもの、すなわち人も、野の獣、空の鳥も、海の魚に至るまでことごとく焼き尽さるべし。
教101,25,万物もまた酷熱にとけ、万物ことごとく新になり、かくてわが知識と栄光全地の上に住まらん。
教101,26,而して、その日には人の憎しみ、獣の憎しみ、実に一切生くる者の憎しみはうぇあが面の前にあらざらん。
教101,27,またその日には、およそ何人の願うところもことごとく聞き届けられん。
教101,28,またその日には、サタンは何人を誘う力も有つことなからん。
教101,29,また死ぬることなきを以て如何なる悲しみもあることなからん。
教101,30,その日、誰にても幼児は年とるまで死ぬることなく、その生命は樹の齢と等しかるべし。
教101,31,而して、彼の死ぬるや眠ることなからん。すなわちこの世に於て眠ることなくして、瞬く間にその身変りて天に上げられ、その安みは栄光に輝かん。
教101,32,実に、われ誠に汝らに告ぐ、主の来りたもうその日にはすべての事を顕わしたまわん。
教101,33,すなわちすでに過ぎ去りしこと、また何人も知らざる隠れたること、この世の造られたる事物のこと、またこの世の目的、終りなど、
教101,34,すなわち最も貴きこと、天上のこと下界のこと、地の中のこと地の上のこと、また天にあることなどを顕したまわん。
教101,35,而して、およそわが名のために迫害を受け、信仰をもて堪え忍ぶ者たちは、たとえ召されてわがためにその生命を失うとも、なお彼らはすべてこの光栄に与るを得べし。
教101,36,この故に死に至るまでも怖るるなかれ。この世の中に手は汝の喜びは満たされざれども、われに於て汝の喜び満たさるればなり。
教101,37,故に体も体の生命も心に懸くることなかれ。されど、霊と霊の生命とを心に懸くべし。
教101,38,而して、堪え忍びて汝ら己れを失わざらんがために、常に主の面を見んことを努むべし。さらば、汝ら永遠の生命を得ん。
教101,39,人々わが永遠の福音に召され、また永遠の誓約を結ぶ時は、その人たちは世の塩にして人に味をつくる者と認められる。
教101,40,かるが故に、彼らは人の味と呼ばる。されば、もしその世の塩にして味を失わあ、見よ、その後は何ら駅なくただ捨てられて人の足下に踏みつけらるるのみ、
教101,41,見よ、ここにシオンの子らに関する智恵あり。正に多くの者に関すれども、全体にはあらず。シオンの子

らは罪を犯したる者なり。この故に必ずこらしめを受けざるべからず。
教101,42,すなわち、およそ高ぶる者は卑くせられ、自ら卑くする者は高く挙げらるべし。
教101,43,さて、汝らがシオンの贖いに就きてわが旨を知らんために1つの譬を示すべし。
教101,44,ある貴人いと選抜きのよき土地を1箇所持ちしが僕らに言えり。わが葡萄園に行き、正にこの選抜きの土地に入り行きて12本の"かんらん"の木を植えよ。
教101,45,また、万人らをその木の周りに置き、1個のやぐらを建てて、そこより周りの地を見渡してやぐらの植えより番をなし、かくして敵奪わんとして来りわが葡萄園の果を取納めんとする時、わが"かんらん"の木をそこなわしむるなかれと。
教101,46,さてこの貴人の僕たち、行きて主の命じたる如く為し"かんらん"の木を植え、生垣をめぐらし、番人を置き、而して1個のやぐらを建て始めたり。
教101,47,彼らなおその礎を築き居る中に彼ら同志にて語らい始めけるは、わが主このやぐらに何の必要ありや、と。
教101,48,而して、久しく相議りて彼ら同志言いけるは、今は平和なる時なるにわが時なるにわが主このやぐらに何の必要ありや。
教101,49,この金銭を両替屋に与うるはよからずや、これらのことを為す必要なければなり、と。
教101,50,而して、彼ら互いに意見合わざる中に、甚しく怠惰となりて彼らの主の命令を聴かざりき。
教101,51,然るに、敵夜の中に来りて生垣を壊りたり。貴人の僕らは起きて驚き逃げ走りたれば、敵は彼らの造れるものを打ちこわし、また"かんらん"の木をそこなえり。
教101,52,さて見よ、その葡萄園の主なる貴人、彼の僕らを呼び集めて言いけるは、こは何の故ぞ、この大いなる災の本は何ぞや。
教101,53,汝ら何ぞ正にわが命じたる如くに為さざりしか。すなわち汝ら葡萄園に植え付けを為し、その周囲に生垣を築き、塀の植えに番人共を置きたりし後、敵襲い来らば大事なればまたやぐらを建てて1人の見張をその植えに置き、わが葡萄園を見張り、ねむるべきにあらざり
教101,53-1,これらを為さざりしは如何。
教101,54,見よ。やぐらの植えなる見張は敵のなお遠きに在る間にこれを見留めたりしならん。それよりして汝らは備えをなし、敵の生垣を壊らざる様に防ぎ守り、而して打ち壊す者の手よりわが葡萄園を救い得たらんに。
教101,55,而して葡萄園の主僕1人に言けるは、汝往きてわが僕らの残れる者共を集め、わが留まれと命じたる者を除きて、わが家の全勢力なるわが兵者わが若人と、わが家の力なるすべてのわが僕の中の壮年なる者とを引連れ、
教101,56,直ちにわが葡萄園の地に往きてわが園を取返せ。こは、わがものなればなり。われ価を以てこれを購めたり。
教101,57,この故に、直ちにわが土地に入り行きてわが敵の塁壁をくずし、その物見やぐらを取こわして見張の物たちを追払うべし。
教101,58,而して汝に反抗して集る者あらば、これにわが讐を復すべし。かくして、われ程なくわが家を残れる者たちと共に至りてその地を占むべし、と。
教101,59,僕その主に言いけるは、これらの事何時あるべきか。
教101,60,主、その僕に言いけるは、わが意のままなり。汝直ちに行きておよそわが命じたる事をすべて為せ。
教101,61,さらば、汝に与うるわが確認の印と祝福とはこれなり。すなわち、汝はわが家の中の忠実にして且つ賢き管理人、わが王国の統治者なり、と。
教101,62,而してその僕直ちに行きて、何事にまれその主の命じたる一切の事を為し、多くの日を経てすべての事ことごとく成就したり。
教101,63,また、われ誠に汝らに告ぐ、すべての教会員、その救いのために正しく且つ適切なる途に進んで導かるるならば、すべての教会員に就きてわが内にある智恵を汝らに示さん。
教101,64,これわが聖徒らの集る業の続き行かんためにして、かくしてまた彼らをわが名によりて聖き所に打ち建てんためなり。そは、刈入れの時すでに来りて、わが言必ず成就するに違いなければなり。
教101,65,この故に、われはわが民を小麦と毒麦の譬話に従いて集めざるべからず。こは、われ父の王国に来りてあらゆる人にその行いに応じて報いを与うる時、小麦は倉の中に安全に納められて永遠の生命を得、且つ日の栄えの冠を与えられんためなり。
教101,66,然るに、毒麦は束にたばねて強くしばられ、かくて消ゆることなき火にて焼かる。
教101,67,この故に、聖徒らがわれのこれまで命じたる場所に引きつずき集らんがため、われ全教会員に1つの誡命を与う。
教101,68,さりながら、先の誡命にてわが語りし如く汝ら急ぎて集ることなく、また逃げ走りて集らずして、すべての

事豫め備えをなすべし。
教101,69,而してすべての事備えを為さんために、これらのことに就きてわがこれまでに与えたる誡命を守るべし。
教101,70,すなわち、その誡命に言うところまたは教うるところは、わが聖徒らの集合を開始するため、シオンの地とわが指定し置きたる地の周りの地域に価を払いて購い得る限りの土地を買入るることなり。
教101,71,すなわち、ジャクソン郡およびその周りの郡に於て買える限りの土地を買込み、その余はわが手に任し置くべし。
教101,72,さて誠にわれ汝らに告ぐ、全教会員はその持てる金をことごとく寄せ集めて、各自適当なる時にこれらのことを為せ。但し急ぎて事を為さずして、すべての事汝らの前に準備せらるる様守るべきなり。
教101,73,また徳高き人々、而も賢き人々を任命してこれを遣わしこれらの土地を購うしむべし。
教101,74,また東方の国々に於ける教会員も、その確立したる時は、もしこの助言に従わんと欲するならば土地を買入れてそこに集合するもよし。かくの如くして、彼らはシオンを設立するを許さる。
教101,75,今や自らイエスの名を冠するわが教会の人たちにして、もし進んでわが声を聴くとせば、シオンを贖いてその荒れ廃れてる地を堅固にし、もはや打倒されざるための貯えは今にもすでに満ち充ちたり。
教101,76,またわれ汝らに告ぐ、その敵のために追払われたる者たちは汝らの上に統治者として置かれ権威を持ちたる者の手によりて償いと損害を受くる様切に願いつずくるはわが意なり。
教101,77,すなわち、わが彼らに制定を許したる、また正しく且つ神聖なる原則によりてあらゆる人々の権威と保護とを守るために維持すべき人民の律法と憲法とに従いて、汝らの上に権威を持つ者に切に願い、
教101,78,かくして、人ことごとくわれより与えられたる良心に従い、未来に関する教義と原理に適う行を為し、かくて審判の日に至りて自己の罪を負うべきなり。
教101,79,故に、何人も相互に束縛するは正しきにあらず。
教101,80,われ実にこの目的のためにわが挙げたる賢き人々の手によりてこの国の憲法を制定せしめ、流血によりてこの国を贖えり。
教101,81,今われ、シオンの子らを何に譬えんか。われこれを婦と正しからざる法官とに譬えん。そは、人々絶えず祈りて心を落すべきにあらざればなり。その譬に曰く、
教101,82,すなわち、ある都市に1人の法官ありけり。その人神を畏れず、また人を人とも思わず。
教101,83,またその都市に1人の寡婦ありけるが、この法官の許に来りて言いけるは、わが敵に讐を返したまえ、と。
教101,84,法官暫くこれを聴き入れざりしが後に心の中に言えるよう。われ神を畏れず、また人を人とも思わずといえども、この寡婦われを煩わすにより、しばしば来りてわれを悩まさざらんためその敵に讐を返すべしと。
教101,85,われ、シオンの子らをかくの如くに譬えん。
教101,86,彼ら須らく法官の足下に切に願うべし。
教101,87,法官もしこれを聴かずば、須らく知事の足下に切に願うべし。
教101,88,知事もしこれを聴かずば、須らく大統領の足下に切に願うべし。
教101,89,而して、もし大統領これを聴かざる時は、主は起ちてその隠れ家より出で来り怒りて国民を苦しめん。
教101,90,而して、主は甚しき不興と激しき怒りとにより、その来る時これらの悪しき不忠実不正なる管理人を断ち切り、これらの受くる分を偽善者と不信者の中に加えん。
教101,91,正に彼らは外の暗きに捨てられ、そこにて泣き悲しみ切歯するなり。
教101,92,この故に、彼らの耳開けて汝らの叫び声を聞き、かくてわれ彼らを愛憐てこの事彼らにおそい来たらざらんために汝ら祈るべし。
教101,93,およそ、わが汝らにこれまでに語りしことは必ず然かるべし。これ人々言逃れあることなく、
教101,94,賢人および統治者、彼ら嘗て考え及ばざりし事を聞き知り、
教101,95,また、義人と悪人とを識別せんためわが業すなわちわがくすしき業にとりかかり、またわが働き、すなわちわがくすしき働きを行わんがためなり。汝の神言う。
教101,96,また、われ汝に告ぐ、わが僕シドニー・ギルバートが、われわが民に設けたるわが倉庫をわが敵の手に売らんとするはわが誡命とわが意に違えり。
教101,97,わが設けたるところのものは、自らわが名を冠する者たちの承諾によりてわが敵に穢さしむることなかれ。
教101,98,こは、わがすでにわが口より言い、また今やまさに諸国民の上に来らんとする事などに鑑みて、われに対しわが民に対して甚だ重く且つ嘆かわしき罪なり。
教101,99,この故にわが民のそこに住むを許されずといえども、わが設けたる所のものに対してわが民が権利を主張しまた所有権を保有するはわが意に適えり。

教101,100,さりながら、われ彼らに必ずしもそこに住むべからずとは言わず。彼らもしわが王国に適う業を為し、王国に適う実を結ぶならばそこに住むを得べければなり。
教101,101,彼ら家を建つるも、別の者をしてこれをつがしむることあるべからず。彼ら葡萄園に植えつけをしてその実を自ら食うべきなり。誠に然り、 アーメン。
教102,,教義と聖約　第102章
教102,*-*,1834年2月17日、オハイオ州カートランドにて開かれたる末日聖徒イエス・キリスト教会最初の高等評議員会の組織に関する議事録。
教102,1,この日啓示により24人の大祭司の総会ジョセフ・スミス（2代目）の邸に集りを為し、キリストの教会の高等評議員会の組織に着手す。而して、この高等評議員会は12人の大祭司と、必要に応じて1人乃至3人の管理者より成るべきものなり。
教102,2,この高等評議員会は、教会員または監督らの会議によりて、当事者に満足を与うる様に纏むる能わざる教会内部に起り得る重大なる紛争を調停するため、啓示によりて任命せられたり。
教102,3,ジョセフ・スミス（2代目）、シドニー・リグドンおよびフレデリック・ジー・ウイリヤムスは、本会議の賛成によりて管理者たることを承認せられ、ジョセフ・スミス（初代）、ジョン・スミス、ジョセフ・コー、ジョン・ジョンソン、マーテン・ハリス、ジョン・エ
教102,3-1,カーター、ジェレド・カーター、オリヴァ・カウドリ、サミュエル・エッチ・スミス、オルソン・ハイド、シルヴェスター・スミス、およびルーク・ジョンソンらの大祭司は、本会議に於て全会一致を以て選ばれ、教会のため常任評議員となる。
教102,4,それより上記の評議員らは、彼らは任命を受諾したるる否や、また天の律法に従ってその職務を務むるや否やを尋ねられしに、彼らこれに対し、彼らの任命を受諾し賜わりたる神の恵に従いその職務を尽すべき旨を答えたり。
教102,5,教会の名によりまた教会のために支持の挙手を行い、上記の雹議員らを任命したる本会議の構成員は、その数43人にして次の如し。すなわちその中9人は大祭司、17人は長老、4人は祭司、13人は会員なり。
教102,6,決議事項。高等評議員会は、前記評議員の中7人または正式に任命せられたるその後継者を入れて7人出席なき時は発動する権能なきものとす。
教102,7,これら7人は、欠席せる評議員らの代りに役を勤め得る能力あり且つこれに恥じざる者と認め得る他の大祭司を任命する権能あり。
教102,8,決議事項。前記評議員中、何人にても死亡のため、または犯罪のためその職をやめさせられ、またはわが教会精度の教域外に移転して欠員を生じたる時は、何時にても会長または管理者の指名によりてこれを補充し、教会の名に於て行動するために、それを承認する目的
教102,8-1,召集されたる大祭司らの総会に於て為す支持の挙手によりて承認を受くるものとす。
教102,9,教会の大管長にして、またこの評議員会の会長たる者は、啓示によりて任命さられまた教会員の支持の挙手によりて彼が管理を行うことを承認せらる。
教102,10,而してこの大管長、教会の評議員会を統轄するはその職務上の威厳の然らしむるところにして、自己と同様にして任命せられたる他の2人の管理者の補佐を受くる特権を有す。
教102,11,而して、この補佐の任命を受けたる者の1人もしくは2人不在の時は、補佐なしに自己1人にてこの評議員会を統轄する権能を有す。また、この大管長自身不在なる時は、補佐たる管理者の2人もしくは何れか1人、彼に代りてこの評議員会を統轄する権能あり。
教102,12,何時にても前記の形式に従い、キリストの教会の高等評議員会正式に組織せらるる時は、12人の評議員らは抽せんによりて、12人の中誰が最初に発言すべきかを確かめ、1番より初めて引きつずき12番に至るまで順序を確むべき義務あり。
教102,13,何件に就き執行するため何時この会議の招集せらるる時も、12人の評議員はその事件の難易を考慮せざるべからず。而して、その件もし困難ならざる時は、前記の抽せん法によりて、ただ2人の評議員のみその件に就きて述ぶるべし。
教102,14,されど、その事件困難なりと考うる時は4人を任命すべく、更に困難なる時は6人なるべし。されど、如何なる場合にも6人以上を任命して述べしむべからず。
教102,15,訴えられたる者は、すべての場合侮辱と不正とを防止するために、評議員会の半数に対して弁護を受くる権利を有す。
教102,16,この会議に於て陳述すべく任命せられたる評議員らは、事件の証拠を調査せる後、会議に事件の真相を提示すべし。而して、ことごとくは人は公平と正義に従いて陳述を為すべし。
教102,17,抽せんによりて偶数、すなわち2、4、6、8、10、および12などの数を引き当てたる評議員らは、訴えられたる者の為に立ちて侮辱を不正とを防止すべき者なり。

教102,18,すでに証拠述べられ、その件に就き陳述するために任命せられたる評議員らの言終りたる後、訴えたる者と訴えられたる者とはすべての場合自己の為に会議の席に於て発言する特権を有す。
教102,19,証拠の陳述、並びに評議員と、訴えし者、訴えられたる者らの言終りたる後、大管長はその件に関して有する自己の見解に従って裁決を為し、12人の評議員らに支持の挙手によりこの判決に同意を求むべし。
教102,20,されど万一、これまで発言せざる自余の評議員または評議員の中の1人にして、証拠と弁論とを公平に聴取りたる後大管長の判決に誤りあるを発見したる時は、その旨を表明するを得て事件は再審せらるべし。
教102,21,而してもし慎重に再審の結果、その件に就き更に何らかの追加すべき見解を発見せば、これに従いて大管長は判決を変更すべし。
教102,22,されど何らの追加すべき見解もなき時は、前判決成立して評議員は多数決を以てこれを決定する権能を有するなり。
教102,23,教義もしくは原則に関して論争ある時に、会議の人々の心に事件を明瞭に理解せしむるに足る記述なき時は、大管長は主に請うて啓示により御旨を示さるることを得。
教102,24,大祭司たちは、巡回中当事者の1方または双方の請求あらば前記の形式により会議を招集してこれを組織し、論争を調停する権能を有す。
教102,25,また上記大祭司の会議は、1時かくの如き会議を統轄するため評議員の中より1人任命する権能を有す。
教102,26,上記の会議は、その議事に判決に伴う証言の一切の陳述を附したるものの1通の写しを教会の大管長会の隻に在る者の最高会議に直ちに回附すべき義務あり。
教102,27,もし当事者の双方またはその何れかの1方当教会の判決に服さざる時は、これを教会の大管長会の席に在る者の最高会議に控訴して再審せらるることを得。然る場合には、この会議はあたかも前判決は無き者の如く、前記の形式に従って取扱わるべし。
教102,28,巡回中大祭司のこの種の会議は教会に関する最も困難なる事件に就きてのみ招集すべく、尋常一般の事件は決してかかる会議を招集するに足らず。
教102,29,巡回大祭司または常駐大祭司は、かかる会議を招集すべきや否やを宣言すべき権能を有す。
教102,30,高等評議員会または巡回大祭司と、12使徒の構成する巡回高等評議員会との間には区別ありて、その判決の効力異なる。
教102,31,前者の判決には控訴の余地有り得るも、後者にはその余地あるべからず。
教102,32,後者は背罪のありし際、教会の最高幹部によりて是非を論ずるために招集され得るのみ。
教102,33,決議事項、大管長会の席に在る会長または管理者は何にてもかかる事件の控訴されたる時、訴願およびこれに伴う証拠陳述などを討究したる後、該件が正しく再審の資格ありや否やを決定する権能を有す。
教102,34,かくして、12人の評議員らは抽せんの手続きを執り、何人が最初に語るべきかを定めたり。その結果次の如し、1、オリヴァ・カウドリ、2、ジョセフ・エッチ・スミス、4、ルーク・ジョンソン、5、ジョン・エス・カーター、6、シルヴェスター・スミス、7、ジ
教102,34-1,7、ジョン・ジョンソン、8、オルソン・ハイド、9、ジェレド・カーター、10、ジョセフ・スミス（初代）、11、ジョン・スミス、12、マーテン・ハリス、祈祷終りて、右の会を休会せり。　書記オリヴァ・カウドリ、オルソン・ハイド。
教103,,教義と聖約　第103章
教103,*-*,1834年2月4日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりてたまえる啓示。珍しき姓名の解き明しには、第78章の前書を見よ。ミズーリ州ジャクソン郡に於ける聖徒たちの上に下りたる迫害の原因を許容したもう。聖徒たちもし主の御旨に従う
教103,*-*-1,迫害に打勝つべし。従わざれば、この世の権力者は彼らに打勝つべし。主の天使たちと主も民に先立ちて至りたもうべし。金銭を集めて、土地購入のためにシオンい送付すべきこと。或長老たちに対し、1人1人に指図せらる。
教103,1,わが友よ。われ誠に汝らに告ぐ、シオンの地に散らされたる汝らの兄弟たちの救いと贖いとに関し、汝らがその義務を履行する方法を知らんがために、われ汝らに1つの啓示なる誡命を与う。
教103,2,すなわち、彼らわが敵の手によりて追払われ且つ危害を与えられたれば、わが時節至らば限りなくわが憤りを敵の上に注がん。
教103,3,彼らその罪悪を有りたけ満たして、そのさかずきを一杯にせんためにわれ今まで彼らを許したり。
教103,4,そはまた、わが名を冠する者たちわが与えたる教えと誡命とをことごとく聴かざりし故、暫しの間痛く且つ苦しき懲しめに服さしめんためなり。
教103,5,されど、われ誠に汝らに告ぐ、わが民、主にして彼らの神なるわが与えんとする助言に即刻聴き従わば、わが民の真実なりと認むる神の命を授けん。
教103,6,見よ、われ命を授けたれば彼らは即刻その敵を征服し始めん。

教103,7,主にして彼らのかみなるわが語らんとするすべての言を聴きてこれを有。ことによりて、彼らはこの世の国々わが脚下に服し、聖徒らにこの世の与えられていつまでもこれを占むるに至まで敵に打勝つを止めざるべし。
教103,8,されど彼らわが誡命を守らず、すべてわが言を聴きて守らずば、この世の国々彼らに打勝たん。
教103,9,彼らは世の光として、また人々を救う者として置かれたれば、
教103,10,彼ら人々を救う者ならずば味を失いたる塩の如く、かくして全く益なきものとなり外に棄てられて人の脚下に踏みつけらるべきなり。
教103,11,されどわれ誡に汝らに告ぐ、われは命を下せり。すなわち、離散せる汝らの兄弟たちはそのゆずりの地に帰りてシオンの荒れ廃れたる所をおこすべし、と。
教103,12,われ以前の誡命にて語りし如く、多くの苦悩の後に祝福を来るなり。
教103,13,見よ、こは汝らの苦悩と汝らの兄弟たちの苦悩の後に来る祝福にして、わが約束したる所なり。すなわち、汝らの贖いと汝らの教愛たちの贖い、すなわちこれらの者のシオンの地に元通り帰りて固く立ち、もはや打倒されざることこれなり。
教103,14,さりながら、彼らもしゆずりを汚すことあらば打倒さるべし。そは、彼らもしゆずりを汚さば、われこれを助けざればなり。
教103,15,見よ、われ汝らに告ぐ、シオンの贖いは必ず権能によりて来らざるべからず。
教103,16,この故に、われわが民のために1人の男を起さん。而して、この者はモーセのイスラエルの子らを導きし如くわ如くを導かん。
教103,17,汝らはイスラエルの子らにしてまたアブラハムのすえの子らなれば、必ず権能によりまた救いの手によりて束縛を脱るべきものなればなり。
教103,18,而して汝らの先祖らの最初に導かれし如く、正にシオンも贖わるべきなり。
教103,19,故に汝ら気落するなかれ。そは、われ汝らの先祖に言いし如く"わが天使を汝らに先立ちて上り行かしむ、されどわれは行くことなし"と言わざればなり。
教103,20,されど、われ汝らに言う"わが天使らを汝らに先立ちて上り行かしめ、われもまた行く。されば、終に汝らかの善き地を占めん"と。
教103,21,誠にまことにわれ汝らに告ぐ、わが僕ボーラク・エール（ジョセフ・スミス2代目）は、わが汝らに与えたる譬話の中にて葡萄園の主が話かけたる僕に譬えたる人なり。
教103,22,この故にわが足も辺ボーラク・エール（ジョセフ・スミス2代目）は、わが家の強者なる若き者と中年の者とに言え。すなわちわれに奉献されたる金銭をもてわが贖いおきたる地なるシオンの地に集れ、と。
教103,23,されば、すべての支部教会は賢き人々に金銭を持たせて遣わし、正にわG編めいじたる如く土地を贖わしむべし。
教103,24,わが敵、わがシオンの地として聖くしたるわが善き地より汝らを追払わんとして来り、また誠に汝らが汝らに対してわが前にもたらしたるこれらの証詞ありし後に、汝ら自身の土地より汝らを追払わんとして来たらば汝ら彼らを咀うべし。
教103,25,およそ汝らの咀う者は誰にてもわれ咀うべし。而して、汝らをしてわが敵に応報を復さしむ。
教103,26,また、われを悪む者の3代4代に至るまで、われは汝らと共に居りてわが敵の応報を復すなり。
教103,27,何人もわが為に生命を捨つることを怖るるなかれ。わが為に生命を捨つる者は再びこれを得べければなり。
教103,28,また何人にまれ、わが為に喜びてその生命を捨てざる者はわが弟子にあらず。
教103,29,わが僕、シドニー・リグドン、シオンの回復と贖いとに就きてわが与えたる誡命を守るべき備えを教会に為さしめんがために、東方の国々に於ける集会に於て声を挙ぐるはわが旨なり。
教103,30,わが僕パーレー・ピー・プラットおよびわが僕ライマン・ワイトは、10人、20人、100人づつシオンに行くべき団体を得て、その数ついに500人のわが家の強者を得る時始めてその兄弟たちの地に帰るはわが旨なり。
教103,31,見よ、こはわが心なり。求めよ。さらば与えられん。されど、人皆必ずしもわが旨を行わざるなり。
教103,32,この故に、汝ら500人を得る能わずば、熱心にこれを求めよ。恐らくは500人にあらずとも、300人を得るならん。
教103,33,もし300人を得ること能わずば、熱心にこれを求めよ。恐らくは100人を得るならん。
教103,34,されどわれ誡に汝らに告ぐ、われ汝らに1つの誡命を与う。すなわち、汝らと共にシオンの地に上り行くために、わが家の強者100人を得たる時始めてシオンの地に上り行け、と。
教103,35,故に、われ汝らに言いし如く汝ら求めよ。さらば与えらるべし。また恐らくは、わが僕ボーラク・エール（ジョセフ・スミス2代目）汝らと友に行き、わが民の中に在りて統轄し、奉献されし土地にわが王国を組織し、すでに下されたる、またこれより下されんとするわ
教103,35-1,誡命との上にシオンの子らを固く立つよう汝ら熱心に祈れ。

教103,36,およそ一切の勝利と光栄とは汝らの勤勉、忠実および信仰による祈りによりて来るなり。
教103,37,わが僕パーレー・ピー・プラットは、わが僕ジョセフ・スミス（2代目）と共に旅行せよ。
教103,38,わがライマン・ワイトは、わが僕シドニー・リグドンと旅行せよ。
教103,39,わが僕ハイラム・スミスは、わが僕フレデック・ジーウイリヤムスと旅行せよ。
教103,40,わが僕オルソン・ハイドは、わが僕オルソン・プラットと共に、わが僕ジョセフ・スミス（2代目）のわが汝らに下せる誡命を全うするを得んことを勧むる何所の地にも行き、その余のことはこれをわが手に任すべし。誠に然り、 アーメン。
教104,,教義と聖約　第104章
教104,*-*,貧しき者の為にする教会の制度、または協同制度に関し、1834年4月23日、エノク（予言者ジョセフ・スミス）に給える啓示。この啓示は大管長および他の大祭司たちの会議の集りの際に給まり。この集りに於て民の緊張この世に必要とするもの考慮せられたり。
教104,*-*-1,珍しき姓名の明しには、第78章の前書を見よ。協同制度に於ける誓約を破りたる若干の人々たち、罪ありとせられたり、主は欺かれず。貧しき者を世話するは、聖徒らの最も必要なる義務なり。カートランドに於ける協同制度は、ミズーリに於けるシオンの協同制度と
教104,*-*-1-1,この分離は1つは会員側の背罪のために起り、1つはミズーリに於ける聖徒らの四散せる状態によりて起りたり。協同制度のために金庫備えらる。人々信仰を有ち且つ謙らば、主はこの度かぎりその民をして財政上の束縛より逃れしむることを約したもう。
教104,1,わが友よ。わが誠に汝らに告ぐ、われすべての財産に関する助言と1つの誡命とを汝らに与う。この財産はわが教会のために、またわが来る時まで人々を救うために、協同制度としてまた永遠の制度として組織し樹立するよう命じたる制度に属するものなり。
教104,2,すなわち来る時には、わが命令を与えたる者たちもしも忠実ならば、恩恵に恩恵を加えらるるべき不変不易の約束をもて来る。
教104,3,されど、もしも彼らにして、忠実ならずば彼ら将に咀わるべし。
教104,4,この故にわが僕らの中には、わが誡命を守らずして貪欲によりまた真しやかなる言をもて誓約を破りし者もあるなれば、われこれらの者にいと厳しく且つ苦しき咀いを下したり。
教104,5,主なるわれ、わが心の中に告げたり。すなわち何人にてもこの制度に属する者にして背罪人なりと判りたる時は、言い換うれば、すなわち汝の結びたる誓約を破りたる時は、生涯咀いを受けわが欲する者によりて脚下に踏みつけらるべし。
教104,6,そは主なるわれ、これらのことに於て欺かるることあるべからざればなり。
教104,7,すなわち、またすべてこは汝らの中罪なき者が不正なる者と友に罪を受けざらんがため、また汝らの中罪ある者は罪を免れざらんがためなり。何となれば主なるわれ、わが右手に於ける栄の冠を汝らに約束したればなり。
教104,8,この故に汝ら背罪人と判りたらば、生涯わg愛木戸降りより脱るる能わず。
教104,9,汝ら背罪のために断ち切られなば、贖いの日に至るまでサタンに打ち叩かるることを免れ得ず。
教104,10,われ今汝らに即刻、汝ら制度の中何人にても背罪人なること判りて然もその悪を悔改めざる者をサタンにわたし打叩かしむる権能を与え、然も彼汝らに災を及す力を許さざるべし。
教104,11,それ故に、われ汝に1つの誡命を与う。汝ら組織を作りてすべての人をその管理の職に任ずべしこれわが智恵なり。
教104,12,かくして、すべての人その命ざられたるところの管理の職に就きてわれに報告をなすべし。
教104,13,そは、わが生くる者の為に創りて備えたるこの世の幸福を掌どる者として、すべての人をしてその責に任ぜしむるは主なるわれ必要とするところなればなり。
教104,14,主なるわれは諸々の天を拡げ、わが手づから創れるもの、すなわちこの地を築きたり。されば、その中にあるよろずのものはわがものなり。
教104,15,あらゆるものはわがものなれば、わが聖徒らを扶養するはわが目的なり。
教104,16,されどその事たるや、必ずわが道に適いて行われざるべからず。見よ、この道は主なるわれ、わG亜聖徒らを扶養するため命を下したるところにして、貧しき者は高くせられ、それにて富める者は低くせられんことこれなり。
教104,17,地は物に満ち足りて余りあり。然り、われよろずの物を備えて人の子らにこれを与え、人各々を自由意志によりて動く者となす。
教104,18,この故に、もし何人たりともわが造りし多くの物の中より取り、わが福音の律法に従いてこれを貧しき者乏しきに自己の取前をわかつことをせざる時は、悪人と共に地獄に落ちて苦悩を受け目を挙げて望み視ん。
教104,19,さてこの協同制度の財産に就き、われ誠に汝らに告ぐ、

教104,20,すなわちわが僕ペラゴラム（シドニー・リグドン）は、わが命ずる時に正にわが欲する如く、わが葡萄園にて働きつつある間、管理人たらんためと扶持を得んために今住める地とタハネス（革なめし場）の地に任を受けよ。
教104,21,而して、すべての事は皆シネハ（カートランド）の地に住めるこの制度の評議とこの制度の一致賛成または支持の挙手によりて為すべし。
教104,22,この管理の職と祝福とは、主なるわれこれをわが僕ペラゴムラ（シドニー・リグドン）に彼の祝福として授け、彼につずく子孫に及ぼすなり。
教104,23,而して彼わが前にへりくだらば、われいよいよ祝福に祝福を加えん。
教104,24,またわが僕マヘムソン（マーテン・ハリス）には、わが僕ゾンブル（ジョン・ジョンソン）が以前の受嗣ぎの地に替えて得たる土地の管理人となるために任を受けしめ、彼と彼につずく子孫の任となさしめよ。
教104,25,而して彼忠実ならば、われ祝福に祝福を加えて彼と彼につずく子孫に及ぼさん。
教104,26,またわが僕マヘムソン（マーテン・ハリス）をして、わが僕ガゼラム（ジョセフ・スミス2代目）の指図する所に従い、わが言を宣ぶるために彼の金銭を献納せしめよ。
教104,27,またわが僕シェデラオメク（フレデリック・ジー・ウイリヤムス）に、その今住むところの土地を与えよ。
教104,28,またわが僕オリハー（オリヴァ・カウドリ）には第1号地、すなわちレーンシャイン舘（印刷所）に使用すべき家に隣接するを区切る土地また彼の父の住える土地を与うべし。
教104,29,またわが僕シェデラオマク（フレデリック・ジー・ウイリヤムス）およびオリハー（オリヴァ・カウドリ）には、レーンシャイン舘（印刷所）とこれに付属する一切の物を与えよ。
教104,30,これ、彼らに命ぜらるべき管理の職なり。
教104,31,彼らにして忠実ならば、見よ、われ彼らを祝福し祝福に祝福を増し加えん。
教104,32,これは彼らと彼らにつずく子孫のために、わが彼らを任じたる管理の職の始めなり。
教104,33,彼ら忠実ならば、われ彼らと彼らにつずく子孫をいよいよ祝福し、正に祝福に祝福を加えん。
教104,34,またわが僕ゾンブル（ジョン・ジョンソン）には、その住える家と嗣業とを与えよ。ただし、わが家を建つるために保留せる土地、こはその嗣業に属するものなるが、それとわが僕オリハー（オリヴァ・カウドリ）に与うることをすでに指定したる土地とをすべて除く。
教104,35,彼忠実ならば、われ祝福に祝福を加えん。
教104,36,"みたま"の声いよりて彼に知らされ、またこの制度の評議によりまたこの制度の支持の挙手によりて知らさるるならば、わが聖徒らの年を建てんためにすでに区分せられたる土地を彼が売却せんことはわが旨なり。
教104,37,而して、こは彼と彼につずく子孫の祝福のため、わg厭かれを任じたる管理の職の始めなり。
教104,38,彼忠実ならば、われ祝福に祝福を加えん。
教104,39,またわが僕アハシダ（ニューエル・ケイ・ホイットニー）をして、今住える家と土地とオゾンダ（商業舘）のある土地と建物と、またオゾンダ舘の南に当る隅の土地と、シュール舘（灰置場）のある土地に就きて任を受けしめよ。
教104,40,而して、われすべてこの事をわが僕アハシダ（ニューエル・ケイ・ホイットニー）に、彼の管理の職のためと、彼と彼につずく子孫の祝福のためと、シネハの地（カートランド）なるわがステーキ部のために創立せるこの制度の有てるオゾンダ舘（商業舘）との為に任命
教104,41,誠に、こはわが僕アハシダ（エヌ・ケイ・ホイットニー）を任じたる管理の職にして、正にこの全部のオゾンダ舘（商業舘）に彼とその代理者と彼につずく子孫とを任ずる管理の職なり。
教104,42,而して彼わが与えたる誡命を守るに忠実ならば、われ彼と彼につずく子孫に祝福を与え、祝福に祝福を増し加えん。
教104,43,またわが僕ガゼラム（ジョセフ・スミス2代目）をして、わが家を建つるために区分せる土地、すなわち長さ40ロッドなる土地、また彼の父の今住える嗣業に就きて任を受けしめよ。
教104,44,而してこはすなわち彼に祝福を与え、また彼の父に祝福を与えんために任命したる管理の職の始めなり。
教104,45,見よ、われは彼の父のためと彼を扶持するために嗣業を1つ残し置きたれば、この故に彼の父はわが僕ガゼラム（ジョセフ・スミス2代目）の家の中の者に数えらるべきなり。
教104,46,而してわが僕ガゼラム（ジョセフ・スミス2代目）忠実ならば、われその家に祝福をいや増して加え、また正に祝福に祝福を増し加えん。
教104,47,われ今、シオンに就きて1つの誡命を汝らに与う。すなわち、汝ら今よりもはや協同制度としてシオンの兄弟たちに高速さるることなかるべし。ただかくの如くになるなり。
教104,48,すなわち汝らこの制度を組織せる後、シネハ（カートランド）の市なるシオンおステーキ部の協同制度と称えよ。而して汝らの兄弟たちは、組織せる後シオンの市の協同制度と称えよ。

教104,49,彼らは彼らの名により、また連盟に於て制度を組織し、而して彼らの名いよりまた連名に於て事業を為すべく、
教104,50,汝らは汝らの名により、また連名に於て事業を為すべし。
教104,51,この事をわれ汝らの救いと、また彼らの救いの為になさん事を汝らに命じたり。そは彼らの逐い出さるることと、またまさに来らんとすることのために然せるなり。
教104,52,かの誓約は、貪りとまことしやかなる言による罪悪のために破られたれば、
教104,53,すなわち、この故に兄弟たちと共に汝らの協同制度は解散され、汝らただ今より彼らと規約にて縛られず。ただわが語りし如く、汝らの財政の許す範囲と会議の支持の挙手が指示するところにしてこの制度の評議に於て承諾されたる限りの債務に就きて蚤、彼らの規約に
教104,53-1,ものとす。
教104,54,またわが汝らに任命したる管理の職に関し汝らに1つの誡命を与う。
教104,55,見よ、すべてこれらの財産は皆わが有なり。然らずば汝らの信仰は空しく、汝らは偽善者となり、汝らのわれと結べる誓約は破られたるなり。
教104,56,而してもし財産がわが有ならば、汝らすなわちわが管理人なり。然らざれば、汝らはわが管理人いあらざるなり。
教104,57,されどわれ誠に汝らに告ぐ、われ汝らをわが家の管理人、すなわち誠にわが管理人に任じたり。
教104,58,而してこのためにわれ汝らに組織を造り、わが言すなわち完全なる聖典すなわちわがこれまでに与えたる啓示と、また今より後時々与うべき啓示とをシネラ(印刷)すべきことを命じたり。
教104,59,こはこの世にわが教会と王国とを建てて、われわが民と共に住わん時の備えを為さんためにして、然もそお時は今や近づきたり。
教104,60,されば汝ら金庫のための場所を1つ備えて、これをわが名のために奉献すべし。
教104,61,また汝らの中よりこの金庫を掌どる者を1人指定し、この祝福を受くる様按手聖任すべし。
教104,62,而してこの金庫は須らく封印をなし、あらゆる聖き物を皆この中に納め、汝らの中何人といえどもその物またはその1部をも己が物と言うことなかれ。そは、皆汝ら一同に属すべきものなればなり。
教104,63,われ今より即刻それを汝らに与う。されば汝らわが語りし如くこれらの聖き物シネラ(印刷)するために、この聖なる物以外に汝らを任命したる管理の職を必ず行きて利用すべし。
教104,64,またこの聖き物より生ずる利益は、須らくこれを金庫の中に保べく、またこれには封印を施し、何人たりともこの制度の支持の挙手または命令によるほかはこれを使用し、或いは金庫の中より取出し、または施したる封印を破ることなからしむべし。
教104,65,かくの如くして、汝ら聖い物より生ずる利益は、神聖なる目的のために金庫に保管すべし。
教104,66,而して、この金庫は主の神聖なる金庫と称えらるべく、そが神聖にして主に奉献さるるために封印を施すべし。
教104,67,また、ここになお別の金庫を備え、それを管理する会計を1人任命し、金庫には封印を施すべし。
教104,68,汝ら管理の職を行うに当り、神聖なる目的のためわれ自身のために取除け置きたる神聖なる書のほか、わが汝らを任じたる家屋、土地または家畜またはすべての物に於ける財産を利用して得たる全部の金銭は、これを受くるや否や直ぐに100金、50金、10斤づつを
教104,68-1,従って金庫に納むべし。
教104,69,言を換えて言えば、汝らの中、人もし5タレント(ドル)を得ばこれを金庫に納めよ。10、20、50、或いは100タレントを得るもまた同様にせよ。
教104,70,而して、汝らの中何人もこれを己が物なりと言うことなかれ。そは、己が物なりと言うを得ず、またその1部たりとも己が物なりと言うを得ざればなり。
教104,71,ただこの制度の支持の挙手と一致の承諾あるほかは、その1部たりとも使用しまたは金庫より取出すことなかれ。
教104,72,またこれを為すには、汝らの中何人にても会計に向いて、われ管理の職を補うためにこれを必要とすと言わば、この制度はこれに対して支持の挙手をしまた一致承諾によるべきものとす。
教104,73,すなわち、もし5タレント(ドル)にても10、20、50或いは100タレント(ドル)にても、会計は彼の要求する金額をその管理の職を助くるため与うべきなる。
教104,74,すなわち、その人罪人なることを知られ、誠なく智恵なき管理人たることの制度の会議の席上にて明らかにあらわるるまで然すべし。
教104,75,されど、その人教会の正会員の1人として資格に欠くる所なく、忠実にして智恵ある管理人なりせば、会計の敢てその要求を拒まざる以て以上のしるしとすべし。
教104,76,されど罪を犯せる時は会計はこの制度が為す会議と支持の挙手にかけらるべし。

教104,77,而して、この会計誠なく智恵なき管理人たること判明すれば、彼はこの制度が為す会議と支持の挙手にかけられてその地位よりしりぞけられ、別の者を以てこれに代らしむべし。
教104,78,またわれ誠に汝らの債務に就きて告ぐ。見よ、汝らことごとくその債務を償却すべし。これわが旨なり。
教104,79,また、汝らわが前にへり下り、勤勉、謙遜および信仰による祈りによりてこの祝福を得んことはわが旨なり。
教104,80,汝ら勤勉、謙遜にして、信仰をもて祈りをなさば、見よ、われ汝らの貸主らの心を和げ、ついに汝らが救わるる手段を与うべし。
教104,81,この故に、汝ら速にケインハノック(ニューヨーク)に書を認むべし。すなわち、わが"みたま"の書取らするままにこれを認むべし。さらばわれ汝らの貸主らの心を和げ、汝らに苦痛を与えんとする念を心の中より取去るべし。
教104,82,而して汝ら謙遜、忠実にしてわが名を呼び求むれば、見よ、われ汝らに勝利を与えん。
教104,83,われ汝らに約束を与う。汝ら今1度だけ束縛を逃れて自由の身となるべし。
教104,84,汝らもし、何100ドル、または何1、000ドルづつ金を借入るる機械を得て、ついに汝らのきずなを全く逃れ得てもそは汝らの特典なり。
教104,85,わが汝らに私たる財産を、汝らにとりて善しと思わるる如く一致の承諾または他の方法により、汝らの名を以て今1度だけ担保とせよ。
教104,86,われこの旅に限り、汝らにこの特典を与う。されば見よ、もし汝らわが誡命に従い、わが汝らの前に出したることに早速取りかかるならば、すべてこれらの物はわが物にして汝らはわが管理人なれば、およそ家の主はその家を敗るが如きことを為しめざるべし。誠に然り
教104,86-1,アーメン。
教105,,教義と聖約　第105章
教105,*-*,1834年6月22日、ミズーリ州フイシングリバーにて予言者ジョセフ・スミスによりてたまえる啓示。ミズーリ州に於ける聖徒らに対する暴行は甚しくなり、数郡より来れる組織的団体は教会の人々を滅ぼさんとする意志を声明せり。予言者はシオンの陣営として知
教105,*-*-1,一隊の酋長となりて、衣服食料を運搬してカートランドよりこの地に来りてありたり。この一隊がフイシングリバーにて野営せる間に予言者はこの啓示を受けたり。わが教会の歴史、第2巻、第5章乃至第8章(英文)参照。めずらしき姓名の解き明しには、第78章の
教105,*-*-1-1,見よ。教会の人々は、その背罪なかりせば彼らの敵より贖われしならん。進んで貧者に頒たざる物は罪ありとせらる。シオンの贖いは延期せらる。教会の人々は損害を償わしむるため法官に訴うべきこと。ジャクソン郡とそれに近接せる郡の土地を贖うべし。カートラン
教105,*-*-1-1-1,建築中なる主の宮居に於てエンダウメントを授けらるること。召の日に次で来たるは選びの日なり。聖徒らは平和の旗じるしをかかぐべし。
教105,1,誠にわれ、わが苦しめる民の贖いに関するわが旨を知らんとして寄り集れる汝らに告ぐ、
教105,2,見よ、われ汝らに告ぐ。われ1人1人就きて言わず、教会全体に就きて言うなれど、もしわが民罪を犯さざりせば彼ら今にも贖われ居りしならんに。
教105,3,されど見よ。彼らはわが彼らに要求したるところにおとなしく従うことを覚らずしてあらゆる悪に満ち、彼らの中の貧しくして苦しめる者たちに聖徒たるにふさわしく物資を頒たず。
教105,4,日の栄の大国の律法の要求する和合一致に従いて一致協力せず。
教105,5,およそ日の栄の王国の律法の諸原則によらずんば、シオンを建つること能わず。これによりて建てずば、シオンをわれに受け入るることかなわざるなり。
教105,6,されば、わが民の律法に従順なることを覚るまでは必ずこれを懲しむるを要す。もし必ず要すれば、彼らの受くることによりて打ち懲しめらるるなり。
教105,7,われこの事を言うは、わが民を導くために任命せられたる教会の最初の長老たちに就きてにあらず。そは彼らことごとくは、この咎めを受くるにあらざればなり。
教105,8,されど、われ外にあるわが教会員に就きてこれを言うなり。多くの者ありて言わん。彼らの神何所に在りや。見よ、神は悩める時に彼らを救うならん。救わずんば、われらシオンに上り行かずしてわれらの金銭を保つべしと。
教105,9,この故に、わが民罪を犯したるために、わが長老たちは暫しの間シオンお贖いを猶豫することわがために必要なり。
教105,10,そはわが民をして備えをなし、去らに完き教えを受け、経験を持ち、その義務とわが彼らに求むることを更に完く覚らしめんがためなり。
教105,11,而して、わが長老たちがいと高きところより権能を賜わるまではこの事あるべからず。

教105,12,見よ、彼ら忠実にしてわが前に引きつずきへり下らば、われ大いなるエンダウメントを彼らに授けまた祝福を注がんものと用意せり。
教105,13,この故に、わが長老たちがシオンの贖いを暫しの間猶豫するはわがために必要なり。
教105,14,見よ、われはシオンの戦を為すことを彼らに求めず。そは、われ先の誡命によりて告げし如く、誠にわが約束を果すべければなり。すなわち、われは汝らのために戦わん。
教105,15,見よ、われは打ち滅ぼす者を遣わしてわが敵を破り、これをついえしむべし。されば今より多くの年を経ずして、わが敵をしてわが選ばれたる民を汚し、またわが聖徒らの集るために聖くしたる土地に於てわが名をけがすに任さず。
教105,16,見よ、わが僕ボーラク・エール（ジョセフ・スミス2代目）にわが家の強者、すなわちわが家の戦士、青年、壮年の者に、わが民の贖いのために集りてわg亜敵のやぐらをこぼちその見張りの者を追い散らすように言えと命じたり。
教105,17,されど、わが家の強者供わが言を聴かざりき。
教105,18,されどその中にはわが言を聴きし者たちあるがため、彼らにしてもし変ることなく忠実ならば、われ祝福とエンドウメントを授けんものと用意せり。
教105,19,彼らの祈りは聞かれたり。われその捧物を受け納れん。かくして彼らが信仰を試みらるるためここまで引き来らるるも、わが必要とするところなり。
教105,20,今、われ誠に汝らに告ぐ、われ汝らに1つの誡命を与う。すなわち、ここまで上り来れる程の人々にしてこの周りに留り得る限りの者は留るべし。
教105,21,されど、東の国々に家族あるが故に留る能わざる者たちは、わが僕ジョセフに命令を出さしむる程に暫しの間留るべし。
教105,22,われこの事に就きて彼と議るべし。而して何事によらず、彼が彼らに命ずるところはことごとく充らさるべし。
教105,23,またこの周りの地方に住めるすべてのわが民は須らくよく忠実にして祈りを断たず、わが前に謙るべし。而して、これまでわが啓示するところをわが表しても善しとするまで人に表すことなかれ。
教105,24,審判に就きて語らず、信仰をも誇らず、また大いなる業をも誇らずして、民の感情に合致するところに従いて1つの地方に於て出来得る限り心して寄せ集むべし。
教105,25,而して、見よ、われ汝らが民に向いて"律法に従いて審判と正義とをわれらのために行い、われらの損害をわれらに就きて償え"と言いつつある間、汝らの平和に且つ安全に息むことを得んために、汝らをして人々の気に入られ人望を集めしめん。
教105,26,さて見よわが友よ。われ汝らに告ぐ。かくの如くして汝ら人望を集めて、ついにイスラエルの軍は極めて大いなるものとなるべし。
教105,27,われ人々の心を和げ、あたかも嘗て折々パロの心を和げたる如くして、わが僕ボーラク・エール（ジョセフ・スミス2代目）およびバニミー（すなわちわが任命したるわが長老たち）をしてわが家の強者たちを集むる暇を得しむべし。
教105,28,また賢き人々を遣わさしめて、ジャクソン郡にて贖い得るほどの土地は悉くこれを買入れ、またその周りの近接せる郡に於てもかくせよと命じたることを成就せしむべし。
教105,29,これらの土地を贖うはわが旨にして、贖いたる後はわが命じたる奉献の律法によりてわが聖徒らこれを保有すべきなり。
教105,30,またこれらの土地を購めたる後は、イスラエルの軍自らの金銭を以て購めおきたる所有の地を占め、これを襲わんとするわが敵のやぐらをこぼち、その見張人を追い散らし、またわれを憎む者の中の34代の者にいたるまでわが敵に讐を復すはわれこれを罪無しとすべし
教105,31,されどまずわが軍をして甚だ大いなるものとなし、わが前に聖きものとならしむべし。かくして、明らかなること日の如く、清らかなること月の如く、万国の民をしてその旗を怖れしむべし。
教105,32,またこの世の諸々の王国をして、シオンの王国は誠にわれらの神とそのキリストの王国なれば、いざわれらその律法に従うべし、とやむを得ず認めしむべし。とやむを得ず認めしむべし。
教105,33,われ誠に汝らに告ぐ、わが教会の最初の長老たちは、カートランドの地にわが名のために建てよと命じたるわが家の中に於て、いと高きところより授かるエンダウメントを受くるは誠にわが必要とするところなり。
教105,34,シオンとシオンの律法に関しわが与えたるこれらの誡命は、シオンの贖われし後にこれを遂行して成就すべし。
教105,35,召の日はすでに終りて、選びの日今来れり。故に、今は須らく価値あるものを選ぶべし。
教105,36,"みたま"の声によりてわが僕は選ばれし者たちを明らかに知らされ、而してこの者たちは聖くせらるべし。

教105,37,およそ彼ら受くるところの助言を守らば、多くの日を経てシオンに就けるすべての事を成就すべき権能を受けん。
教105,38,またわれ汝らに告ぐ、汝らに危害を加えたる人々と和を乞うのみならず、またあらゆる人々とも然せよ。
教105,39,平和の旗を高くかかげ、地の極までも平和を宣言せよ。
教105,40,また汝らの内にある"みたま"の声によりて、汝らに危害を加えたる民と平和を結ぶ提案を為すべし。然らば、すべての事について汝らの為にならん。
教105,41,この故に汝ら忠実なれ。見よ、みよ、われ誠に終りまで汝らと共に在るなり。誠に然り、 アーメン。
教106,,教義と聖約 第106章
教106,*-*,1834年11月25日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりてたまわりし啓示。ワーレン・エー・カウドリ地方管理大祭司に使命さる。彼命に従うならば、大いなる祝福ある約束さる。将来主の来りたもうは近きにあり、且つ突然なること。
教106,1,わが僕ワーレン・エー・カウドリ、フリードムの土地および附近の地のわが教会を統轄する管理大祭司として指名され、且つ按手聖任さるるはわが旨なり。
教106,2,されば、彼は己が任地に於てのみならずまた隣の郡に於ても、わが永遠の福音を宣べ声を挙げて世の人を警むべし。
教106,3,また、今彼に与うるこの高くして聖き天職にことごとく時間を捧げ、天の王国とその義しきとを熱心に求むべし。さらば、すべて必要なる物はこれにつけ加えられん。およそ、働く者のその酬いを受くるは当然なればなり。
教106,4,われまた誠に汝らに告ぐ、主の再臨は近づきて夜来る盗人の如く世を襲うなり。
教106,5,故に汝ら光の子らとならんために、腰をひきからげよ。さらば、その日は盗人の如く汝らに襲いかかることなからん。
教106,6,また、われ誠に汝らに告ぐ、わが僕ワーレン、わが王笏の前にその頭を垂れ、世の人の奸智より離れし時天に於て喜びありき。
教106,7,この故に、わが僕ワーレンは幸福なるかな。われ彼を憐まんと欲すればなり。彼に虚栄の心あり、さりながら、もしわが前にへり下らんと欲せばわれ彼を高く挙げん。
教106,8,而して、われ彼に恵と確なる約束とを与えて立たしめん。而して、もし彼引つづき忠実なる証人となり教会員の光とならば、われわが父の住家に於て彼の為に1つの冠を備うべし。誠に然り、アーメン。
教107,,教義と聖約 第107章
教107,*-*,1835年3月28日の日附に就きての啓示にして、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりてたまえるものなり。指定されたる日に、指定されたる日に、12使徒は会議のために集まりて個人個人の弱点と短所とを告白し悔改めを言い表して、更に
教107,*-*-1,たまわんことを求めたり。これらの者は定められたる地方に向い、伝道のためにまさに別れ行かんとする際なりき。わが教会の歴史、第2巻、209頁(英文)を見よ。アロン神権とメルケゼデク神権との間の区別。管理する権はメルケゼデク神権に属す。大神権の大管
教107,*-*-1-1,高き権能。アロン神権の管理者としての監督会。それぞれの定員会と、それに属する管理職員の義務、12使徒は巡回管理高等評議員会を構成す。12使徒は祝福を施す教職者すなわち祝福師の制度の系図。アロンの正統の子孫の知られざる時は、監督は大神権の中より
教107,*-*-1-1-1,選ぶべきこと。教会法廷の制度。教会員は何人も責任を免れざること。
教107,1,当教会に2つの神権あり。すなわちメルケゼデク神権とレビ神権を含めるアロン神権なり。
教107,2,何故に前者をメルケゼデク神権と称うるかと問わば、メルケゼデクは誠に偉大なる大祭司たりし故なり。
教107,3,メルケゼデクの前の時代にありては、この神権は神の御子の神権の聖なる神権と称えられたり。
教107,4,されど、至高者の御名を敬い尊ぶあまりしばしば御名を繰返し唱うることを畏れて、古えの教会員はこれをメルケゼデクの新免またはメルケゼデクの神権と称えたり。
教107,5,教会に於けるあらゆるその他の権能または職務はみなこの神権に従属す。
教107,6,されど神権は2つの区分または大いなる項目に分たれ、1つをメルケゼデク神権、他をアロン神権またはレビ神権となす。
教107,7,長老の職は、メルケゼデク神権に属せり。
教107,8,メルケゼデク神権は管理する権能を有し、この世のあらゆる時代に於て、教会内に於けるそのすべての職を管理する権能と権威とを有して、霊に関する諸々の事を執り行うことを得るなり。
教107,9,メルケゼデクの神権の大神権の大管長会は、当教会に於ける一切の職務を行う権能を有す。
教107,10,メルケゼデク神権の神権の大祭司は、大管長会の命を受け、自己の地位に在りて霊に関することを執り行う権能を有す。而してまた長老、および(レビ神権の属する)祭司、教師、執事その他会員の職務を行う。
教107,11,長老は大祭司不在の時、その代理として職務を執り行う権能を有す。

教107,12,大祭司と長老とは、教会の誓約と誡命とに適える霊に関する諸事を執り行うべき者にして、また上級の権威ある者不在なる時は、教会に於けるその職務をことごとく行う権能を有す。
教107,13,第2の神権はアロンの神権と称えらる。この神権はアロンとその子孫に代々授けられたるMNONAREBANARI。
教107,14,何故にこれが小神権と称えらるかと言わば、そは大神権すなわちメルケゼデク神権に従属して、外形的儀式を執り行う権能を有すればなり。
教107,15,監督会はこの神権の管理者にして、この神権につける鍵または権威を保有するものなり。
教107,16,およそ、アロンの正統の子孫にあらざる者は、何人もこの職に就く適法の権利を有せずして、この神権につく鍵を保有することなし。
教107,17,されど、メルケゼデク神権の大祭司は、その以下に属する一切の職を行う権能を有すれば、アロンの正統の子孫を見出し得ざる時彼が召されて特に任命せられ、メルケゼデク神権の大管長会の手によりてこの権能を有する職に按手聖任さるる時は監督の職務を執り行うを
教107,18,大神権、すなわちメルケゼデク神権の権能と権威とは、教会員のすべての霊に属ける祝福の鍵を保つことなり。
教107,19,すなわち、天の王国の奥義を受くる特権を有し、諸々の天は彼らに開かれ、神の"長子"の教会とその総集いとの親しき交通を享け、父なる神と新たなる誓約の仲保者イエスとの臨在と親しき交通とを享くることなり。
教107,20,小神権すなわちアロン神権の権能と権威とは諸天使の導きと恵みを受くる鍵を保ち、誓約と誡命とに適いて外形的の儀式を執り行い、福音の字義を教え、罪の赦しを受くるための悔改めのバプテスマを施すことなり。
教107,21,必要上、、これら2つの神権の中にある諸種の職に按手聖任せられたる者の中より出でたる。または任命せられたる、またはその中より必然に生じたる管理者すなわち管理職員あり。
教107,22,メルケゼデク神権を有てる者の中3人の管理大祭司あり、当団体によりて選ばれ、その職に任命して按手聖任され、教会員の信任と信仰と祈りによりて支持せられ、当教会の大管長会なる定員会を構成す。
教107,23,12人の巡回評議員は召されて12使徒となる、すなわち全世界に於けるキリストの御名の特別の証人となるべき者なり。すなわち、かくの如く彼らは当教会に於ける他の職員とは、その天職に就ける義務を異にす。
教107,24,またこの12人は、前記の3人の管理大祭司と権威と権能とを同じくせる定員会を構成す。
教107,25,また、福音を説き異邦人と全世界の人々に対する特別の証人たらんがため"70人"召さる。すなわちかくの如くこの者たちの天職に就ける義務は、教会に於ける他の職員らの義務と異るなり。
教107,26,またこの"70人"は、今挙げたる12人の特別なる証人、すなわち12使徒と等しき権能を有する定員会を構成す。
教107,27,而して、以上の何れの定員会の為す決議も、ことごとくその一致の挙手によって為されざるべからず。すなわちこれら定員会の為す決議も、ことごとくその一致によって為されざるべからず。すなわちこれら定員会の全会員はその決議をして高いに等しき効力、または有
教107,27-1,あらしめんがため、1人1人皆その決議に賛同せざるべからず。
教107,28,已むを得ざる事情ある説きには、定員会は大多数の出席を以て構成するを得。
教107,29,すなわち、定員会の決議全会一致にあらざる時は、これはメルケゼデク神権に按手聖任され、正しく且つ聖き人々なりし往昔の3人の管理大祭司より成る定員会の決議と同様の祝福を受くる資格なし。
教107,30,これらの定員会またはその何れか1つの為す決議は、全くの正義、神聖、謙遜、柔和、堅忍、信仰、善徳、知識、節制、忍耐、敬虔、同情、仁愛などによりて為されざるげからず。
教107,31,そは、もし彼らこれらの徳に富む時は、種に就ける知識に乏しからざるべし、との約束ある故なり。
教107,32,これら定員会の決議の何れにても不正になされる場合には、当教会の霊に関する権威者より成る幾多の定員会の総会に向ってこれを訴うることを得るなり。然らずんばこの決議を訴うる途あり得べからざるなり。
教107,33,12使徒会は、巡回管理高等評議員会にして、教会の大管長会の指揮下に於て、天の制に適うよう主の皆によりて職務を行う。すなわち、これらの者は教会を設立し、よろぞの国民に於ける教会のあらゆる事務を整理し、まず異邦人より始めて次にユダヤ人に及ぼすべき
教107,34,"70人"は12使徒会すなわち巡回高等評議員会の指揮の下に教会を設立し、またよろずの国民に於ける教会のあらゆる事務を整理するに主の皆によりて行い、まず異邦人より始めて次にユダヤ人に及ぼすべき者たちなり。
教107,35,また12使徒会は、イエス・キリストの福音を宣ぶるによりて扉を開くために鍵をもちて遣わさるる者たちにして、まず異邦人より始めて次にユダヤ人に及ぼすべきなり。
教107,36,シオンのステーキ部にある常任高等評議員会は、教会の事務を整理し諸般の決議を為すことに就きて、大管長会または巡回高等評議員会の定員会と同様の権能をもつ定員会を構成す。

教107,37,シオンに於ける高等評議員会、教会の事務を整理し諸般の決議を為すことに於て、シオンのステーキ部に於ける12人会の会議と同等の権能を有つ定員会を構成す。
教107,38,巡回高等評議員会は、福音を宣べまたこの福音を施すため幾多の召を満たすべき助力を必要とする時は、他の者を呼ぶことをせずただ"70人"を招集して助けを求むる義務あり。
教107,39,12使徒会は啓示によりて指示さるるところに従い、教会のすべての大いなる支部にありて、祝福師たる教職者を按手聖任する義務を有す。
教107,40,この神権は父より息子に伝うべきを確認されたるものにして、約束を与えられたる選ばれたる人々の正統の子孫に当然附与さるべきものなり。
教107,41,この神権はアダムの時代に制められ、左の如く子孫に相伝されたるものなり。
教107,42,すなわち、アダムよりセツに伝わる。セツは69才にしてアダムより神権を受く、またかれ(アダム)の死ぬる3年前に祝福を授けられたり。而して彼の子孫は主の選びたまえる民となり。また世の終りまで護らるべき神の約束を父アダムによりて受けたり。
教107,43,彼(セツ)は完き人にして、またその容姿は父の容姿と生写しなるために、あらゆる点に於て父とその面影相肖たり、ただ齢の異なるによりて彼と父と別つことを得たるのみ、
教107,44,イノスは、134才4ヶ月にしてアダムの手によりて神権を受く。
教107,45,カイナン満39才を超えたる時、神荒野に於てカイナンを呼びたまえり。而して彼シェドラマクの地に旅する途すがらアダムに遇えり。彼アダムによりて神権を受けし時、87才なりき。
教107,46,マハラリールは、アダムによりて神権を受けたる時、496才と7日なりき。而して、アダム彼にまた祝福を授けたり。
教107,47,ジェレドがアダムの手によりて神権を受けたるは200才の時なりき。而してアダム彼にまた祝福を授けたり。
教107,48,エノク、アダムの手によりて神権を受けし時は25才にして、彼65才にしてアダムの祝福を受けたり。
教107,49,彼は主を見主と共に歩き、たえず主の御前に在りき、彼、神と共に歩きしこと365才にして、彼の死なずして天に昇りし時は430才なりき。
教107,50,メツセラは、100才の時アダムの手によりて神権を受けたり。
教107,51,セツの手によりてラメク神権を受けたるは32才の時なり。
教107,52,メツセラの手によりてノアの神権を受けたるは10才の時なり。
教107,53,アダム死なんとする3年前に当り、すべて大祭司たりしセツ、イノス、カイナン、マハラリール、ジェレド、エノク、メツセラおよびその他の義しかりし彼の子孫らを、アダム・オンダイ・アーメンの谷に呼びその処にて最後の祝福を授けたり。
教107,54,その時主彼らに現われたもう。彼ら皆立上りてアダムを祝福し、彼をミカエル、王の君、また天使の長と呼べり。
教107,55,また主、アダムに慰めを施して言いたまわく、われ汝を立てて首長となす。諸々の民は汝より出で来り、汝は永遠にその君たるべしと。
教107,56,その時、アダム会衆の中に立ち上り、齢長けてすでに弓張の腰となりたるも、聖霊に満たされ、何事にても最後の代に至るまでその子孫の上に起るべき事を予言せり。
教107,57,すべてこれらはエノクの書に誌されたれば、後に時至りて証せらるべし。
教107,58,また12使徒会は、啓示によりて告げられたる所に従い、教会に於けるすべて他の職員を按手聖任し、またこれらを整理整頓すべき義務あり。その啓示は次の如し。
教107,59,シオンの地にあるキリストの教会に与う。教会の事務に関し、教会の律法に附加するところあるべし。
教107,60,万国の主は言う。誠にわれ汝らに告ぐ、およそ長老の職にある者を統轄すべき管理長老なかるべからず。
教107,61,また、祭司の職にある者を統轄すべき祭司なかるべからず。
教107,62,また教師の職にある者を統轄する教師なかるべからず。また、執事にもこれと同じく執事を統轄する者なかるべからず。
教107,63,この故に執事より教師に、教師より祭司に、祭司より長老に至るまで、教会の誓約と誡命とによりてそれぞれ任命さるる如くあらざるべからず。
教107,64,次に大神権来る、大神権はすべての中最高なるものなり。
教107,65,この故に、必ず或1人、教会の神権を統轄するために大神権の中より任命さるる必要あり。而して、この者は教会の大神権の大管長と称えらるべし。
教107,66,言を換えて言わば、これは教会の大神権の管理大祭司なり。
教107,67,この管理大祭司より、按手によりて儀式の失効と教会に授くる祝福は出ずるなり。

教107,68,この故に、監督の職は以上の職と同じからず。そは監督の職は、すべてこの世に属することを執り行えばなり。
教107,69,さりながら、監督はアロンの正統の子孫にあらざる時は大祭司の中より選ばれざるべからず。
教107,70,そは、彼もしアロンの正統の子孫にあらざればその神権に属ける鍵を保つ能わざればなり。
教107,71,さりながら、メルケゼデクの神権の大祭司は、真理の"みたま"によりてこの世に属ける知識を有て故に、この世に属けることの奉仕をなすために特に任命せられ得べし。
教107,72,またこの大祭司は、イスラエル人の中の判士となり、教会の事務を執り、自己の選びたる副監督または教会の長老中より彼が選ばんとする副監督らの援助を得て、律法によりて彼に証拠が提出さるる時はこれに就きて罪人審判の隻に着す。
教107,73,アロンの正統の子孫にあらずしてメルケゼデクの神権の大神権に按手聖任せられたる監督の義務はかくの如し。
教107,74,彼はかくの如く判士たるべく、誠にシオンまたはシオンのステーキ部または教会の支部の人々の中にありて彼がこの勤めを行うべき地位に特に任命されたる地にありて共通の判士たるべく、やがてシオンの区域拡げられ、シオンまたはその他の地に於て更に他の監督すな
教107,74-1,必要とするまでかくの如くあるべし。
教107,75,而して他の監督任命さるるならば、それらの者は同じ職に於て職務を行うべし。
教107,76,されど、アロンの正統の子孫は適法にこの神権を管理する権を有す。すなわち、この神権を行う鍵を有ち別に副監督を要することなく独立して監督の職を執行し、メルケゼデクの神権の大神権の大管長会員を審問する時のほかはイスラエル人の中なる判士としてその隻に
教107,77,而して、誡命に適えるこれら何れもの評議の会の決定たるものは次の如し。
教107,78,われまた誠に汝らに告ぐ、教会の最も重大なる事務、および教会の最も解決困難なる訴えは、監督すなわち判士らの判決に満足せざる所ある時はこれを教会の評議の会に移ちょうすべし。すなわち、これを大神権の大管長会に訴うべし。
教107,79,而して、大神権の評議会の大管長会は他の大祭司すなわち12人を招集し、これを評議員として援けをなさしむる権能あるべし。かくして、大神権の大管長会と評議員とは教会の律法に従い証拠に基き判決を為す権能を有すべし。
教107,80,この判決を経たる後は、再びこれを主の前に提出すべからず。そは、これ神の教会に於ける最高の評議会にして霊のことに関する労そうの最終判決なればなり。
教107,81,この教会に属する者は、何人といえども教会のこの評議会を免除さるる者なし。
教107,82,大神権の大管長会の1人罪を犯したらば、教会の総評議会の前に訴えるべきなり。而して、この総評議会の前に訴えるべきなり。而して、この総評議会は大神権なる12人の評議員らを補助となすべし。
教107,83,この評議会に於て彼に下せる決定は、これすなわち彼に関する論争の最後のものなりとす。
教107,84,かくの如く、神の正義と律法より何人も免るること能わざるべし。かくしてすべてのこと、真理と正義とにより神の前に正しく厳粛に行わるるなり。
教107,85,われまた誠に汝らに告ぐ、執事の職を管理する長たる者の義務は、12人の執事を統轄しこれと共に会議を平木て彼らにその義務を教う。すなわち誓約により与えられたるところに基きて互いにこれを啓発すべきものとす。
教107,86,また教師の職を管理する長たる者の義務は、24人の教師を統轄しこれと共に会議を開きて誓約に与えられたるところに基きその職に関する義務を教うべきなり。
教107,87,またアロン神権を有する者を管理する長たる者の義務は、48人の祭司を統轄しこれと共に会議を開きて誓約の与うるところに基きてその職に関する義務を教うべし。
教107,88,而して、この長はすなわち監督たるべし。そは、これこの神権の義務の1なればなり。
教107,89,また長老の職を管理する長たる者の義務は、96人の長老を統轄しこれと共に会議を開きて誓約に従いてこれを教うべし。
教107,90,この長は"70人"の長とは別の者たらざるべからず。而して、全世界に出で行きて巡回せざる者の長たる要に定めらる。
教107,91,また、大神権の職を管理する長たる者の義務は全教会を統轄すべきものにして、モーセの如くあるべし。
教107,92,すなわち、見よ、この教会の頭首に神の与えたもうあらゆる賜を有し誠に彼は聖見者たり、啓示を受くる者たり、翻訳者たり、また予言者たり、ここに智恵現わる。
教107,93,また"70人"の数の中より選ばれたる7人の長ありてかれらを統轄すべきことは、"70人"の神権を示せる示現による。

教107,94,この中、大7の長は他の6人の長を統轄すべきものなり。
教107,95,この7人の長たちは、彼らの属する第1の"70人"のほかに各"70人"を選び、これを統轄すべきなり。
教107,96,然る後葡萄園に於ける働き必要ならば、また他の"70人を選ぶこと70の7杯に達すべし。
教107,97,これらの"70人"は、異邦人より初めて順次にユダヤ人に至巡回福音伝道者たるべし。
教107,98,然るに12使徒会にも"70人"にも属せざる他の教会職員は、すべての国々を巡回する責任を有することなし。されど事情の許すかぎりは巡回すべきものなり。而して教会に於て重要にして責任ある地位を有することを得。
教107,99,この故に、今や神権者皆各々その義務を覚れ。また己が任命せられたる勤めを全く勤勉に勤むべし。
教107,100,およそ、怠惰なる者はその地位に居るに値せず、またその義務を覚らず信任さるるに足る行いを示さざる者は、その地位にある値なき者なり。誠に然り、 アーメン。
教108,,教義と聖約 第108章
教108,*-*,1835年12月26日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりて給わりたる啓示。ライマン・シャーマン賞め言と共に訓戒を受く。彼を長老の職に按手聖任せんとの約束を賜わる。
教108,1,主誠にかくの如く汝に告ぐ、わが僕ライマンよ。汝の罪赦されたり。そは汝わが声に従い、今朝この地まで来りてわが命じたる人よりその助言を聞かんとすればなり。
教108,2,この故に、汝の霊の立場に就来て心を悩すことなく、今後決してわが声に背くべからず。
教108,3,汝よ起て、而して今後は汝のすでに為しまた現に為す誓を更に慎重に守るべし。さらば、汝極めて大いなる祝福を享けん。
教108,4,汝忍耐して、わが僕たちの聖会を開く時まで待つべし。その時、わが最初の長老と共に汝は憶えられ、わが選びたる他の長老たちと共に汝は按手聖任されて権能を受くべし。
教108,5,見よこは、汝もし引つずきて忠実ならば汝に与えたもう御父の約束なり。
教108,6,さればわれ何所へ汝を遣わすとも、汝のわが福音を宣ぶる権能を受くるはその日に成就すべし。今後、その時より然り。
教108,7,この故にすべての談話により、すべての祈りにより、すべての訓戒により、すべての行いによりて、汝の兄弟たちを強くすべし。
教108,8,見よ、みよ、われ汝と共に在りて汝を祝福し、永久に汝を救わん。 アーメン。
教109,,教義と聖約 第109章
教109,*-*,1836年3月27日、オハイオ州カートランドの神殿の献堂式に於て捧げられたる祈祷。予言者の誌したる記事によれば、この祈祷は啓示によりて彼に与えられしものなり。わが教会の歴史、第2巻410頁(英文)を見よ。
教109,1,イスラエルの主なる神代。願わくは、主の御名に感謝せしめたまえ。誠心より御前に真直に歩むその僕らのために誓約を守り憐みを与えたもう主よ。
教109,2,すなわち、この所(カートランド)に主の御名のため1つの宮居を建つべきことを僕らに毎じたまえる主よ。
教109,3,おお主よ、主は僕らがその命令に従いて為したるを今みそなわせたもう。
教109,4,聖なる父よ。われら今イエス・キリスト、主の懐に在りたもう御子、その名によりてのみ人の子らに救いの施され得る御方の名によりて願い奉る。主よ願わくは、主が誠に建てよと命じたまいしこの宮居、すなわちわれら僕の手の工によりて成りたるものを受けたまえ。
教109,5,主はわれらが大いなる困苦をもてこの事業を為したるを知りたもう。われらは乏しきうちよりわれらの財を捧げ、"人の子"のその民に現われたもう場所を得たまわんため、主の御名のために1つの宮居を建てたり。
教109,6,主は、われらに下したまえる啓示の中に、われらを友と呼びて言いたまえり。すなわちわが命じたる如く汝らの聖会を招集すべし。
教109,7,そは、必ずしもすべての人信仰なきが故に、汝ら努めて求め、互いに智恵ある言を教うべし。然り、汝ら最も善き書より智恵ある言を探し求めよ。また正に研究と信仰とによりて学問を求むべし。
教109,8,汝ら組織して必要なるものを悉く調えよ。而して祈りの家、断食の家、信仰の家、学問の家、栄光の家、秩序の家、神の家なる1つの家を建つべし。
教109,9,またかくして、すべて汝らの入ることを主の御名に於てせよ。汝らの出ることを主の御名に於てせよ、かくして汝らの会釈はいと高き者に汝らの両手を挙げ主の御名によりてこれをせよ。
教109,10,さて聖なる父よ、願わくは神の民なるわれらを御恵みをもて助けたまい、われらを聖会に集わしめ、かくて父の御栄を現わし、父の喜びたもう集いとならしめたまえ。
教109,11,またわれら父の御前に、父がわれらに与えたまいし啓示の中にてその民なるわれらに与えたまいし約束の確に成就さるるに適しき者たらしめたもうよう助けたまえ。

教109,12,かくて父の栄光その民の上にあり、また今われら神に捧げんとするこの宮居の上にありて、これが聖別せられていと聖くなり、かくて絶えず父この中に在したまわんことを。
教109,13,またこの主の宮居の敷居を越えて入り来るすべての人々をして主の能力を感じ、また主この宮居を聖めたまいてそが主の家、神聖なる場所なるを覚らざるを得しめたまえ。
教109,14,聖なる父よ、この宮居の中に於て礼拝するすべての人に最も善き書より智恵ある言を教え、また父の言いたまいし如く、正に研究と信仰とによりて学問を求むることを誠に許したまえ。
教109,15,また彼ら父の中にありて成長し、聖霊の完全なる恩恵と能力とを受け、父の律法に従いて組織を立て、あらゆる必要なるものを得るために備えをなし、
教109,16,かくてこの宮居、祈りの家、断食の家、信仰の家、栄光の家または神の家、すなわち汝の宮居となり、
教109,17,この宮居に汝の民の入ることをすべて主の御名に於て為し、
教109,18,この宮居より彼らの出ることをすべて主の御名に於て為し、
教109,19,すべて彼らの会釈は、主の御名に於て聖き両手をいと高き者に挙げて為し、
教109,20,あらゆる穢れたるもの汝の宮居に入り来りてこれを汚すことなからしめ、
教109,21,また汝の民の中誰にても罪を犯したる者ある時は、速に悔改めて御許に帰り、御前に於て恵みを受け、汝を敬う者に汝の宮居に於て注ぐことを定めたまいし祝福を元通り彼に下したまわんことを。
教109,22,聖なる父よ、願わくは父の僕たちこの宮居を出で行くに父の権能を身に甲い、かくて父の御名彼らの上にあり、父の栄光彼らの身辺にあり、父の天使たちをして彼らを守らしめたまえ。
教109,23,願わくは、彼らをして比所より地の極まで、真理をもていと大いなる栄光の音ずれを携え行かしめ、以て彼らをしてこれが誠に父の御業なることを覚らしめ、また末の世に関し予言者の口を籍りて言いたまいしことを成就するために父が御手を伸したもうことを覚らしめ
教109,24,聖なる父よ、長枠は父を礼拝する民を固うし、その子孫の末々に至るまでことごとく永久にこの父の宮居に於て立派に名と地位とを保たしめ、
教109,25,この民に逆らわんとて造られし刃は栄ゆることなく、この民を陥さんとて陥穴を掘る者は己れをその中に陥入る者とならしめたまえ。
教109,26,また、この宮居に於て父の御名を載く父の民に、悪の徒党起ち上りて打ち勝つ力なからしめたまえ。
教109,27,而して、もし何にてもこの民に手向う民あらば、これに汝の憤りを燃したまえ。
教109,28,彼らもしこの民を打たば、父よ彼らを打ちたまえ。而して且つて戦の日に戦いたまいし如く、父の民のために戦たもうて、あらゆる敵の手より彼らを救い出したまわんことを。
教109,29,聖なる父よ、願わくは汝の僕らに逆らいて虚偽の報せを内外にまたは全世界に言い弘めたる者、もし永遠の福音を彼ら宣べ聞かせられて悔改めざる時は、彼らをあわて惑わせ、驚かせ、恥と混乱とを彼らに与えたまえ。
教109,30,また、彼らの為すすべての業を雹と怒りて下したもう汝の裁きとにより水泡に帰してこれを掃い去り、かくして父の民に逆らう偽りとそしりとをなからしめたまえ。
教109,31,主よ、汝の僕らが主の御名を証し、それによりて偽りとそしりとを受くるも、主の御前に潔白なりしは知ろしめすところなり。
教109,32,この故に、われら主に歎願し奉る。何とぞこのくびきよりわれらを全く救い出したまえ。
教109,33,主よ何とぞくびくを破りすてたまえ。願わくは主の御力によりて僕らの頚よりこのくびきを破りすて、かくしてわれらこの代の唯中に立上りて主の御業を為すを得しめたまえ。
教109,34,おおエホバよ、願わくはこの民を愛憐たまえ。すべての人罪を犯せば、汝の民の罪を赦し永久にこれを拭い去りたまえ。
教109,35,汝の福音を施す有nの聖任を、天よりの権能をもて、これを結ぶ固めしめたまえ。
教109,36,ペンテコステの日に於けるが如く、彼らにこの事を成就したまえ。汝の民に焔の如く裂けたる異言の賜を注ぎ、また異言を解く賜をも与えたまえ。
教109,37,また激しく吹き繰大鹿是のごとく、汝の栄光を汝の宮居に充たしたまえ。
教109,38,汝の僕らの上に誓約の証詞を加えたまい、かくて彼ら出で行きて汝の言を宣ぶる時律法を結び固めしめ、またこの代に住める人々罪を犯せば、汝が憤りてその人々の上に遣わさんとしたもうすべての審判に対して汝の聖徒の心に備えをなさしめ、以て困苦の日に汝の民を
教109,38-1,せしめたもうなかれ。
教109,39,而して、汝の僕如何なる町に入り行くとも、その町の人々僕たちの証詞を受け入れなば、その町に汝の平和と救いあらしめたまえ。かくして僕たち、正しき者らをその町より集め、彼ら正しき者は汝の定めたまいし場所なるシオンに、またはシオンのステーキ部に永久の
教109,39-1,唱いて出で往かん。

教109,40,而して、この事の完了せらるるまでは汝の審判をその町の上に下したもうことなかれ。
教109,41,また、汝の僕たち如何なる町に入り行くとも、汝の僕たち人々にこの従順ならざる代より自らを救わんことを警むるに、その町の人々汝の僕たちの証詞を受け入れずば、汝の予言者らの口によりて汝が告げたまいし如くその町に成らしめたまえ。
教109,42,されどエホバよ、伏して願わくは、汝の僕らを彼らの手より救いその血の汚れより洗い清めたまえ。
教109,43,主よ、われらは同胞の滅亡に至るを喜びとせず。彼らの身も霊も主の前に貴ければなり。
教109,44,されど、主の言は成就されざるべからず。主の恩恵もてかれらを扶け、僕らを助けて"主よ願わくは、御意のままに為したまえ。われらの心にはあらず"と言わせたまえ。
教109,45,あれらは末の世に主がその予言者の口を籍りて悪しき者に就き怖るべきことを告げたまいしを知る。すなわち限りなく裁きを下したもうことてい是なり。
教109,46,この故に主よ、主お民を悪しき人々の禍より救い出し、主の僕をして律法を結び固め、証詞を束ぬることを得しめ、かくして焼かるる日のために備えしめたまえ。
教109,47,聖なる父よ、願わくはミズーリ州ジャクソン郡の者たちによりて嗣業の地より逐われたる人々を憶えたまえ。主よ、願わくは彼らに負わされたるこの苦しみのくびきを破りすてたまえ。
教109,48,主よ、主は彼らが悪しき人々のために甚しき圧迫と苦しみとを受け、われらこの悲惨なる重荷のために悲しみの情に堪えざるを知りたもう。
教109,49,おお主よ、いつまでこの人々をして苦しみに逢わしめ、罪なき者たちの叫び声を汝の耳にとどかしめ、彼らの血を証詞として汝の前に登り行かしめ、また彼らのために汝の証詞を表したまわざる御旨なるや。
教109,50,主よ、主の民を逐いやりたるかの悪しき暴徒を憐みたまえ。かくて彼ら損うことを止め、もし今後彼らに悔い改むることあらば彼らの罪を悔い改めしめたまえ。
教109,51,されど、もし彼らに悔改めの念なくば、主よ汝の腕を露わして主の民にシオンを指定したまいたる都を贖いたまえ。
教109,52,もし然らざるを得ずんば、主の民の業の汝の前に敗れざらんため、願わくは主お怒りを燃やし、憤りを彼らに下し、かくて天が下より根も枝も両つながら払い尽して彼らを廃れしめたまえ。
教109,53,されどもし彼ら悔い改むるならば、主は恩恵と憐みに充ちたまえば、汝の"油濯がれし者"の面を見たもう時、主の怒りを彼らより転じたまえ。
教109,54,主よ、願わくは世にあるすべての国民を憐みたまえ。わが国土を治むる者を憐みたまえ。願わくは、われらの先祖が立派に雄々しくも護りたる原則、すなわちわが国の憲法を永久に確立せしめたまえ。
教109,55,世の中の王と公と、貴人と、大いなる人々と、また世の中のすべての人々と、教会t、すべての貧しき人々、乏しき人々、苦しみを受くる人々を憶えたまえ。
教109,56,エホバよ、かくして汝の僕らが汝の宮居より御名の証をせんがために出で行く時、これらの人々の心を和らげたまえ。またかくてこれらn人々真理の前にその偏見を捨て、主の民がすべての人に愛せらるるを得しめたまえ。
教109,57,而してすべて世の隅々まで、われらすなわち汝の僕らが汝の御声を聞き、汝がわれらを遣わしたまいしことを知らしめたまえ。
教109,58,また、すべてこれら世の人の中より、ヤコブのすえなる汝の命じたまいし如く汝の御名のために1つの聖なる市を建てんがために正しき人々を集め出さんことを。
教109,59,願わくは、汝がすでに設けたまえるこのステーキ部のほかに、シオンに他のステーキ部を設けたまえ。かくて汝の民の集合を大いなる力と威風とをもて円滑に運び、以て汝の働きを正しきに適いて早くなさしめたまえ。
教109,60,主よ、これらの言は異邦人とひとしく見なさるるわれらに対し、主のたまいたる啓示と誡命とに就きてわれら御前に述ぶる言葉なり。
教109,61,されど空かき雲りて暗き自に、永らく山の上に追い散らされたるヤコブの子らを汝大いに愛したもうことは、汝自ら知りたもう。
教109,62,この故に願わくは、ヤコブの子らを憐みて今よりすぐにエルサレムの贖いを始めたまわんことを。
教109,63,また、ダビデの家より束縛のくびきを砕き捨て始めたまわんことを。
教109,64,またユダの子らを汝がその先祖アブラハムに対し真に与えたもうたる地に復し始めたまえ。
教109,65,また罪のため咀われ打たれたるヤコブの家の残れる者たちを。その粗暴なる野蛮の様より転じて完全なる永遠の福音に帰せしめたまえ。
教109,66,かくて彼らをして、血に渇く刃を捨てて叛くことを止めしめ、
教109,67,世のいや極までも逐い払われたるすべてのイスラエルの家の残れる者たちをして、真理を覚り、メシヤを信じ、圧制を免れて、汝の御前に悦ぶ者とならしめたまえ。
教109,68,主よ願わくは、汝の僕ジョセフ・スミス(2代目)と、彼の受けたるすべての痛苦と迫害と、すなわち彼が

エホバに誓約をなし、またヤコブの大いなる神よ、汝に誓を立てたる始末を憶えたまえ。また、汝が彼ジョセフに与えたまいし誡命と、彼が心より汝の御旨を行わ
教109,68-1,励みしことを憶えたまえ。
教109,69,主よ、彼の妻子を憐みて彼らを汝の御前に高め汝の御手の中に守り育みたまえ。
教109,70,すべて、彼らに直接縁故ある者を憐み、かくてその偏見を破ってこれを洪水の流すが如くに洗い去り、彼らが改心してイスラエル人と共に贖われ、且つ汝が神なることを覚らしめたまえ。
教109,71,主よ、汝の教会にあるすべての会の長たる者を憶えたまい、汝の右手もて彼らとそのすべての家族と、直接の縁故ある者共とを高め以てその名を不朽に伝え、代々後の世までもとこしえに忘れざらしめたまえ。
教109,72,主よ、汝のすべての教会員を、そのすべての家族と直接縁故あるものと、すべてその病める者と、苦しめる者と、またすべて世の貧しき者柔和なる者たちと共に憶えたまえ、以て汝が手を用いずして建てためいし王国が大いなる山となりて全地を充さんことを。
教109,73,また、汝の教会暗き荒野より出で来りて、月の如くうららかに、日の如くあざやかに輝き出で、旗指物を持ちたる軍勢の如く怖るべきものとならしめたまわんことを。
教109,74,また、汝の教会をして、汝が諸々の天を開き御前に山嶽を崩し谷々を高うし高低の所を平に為したもうその日のために、花嫁のごとく美わしく飾らしめて汝の栄光を世に充したまわんことを。
教109,75,願わくは、死者のためにラッパの鳴り響かん時、われらを雲の中に引き揚げて主にまみえしめ、かくして主と共にとこしえに居らしめたまえ。
教109,76,また、われらの衣服を清くして正義の衣服を着せしめ、手には"勝利の章標"を持ち首領に栄の冠を載きて、すべてわれらの苦しみの報いにとこしえの喜びを刈入れしめたまえ。
教109,77,主なる全能の神よ、われらの願うこの祈願を聞きたまいて、聖き住まいなる天よりこれに応えたまえ。主は聖き御座にましまして、栄光と誉と権能と威光と勢いと支配と真理と正義と審きと愛憐と完全なる無限とをもて、とこしえよりとこしえにしろしめしたもうなり。
教109,78,おお主よ、聞きたまえ、聞きたまえ、われらの願いを聞きたまえ。願わくはこれらの祈願に応え、汝の御名に捧げて建てたるわれらの手の工なるこの宮居を献納するを嘉納したまわんことを。
教109,79,願わくは、またこの教会に汝の御名をつくることを嘉納したまいて、汝の"みたま"の力によりてわれらを助け、御座のほとりにありて光り輝やく天の使らと共に声を合せて、ホザナよ、神と子羊よ、と呼び交して讃め唱わしめたまえ。
教109,80,願わくは、これら汝に聖任されし者らに救いの衣を着せ、汝の聖徒らに喜びの声を高らかに挙げさせたまわんことを。 アーメン、アーメン。
教110,,教義と聖約　第110章
教110,*-*,1836年4月3日、オハイオ州カートランドの神殿内にて予言者ジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリに現われたる示現。この事は安息日に集会に起りたり。予言者はこの顕れを記録するに先ち次の如く誌せり。曰く"その日の午後、余は12使徒会より聖餐を受け
教110,*-*-1,長たる他の者が主の聖餐をくばる手助けを為したり。この12使徒会は、この日聖卓に尽きてその職を執行する特権を有ちし者なり。余は兄弟たちにこの勤めをなし終えし後教壇へ退きしに、仕切の幕下されて余はオリヴァ・カウドリと共にひざまずき厳粛なる沈黙の祈
教110,*-*-1-1,捧げたり。この祈りを終えて立上りしに、以下の如き示現われら2人に開かれたり"。主イエス・キリスト親しく現われたまいしこと。主、神殿を嘉納したもう。モーセ訪れてその手より"集合の鍵をわたす。エライヤスの訪れて権能を授与す。エライジャ訪れて、ここ
教110,*-*-1-1-1,ここにマラキの予言を直接に成就す。
教110,1,われらの心より覆い取去られて覚りの眼開かれたり。
教110,2,われらは、われらに面して教壇の胸欄に立ちたもう主を見たり。而して、主の脚下にはこはくの如き色したる純金の床ありき。
教110,3,その眼は燃ゆる炎の如く、頭髪白きこと清き如く、その顔は日の輝きにも勝りて光輝き、その声は洪水の激する音の如し。誠にエホバの御声言いたもう。
教110,4,われは始めなり終りなり。われは生ける者なり殺されたる者なり。父と汝らの間の仲保者なり。
教110,5,見よ、汝らの罪赦され、汝らわが前に潔き者となりたれば頭を挙げて喜ぶべし。
教110,6,汝らの兄弟らの心を喜ばせ、すべてわが民の心を喜ばせよ。彼らは力を尽してわが鳴のためにこの宮居を建てたればなり。
教110,7,見よ、われこの宮居を嘉納せり。わが名は比所にあらん。われは、この宮居にありて愛憐をもてわが民に姿を現わすべし。
教110,8,わが民よくわが誡命を守り、この聖き宮居を汚すことなくば、われわが僕らに現われ、われ自らの声をも

てこれに語るべし。
教110,9,誠に幾千幾万の人々の心は、天より注がるる祝福によりて真に喜びを覚え、またわが僕たちがこの宮居に於て授けらるるエンダウメントによりて喜びを覚えん。
教110,10,而してこの宮居の名声は外国までも拡がらん。これわが民の頭に注がるる祝福の始めなり。誠に然り、アーメン。
教110,11,この示現閉ぢらるるや、天再びわれらに開けてモーセわれらの前に現われ、世界の4隅よりするイスラエル人の集合と来たの国より10の支族を導き来ることの鍵をわれらに委せり。
教110,12,この後よりエライヤス現われ、アブラハムの福音の神権の時代を委して言えるよう、われらとわれらの子孫によりてすべてわれらの後の代の人々祝福を受くべし、と。
教110,13,この示現閉じらるるや、また別の雄大にして栄光ある示現突如開かれたり。すなわち、死を味わうことなく天に上げられし予言者エライジャらの前に立ちて曰く、
教110,14,見よ、ここに於て正にその時は全く至れるなり。そは嘗てマラキの口によりて言われしことにして、すなわち主の大いなるおそるべき日の来らん前に、彼（エライジャ）遣わさるべし。
教110,15,すなわちエライジャは来りて先祖の心に子らを思わせ、子らの心に先祖を思わせん。然らずば、全地は咀いをもて打たるべし、と言われしことを証する時なり。
教110,16,この故に、この末日の神権の時代の鍵を汝の手に委す。これによりて汝らは、主の大いなるおそるべき日のすでに近づきて正に門口にあるを知るを得ん。
教111,,教義と聖約　第111章
教111,*-*,1836年8月6日、マサチェセッツ州サレムに於て予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示。予言者はその顧問の1人と他に2人の長老と共にオハイオ州カートランドよりマサチュセッツ州サレムに旅行したりき。而して、その行先地に於て機会のあるままに家よ
教111,*-*-1,訪ねて人々を教え、公に説教する働きを始めたり。わが教会の歴史、第2巻、463頁（英文）を見よ。一層働きをなすために命令。シオンに関する主の給える保証。
教111,1,われ主なる汝らの神は、汝ら愚なることを為したりといえども、この度比所に旅して来れる立腹せず。
教111,2,この市には、シオンのために汝らに与うる宝多くあり。また汝らの媒ちによりて時来らばシオンの為にわが集めんとする多くの人々この市にあり。
教111,3,故に汝らこの市にありて導かるるままに与えらるるままに人々と知己になるは必要なることなり。
教111,4,時至らばわれこの市を汝らの手にわたして支配する権を与え、然も汝らの人知れぬ役目を彼らに知らしむることなからん。而してこの市の金銀に関する富は汝らの物たるべし。
教111,5,汝らの負債に就きて心を労するなかれ。われこれを償う力を汝らに与うればなり。
教111,6,シオンに就きて心を労するなかれ。われシオンを愛憐をもて扱うべかればなり。
教111,7,汝らこの地およびこの附近の地方に留るべし。
教111,8,汝らの主として留るべきことをわが欲する地方は、汝らに注がるるわが"みたま"の平和と力とによりて汝らに合図せらるべし。
教111,9,この土地は汝ら借地料を払いて借入るるを得。而してこの土地の草分けと昔よりの住民とに就きては、努めてこれを取調べよ。
教111,10,そは、この市には汝らに与うる宝1つならずあればなり。
教111,11,この故に汝ら蛇の如く慧かれ。されど罪を犯すことなかれ。われ汝らがすべての事を受くるを得るや、これがすべて汝らの益となるように命ぜん。　アーメン。
教112,,教義と聖約　第112章
教112,*-*,1837年7月23日、オハイオ州カートランドにて予言者ジョセフ・スミスによりてトマス・ビー・マーシュに給える啓示。神の子羊の12使徒に関し、トマス・ビー・マーシュにたまえる主の言。予言者は福音が始めて英国に宣べられたる日にこの啓示を受けたるこ
教112,*-*-1,記録す。トマス・ビー・マーシュは当時なりき。12使徒会は秘録すべての国民の中に福音をもたらすべきこと。彼らは大管長会の指揮の下に行動すべきものなること。他の者たちは、諸国民の中に福音を施す働きをなすために12使徒会より認可を受くることを得。神
教112,*-*-1-1,権能の鍵は、大管長会と12使徒会とにわたさる。現在を時満ちたる神権の時代と呼ぶ。
教112,1,誠にかくの如く、主汝わが僕トマスに言う。われ汝の祈りを聞けり。また汝の施しは民およびすべて世の人々の中にもたらす目的にて、わが僕らの手によりて按手聖任されたる汝の兄弟たちのために記念としてわが前に登り来れり。
教112,2,われ誠に汝に告ぐ、汝の心中にある少許の事と汝自身に就きて主なるわれ悦ばざりき。
教112,3,さりながら汝自らを卑うせる故に、われ汝を高めん。されば汝のすべての罪は赦されたり。

教112,4,わが面の前に元気を出せ。汝は異邦人にわが名を証するのみならず、またユダヤ人にも然すべし。また、世の隅々までもわが言を遣わすべし。
教112,5,されば汝は朝なに論じ、日々汝が警めの声を出すべし。而して夜ともならば、世の人々をして汝の演ずる言によりて眠らしむることなかれ。
教112,6,汝の住まいをシオンに於て知らしむべし。而して汝の住まいを転ずるなかれ。そは主なるわれ、人の子たちの中にわが名を広めんため、汝に為さしむべき大いなる事業あればなり。
教112,7,この故に、その働きを為さんため汝の腰を引からげまた汝の足拵をせよ。そは汝は選ばれし者にして、汝の行くべき道は山々の中にまた多くの国民の中にあればなり。
教112,8,而して汝の言によりて多くの高き者は低くせられ、多くの低き者は高くせらるべし。
教112,9,罪を犯す者に汝の言は戒めとなる。汝の戒めによりて、そしる者の片意地なる言を止めよ。
教112,10,汝須らく謙遜なれ、さらば主なる汝の神は手を取りて汝を導き汝の祈りに応えん。
教112,11,われ汝の心を知れば、汝の兄弟たちに就ける汝の祈りを聞けり。汝の兄弟たちを多くの者に勝りて偏より愛することなく、己れを愛する如く他の者を愛せよ。すべての人々を豊にせよ。またわが名を愛する者を豊かに愛すべし
教112,12,12使徒会なる汝の兄弟たちのために祈るべし。わが名のためにまた彼らの為したるすべての罪のために彼らをきびしく訓戒せよ。而して、汝らわが名のためわが前に忠実なれ。
教112,13,彼ら誘惑と多くの困苦とを受けたる後、見よ主なるわれは彼らの心を探り、もし彼らその心を頑固にせずわれに向いて頚を硬くせずばわれは彼らを教化して彼らを直すべし。
教112,14,われ今汝に告ぐ、而もわが汝告ぐぐるところはすなわちすべての12使徒会に告ぐるなり。起て、汝の腰を引きからげ、汝の十字架をとりてわれに従い、わが羊を飼え。
教112,15,汝ら自らを高うするなかれ。而して、わが僕ジョセフに叛くなかれ。そは、われ誠に汝らに告ぐ、われは彼と共に在り、わが手は彼を護ればなり。されば、汝らのために彼に与えたる鍵は、われの来るまで彼より取去らることなかるべし。
教112,16,われ誠に汝に告ぐ、わが僕トマスよ。汝はわれの選びたる人にして、12使徒会に関するわが王国の鍵をひろくすべての国民の中に保ち、
教112,17,以てわが僕ジョセフ、わが僕シドニー、わが僕ハイラムが行く能わざるすべての所にて、わが王国の門を開くべきわが僕となるなり。
教112,18,そはわれ彼らの上に、暫しの間すべての支部教会の重荷を負わしめたる故なり。
教112,19,この故に、彼らの汝を遣わすところへは何所にても出で行くべし。然らばわれ汝と共に在らん。されば、以下なる所にても汝わが名を宣ぶる所には、人々のわが言を受け入れんため汝に有効なる門戸開かるべし。
教112,20,何人にてもわg亜言を受け入るる者はわれを受け入るるなり。而してわれを受け入るる者は、わが遣わしたる者すなわちわが名のために汝の助言者となしたる大管長会を受け入るるなり。
教112,21,われまた汝に告ぐ、汝によりて正しく推薦せられ、且つ認可せられ、汝の兄弟たちなる12使徒会の支持の挙手により何人にてもあれわが名のために遣わさるる者は以下なる所へ遣わさるるとも、わが王国の門戸をどの国民にも開く権能を有つ、
教112,22,すなわち、彼らがわが前に謙り、わが言を守り、わが"みたま"の声を聴くならば然るなり。
教112,23,誠にまことにわれ汝に告ぐ、暗黒は世を覆い、人の心甚しく暗くなり、一切の人々はわが前に腐敗するに至るべし。
教112,24,見よ応報は速に世に住める人々の上に来る。こは憤りの日、焼き尽す日、滅亡の日、泣き、悲しみ、歎くの日なり。而も、そは旋風の如く全地の面に来るなりと主は言う。
教112,25,而して、このことはわが家に始まり、わが家より出で行かんと主は言う。
教112,26,また、まず汝らの中に在る者の中、わが名を知ると公言するもわれを知らず、またわが家の中にありてわれを汚せる者より聖書にこの事あるべしと主は言う。
教112,27,? この故に、この地に於けるわが教会の諸事に就きては汝必ず憂うるなかれと主は言う。
教112,28,されど、汝の心をわが前に潔くせよ。それよりすべての世の国々に出で行き、いまだわが福音を受けざる一切の生くる者にこれを説くべし。
教112,29,およそ、信じてバプテスマを受くる者は救われ、信ぜずしてバプテスマを受けざる者は救われず。
教112,30,汝らすなわち12使徒会、および汝らと共に汝らの助言者および指導者として任命を受けたる者たち、すなわち大管長会員にこの神権の権能末の世にこれを最後に附与せらる。而して、この末の世に時満ちたる神権の時代存するなり。
教112,31,汝らの保つこの権能は、創世の始めより何れの世にても神の神権の時代を受けたるすべての者の関聯するものにして、

教112,32,誠にわれ汝らに告ぐ、汝らの受けたる神権の時代の鍵は、汝らの先祖より伝わりしものにして、ひっきょう天より汝らに伝来せられしものなり。
教112,33,われ誠に汝に告ぐ、見よ、汝の天職は如何に大いなるか。この世の人々は血汝に要求せらるることなきよう汝の心と衣とを清くせよ。
教112,34,わが来るまで忠実なれ。われ速に来ればなり。而して、わが応報はわれと共にありて、人々の行いに従いてあらゆる人にその応報あり。われは、アルパなりオメガなり。　アーメン。
教113,,教義と聖約　第113章
教113,*-*,1838年3月、聖典と関する或疑問に対し予言者ジョセフ・スミスにより与えられたる答。
教113,1,イザヤ書第11章、1、2、3、4、5節にあるエッセイの株とは誰のことなるか。
教113,2,誠に主は言いたもう。そはキリストなり。
教113,3,イザヤ書第11章1節に誌されたる、エッサイの株より出で来るべき芽とは何なるか。
教113,4,見よ、かくの如く主言いたもう。そは、キリストの手の中にある1人の僕にして、エフライムのすえなると共に幾分はエッサイのすえなり。すなわち、大いなる権能を与えられたつヨセフの家の子孫なり。
教113,5,同書第11書10節に誌されたる、エッサイの根とは何なるか。
教113,6,見よ、主はかくの如く言いたもう。そはヨセフのすえなると共にエッサイのすえにして、末の世に於て旗標となるためと、わが民を集むるために、神権と王国の鍵とを正当に所有する者なり。
教113,7,エライヤス・ヒグビーの問、左の如し、。イザヤ書第52章1節に於ける"シオンよ、汝の力を着よ"と言える命令は何の意なりや。また、イザヤは如何なる民を指せるか。
教113,8,イザヤは、神が末の世に於て呼びたもうべき者たちを指せるなり。この者たちは、、再びシオンを興しイスラエルの贖いをなす神権の権能を有つ。また、力を着るとは神権の権威を纏うことにして、こは系統によりて当然シオンの受くべき者なり。また、シオンの失いた
教113,8-1,復することを言う。
教113,9,同書2節に言う"シオンの娘よ、汝がうなじの縄を解きすてよ"とは、われら如何に解すべきか。
教113,10,こは散乱せるイスラエルの残りの者たちがさとされて、主の御許より堕落せる状態より主に帰り行く解すべきなり。彼らもし主に帰り行かば、主の約束したもうことはすなわち主彼らに語りたまわん。すなわち、神の啓示をたまわることこれなり。同書6、7節を参照せ
教113,10-1,"汝がうなじの縄"とは、シオンに下れる神の咀いすなわちイスエラエルの残れる者たちが異邦人の間に散乱せる状態を指す。
教114,,教義と聖約　第114章
教114,*-*,1838年4月17日、ミズーリ州ファーウェストにて予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示、デビッド・ダブルユ・バッテンに下されたる命令。不忠実なる者たちの占むる地位は、他の者に与えらるべきこと。
教114,1,誠に、主かくの如く言う。わが僕デビッド・ダブルユ・バッテンは、彼の出来得るだけ速にその事業をことごとく精算し、その商品を処理し、かくて明年の春に他の者、すなわちその中に彼も含む12人の者たちと共にわが名を証し、全世界に喜びの音信を持ち行く1つ
教114,1-1,わがために成し遂ぐるは智恵あることなり。
教114,2,誠に主、かくの如く言う。汝らの中わが成を否む者たちある故に、他の者これらに代りて据えられ、彼らの有する監督の職を受くべきなり。 アーメン。
教115,,教義と聖約　第115章
教115,*-*,1838年4月26日、ミズーリ州ファーウェストにて予言者ジョセフ・スミスにより下したまえる啓示。その土地を築き上げ、主の宮居を建つることに就きて神の御旨を知らせたもう。この啓示は、教会の管理職員らに告げらる。末日聖徒イエス・キリスト教会なる公
教115,*-*-1,主によりて確認さる。ファーウェストは、聖き奉献されたる土地たるべし、主の宮居を其所に建つべしとの命。大管長会は主のために家を建つるために借金をなさざること。
教115,1,主、誠にかくの如く汝に告ぐ、わが僕ジョセフ・スミス(2代目)よ、またわが僕シドニー・リグドン、またわが僕ハイラム・スミスおよびすでに任命せられまた今後任命せられんとする汝の副管長たちよ。
教115,2,また、汝わが僕エドワード・パートリッジとその副監督たち、
教115,3,また、シオンに於けるわが教会の高等評議委員会(その名はかく称えらるべし)に属するわが忠実なる僕らと、ひろく全世界に散在せる末日聖徒イエス・キリスト教会の全長老および全会員たちよ。
教115,4,わが教会は、末の世に於て須らく末日聖徒イエス・キリスト教会と称えらるべし。
教115,5,誠にわれ汝らすべてに告ぐ、汝ら起ちて己が光を輝かせ。これ汝らの光よろずの国民のはたじるしとならんため、
教115,6,シオンの土地とまたシオンのステーキ部とに集合すること、1つは防禦のためとなり、また暴風雨の避所

となり、憤りのありのままに全地に注がるる時に1つの避所ともならんためなり。
教115,7,ファーウェストの市を、わがために聖き奉献せられたる1つの土地たらしめよ。この市は最も聖きものと称えられん。そは汝の立てる地は聖ければなり。
教115,8,この故にわれ汝に命ず、わが聖徒われを拝せんとして寄り集るため、わがために1つの宮居を建てよと。
教115,9,須らく今年の夏にこの事業を開始し、基礎を置きて準備講じを始むべし。
教115,10,すなわち、来る7月4日を以てこの講じを開始し、その時よりわが民はわが名のために1つの宮居を建つるため勉め励みて働くべし。
教115,11,而して今日より1年の中に、わが宮居の礎を置くことを再び始めよ。
教115,12,かくの如くその時よりして、人々熱心に働きて隅の石より頂上の石に至るまで、1つの完からぬものなきに至るまでこの宮居を完成すべし。
教115,13,われ誠に汝らに告ぐ、わが僕ジョセフ、わが僕シドニーおよびわが僕ハイラムをして、わが名のために宮居を建つるためこれ以上負債をなさしむることなかれ。
教115,14,されど彼らにわが示す様力により、わが名のために1つの宮居を建つべきなり、
教115,15,もしわが民にしてわがこれより大管長会に示す様式によりてこれを建てざる時は、われこれを彼らの手より受け入るることなかるべし。
教115,16,されどもしわが民にして、その大管長会すなわちわが僕ジョセフ・スミスとその副管長たちにわがこれにより示す様式によりて現実にこれを打ち建つる時は、われわが民の手よりこれを受け入るべし。
教115,17,われまた誠に汝らに告ぐ、わが聖徒らの集ることによりて、速にファーウェスト市を建設するはわが旨なり。
教115,18,而してまたこれよりわが時々わが僕ジョセフに示す如く、その附近の地に他の土地をステーキ部として定むべし。
教115,19,見よ、われは彼と共に在らん。而して、われ彼を民の前に聖くすべし。そは、彼にこの王国と福音のための働きとを司どる鍵を与えたればなり。誠に然り、 アーメン。
教116,,教義と聖約 第116章
教116,*-*,1838年5月19日、ミズーリ州デビース軍ワイツ・フェリーの近くスプリングヒルと呼ばるる地に於て、予言者ジョセフ・スミスに給わりたる啓示。その時に、スプリングヒルは主によりて次の如く名づけられたり。
教116,1,主言いたまえり。アダム・オンダイ・アーマンとは、アダムがその民を訪れんがために来るべき地なるが故に、すなわち予言者ダニエルりて言われし如く"最も老いたる者"の坐すべき地なるが故にかく言うなり。
教117,,教義と聖約 第117章
教117,*-*,1838年7月8日、ミズーリ州ファーウェストにて予言者ジョセフ・スミスによりてたまえる啓示。ウイリヤム・マークス、ニューエル・ケイ・ホイットニー、オリヴァ・グレイジャーら、ある長老らの直ちに実行すべき義務に就きてたまえる啓示。否応なき命令。財
教117,*-*-1,とりて何ものにもあらず。
教117,1,誠にかくの如く、わが僕ウイリヤム・マークスならびにわが僕ニューエル・ケイ・ホイットニーに主は告ぐ。彼ら速にその事業を精算し、主なるわれの再び地上に雪を下す前にカートランドの地を旅出つべし。
教117,2,彼ら目醒めよ、起ち上れ、出で来りてひまどることなかれ。そは、主なるわれこれを命ずればなり。
教117,3,この故に、彼らもしひまどることあらば、すなわち彼らに善からざるべし。
教117,4,彼ら須らく、わが前にすべてその罪を悔い改めよ。また、すべてその貪欲なる欲望を悔い改めよと主は言う。主は言わずや、財産はわれにとりて何ものにあらず、と。
教117,5,主は言う。カートランドの財産を負債償却のために向けよ。払うべきものを払うえ。而してなお残余あらば、幾何にてもこれを汝らの手に残しおくべしと主は言う。
教117,6,そもそも、われは空の取りを有つにあらずや、海の魚を有つにあらずや、また山の獣を有つにあらずや。われは地を造りしにあらずや、また、われは世界のあらゆる多くの国民の運命を握るにあらずや。
教117,7,主は言う。さればわれは荒涼たる地にも芽を生やし花を咲せて豊にその実を結ばしめざらんや。
教117,8,アダム・オンダイ・アーマンの山の上、またアダムの住みし地なるオラハシネハの腹の上、充分容るる余地あるにあらずや。汝ら笹の露の如きものを貪りて、大事をなおざりになさんとは。
教117,9,さらば、こなたなるわが民の地、すなわちシオンの地に上り来よ。
教117,10,わが僕ウイリヤム・マークスをして、僅の事に忠実ならしめよ、さらば彼は多くの事を支配する者となるべし。彼をしてファーウェストの市に於けるわg熱海の中にありてこれを支配せしめよ。而して、わが民の祝福をもて彼を祝福すべし。
教117,11,主は言う。わが僕ニューエル・ケイ・ホイットニーは、ニコライ党とそのあらゆる秘密なる悪事と、またわが前に於ける彼の精神の些々たることのすべてに就きて恥を覚り、アダム・オンダイ・アーマンの地に来りてわが民の

監督となれ。主は言う、有名無実なるべから
教117,11-1,於て然すべし。
教117,12,われまた汝らに告ぐ、われわが僕オリヴァ・グレンジャーを憶えたり。見よ、われ誠に彼に告ぐ、彼の名は代々永遠に神聖なる記念として憶えらるべ、と主は言う。
教117,13,されば彼をして須らくわが教会の大管長会の負債償却に就きて熱心に争わしめよ、と主は言う。彼もし倒れたる時はわれこれを再び起さん。彼の犠牲は、われにとりて彼の拡張するよりは一層神聖なればなり、と言う。
教117,14,この故に、彼をして速に此方なるシオンの地に来らしめよ。主は言う、時期至らば彼はわが民のためにまたわが名のために1人の商人となるべし。
教117,15,故に何人もわが僕オリヴァ・グレンジャーを軽んずることなくして、わが民の祝福を永遠に彼の上にあらしむべし。
教117,16,また、われ誠に汝らに告ぐ、カートランド地に在るわが僕っらは、皆主なる彼らの神とわが宮居とを憶えてこれを聖く保持し、わが時期至らばその中にある両替する者供を打ち倒すべし、と主は言う。誠に然り、アーメン。
教118,,教義と聖約　第118章
教118,*-*,1838年7月8日、ミズーリ州ファーウェストにて予言者ジョセフ・スミスにより、12使徒会に就きて主よ汝の御意を示したまえと言う祈願に応えたまいし啓示。先に堕落したる者たちの地位を充たすよう給まりし命令。海の彼方に於ける12使徒会の将来の使命。
教118,*-*-1,出発すべき期日定めらる。
教118,1,誠にかくの如く主は言う。汝ら直ちに会議を開け。12使徒会を組織せよ。而して堕落したる者たちの地位を充たすために人々を任命すべし。
教118,2,わが僕トマスは暫くシオンの地に留りてわが言を公にすべし。
教118,3,その余の者たちはその時より続けて教えを説くべし。もし彼ら全く謙りたる心と柔和謙遜と忍耐強くさとをもてこのことを為さば、主なるわれは彼らの家族を扶養すべき約束を与う。また、今より後彼らのために1つの有効なる門戸開かるべし。
教118,4,彼らは明年の春大海を渡りて出で行き、そこにてわが完全なる福音を弘めわが名の証をなすべし。
教118,5,主は言う、来年4月26日、ファーウェスト市に於けるわが宮居の建築地にてわが聖徒らと告別をなせ。
教118,6,わが僕ジョン・テイラー、またわが僕ジョン・ページ、またわが僕ウイルフォード・ウッドラフ、またわが僕ウイラード・リチャーヅらを堕落せる者たちの代りに任命して、この任命を公式に告げ知らしむべし。
教119,,教義と聖約　第119章
教119,*-*,1838年7月8日、ミズーリ州ファーウェストにて予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示。主よ、主はその僕らに幾何を什分の一として汝の民の財産より求めたもうかを示したまえ、と言う祈願に答えたまいし啓示なり。
教119,1,誠に、かくの如く主は言う。われ人々その剰余の財産をことごとくシオンに於けるわが教会の監督の手に納めんことを求む。
教119,2,こはわが宮居を建つるため、シオンの礎を置くため、神権を有てる者のためまたわが教会の大管長会の負債のためなり。
教119,3,これを以てわが民が為す什分の一の始めとなすべし。
教119,4,まずこれを為して後、かくの如く什分の一を納めたる者は、以後毎年彼らの得る全利益の什分の一を納むべし。これを以て、わが聖なる神権のためにする彼らの守るべき永久的定法となす、と主は言う。
教119,5,われ誠に汝らに告ぐ、すべてシオンの地に集る者はその剰余の財産を什分の一として納め、この律法を守るべし。然らずんば、彼らは汝らの中に住むに適しからぬ者なり。
教119,6,われ汝らに告ぐ、もしわが民にしてこの律法を守りて聖く保たず、またこの律法によりてシオンの地をわれに聖くして以てわが律令と審判とをそこに保ち、その地を最も聖きものとなさざんば、見よ、誠にわれ汝らに告ぐ、そは汝らにとりてシオンの地にあらざるべしと
教119,7,2-内容? こは、あらゆるシオンのステーキ部に通ずる範例なり。誠に然り、アーメン。
教120,,教義と聖約　第120章
教120,*-*,1838年7月8日、ミズーリ州ファーウェストに於て予言者ジョセフ・スミスによりて下したまえる啓示にして、この前の第109章の啓示にて指定されたる通り什分の一として納められたる財産の処理方を知らしめたもう。
教120,1,誠にかくの如く主は言う。わが教会の大管長会、監督その評議会およびわが高等評議委員によりて構成する会議により、什分の一たる財産を処理すべき時は至れり。また、これは彼らに告ぐるわが声によりて為さるべきなり。誠に然り、　アーメン。
教121,,教義と聖約　第121章

教121,*-*,1839年3月20日を以て予言者ジョセフ・スミスの誌せる祈りと予言にして、彼がミズーリ州リバティーの獄に囚人となりて居りし時のことなり。予言者は数人の同僚と共に幾月も獄中に在りたり。彼らが行政官および司法官に宛てて上申したる誓願も訴えも彼らを
教121,*-*-1,なかりき。わが教会の歴史、第3巻、289頁（英文）を見よ。苦しめる聖徒らのため熱心に主に訴う。主の御旨に逆らいて争う者たちに下るべき主の咀い。人々召さるるといえども、選ばれざることもあり。神権の権能は、天の力と固く結びつきて離れず。神権の権能
教121,*-*-1-1,用うる時は教えに叛くこととなる。神権の権能は、正義と慈悲を以て施すべきものなり。
教121,1,おお神よ、汝は何所に在したもうや。神の隠家を蔽える大捲何所にありや。
教121,2,汝の御手はいつまで止まり、汝の眼すなわち汝の聖き眼はいつまで永遠の天より汝の民と汝の僕らの被害を眺め、汝の耳はいつまで彼らのつんざく叫びを聞きたもうや。
教121,3,誠に主よ、汝の心彼らに和ぎ汝の愛憐の情を受くるまでいつまで彼ら被害と不当なるしいたげとを受くることそ。
教121,4,主なる全能の神よ、天と地と海とその中にあるすべての物を造り、悪魔とシエオールなる暗黒の領土とを支配し従えたもう神よ。汝の御手を伸したまえ。汝の眼光貫きたまえ。汝の大幕をとり去りたまえ。これ以上、汝の隠家を蔽いたもうなかれ。汝の耳を傾けたまえ。
教121,4-1,汝の心を和げわれらに愛憐の情を垂れたまえ。
教121,5,われらの敵に汝の憤りを燃したまえ、汝の心激しく怒り、汝の剣を振いてわれらの讐を報いたまえ。
教121,6,おお、われらの神よ、汝の苦しめる聖徒を憶えたまえ。さらば汝の僕ら永遠に汝の御名を悦ばん。
教121,7,わが子よ、汝心安かれ。汝の不幸汝の困苦はただこれ束の間なり。
教121,8,然り而して、もし汝よくこれを耐え忍ばば、神は汝を高きに挙げたまわん。かくして、汝あらゆる敵に勝つことを得ん。
教121,9,汝の友だちは誠に汝を援け、温き心と親しき手もて再び汝を歓び迎えん。
教121,10,汝いまだヨブの如くにあらず。汝の友だちは、ヨブに為したる如く汝に向いて争わず、また汝に罪をも負わせざるなり。
教121,11,而して、現に汝の罪を負わす物たちは、その希望吹き消されその前途の希望溶け去ること昇る旭日の盛なる光に朝霜の溶け去るが如し。
教121,12,また神は御名を署し印を捺して時と期とを変じ、人々の心を暗くなしたまえり。かくして、人々神のくすしき御業を覚らず。かくてまた神は人を例、人の悪だくみによりてこれを捕えたもう。
教121,13,また人々の心腐りたれば、彼らが進んで他の人の上にもたらし、且つ他の人に憂目を見するを喜ぶことなどは、却って極度に彼ら自身の上に振りかからん。
教121,14,かくてまた彼らは望みを失いその希望は断ち切られん。
教121,15,またそれより久しからずして彼らとその子孫は天が下より掃い去られ、彼らの中1人も残りて城壁の側に立つ者なかるべし、と神は言う。
教121,16,主は言う、わが聖任したる者をしいたぐる者は御名咀われよ。また主は言う、kわが前に罪を犯さずしてわが心に善しと適うところわが命じたるところを行いたるに、これを指して罪を犯せりと叫ぶ者は御名咀われよ、と。
教121,17,然も、罪を叫ぶ者かえって罪を犯すなり。そは、彼らは罪の僕にして誠に不従順の子らにほかならざればなり。
教121,18,わが僕らに対して偽りの証言をなす者たちは、かくして自らを束縛と死に致さん。
教121,19,実に彼らは禍なるかな。彼らわが小さき者たちを罪に陥したれば、わが宮居の儀式より除かるべき者なればなり。
教121,20,彼らのかごは充つることなく、その家も納屋も破れ果て自らは嘗てこびへつらいし者供に見下げられん。
教121,21,彼らは神権をうくる権利なく、また彼らにつずく子孫に至るまで代々然り。
教121,22,彼らはその首にひきうすを附けられ、海の深所に沈められて溺れし方かえってよかりしならん。
教121,23,わが民を辛き目に逢わせて逐い払い、これを殺し、虚偽の証言を為す者はすべて禍なるかなと、万群の主は言う。まむしの子らは、地獄の罰を免れざるべし。
教121,24,見よ、わが眼は彼らの為す所を見てことごとくこれを知れり。されど彼らすべてのため、暫く適当なる時期に於ける速なる審判を保留せり。
教121,25,そは何人にても、ことごとくその為すところに従い審かるる時定められたればなり。
教121,26,神はその聖き"みたま"により、すなわち聖霊の言い尽し難き賜によりて、世の始めより今日に至るまで嘗て表したまいしことなき知識を汝らに与えたまわん。
教121,27,これこそ、わが先祖らの末の世に顕されんことを熱心なる期待もて待ち望みしものにして、彼らの栄光

の完全に顕れんため保存し置かれしと天使らによりて彼らの心に示されたるものなり。
教121,28,而して何事も1つとして隠さるることなく、世に1つの神あるか、または多くの神々あるか、この事明らかにせらるる時来らん。
教121,29,あらゆる王件と統治の権、公権とその他の支配権顕されて、イエス・キリストの福音のために勇敢に耐え忍びたる者御名の上に飾られん。
教121,30,また、もし天か海かに定められたる限界あらば、または陸か日か月か星かに定められたる限界あらば、
教121,31,その廻転に属けるすべての時、すなわち定まりたるすべての日と月と年と、またその日と月と年との命数、およびすべてそれらの栄光と律法と定まりたる時とは、この時満ちたる神権の時代に於て明らかにせらるべし。
教121,32,こはすなわちこの世のいまだ在らざりし時、すべての神々の中の神なる永遠の神の御前会議の唯中にて定められたるところに依るものにして、こはこの世の仕上げと終末に至るまで、すなわち各人ことごとく永遠の存在に入り、不死不滅の息みに入る日まで保留せらるべ
教121,33,流水いつまでか濁りてあらん。如何なる力かよく諸天の運行を止めんや。何人かよくかよわき腕をさし伸べて、神の命じたまえる水路を流るるミズーリの流を止め、またはこれを逆流せしむることを得んや。もし、よくこれを為し得れば全能の神は末日聖徒の頭上にいと
教121,33-1,知識を注ぎたもうを止むることを得ん。
教121,34,見よ、召さるる者は多けれども選ばるる者は少し。選ばるることなきは、これそもそも何の故ぞ。
教121,35,そは、人々の心甚しくこの世に属けるものの上にあり、唯々人間の誉を得ることをのみ望み、次の如き1つの誡命を知らざるによる。
教121,36,曰く、神権の権能は天の能力と固く結びつきて離るべからざるものにして、天の能力は正義の原則によりてのみ支配し運用し得るものなり、と。
教121,37,この権能のわれらに与えらるる事もあらんは真実なり。されどもし己が罪を蔽いかくさんとし、われらの高慢、空しき野望を充たさんと企て、または幾分にても正しからざることによりて人の子らを支配し、統御し、強制せんとする時は、見よ諸天は退き去り、主の"み
教121,37-1,悲しむ。主の"みたま"退き去らば、神権またはその人の権威は終りなり。
教121,38,見よ、その人いまだ覚らざる前、独り置かるるままにとげあるむちをけり聖徒を迫害し神に叛きて闘をなす。
教121,39,われら悲しむべき経験によりこの事を知るおよそ殆んどすべての人間は、少し許りの権威を得たりと思うや、忽ち正しからざる支配を始めんとする生れつきの性癖あり。
教121,40,これすなわち、召さるる者は多けれども選ばるる者少き所以なり。
教121,41,如何なる権力も勢力も、神権によりて維持する能わず、または維持すべきものにあらず、ただ説服と堅忍と柔和と温情と偽らざる愛とによる。
教121,42,また、親切と浄き知識すなわち偽善にあらず奸知にあらずしてその人を甚だ大いならしむるものによる。
教121,43,すなわち、聖霊に感動しては機に臨みて激しく人を責む。然る後、また彼の汝を敵視せざらんために責めたるその人に一層の愛を示す。
教121,44,かくて、彼は汝の誠実は死のきずなよりも強きことを知るべし。
教121,45,すべての人に対して、また信仰ある家族に対して汝の腹中を慈愛にあふれしむべし。絶えず徳を以て汝の想を飾るべし。然る時は、汝の自ら信ずること神の前に強くなりて、神権の郷里は天より下る露の如くに汝をうるおさん。
教121,46,聖霊は常に汝の伴侶となり、汝の笏は真理と正義の変ることなき笏となり、汝の支配は永遠の支配となりて強いらるることなく永遠に汝に流れ込まん。
教122,,教義と聖約　第122章
教122,*-*,1839年3月、ミズーリ州リバティーの獄の囚人となりてありし時、予言者ジョセフ・スミスに与えられし主の言。わが教会の歴史、第3巻、300頁(英文)を見よ。慰めの確き約束。予言者への迫害激化と、彼の殉教もあり得べきことを予表さる。"人の子"も同
教122,*-*-1,苦しみたり。
教122,1,地のいや果にある者すら汝の名を訊ね、愚なる者ども汝を嘲弄し、地獄は汝に向いて怒りを起さん。
教122,2,然るに心の潔き者、賢き者、貴き者、徳ある者たちは汝の手の下よりいさめと権威と祝福とを常に求めん。
教122,3,而して、汝の民は裏切者の証によりては汝に背くこと決してなからん。
教122,4,裏切者はその勢力によりて汝を困苦に陥れ、汝を法廷と牢の中に投ずるといえども汝自らは尊敬を受けん。而して、束の間にして汝の正しきが故に汝の声は汝の敵の唯中にありて猛き獅子よりも恐ろしく聞ゆるならん。

而して、汝の神は永遠に汝の傍に立つべし。
教122,5,もし汝召を受けて困苦を経、もし汝偽りの兄弟たちの中にありて危きに逢い、もし汝陸に海に危険に逢うとも、
教122,6,またもし汝あらゆる偽りの問罪に遇い、もし汝の敵汝を襲い、もしこの敵父母兄弟姉妹の交りより汝を引き離し、もしこの敵白刃を以て愛する妻より汝を引き離し、汝の子女より引き離し、また僅か6才に過ぎぬ汝の年長の息子汝の衣服にすがりて、父よ父よ何とて共に
教122,6-1,能わざるか、おお父上よ、この人たちは御身を如何に為さんとはすると叫ぶに、この時もし彼ら剣をもてこの子を払い退け、汝を獄にひき行き、周囲には汝子羊の地に渇きたる狼の如くにはいかいすとも、
教122,7,またもし彼ら汝を坑に投げ入れ、または人を殺す者の手に引渡し死刑の宣告決まるといえども、またもし汝海の深所に投ぜられ、寄せくる大波汝を呑まんとし、烈風汝の敵となり、諸天黒暗を集め、風雨火石相共に汝の道を塞ぎ、なかんずく地獄のあぎと大口開けて汝を
教122,7-1,とすと、わが子よ汝この事を知れ、すなわちこれ皆汝に善からんため、汝に経験を与えんためのものなり、と。
教122,8,"人の子"は一切これらのものの下に身を落したり。汝は彼より大いなるか。
教122,9,この故に汝の行くべき途を続けよ。さらば、神権依然汝と共に在り。そは彼らの限界すでに定められたれば、彼らこれを越ゆる能わざればなり。汝の命数われこれを知る。されば、汝の生命は1日たりともこれを短くする能わず。この故に、人間の為し得ることを恐るな
教122,9-1,汝と共に在るべければなり。
教123,,教義と聖約　第123章
教123,*-*,聖徒を迫害する者に関する聖徒の義務にして、1839年3月ミズーリ州リバティーに於ける獄に囚人として在る間に予言者ジョセフ・スミスにより公にせられしものなり。わが教会の歴史、第3巻、302頁（英文）を見よ。迫害者により民の蒙りたる被害と、虐待せ
教123,*-*-1,すべての事実は記録し置くべきこと。迫害の記録は公にさるべきこと。
教123,1,さて再び、われれは諸君にとくと考えんことを申勧むるものなり。すなわち全聖徒がその知れるすべての事実とこの州の人々が聖徒に加えたる痛苦と虐待とに関する知識を集むるは正統なることを。
教123,2,また、聖徒らの全財産の調査および不動産の受けたる被害はもちろん、人格上身体上両つながらに蒙りたる被害高の調査、
教123,3,またこの暴虐を行いたる人々の姓名をとらえ、且つ発見し得るかぎり知り置くことは正当なることを。
教123,4,また或いは1委員会を設けてこれらのことを尋ねだし、申立書および口供書を作り、また世に流布せる誹謗的なる刊行物を集め、
教123,5,またすべて雑誌にあるもの、百科辞典にあるもの、またすでに刊行せられたるおよび執筆中の誹謗的史談、またそお何人に由るかなどの資料を集め、而してこの民の上に加えられたる兇悪非道なる悪党的行動と、不良兇悪なる欺偽的行動との全部のつながりを由上に発表
教123,6,すなわち、かくてただに全世界に公にするのみならず、またこれを政府の長官に訴えてあらゆる地獄の如き暗黒なる状態を示すべし。こは、われらの天の父なる神のわれらに命じたまいし最後の努力にして、この後われらは神の隠れ家より出でたまわんとの約束の充され
教123,6-1,要求する充分にして完全なる権利を得、また以て全国民をしてことごとく、天の父なる神がその強き御腕の力を下したまい得る以前にすでに言逃れをなさざらしめんためなり。
教123,7,こはわれらの緊急なる義務にして、神に対しまたわれらが共に立たさるべき天使らに大使、また殺戮、圧制、暴虐など最も咀わるべき手に抑えられて、哀傷、悲痛、憂悶等に屈従せしめられたるわれら自身、およびわれらの祭司らに対する義務なり。而して、この殺戮、
教123,7-1,暴虐などは、虚偽を受け嗣ぎたる先祖らの信条を子孫の心に非常に強く打ち込みて由に混乱を満たし、その勢力ますます強くなり来りて今や由のあらゆる敗徳の源泉となり、全地その罪悪の重荷にうめくかの霊気の勢力によりて擁護され励まされ支持せらるるものなり。
教123,8,こは、鉄のくびき強きもなり。また誠に地獄の手錠、鎖、手かせ、足かせにほかならず。
教123,9,この故に、こはわれらが妻子に為さねばならぬ緊急の義務たるのみならず、また冷酷なる手によりて夫や父を殺されたる寡婦、父なき子らに対する義務なり。
教123,10,かかる冷酷無惨の所業は地獄をも震い怖れて顔色なからしめ、悪魔の手をも震いてなえしむるに足る。
教123,11,こは、またすべて次代の青年およびすべて心の潔き者らに対するわれらの緊急なる義務なり。
教123,12,そは、この由にはなお欺かんと待伏をする人間の狡猾なる狡智に眼くらみて、真理のある所を知らざるが故にただ真理に遠ざかる者、あらゆる教派の中に多ければなり。

教123,13,この故にわれらはわれわれの知れる暗黒に隠れたるすべての事を明るみに出すことに神命を尽して働かざるべからず。またこれらのことは、誠に天より顕さるるものなり。
教123,14,さらば、大いなる熱誠を以てこれに勤めざるべからず。
教123,15,何人も、このことを些々たるものと思うなけれ。聖徒に関する多くのこと未来にありて、これらに頼ること多大なればなり。
教123,16,兄弟よ、汝らこの事を知る。それいと大いなる船も、暴風雨の時にはいと小さきかじにより、風と波とをしのぎて進路を保つによりて大いに助けらるるにあらずや。
教123,17,さればわが愛する兄弟らよ、いざ力の能う限り、あらゆる事を元気に為さむ。然り而うして、確固不動の信仰をもて耐え忍び、神の救いを見、また神の御腕の現わるるを望まんことを。
教124,,教義と聖約　第124章
教124,*-*,1841年1月19日、イリノイ州ノーヴーにて予言者ジョセフ・スミスにたまわりし啓示。公の役人が聖徒らに為す迫害と不法なる処置増々多くなりし故に、聖徒らは已むを得ずミズーリを立ち去りたり。1838年10月27日を以てミズーリ州知事リルバーン・ダ
教124,*-*-1,ダブルユ・ボッグスの発布せる撲滅令は、聖徒らをしてとるべき方法無からしめき。わが教会の歴史、第3巻、175頁（英文）を見よ。1841年この啓示をたまわりし時、イリノイ州なる前コマース村の場所を占めしノーヴー市は聖徒らによりてすでに建設せられ、
教124,*-*-1-1,教会本部は設立せられたりき。合衆国大統領、州知事、およびすべての国民の統治者に与うる宣言。すでに故人となれる全教会々員らの幸福なる状態。ジョージ・ミラー監督として召さる。旅人歓待の家を建つべきこと。ノーヴーに1つの神殿を建つべきこと。死者の代
教124,*-*-1-1-1,バプテスマを失効するための浸礼盤由になし。荒野に於て幕屋を建つるためモーセに誡命を下したまいし理由。これまで隠されし神聖なる事に関する啓示を下したもう約束。聖徒らが神の誡命を実行するを妨ぐる人たちは、その責任を負わせらるべし。ミズーリ州ジャク
教124,*-*-1-1-1-1,於ける神殿の建設遅れたることゆるさる。歓待の家は、ノーヴー舘の名を以て知らるべし。その家の建築と管理の指令。ウイリヤム・ロー召されて大管長会の副管長となる。ハイラム・スミス召されて当教会の大祝福師となる。彼の大いなる権能と特権。彼は嘗てオリヴ
教124,*-*-1-1-1-1-1,カウドリに授与せられし神権の中にあると同じ職を受く。教会の幹部およびステーキ部職員および支部職員指名さる。
教124,1,誠に主かくの如く汝に告ぐ、わが僕ジョセフ・スミスよ。われは汝の梨たる捧物と、汝自ら弱きを認めたるを喜ぶ。そは、世は弱き者によりてわが智恵を示さんための目的に対し汝を挙げたればなり。
教124,2,汝の祈りはわが前に喜ばる。されば、われ今汝の祈りに答えて言わん。汝は今や、わが福音とこのステーキ部に就きて厳かに宣言せんがため直ちに召さる、このステーキ部は、われこれを据えてシオンの親石となしたり。汝らはこれを宮殿と全く同様に美しく磨き上ぐべ
教124,3,この宣言は世の4隅に至るまで、あらゆる王に向い、選ばれたる大統領閣下に、汝の住める国家の高潔なる知事方に、また広く散財せる世のすべての国民に向いてなさるべし。
教124,4,汝柔和の精神と、指令の力とに由りてこれを書き誌せ。それを書き誌すとき、聖霊の力汝の中に宿らん。
教124,5,汝は聖霊によりて与えられ、これらの王および有司に関するわが意、すなわち将来これらの人々の身に及ぶべき事を知るを得ればなり。
教124,6,見よ、われまさにこれらの人々に呼びかけて、シオンの光と栄とに留意せしめんとす。そは、定められたる時すでに来りてシオンを恵めばなり。
教124,7,この故に汝声高く予備かけて宣言をなし、また汝の証を以て呼びかけて彼らを怖るるなかれ。そは彼らは、あたかも草の如し。そのすべての栄えは、皆草の花の如しじきに落ち去りてまた言い逃るる能わざるものとならん。
教124,8,かくしてわれは応報の誹に彼らに報い、その日にはわが顔の蔽布を取り去り、圧制する者の居り場所を偽善者の中に定め、彼ら其所に於て切歯せん。もし彼ら、わが僕年も辺らに占めしたるわが証とを拒まばかくの如し。
教124,9,またわれ彼らに働きかけてその心を和げ、多くの者をして汝に利あらしめ、以て彼らが恵をもて汝らを見て真理の光に来り、また異邦人をしてシオンを崇めまたはこれを高むることを為さしめん。
教124,10,それ、われの来る日は速に来り、汝らの思わざる時なるべし。然らば、わが民の安全は何所にありや。わが民の中より後に残されたる者の隠れ家は何所に在りや。
教124,11,目覚めよ。世の王たちよ。来れ、来れ。須らく汝らの金と銀とを持ちてわが民を助けに来れ。シオンの娘の家に来れ。
教124,12,また、われ誠に汝に告ぐ、わが僕ロバート・ビー・トムプソンをして、汝を助けてその宣言を誌さしめよ。

われは彼を喜ぶ者なれば、彼は汝と共に在るべきなり。
教124,13,この故に、彼は汝の助言を聴くべし。されば、われは祝福に祝福を加えて彼に与えん。またこの後、彼はすべてに忠実且つ真実なれ。さらば、彼はわが眼に大いなるものと見らるべし。
教124,14,されど、彼が管理の職に従事するをわれが求むることを忘れしむなかれ。
教124,15,また、われ誠に汝に告ぐ、われ僕ハイラム・スミスは幸福なるかな。主なるわれは、彼の心実直なる故に彼を愛す。また彼はわれの前に義しきことを愛する故にわれ彼を愛す、と主は言う。
教124,16,また、わが僕ジョン・シーベネットは、王たちと世の人々とにわが言を伝うる汝の働きを助け、また汝わが僕ジョセフ・スミスを苦しき時に助けよ。彼もし助言を受け入れなば必ずよき報いを受くべし。
教124,17,主は言う、彼は愛を持てる故に大いなる者とならん。そは、もし彼この事為したる事を見たり。彼もしこれをつずくればわれ嘉しとし、また祝福と大いなる光栄は彼の頭上に与えられん。
教124,18,われまた汝に告ぐ、わが僕ライマン・ワイト謙れる精神を以てシオンのため教えを宣べつずけ、世の人々の前にわれを信ずることを告白するはわが意に適えり。されば、われは鷲の翼に乗る如く彼を背負わん。而して彼は自らとわが名のために栄えと誉とを生むべし。
教124,19,かくして彼その業を完うせむ時は、われの彼を迎うること今われと共にあるわが僕デビッド・パッテンを迎えたる如く、また、わが僕エドワード・パートリッジまたアブラハムと共にその右の方に坐する老いたるジョセフ・スミス（初代）を迎えたる如くにして、彼は祝
教124,19-1,且つ聖き者たらん。彼はわがものなればなり。
教124,20,また、われ誠に汝に告ぐ、わが僕ジョージ・ミラーは欺くことなき者なり。彼の心誠実なるを以て信任することを得。彼はわが証を為すを愛する主なるわれ彼を愛す。
教124,21,この故にわれ汝に告ぐ、われはわが僕エドワード・パートリッジに為したる如く、監督の職を彼の頭上に結び固め、かくて彼はわが家の捧物を受入、以てわが民の貧しき者の頭上に祝福を施すなり、と主は言う。何人も、わが僕ジョージを軽んずるなかれ、彼はわれを敬
教124,21-1,なり。
教124,22,わが僕ジョージ、わが僕ライマンおよびわが僕ジョン・スナイダーその他の者たちは、わが僕ジョセフの示す如き家を、彼の示す土地の上にわが名のために1軒建つべし。
教124,23,而してその家は止宿する家、旅人の遠方より来りて宿る家たるべし。それ故にこは正しく受くべきよき家にして、疲れたる旅人が主お言をつらつらと考え、わがシオンのために指示したる親石のことをつらつら考うる間に健康と安全とを見出すところたらしめよ。
教124,24,この家は、わが名によりて建てられなば、またここの管理者に任命さるる者以下なる汚れをも入り来ることを許さずば、そは健全なる住家とならん。この家は聖くせよ、然らずんば主なる汝の神その中に住まわざるべし。
教124,25,われまた誠に汝に告ぐ、わが聖徒らをして御名遠方より来らしめよ。
教124,26,また、汝らは選べたる急使を遣わして聖徒らに言え。汝ら来れ、汝らのあらゆる金、銀、宝石、あらゆる古代の遺物を持ちて来れ。また、すべて古代の遺物の知識を有する人にして、来るを欲し来るを得る者は御名共に来れ。また須らくつげの木、もみの木、松の木を、
教124,26-1,貴き木々と共に携え来れ。
教124,27,また鉄、銅、真鍮、亜鉛その他世の貴き物を持ちて来れ。而してわg穴により、最と高き者の住むべき1つの宮居を建てよと。
教124,28,そは彼来りたもうて、汝らのすでに失いたるもの、すなわち彼の取り去りたまいしもの、すなわち完全なる神権を再び回復したもう土地はこのほか世に1つもあらざればなり。
教124,29,そは彼ら、すなわちわが聖徒らが死者に代りてバプテスマを受くるための浸礼盤世になければなり。
教124,30,すなわちこの儀式はわが宮居に属すれば、汝ら貧しくしてわが宮居を建つる能わざる時代を除きわれに受入らるること能わず。
教124,31,されどわれ汝らに命ず。すべて汝らわが聖徒よ、われに1つの御yziを建てよと。而して、1つの宮居をわがために建つるに要する充分なる時を汝らに許せば、この期限中に行う汝らのバプテスマはわれこれを受け入るべし。
教124,32,されど見よ、この取極めの終りし時、汝らが汝らい縁ある死者に代りて行うバプテスマは、われに受け入れるることなかるべし。もし、汝らこの取極めの終りし時これらのことを守らずば、汝らは汝らに縁ある死者と共に教会員としてしりぞけらるべし。主なる汝らの神
教124,33,われ誠に汝らに告ぐ。汝らが1つの宮居を建つるに充分なる時日経過したる後は、汝らに縁ある死者に代りて汝らの行うバプテスマはわれに受け入れらるることを得ず。その宮居に於て、汝らが死者に代りて行うバプテスマの儀式は執行せられ、また死者のために創世の
教124,33-1,儀式は制定せられたり。

教124,34,かくの如きは汝が誉と栄とを受けんため、神に定められたる聖なる神権の鍵そこにあれべなり。
教124,35,またこの時日過ぐれば、他国に散在せる者共の行う死者の代りのバプテスマはわが受け入るるところとならず。と主は言う。
教124,36,そはシオンとそのステーキ部とエルサレムとに於て、聖徒の避所とわが指定せる箇所は汝らに縁ある死者に代りて汝らがバプテスマを行う処たるべし、と定めらるればなり。
教124,37,また、われ誠に汝らに告ぐ、わが名に由りて建つべき宮居に於てこれを行うにあらずば、汝らの聖なる洗い如何でわれに受け入れられんや。
教124,38,この故を以て、われモーセに荒野に在りて共に運び歩くよう幕屋を造り、また創世の前より隠されたりしこれらの儀式を顕わさんため約束の地に於て1つの宮居を建つべし、と命じたり。
教124,39,この故に、われ誠に汝らに告ぐ、汝らの潅油の儀、汝らの聖なる洗い、死者に代る汝らのバプテスマ、汝らの聖会またレビの子らに由る汝らの捧物の記念、神よりの交通を受くる最も聖き所に於ける汝らの神託、汝らの律法と審判、啓示の始まりと、シオンの基と、シオ
教124,39-1,すべての市制の栄と誉とエンダウメントは、わが聖き名のために建てよとわが民の常に命ぜらるるわが制なる宮居の儀式によりて制めらるるなり。
教124,40,われ誠に汝らに告ぐ、われその中にてわが民に儀式を示さんがためわが名のためにこの宮居を建てよと。
教124,41,われ創世の前より隠されたること、すなわち時満ちたる神権の時代に関することをわが教会に示さんと図ればなり。
教124,42,而して、この宮居に関するすべての事、この宮居に関する神権、またその建てらるべき場所などはわが僕ジョセフにわれこれを示すべし。
教124,43,われ汝らのこの宮居を建つることを計画したる箇所にこれを建てさす。これわが宮居を建つるために、汝らのため選びたるところなればなり。
教124,44,もし、汝ら全力を以て努めなば、神聖なさるべき地はわれこれを聖くせん。
教124,45,わが民もしわが声を聴き、またわが民を導くために任命したるわが僕らの声を聴かば、見よわれ汝らに告ぐ、わが民はその住む所より居を移されざるべし。
教124,46,されど、もしわが民にしてわが声を聴く念なく、またわが任命したるこれらの人たちの声をも聴く念なき時は祝福を受くることなからん。そは彼らわが生地を汚し、またわが聖なる儀式と憲章と、わが彼らに与うる聖き言を汚せばなり。
教124,47,汝ら、もしわが名のために1つの宮居を建てしかもわが言うところを行わざば、われは汝らに誓うところの誓を果さざるべく、また汝らがわが為さんことを望む約束を充たさざるべし、と主は言う。
教124,48,汝ら、自身の行為によりて祝福を受くる代りに、わg甘えに為す汝らの愚なる行いとすべて汝らの憎むべき行いとにより、かえって己が頭上に咀いと憤りと怒りと審判とを至らしむ、と主は言う。
教124,49,誠にまことにわれ汝らに告ぐ、われ如何なる人の子らにもせよ、命を下してわが名のためにある業を為さしむるに、これら人の子たち能力を尽し、その持てるものをことごとく出してその業を為し努めて止まざるに、然も彼らの敵襲い来りてその為す業をさまたぐる時、
教124,49-1,われ最早それら人の子たちにその業を為すを求めずして彼らの捧ぐるものを喜びて納るるはうべなり。
教124,50,而して悔改むることなくわれを憎むかぎり、わが聖き律法と誡命とを敗る罪と咎とを、わが業をさまたげたる者共とその3代4代の末までも彼らの頭上に報いん、と主なる神言う。
教124,51,されば、これを以て、ミズーリ州ジャクソン郡にわが名のために1つの市と1つの宮居とを建てんことを命ぜられて敵のためにさまたげられし者たちの捧物をわれ受け入れたり、と主なる汝らの神言う。
教124,52,敵もし悔い改むることなくわれを憎む限り、3代4代の末までも審きと憤りと怒りとなげきと苦悩と歯噛みすることを以て彼らの頭上に応えん、と汝らの主なる神言う。
教124,53,これを以て、われよりある業を為せと命ぜられたるに、その敵の行動と圧迫とにより、事をさまたげられたるすべての者に対する汝らの慰めとして与うる範例となす、と主なる汝らの神言う。
教124,54,われはすなわち主なる汝らの神にして、清き心を持ちたるがミズーリの地にて殺されたる汝らの兄弟らを皆救わんとすと、主は言う。
教124,55,また、われ誠に汝らに告ぐ、われ再び汝らにわが名のために誠に比所に1つの家を建てよと命ず。かくて汝らは、何事にてもわが命ずる所にすべて忠実なるを証し、また以てわれは汝らを祝福し誉と不死不滅と永遠の生命とを汝らの頭にかざらんためなり。
教124,56,今われ汝らに告ぐ、旅人の宿として建つべしと汝らに命じたる家に就きては、これをわが名い由りて建て且つこれにわが名を附せよ。而して、わが僕ジョセフとその1家をして代々其所に居らしむべし。

教124,57,われ彼にこれを聖任せり。かくて彼につずくその子孫の頭上にもまた彼の祝福授けらるべし。
教124,58,また、われアブラハムにこの世の諸眷族に就きて語りし如く、誠いわが僕ジョセフにもその如く語る。すなわち、汝と汝の子孫によりてこの世の眷族祝福を受けん、と。
教124,59,こお故にわが僕ジョセフと、彼につずく子孫をして代々永遠にその家に居らしむべし、と主は言う。
教124,60,またその家の名をノーヴー舘と名づけ、これを人にとりて快き住家、疲れたる旅人の安息所となし、以て旅人のシオンの光栄を静に考えまたこれなるシオンの首石の光栄に就きて静に考うる所とせよ。
教124,61,また以て旅人に名高き樹木の如く、シオンの胸壁上の見張の如き者としてわが其所に置きたる人より助言を聞かしめよ。
教124,62,見よ、誠にわれ汝に告ぐ、わが僕ジョージ・ミラーと、わが僕ジョン・スナイダーと、わが僕ピーター・ハウスとは組織を造り、その中の1人を選びて、その家を建つるために彼らが造れる定員会の長に任ずべし。
教124,63,また、彼らは規程を設け、これによりてその家を建つるための株式資本を受くるを得べし。
教124,64,その家の株式としては、1株50ドル未満を受くべからず。また、何人にても1人よりその家の株金として15、000ドルを受くることを許さる。
教124,65,されど何人にても、1人より15、000ドルを超ゆる株金を受け入るるを許さず。
教124,66,またその家の株式として、何人にても1人より1株50ドル未満を受け入るるを許さず。
教124,67,而して、何び津といえども株券を受け取ると同時に払込をなすにあらずんば、この家の株主として受け入るるを許さず。
教124,68,およそ、払込を為す株金に比例してその家の株券を受け取るべし。払込をなさずして株券を受け取ることなし。
教124,69,もし何人にても払込金の納入をなしたる時は、それはすなわちその人とその子孫の有するわが家の株なり。もし汝らがわが意を行わんと欲せば、子孫に至まで彼とその相続者が保有する限り、また彼らの自由の意志と行為とによりてこれを売却または書替えせざる限りそ
教124,69-1,所有なり、と主なる汝らの神言う。
教124,70,われ、また誠に汝らに告ぐ、もしわが僕ジョージ・ミラ、わが僕ライマン・ワイト、わが僕ジョン・スナイダー、およびわが僕ピーター・ハウスは、現金または現金に換えられる不動産などにて株式資本を入手したる時は、その株式資本の1部なりとも他の目的に流用す
教124,70-1,この家の内の事のみに使用すべし。
教124,71,もし、その1部なりとも、現にこれを株主の承諾なくしてこの家の内の事のみ以外に何れか他の流用する時は、この家の内の事のみ以外何れか他に流用せる株式資本を以前の4倍として返還するにあらざれば咀いを受け且つその地位を退けらる、と主なる神言う。そは、
教124,71-1,主なるわれは神なれば、如何なるこれらの事に関してもわれをあざむく能わざればなり。
教124,72,われ誠に汝らに告ぐ、わが僕ジョセフはその家の建築のため、自ら善しと考うるだけの株金を払込むべし。されどわが僕ジョセフは、50ドルに満たず15、000ドルを超ゆる金をその家の株として払うを得ず、他人もまたこれを為すを得ざるなり、と主は言う。
教124,73,また、他の者ありて彼らに関するわが意を知らんと願う。そは、彼らわれにそれを示さんことをすでに乞えばなり。
教124,74,この故に、わが僕ヴィンソン・ナイトに就きて汝らに告ぐ、彼もしわが意を行わんとせば、自己と自己につずく子孫末代のため自らこの家の株式を出資すべし。
教124,75,而して彼は民の中にありて長く高く声を挙げ、貧しき者乏しき者の事を訴えよ。彼はたゆむことなく、また気落することあるべからず。されば、われ彼の捧物を受け入るべし。彼の捧物はわれにとりてカインの捧物の如くならず。そは、彼はわが有たるを以てなり、と主
教124,76,彼の家族は喜べ、苦しみより心を転ずるべし。われは彼を選び彼を聖任したれば、彼は彼の家中にて誉を得べければなり。そは、またわれ彼の罪をすべて赦すべければなりと主は言う、アーメン。
教124,77,われ誠に汝に告ぐ、わが僕ハイラムをして、自ら善しと思う程この家の株金を出資せしめ、自己と自己につずく子孫末代の株となさしむべし。
教124,78,わが僕アイザック・ガランドをしてその家の株金を出資せしむべし。そは主なるわれ、彼の為したる業によりて彼を愛し、彼の罪をことごとく赦さんとすればなり。この故に、彼は末代までもこの家の為に忘らるるべからず。
教124,79,わが僕アイザック・ガランドを汝らの中より任命せよ。わが僕ウイリヤム・マークスはその按手聖任の式を行いて彼を祝福し、彼をしてわが僕ハイラムと共に行きて、わが僕ジョセフが彼らに指示するところを為し遂げしめよ。さらば彼ら大いに祝福を得ん。
教124,80,わが僕ウイリヤム・マークスは、己が善しと思うだけその家の株金を出資し、己れと己れにつずく子孫末

代のものとすべし。
教124,81,わが僕ヘンリー・ジー・シャーウッドは、己が善しと思うだけその家の株金を出資し、己れと己れにつずく子孫末代のものとすべし。
教124,82,わが僕ウイリヤム・ローは自身と自身につずく子孫末代のために株金を出資すべし。
教124,83,彼もしわが意を行わんと欲せば、東の地方すなわちカートランドにその家族を携えて行くべからず。さりながら、主なるわれはカートランドを築き上げんとす、されど主なるわれは其所に住む人々に懲しめを与えんと用意せり。
教124,84,而してわが僕アーモン・バビットに就きては、わが喜ばざる多くのことあり。見よ、彼はわが命じたる助言すなわちわが教会の大管長の命じたる助言を用いすして、己が助言を是認させんことを熱望す。かくて彼はわが民が礼拝するために1つの黄金の小牛を立てたり。
教124,85,およそわが誡命を守らんとして比所に来れる者たちは1人もこの場所を去るべからず。
教124,86,もし比所に生くるならばわがために生き、もし死ぬるならばわがために死ぬるべし。そは、比所にて彼らすべて彼らの働きを休みわが事業をつずけて為すべければなり。
教124,87,されば、わが僕ウイリヤムはわれに頼り、この地にある疾病のためにその家族のことを憂うるなかれ。汝もしわれを愛せば、わが誡命を守れ。さらば、この土地の疾病は汝の栄えを高むるに至らん。
教124,88,わが僕ウイリヤムは、わが"みたま"によりて感動するままに出で行き大いに喜びて声高くわが永遠の福音をワルソーの住民、カーセーヂの住民、およびマヂソンの住民に宣べ、而してわが一般大会に於て更に命ぜらるることを忍耐強く且つ孜々として待つべし、と主は
教124,89,彼もしわが意を行わんとせば、今より後わが僕ジョセフの助言を聞き、心を入れて貧しき者の事を扶け、且つよの人々に読ますわが聖き言の新しき翻訳を出版すべし。
教124,90,而してもし彼これを行わば、われ彼に恩恵に恩恵を与えて彼を見捨つることなく、またその子孫をして食に窮することもなからしむ。
教124,91,また、われ誠に汝らに告ぐ、わが僕ウイリヤムをわが僕ジョセフの副管長として任命し按手聖任して油を注ぐべし。こは、わが僕ハイラムの代りにして、わが僕ハイラム彼の父により祝福によりまた当然の権利によりて任命せられし祝福師の職に就かんためなり。
教124,92,かくして、今後彼はわが民ことごとくの頭上に授くる祝福師の祝福につける鍵を保ち、
教124,93,何人にても彼の祝福する者は祝福せられ、彼の咀う者は咀われ、かくて何にても彼のこの読に於て結ぶところは天に於ても結べれ、彼のこの読に於て解くところは天に於ても解かるるなり。
教124,94,されば今後われ彼を任命して、わが僕ジョセフと同様にわが教会の予言者、聖見者、啓示を受くる者となす。
教124,95,こは彼がまたわが僕ジョセフと一致して働くためにして、かくてわが僕ジョセフの助言を受け、またジョセフは彼に諸々の鍵を示さん。この鍵によりて彼は願わばすなわち受けて、嘗てわが僕なりしオリバ・カウドリに与えられたると同じ祝福と栄と誉と神権と神権の賜
教124,95-1,受けん。
教124,96,こはわが僕ハイラムのわがこれより彼に示すところを証するためにして、かくしてその名は子孫代々永遠に覚えられて誉とならん。
教124,97,わが僕ウイリヤム・ローにもまた諸々の鍵を与え、彼これによりて願わばすなわち祝福を受けしむべし。彼は、わが前に謙りて欺くことなかれ。さらば彼はわが"みたま"すなわち"慰め主"を受けん。こは、よろずのことの真理を彼に顕し彼の言うべきことを正に必要
教124,97-1,与うべし。
教124,98,また彼にはこれらの徴伴なわん。すなわち彼は病める者を医し、諸々の悪霊を逐い出し、また劇しき毒を盛る者の手より免れん。
教124,99,彼は毒蛇の彼のくびすにかみつく能わざる道に導かれ、また鷲の翼に降りたる如く心の想の翼に乗りてかけるを得ん。
教124,100,たとえわれ彼に死にたる者を起たしめんことを欲するとも、彼はその声を抑うるなかれ。
教124,101,この故にわが僕ウイリヤムよ、永遠に高き御座に在す御方を讃め称え、ホザナと喜び悦びて惜むことなく高き声にて叫ぶべし、と主なる汝の神言う。
教124,102,見よわれ汝に告ぐ、わが僕ウイリヤムおよびわが僕ハイラムにはわれなお彼らのみに命ずるある使命を貯えたり。わが僕ジョセフは家に止るべし、彼を必要とすればなり、その余の者はわれ今より後に示さん。誠に然り、アーメン。
教124,103,われ誠にまた汝に告ぐ、もしわが僕シドニーわれに仕え、またわが僕ジョセフの真の副管長たらんと欲せば、起ちて来り彼の召されたる職務に就きわが前に謙るべし。

教124,104,而して、もし彼われの言に適う捧物を為し誤りを認め且つわが民と共に居らば、見よ、主なる汝の神彼を医やさんと欲すれば、かくて彼医さるべし。而して、彼は再び声を山の上に挙げて、わが前に代りて言を伝うる者とならん。
教124,105,彼は来りて、わが僕ジョセフの住める附近にその家族を置くべし。
教124,106,而して、すべてその旅する中、彼は高鳴るラッパの如き声を挙げて、将に来らんとする怒りより逃るるため世に住める人々に警告すべし。
教124,107,彼はわが僕ジョセフを助けよ。またわが僕ウイリヤム・ローもわが僕ジョセフを助けて、前に汝に言いたりし如く世の王たる者たちに報いて厳なる宣言を為さしむべし。
教124,108,もしわが僕シドニー、わが言を行わんと欲せば、東の国にその家族を写すことなくして誠にわが以前に言いし如くにその住所を変更すべし。
教124,109,見よ、彼がわが汝に指定したる市、すなわちノーヴーの市より逃れて他の安全なる避所を求むるはわが意にあらず。
教124,110,われ誠に汝に告ぐ、彼今にてももしわが言を聴かばそは彼に善きことなり。誠に然り、アーメン。
教124,111,われまた誠に汝に告ぐ、わが僕アモス・デビースは宿泊の家、すなわちノーヴー舘建築のために、わが任命したる人々に株金を払込むべし。
教124,112,彼もし自身に持分あらんことを欲せばこの事を為せ。彼はまたわが僕ジョセフの助言を聴きて、人々の信用を得んがために自らの手を以て働くべし。
教124,113,彼がその手に託せらるるすべての事、然り誠に少しの事にも忠実なるを証明せば彼は多くの事を支配する身とならん。
教124,114,故に、彼は高められんためにまづ卑くなるべし。誠に然り、アーメン。
教124,115,われ誠にまた汝に告ぐ、もしわが僕ロバート・ディー・フォスターわが声に従わんとせば、わが僕ジョセフとなせる契約に従いジョセフのために1軒家を建つべし。彼のため折々扉は開かるればなり。
教124,116,彼はよろしくすべてその愚なる行いを悔い改め、慈愛の衣を身にまとい、悪しき行いを止めて、すべて無上なる言葉をおきて用うることなかるべし。
教124,117,またノーヴー舘の定員会に、自己のためまた己れにつづく子孫代々のために株金を払込むべし。
教124,118,また彼はわが僕ジョセフ、ハイラムおよびウイリヤム・ローたちの助言を聴き、またシオンの礎を置くためにわが召たる幹部らの助言を聞くべし。さらば、彼には永遠に宜しかるべし。誠に然り、アーメン。
教124,119,われまた誠に汝に告ぐ。モルモン経およびわが今までに与えたる啓示を信ずる者にあらざれば、何人にもノーヴー舘の定員会に株を払込、ましむべからず、と主なる汝の神言う。
教124,120,これより過ぐるも足らざるも悪より生じ、主の祝福を受けずして咀いを受くればなり、と主なる汝の神言う。誠に然り、アーメン。
教124,121,誠にわれまた汝に告ぐ、ノーヴー舘の定員会には、舘建築の全労務に対する正統なる賃金の報酬を得させよ。また、この報酬は、その金額に就きて彼ら動詞の中にて同意さるるだけ支払わるべし。
教124,122,株金を支払う者は皆、働く者の生活に必要とあらば働く者の報酬の割前を負担すべし、と主は言う。然らずんばその労務費は、これをノーヴー舘の株金の中に算入すべきものとす。誠に然り、アーメン。
教124,123,われまた誠に汝らに告ぐ、われ今やわが神権に属する役員たちを汝らに与え、以て汝らにわが神権の鍵、すなわちわが生みたる独子の神権、メルケゼデク神権の神権の鍵を保持せしむ。
教124,124,最初にわれハイラム・スミスを大祝福師として汝らに与え、わが教会の結び片目の祝福、すなわち誘惑の時来らむといえども汝らの堕落せざる様贖いの日まで結び固むる約束の聖き"みたま"を保持せしむ。
教124,125,われ、わが僕ジョセフを汝らに与えてわが全教会を管理する長老たらしめ、翻訳者、啓示を受くる者、聖見者および予言者たらしむ。
教124,126,われ、わが僕シドニー・リグドンと、わが僕ウイリヤム・ローとを彼に副管長として与え、全教会のため神託を受くるために定員会なる大管長会を構成せしむ。
教124,127,われ汝らにわが僕ブリガム・ヤングを与え、12使徒巡回評議員会の会長たらしむ。
教124,128,この"12人"はこの世の4極にわが王国の権能を平木、その後一切の生くる者にわが言を及ぼす鍵を保つなり。
教124,129,これらの者はすなわちヒーバー・シーキンボール、バーレー・ピー・プラット、オルソン・プラット、オルソン・ハイド、ウイリヤム・スミス、ジョン・テーラー、ジョン・イー・ページ、ウイルフォード・ウッドラフ、ウイラード・リチャーヅ、ジョージ・エー・スミ
教124,130,デビッド・バッテンは、これをわが許に引取りたり。見よ、彼の神権は何人もこれを彼より取るを得ず。されど、われ誠に汝に告ぐ、すなわち別の1人を同じく召されたる職に任ずるもよし、
教124,131,われまた汝に告ぐ、われはシオンの首石として1つ高等評議員会を汝に与う。

教124,132,これらはすなわちサミュエル・ベント、ヘンリー・ジー・シャーウッド、ジョージ・ダブルユ・ハリス、チャールズ・シー・リッチ、トマス・グローバー、ニューエル・ナイト、デビッド・ドルト、ダンバー・ウイルソンにして、（シーモア・ブランソンは、わが許に彼
教124,132-1,取れり。何人も彼の神権を取ることを得ず。されど、別の1人をその代りとして同じ神権に任ずるもよし。誠いわれ汝に告ぐ、わが僕アロン・ジョンソンを彼の代りとしてこの召されたる職に按手聖任せよ）。このほかデビッド・フルマ、アルフュース・カトラー、ウイ
教124,132-1-1,ハンチントンたちなり。
教124,133,われまた汝らにドン・シー・スミスを与えて大祭司の定員会の会長となす。
教124,134,この定員会は内外に散財せる種々のステーキ部の常任部長、またはわが僕たちに任命さるる資格を与うる目的を以て制定せられたり。
教124,135,これらの有nはまた随意に旅行を為し得るといえども、むしろ常任部長として按手聖任されたるものなり。これ彼らが召されたる職なり、と主なる汝の神言う。
教124,136,われはわが教会の大祭司の定員会を管理せんがために、アマサ・ライマンおよびノア・パカード副会長として彼に与う、と主は言う。
教124,137,われまた汝に告ぐ、われジョン・エー・ヒックス、サミュエル・ウイリヤムスおよびジェンー・ベーカーを汝らに与う。これらの者の神権は長老の低位会を管理するものにして、この定員会は常任教職者のために設定せらる。さりながら、彼らは旅行を為してよろしとい
教124,137-1,わが教会の常任教職者として按手聖任を受けたる者たちなり、と主は言う。
教124,138,われはジョセフ・ヤング、ジョサイヤ・バタフィールド、ダニエル・マイルス、ヘンリー・ハリマン、ゼラ・バルシファ、レビ・ハイコック、ジェームス・フォスターたちを"70人"の定員会を管理するため汝らに与う。
教124,139,この定員会は全世界にわが名を証せんがために、わが使徒すなわち巡回高等評議員会がわが前に途を備えんため彼らを派遣する所には何所にても出で行く巡回長老として設定せらる。
教124,140,この定員会と長老の定員会と異るところは、1方は常に旅行をなし他方は折々教会の管理を為すにあり、また長老は折々管理の責任を有し、"70人"は管理の責任を有せず、と主なる汝の神は言う。
教124,141,また、われ汝らに告ぐ、われヴィンソン・ナイト、サミュエル・エッチ・スミスおよびシャソラク・ラウンデイ（もし彼これを受くる意あらば）を汝らに与え監督会を管理せしむ。而して、この監督会に関する知識たるや教義と聖約の書の中に教えられたり。
教124,142,われまた汝らに告ぐ、サミュエル・ロルフと彼の副会長らを祭司らのために、また教師の会長とその副会長ら、執事の会長とその副会長ら、ステーキ部の長とその副部長らを汝らに与う。
教124,143,汝らにわが与えたるこれらの職とそれにつく鍵とは、扶助と管理と、福音の働きの事業と、わが聖徒らを完全にするために汝らに与うるなり。
教124,144,われ今汝らに1つの命令を与う。すなわち汝ら須らくこの職を全部充たしてわがその名を挙げたる人々をわが一般大会に於て承認すべし。然らずんば、これを否認すべきなり。
教124,145,また、汝らわが名のために宮居を建つる時、その中に於てこれらすべての職に要する部屋を備うべし。主なる汝の神言う。誠に然り、アーメン。
教125,,教義と聖約　第125章
教125,*-*,アイオワの地方に於ける聖徒らに関し1841年3月、イリノイ州ノーヴーにて予言者ジョセフ・スミスによりてたまわりし啓示。
教125,1,アイオワの地方に於ける聖徒らに関する主の意如何？
教125,2,主かくの如く言う。誠にわれ汝らに告ぐ、もしわが名によりて自らを呼びまたわが聖徒たらんとする者たちにして、もしわが意を行いて彼らに関するわが誡命を守らんとするこころあらば、須らくわが僕ジョセフによりてわが指示する地方に集合し、将来来らんとする事
教125,2-1,ためわが名のために市を建つべし。
教125,3,彼らはノーヴー市対岸に地にわが名のために1つの市を建て、それをゼラヘムラと名づけよ。
教125,4,而して東より西より北より南よりそこに住まわんとする望みを抱きて来る者たちにはみなナッシュヴィルの市またはノーヴーの市およびわが指示したるすべてのステーキ部はもちろん同所に於ても彼らに受嗣の地を与えよ、と主は言うなり。
教126,,教義と聖約　第126章
教126,*-*,1814年7月9日、イリノイ州ノーヴー、ブリガム・ヤングの邸にて予言者ジョセフ・スミスによりてたまえる啓示、当時ブリガム・ヤングは、12使徒定員会の会長なりき。
教126,1,親愛なる兄弟ブリガム・ヤングよ。誠に主かくの如く汝に告ぐ。わが僕、ブリガムよ。汝はもはや今までの如くに、汝の家族と離るるを汝に要求せらるることなし。汝の捧物はわが悦ぶところなればなり。

教126,2,わが名のために為したる旅行中の汝の働きと、労苦はわが認むるところなり。
教126,3,されば汝はわが言を広く世間に及ぼすことを為し、今よりこの後いつまでも汝の家族を特に護るべきことを命ず。 アーメン。
教127,,教義と聖約　第127章
教127,*-*,予言者ジョセフ・スミスよりイリノイ州ノーヴーに於ける末日聖徒に宛てたる書簡にして、その中に死者に代るバプテスマに就きての指示を載す。1842年9月1日附ノーヴー発信のものなり。烈しき迫害とそれに結果する彼の働きに及ぼす妨害のために、予言者は暫
教127,*-*-1,中より引きこもらんと志す。結局、神の大義の勝利に帰するを喜ぶ。死者に代るバプテスマに附きて作成さるべき記録に関し主の御言を告ぐ。
教127,1,ミズーリ州に於ける敵もこの州に於ける敵も、両つながら再びわれを追求せるを主われに示したまいたるを以て、また敵のわれを追い求むるに何の理由もなく、またわれを告発するところに於て彼らの側に露いささかの正義公明もなく、またその口実とする所はことごと
教127,1-1,偽りに基くものなれば、わが身の安全とこの民の安全とのために暫時比所を立去るは必要にして賢明なるものなりと考えたり。われ今われに関係ある者たち皆に告げんと欲す。われに関する事務は、ことごとくこれを代理人および書記たちに委任せり。この者たちはすべ
教127,1-1-1,敏速且つ適当なる方法によりて処理し、不動産を売却して、さもなくんば臨機応変事情の許す限りに於て、きっとわが負債全部を期限内に償却すべし。この嵐の全く鎮まりたる報せを得たるその時は、われ再びここに帰り来らん。
教127,2,わが身の越えざるべからざる危難と言わば、人の猜忌と忿怒とが一生を通づるわが日常のさだめなるが故に、われにとりては最も小さきものにしか見えず。されば善きことのためか悪しきことのためかは人の呼ぶに任せむ、もしこのこと創世の前より神の定めたまいしと
教127,2-1,さらずとせばその故ついに不可解なるが如し。汝ら自ら判断すべし、その善悪いずれにせよこれらのことはすべて神知りたもう。然りといえども、いつもの如くわが泳ぐべき水は深し、すべて、こはわれにとりてすでに第2の天性となり、われは苦難を誇りとすることパ
教127,2-1-1,如くなるを思う。わが先祖の神は、今日に至まであらゆる苦難よりわれを救いたまいたればなり。されば、この後に於てもまた然らん。見よ、みよ、われはあらゆる敵に打ち勝つべし。主なる神かく告げたまいたれば。
教127,3,さればすべての聖徒よ皆喜べ、また大いに喜べ。イスラエルの神はかれらの神似して、すべて抑うる者の頭に正しき応報を下したもうべければなり。
教127,4,主、誠にまたかくの如く言いたもう。汝らわが神殿の仕事およびわがすでに汝らに命じたる仕事は、皆これを継続して中止すべからず。汝らの励精と堅忍と忍耐と、汝らの働きとを倍加せよ。さらば、汝ら決して報いを失わじ、と万軍の主言いたもう。人々もし汝らを迫
教127,4-1,汝より前にありし予言者と義人たちをも同じく迫害したるなり。これらをことごとく耐え忍ばば、これに対し天に於て汝らに報いあり。
教127,5,また、われ汝らの死者に代るバプテスマに就きて汝らに1言言わん。
教127,6,誠に、汝らの死者に就きて主はかくの如く言いたもう。汝らの中何人にても汝らの死者に代りてバプテスマを受くる時は、1人の記録員ありてそのバプテスマを実地に目撃する者となり、またその耳を以て聞き、以てその真実なることの証をなさしむべし、と主は宣う。
教127,7,かくして汝らの録すところは皆天に於て録さるべく、何にても汝の地に於て結ぶところは天に於ても結ばれ、何にても汝の地に於て解くところは天に於ても解かるるためなり。
教127,8,そは、われは神権に就きて多くの事がらを今や地に回復せんとすればなり。万群の主かく言いたもう。
教127,9,またおよそ一切の記録を整頓して、以て聖なる神殿の文庫にこれを蔵め、而してこれを末代までの記念とすべし。万群の主かく言いたもう。
教127,10,今すべての聖徒らに告げんと欲す。われはこの次の安息日に於て、教壇上より死者に代るバプテスマの問題に就き汝らに語らんと切に切に望みたり。されど今やその希望を達すること能わざるにより、われはこの問題に就き主お御言時々書誌し、多くの他の物はもちろん
教127,10-1,汝らに郵送すべし。
教127,11,われこれ以上書きつずくる時無きが故に暫く筆をおく。そは敵油断なく警戒しつつあればなり。されど救い主の言いたまえる如く、この世の王来れどもわれに在りて何物をも有たず。
教127,12,見よ、われ神に祈るところは汝らすべての者の救わんとことなり。われここにわが名を署して、主に於ける汝らの僕、末日聖徒イエス・キリスト教会の予言者聖見者と然か言う。　　ジョセフ・スミス。
教128,,教義と聖約　第128章

教128,*-*,末日聖徒イエス・キリスト教会に宛てたる予言者ジョセフ・スミスの書簡にして、その中に死者に代るバプテスマに関し去らに発したる指示を載す。1842年9月6日附けイリノイ州ノーヴー発信のものなり。総記録員、地方記録員およびその義務などにつき更に詳細
教128,*-*-1,指示を与う。証人の必要。指示されたる記録の記載方法は主の儀式と一致すべきこと。天に於て録さるる記録はもとより、地に於て録さるる記録は審判の時用いらるること。聖なる神権の能力により、地に於て結ぶところは天に於て結ばれ、ここに於て解くところは彼所
教128,*-*-1-1,解かる。浸霊盤は墓所の写し。予言者エライジャの使命。死者に代るバプテスマは、死にし先祖と生くるその子孫らの間を結ぶ鎖なり。予言者。彼に天使の訪れありし事を悦びて大要を物語る。喜びの声。死者のための喜ばしき音信。クモラより出でし喜ばしき音信。モ
教128,*-*-1-1-1,モルモン経に対する3人の見証者の声。ミカエルの声。ペテロの声。ペテロ、ヤコブおよびヨハネの声。死者の代りに為す業の記録は、主に喜ばるる様作成すべきこと。
教128,1,われ居所を立ち猿に先立ち、時々書簡を送りて多くの問題に就きて汝らに消息を書き遺らんと書簡中に述べしを以て、今再び死者に代るバプテスマの問題を取り上げんとす。この問題は、われ敵に追求せられたりしよりこのかた最も強くわが心を苦しめ、片時も忘る能わ
教128,1-1,思わるればなり。
教128,2,われは、先の書簡に於て1記録員に関する啓示に就きて一言し、この事に就きて23の見解を就け加え置きたり。この事は今われこれを証す。すなわち目撃者となり、また耳にて聞きて以て主の御前に真実の記録を造る1記録員あらざるべからずとは、われ先の書簡に述
教128,2-1,ところなり。
教128,3,さてこのことに就きては、1記録員にしてあらゆる時に立会い、あらゆる事務を遂行するは極めて困難なるべければ、この困難を除くため、年の各区に正確なる記録をなし得る充分なる資格ある者1人づつを任命するを得、且つその者をして非常に精密且つ正確に全部の
教128,3-1,とらしめ、また彼の目にて見、耳にて聞きたるところを記録の上にて証明し、日附姓名などまた取扱いたる全部の来歴を附せしむ。また立合者の中より誰か3人の証人を名を指定すべし。而してこの人々は、何時たりとも要求されし時上記の事を証明し得る者にして、あ
教128,3-1-1,言葉の真実性を23人の証人の口によりて確立せしむるためなり。
教128,4,次に、これらの者の製作せる記録の真実なることを証明せる彼ら自筆の署名入りの証明書を附したるその他の記録を受け取り得る総記録員を置くべし。ここに於てこの教会の総記録員は、前記証明書とこれに附髄せるすべての証明とに、前記証明書の期日と製作せっられ
教128,4-1,記録とは、証人らの一般正確に関して自己の知るところと教会がこれらの人を任命したる事実によりて、それに虚偽なきことを信ずる旨の自らの声明書を附してこれらの記録を教会の総記録簿中に記入し得るなり。而してこの手続が教会の総記録簿に完了せる後は、その
教128,4-1-1,神聖なるものにして、あたかも彼自身これを見これを聞きてこの事を教会の総記録簿に記録せしと全く同一の儀式の有つ効力あるに至るべし。
教128,5,汝ら、この記録に関する順序次第を極めて厳重なりと思うやも知れず、されど聞くべし、これ万一福音を知らずして死にたる救いのために世の始めより前に主の備え且つ定めたまいし儀式と備えに適いて、ひたすら神の旨に応え奉らんためなり。
教128,6,更にまた、われ黙示者ヨハネが現にこの死者の問題に就きてつらつら考え居りしを、汝ら想起せんことを欲す。而して彼の宣べしところは汝ら黙示録第20章12節に見るが如し。すなわち"われまた、死にし者の大なるも小なるも、神の前に立てるを見たり。而して、
教128,6-1,開かれ他にまた1つの書ありて開かる。すなわち、生命の書なり。死者にこれらの書に録されたるところのその行為に随いて審かれたり"と。
教128,7,汝らここに引用せる1節に於て、数々の書開かれまた他に1つに書開かるるを見出せど、その書はすなわち生命の書なり。されど死にたる者は、数々の書に録せるその行為に随いて審かれたるを見出さん。従って、ここに言う数々の書とは、人々の行為を録せる書に相違
教128,7-1,またこの世に於て録さるる記録を言うに相違なし。また生命の書とは、天に於て録さるる記録なり。而して、この教理は、前にわれわが居を去らんとせし時、汝らに書送りし書簡中に記せし啓示に於て汝らに命ぜらるるところと全く一致す。すなわち、すべて汝らの記録
教128,7-1-1,ところは天に於てきろくさるべきことこれなり。
教128,8,そもそもこの儀式の本質たるや、元より神権の権能に存するものにしてイエス・キリストの啓示によるなり。而してこの啓示に於ては、何ても汝の地に於て結ぶところは天に於ても結ばれ、何にても地に於て解くところは天に於ても解かるることを許されたり。すなわち

教128,8-1,見地より翻訳して他の言によりて言えば、何にても汝らの地に於て記録するところは天に於ても記録され、何にても汝らの地に於て記録せざるところは天に於ても記録されず。そは、汝らの死者はその行為に随い数々の書に照して審かる。すなわち、その人自分自ら出頭
教128,8-1-1,儀式を受くるも、または自身の代理によりて、死にし者たちの救いのために創世の始めより神の備えおきたまいし儀式によるも、死にし者に就きて記録しおきし記録によりて審かるるが故なり。
教128,9,人或いはわれらが語るところを極めて大胆なる教理と思う者もあらん。すなわち記録をなしまたは地に於て結び而して天に於て結ぶ権能の教理なり。さりながらこの世に於けるあらゆる時代に於て、いつにても主が何人にもまたは何人たちにも実際の啓示によりて神権の
教128,9-1,与えたまいし時には常にこの権能与えられたり。これを以て、何事にまれこれらの人々権能によりまた主の御名いよりてこれを為し、また義しく忠実にこれを行い、この事を適正且つ忠実に記録したるところは、大いなるエホバの定めたもう法令により天地に律法となり
教128,9-1-1,何びともこれを無効とする能わざりき。われ誠を以てこの事を言うなり。何人かこれを聞かざるべきや。
教128,10,またこの先例として、マタイ伝第16章18節、19節両節を引用すべし"われはまた汝に告ぐ、汝はペテロなり。われこの磐の上にわが教会を建てん。黄泉の門はこれに勝たざるべし。また、われ天国の鍵を汝に与えん。およそ汝が地にて縛ぐところは天にても縛ぎ、
教128,10-1,地にて解くところは天にても解くなり"と。
教128,11,そもそもこの事の全部に関する偉にして大いなる秘密と、われらの前にあるこの問題全部の"至善"とは聖なる神権の権能を得るにあり。およそこれらの鍵を与えられたる人は、生くる者たちはもちろん、死にたる者たちも救う人の子らの救いに関する事実の知識を得る
教128,11-1,いささかの困難をも感ぜず。
教128,12,この中に栄光と誉と、不死不滅と、永遠の生命とあり。そもそも水によるバプテスマの儀式、すなわち死にたる者の様に応えんため水の中に沈められるることは、1つの理を他の理に一致せしむるためなり。水の中に沈められてその中より出で来ることは、計より出で来る
教128,12-1,死者の復活と相似たり。故に、この儀式は死にたる者の様に似たるを以て、死にたる者に代るバプテスマの儀式と関聯するよう定められたり。
教128,13,従ってバプテスマ用の水盤はこれをさながら計に模して定め、生ける人々の集るを習いとする場所の下に設くることを命ぜられたり。これ生ける者と死にたる者との両つを示さんためにして、すべてのこと皆似通うことありて1は他に一致し、地に属するものと天に属す
教128,13-1,天に属するものと一致すること、コリント前書第15章46、47、48節にパウロの明らかに言いたるが如し。
教128,14,"霊のものは前にあらず、反って血気のもの前にありて霊のもの後にあり。第1の人は地より出でて土に属し、第2の人は天より出でたる主なり。この土に属する者にすべて土に属する者は似、かの天に属する者はすべて天に属する者は似るなり"。而して汝らの死者に
教128,14-1,真に作り出だされたるこの世の記録の如く、天に於ける記録もまた同じなり。この故に、こはすなわち結び且つ固むる権能にして、言を換うれば、王国の鍵にしてまた知識の鍵たるなり。
教128,15,さてわが親愛なる兄弟姉妹よ。われ断言す、こは死者と生者とに関する原理原則にして、われらの救いに関して決して軽々に見過ごすべからざるものなり。それ死にたる者の救いは必要にして、死にたる者の救わるることはわれらの救いにとりて必須なることなり。パウ
教128,15-1,先祖に就きて言いたる如くわれらならくば彼らは完うせらるることなし。すなわちわれっらの死にたる者なくば、われらもまた完くなる能わず。
教128,16,さてまた、死者に代るバプテスマに関し、わえ、パウロがコリント前書第15章29節に言えるところを今1つ引用せん"もし復活なくば、死にし者のためにバプテスマを受くる者何を為すか。死にし者のよみがえること全くなくば、死にし者のためにバプテスマを受く
教128,16-1,ためぞ"と。
教128,17,またこの引用したる言に関聯し、われ予言者の1人の言を引用すべし。この予言者は末の世に於て顕さるべき光栄、すなわち神権の回復に目を着け、また永遠の福音に属けるすべての事項中最も光栄あるこの死者に代るバプテスマに特に早くより着目し居たる者なり。す
教128,17-1,マラキはその書の末章5節及び6節に"さて見よ、主のおおいなる恐ろしき日の来る前に、われは予言者エライジャを汝らの所に遣わす。エライハは先祖の心にその子らのことを思わせ、子らの心にその先祖のことを思わせん。こは、われが来りて咀いをもて全世界を撃
教128,17-1-1,ためなり"と言えり。

教128,18,われこの言に就きて、更に明瞭なる翻訳を為し得たらんも、わが目的に合するためには今のままにて充分明らかなり。この場合、この事を知ればそれにて足る。すなわち先祖と子らとの間に或種の事項につき或種の固き繋りなき時は、この世は咀いをもて撃たるることこ
教128,18-1,見よ、そもそもその事項とは何なるか。そはすなわち死者に代るバプテスマなり。死者なくばわれら完うせらるる得ず。またわれらなくば死者もまた全うせらるるを得ず。われらも彼らもまた福音を受け入れて死にし者なくては完うせらるるを得ざるなり。そは全くして
教128,18-1-1,ことなき完全なる合一とまた神権の時代と、鍵と、権能と、光栄との固き結合出来て、これがアダムの時代より現在に至るまでことごとく明らかにさるること、今やまさに先触れを始めんとする時満ちたる神権の時代の先駆をなすに必要なればなり。なお、それのみなら
教128,18-1-1-1,始めよりいまだ嘗て啓示せられずして、賢く慎みある人々にも明かされざりしことも、この時満ちたる神権の時代には小児にも乳のみ児にも明らかにせらるべし。
教128,19,さて、われらの受けたる福音の中にわれら何を聞くや。喜びの声なり。天より聞ゆる愛憐の声、地より出ずる真理の声、死者のための喜びの音信、生ける者と死にし者とのための喜びの声、おおいなる喜びの嬉しき音信なり。良き事の喜ばしき音信をもたらし、シオンに
教128,19-1,汝の神しろしめす"と言う者たちの足は、山の上にありて如何に美しきぞや。カルメルの山の露の如く神の知識彼らに下らん。
教128,20,また、われら何をか聞く。クモラよりの喜ばしき音信なり。そは予言者らの予言の成就、すなわち顕るべき書を宣する天降れる天使モロナイなり。かの書の証をなすべき3人の見証者を宣言したもうセネカ郡フェイヤットの荒野に於ける種の御声、光明の天使となりて現
教128,20-1,悪魔を発きしサスケハナ河岸に於けるミカエルの声、王国の鍵と時満ちたる神権の時代の鍵を以て自ら宣言せる、サスケハナ郡ハーモニーとブルーム郡コーレスヴィルの間なる荒野の中サスケハナ河のほとりに於けるペテロ、ヤコブの声。
教128,21,なおまた、セネカ郡フェイヤットなる老ファーザー・ホイットマーの室に於てたまわりたる神の御声。また種々の時と所とに於けるこの末日聖徒イエス・キリスト教会のあらゆる旅と艱難とを通じてたまわりたる神の御声。天使長ミカエルの声、ガブリエルとラガエルの
教128,21-1,ミカエルすなわちアダムより現在に至るまでの天使らは、その神権の時代、その権能、その鍵、その誉、その威厳、その栄、その神権の権能を宣言し、規則に規則を加え、則に則を加え、ここにもすこしくかしこにも少しく教え、まさに来らんとすることをわれらに生命
教128,21-1-1,与え希望を固くす。
教128,22,兄弟よ、われらまことに偉なる大義に向って進まざらんや。進み行きて退くことなかれ。奮い起てよ、兄弟たち。進み進みて勝利に至れ。汝ら喜べよ。世の人、歌声を張り裂けしめよ。死者よ、王インマニュエルに永遠讃美の歌を語り出でせ。インマニュエルこそ創世の
教128,22-1,われらをして死者をその囚屋より贖うを得しむることを定めたまえり。そは囚屋は釈さるべければなり。
教128,23,山々は喜びの声を挙げよ。汝ら谷よ、皆声高く叫べ。すべて諸々の海と乾ける地とは、汝らの永遠なる王の為したもう驚嘆すべき御業を語れ。河よ、小川よ、谷の流よ、歓びの声を挙げて流れ下れ。森よ、野の樹よ、みな主を讃えよ。堅き巌よ、喜びに泣け。日よ、月よ
教128,23-1,暁の星よ、共に唱え。神の子らよみな喜びの声を挙げて叫べ。永遠の創造物よ、御名をとこしえに宣べよ。われまた汝らに告ぐ、われら天より菊声は如何ばかり栄あるや。その声はわれらの耳に、栄と救いと誉と不死不滅と永遠の生命と、また王国と公国と権能とを告ぐ
教128,24,容? 見よ、主の大いなる日は近づけり。主の来りたもう日に当り得るは誰ぞ。主の現われたもう時、堪え得るは誰ぞ。主は金を吹き分くる者の火の如く、布さらしの洗剤の如し。主は銀を吹き分けてこれを生成する者の如く座を占めてレビの子らをきよめ、金銀を清煉す
教128,24-1,これを浄め、かくて義しきに適う捧物を主に捧げしめたまわん。この故に、いざわれ1教会員として、1人の民として、また末日の聖徒として、義しきに適う捧物を主に捧げん。またいざわれら、主の神殿の完成せる時、その中に於て、主が完全に受け入れたもう価値あ
教128,24-1-1,われらの死者の記録を載せたる1冊の書を主に呈せん。
教128,25,兄弟たちよ、われはなおこの問題に就きて言うべきこと多けれど、今はまず筆をおきてまた別の時にこのことを書きつずけん。われは変らず汝らの謙遜なる僕にして、決して離るることなき共なり。　　ジョセフ・スミス。
教129,,教義と聖約　第129章
教129,*-*,1843年2月9日、イリノイ州ノーヴーにて予言者ジョセフ・スミスに給まりたる啓示にして、善き天使

か、悪しき天使か、または善霊か悪霊かを見分くる3つの大いなる鍵を知らしめたもう。人間以外に2種の存在者あること。復活したる者は骨肉の体あること。体
教129,*-*-1,霊と、嘗て体をとりしことなき霊。これらを看破する方法。
教129,1,天に2種の存在者あり。すなわち、1は天使たちなり、こは復活せる人々にして骨肉の体を有す。
教129,2,すなわちその例を挙ぐれば、イエスは言いたまえり"われにさわりて見よ。霊には肉戸骨となし。われには有り、汝らの見る如し"と。
教129,3,第2は全うせられたる義人の霊、こはいまだ復活せずといえどもこれと同じ栄を受け嗣ぐ者たちなり。
教129,4,もしある使者来りて、われは神よりの音信をもたらせりと言う時は、手を伸べて汝と握手せんことを求めよ。
教129,5,彼もし天使ならずば握手すべし、而して汝はその手の感触を覚ゆべし。
教129,6,彼もし完うせられたる義任の霊ならば、自らの栄えを現して来るべし。そは、この霊の顕れ得る唯一の途なればなり。
教129,7,すなわち、汝この霊に握手を求めよ。されど彼はその申出に動かざるべし。義任の欺くは天の紀律に反すればなり。されど、彼はなお命ぜられたる音信を伝うべし。
教129,8,彼もし光明の天使として現われたる悪魔ならば汝握手を求むる時これに応じて手をさし伸べるべし。されど汝何の感触も覚えざるを以てこれを看破することを得。
教129,9,こは何の天使の降臨する時も、真に神よりや否や識り得る3つの大いなる鍵なり。
教130,,教義と聖約　第130章
教130,*-*,1843年4月2日、イリノイ州レーマスに於て予言者ジョセフ・スミスによりて与えられたる教えの重要事項。救い主の現われたもう時は、その本体、すなわち人間の形にて来りたもう。天使たちの住居。聖くせられ、不滅の状態んせられたる地球。多くの流血を伴う
教130,*-*-1,南カロナイナより起るべしと言う予言。主の来りたもう時は、必ずしも決定的に知らされず。この世の生活にて得たる英智はその所有者と共に滅することなし。天に於ける定められたる律法あり、すなわち祝福はただ律法を守ることのみによりて得らる、而して祝福はそ
教130,*-*-1-1,基く。御父とその御子は骨肉の体を有したもう。聖霊は霊にて在す御方。
教130,1,救い主現われたもう時、われらは真実そのままの姿を見奉るべし。われらはその御姿を見て、救い主はわれらと同じく人間なるを知らん。
教130,2,また、この世にてわれらの中にある交りの天にもあることを知らん。ただわれらの今この世にて享けざる永遠の光栄それと結合せるを見るべし。
教130,3,ヨハネ伝第14章23節参照。この章に見ゆる父と御子の顕現は、人の隊を有ちての顕現なり。父と御子と、人の心の中に住みたもうとは古き宗派的観念にして誤りなり。
教130,4,"神の時、天使の時、予言者の時、人間の時はみな各自の住める遊星に拠りて計算するものにあらざるか"との質問に答う。
教130,5,答えて曰く、然り。されど、この世に導きと恵を施す天使らにして、現にこの世に属しまたは嘗て属したる者にあらざるはなし。
教130,6,天使らはこの地球の如き遊星の上に住むことなし。
教130,7,されど天使らは、神の御前に於て火のガラスの海の如き天球上に住む。其所にては、万物その光栄のために過去、現在、未来を通じて顕れ、またたえず主の御前に在るなり。
教130,8,神の隅たもう所は、1つの雄大なる"ウリムとトミム"なり。
教130,9,それ、この地球聖化したる不滅の状態となる時は水晶の如くとなり、その上に住む人々にとりて1つの"ウリムとトミム"とならん。これによりて、それより下位の王国或いはすべて低位の王国に就けるよろずの事はこの地球の上に住める人々の眼に明らかとなり、この
教130,9-1,キリストのものとなるべし。
教130,10,その時、黙示録第2章17節に誌されたる白き石はこれを受くる隠故人にとりて1つの"ウリムとトミム"となり、これに由りて高位の国々に就ける事を知るを得ん。
教130,11,また、火の光栄の王国に入り来る者は各々1つの白き石を受くべし。而して、その石の上には1つの新しき名前記され、この名はこれを受くる者のほか絶えて知る者なし。この新しき名前はすなわち鍵の言なり。
教130,12,われ、主なる神の御名によりて予言す。すなわち、人の子の来りたもう以前に、多くの流血を起すべき難局の始まりは南カロライナにあらん。
教130,13,そは恐らく奴隷問題によりて起るべし。これ1832年12月25日、われこの事に就きて熱心に祈りてありし時ある声ありて告げしなり。
教130,14,われ嘗て、人の子の来りたもう時を知らんために熱心に祈りてありし時、ある声の次の如く繰返し告ぐる

を聞けり。
教130,15,わが子ジョセフよ。汝もし85才まで生き永らえなば人の子の御顔を拝すべし。さればこれを以て満足すべし。このことに就きてもはやわれを煩わしむるなかれ。
教130,16,この故に、かくの如くこの来りたもうことが福千年の始めと言うか、またはそれ以前に現われたもうことなるか。またわれ死してかくの如く御顔を拝するや否や、いずれにも決し得ざるままなりき。
教130,17,人の子の来りたもう時は、その時よりも速なることあらざるべし、とわれ信ず。
教130,18,およそ、われらのこの世に於て達する英智の一切は、何にてもよみがえりの時われらと共によみがえるべし。
教130,19,さればもしある人ありて、精励従順によりてこの世に於て他の人よりも一掃勝れたる知識と英智とを得ば、未来の世に於てそれだけ利を得べし。
教130,20,そもそも創世の以前より天に於て定められえたる1つの変らざる律法ありて、あらゆる祝福はこれに基くなり。
教130,21,すなわち、われら何にても神より祝福を受くる時は、この祝福の基く律法に従うによりて然るなり。
教130,22,御父は、人間の有する肉体と同じく触知し得る骨肉の体を有したもう。御子もまた然り。されど、精励は骨肉の体を有ちたまわずして霊の御方なり。もし然らずとせば、聖霊われらの中に隅たもうこと能わじ。
教130,23,人は聖霊を受くることもあらん。また聖霊はその人に下りたもうことあらんも、彼と共い永く留りたもうことはあらじ。
教131,,教義と聖約　第131章
教131,*-*,1834年5月16日並びに17日に、イリノイ州レーマスにて予言者ジョセフ・スミスによりて与えられし教え、わが教会の歴史、第5巻、392頁（英文）を見よ、日の栄の王国に於ける階級、新しく且つ永遠の結婚誓約の意義、ひときわ確なる予言の言、人が無智
教131,*-*-1,救わるるの不可能なること。霊は物質なり。
教131,1,日の栄には3種の天界、すなわち3種の階級あり。
教131,2,而してその最も高きものを得んために、人はこの神権の位（すなわち新しく且つ永遠の結婚誓約を言うに入らざるべからず。
教131,3,人もし然らずんばそれを得ることを得ず。
教131,4,人は他の天界に入るを得べし。されど、そはすなわちその人の光栄の国の行き止まりにして、また殖ゆること能わず。
教131,5,1843年5月17日）ひときわ確なる予言の言とは、ある人が聖き神権の権能を通じて啓示によりてまた予言者の"みたま"によりて永遠の生命に入るを結び片目られたることを知るを指す。
教131,6,人は無智にして救わるること不可能なり。
教131,7,そもそも、実態を有せざる物質のごときはあることなし。すべての霊は物質なり。ただ、ひときわ極微純粋にして、ひときわ浄き眼のみよくこれを見極め得るなり。
教131,8,われらこれを御ること能わず。されどわれらの肉体浄めらるる時、われらは霊はこれすべて物質なるを見ん。
教132,,教義と聖約　第132章
教132,*-*,1843年7月12日に誌されたる。イリノイ州ノーヴーにて予言者ジョセフ・スミスによりて給える啓示にして、新しき且つ永遠の誓約に関し、中に結婚誓約の永遠性また同じく多妻に関する啓示を含む。主に対する予言者の質問。新しく且つ永遠の誓約を受くる用意
教132,*-*-1,ことを告げたもう。この律法の条件。主により定められたる聖なる神権の権能は、儀式の中に発動して墓を越えて効果を及ぼさざるべからず。俗世に権能による結婚は、この世に生くる間のみ効あり。結婚の形式、この世より永遠にわたる如くに見ゆるとも、主の指し示
教132,*-*-1-1,如く聖なる神権の権能により挙行せらるるにあらざれば、この儀式は墓を越えて有効なるものたることなし、この世のみならず永久の正しく認証されたる結婚に言に絶する祝福を伴うこと。神たる位に達するための要素。永遠の生命と言う意味。主の命令ありたる時にの
教132,*-*-1-1-1,承認さるること。姦淫の罪悪。予言者の妻エマ・スミスに給える命令。
教132,1,誠にかくの如く主は汝わが僕ジョセフに言う。汝多くの妻と側女とを持つこと主義と教理とに関し、主なるわれ、わが僕なるアブラハム、イサク、ヤコブと、またわが僕なるモーセ、ダビデ、ソロモンたちを、何によりて正しと認めたる所以を知り且つ覚らんがためわれ
教132,1-1,尋ねたるを以て、
教132,2,見よ、見よ、われは主なる汝の神なり。この事に就きて汝に答うべし。
教132,3,この故に、わがまさに汝に与えんとする教えを受け入れてこれに従わんため、汝の心構えをなすべし。

すべて、この律法を啓示さるる者共はこれに従わざるべからざればなり。
教132,4,見よ、われ汝に1つの新しき且つ永遠の誓約を啓示す。而して汝らもしこの誓約を守らざるときは行き止りとなるべし。何人もすべてこの誓約を拒絶するを得て、而もわが光栄に入るを許さるる者あらざればなり。
教132,5,すべてわれによりて祝福を受けんと願う者は、その祝福を与うるために定められたる律法と条件を創世の前より定められたるままに守らざるべからず。
教132,6,この新しく且つ永遠の誓約に就きては、こはわが最高完全なる光栄のために定められたるものにして、わが最高完全の光栄を受くる者はこの律法を守らざるべからず、またこれを守るものとす。然らずば、その者の行き止りなるべし。主なる神言う。
教132,7,われ誠に汝らに告ぐ、この律法に属ける条件は次の如し。すなわち、一切の誓約、契約、約束、義務、宣誓、誓言、履行、関係、交際または予約にして、為されまたは結べるるとき、聖任されしものによりて為されず、また今も永世にも亘りて結び固むる権能を保有する
教132,7-1,世に於てわが聖任したる者の媒ちを通じて啓示と誡命とによりて為されず。また"約束の聖きみたま"によりて今も永世にも亘りて結び固められずば、すなわちまたこれら最と聖くあらずば、死にし者より復活する時もその後にも何らの効験効能または効力あることなし
教132,7-1-1,この権能を保ようわれがこの世に於て聖職に任命したる者とは(われはこれをわが僕ジョセフに任命して末の世に於てこの権能を保有せしむ、而も、この権能とこの神権の鍵とを授与さるる者はこの世に於て1代唯1人のほかにあることなし)。以上の事然るは、以上の
教132,7-1-1-1,結ばれざる一切の誓約は人の死を以て終りを告ぐればなり。
教132,8,見よ、わが家は秩序の家にして混乱の家にあらずと主なる神言う。
教132,9,主また言う。わが名によりて為されざる捧物をわれいかで受くべきか。
教132,10,または、わが命ぜざりしものを汝らの手より受け入るることをせんや。
教132,11,主は言う。正にわれとわが父が創世の前より汝らに定めたる律法によらずして汝らに命ずることを為さんや。
教132,12,われは主なる汝の神なり。われこの誡命を汝に与う。すなわち人はわれに由らずまたわが律法なるわが言によらずして父に来るべからず、と主は言う。
教132,13,主なる汝らの神言う。この由にあるあらゆるものは、たとえ人により王により公によりまたはそのほか権力によりまたは名義上のことにより、何にてもあれわれに由らずまたはわが言によらずして定めたることは、崩れ去りて人の死にたる後復活に於てもその以後に於て
教132,13-1,なかるべし。
教132,14,およそ遺るところのものはわれに由るなり。われに由らざるものは何にても振棄てられて滅ぶべきなり。
教132,15,この故に、ある男もしこの世に於て妻をめとるに、われに由らずまたわが言によらずしてめとり、またその男この由にある限りその妻と誓い、妻またその男と誓うに、この誓いも婚姻も彼ら死にてこの世の外に去る時は効力あることなし。この故に、この2人この世の外
教132,15-1,如何なる律法もこれを結ぶことなし。
教132,16,この故に、彼らこの世の外に去る時は、めとり嫁ぎすることなくして彼らは天に於て天使に任命せらる。而してこれらの天使は、彼らよりも遥に高き光栄に適しき、また優れたる光栄、永久の効ある光栄に適しき者に奉仕すべき奉仕の僕なり。
教132,17,これらの天使はわが律法を守らざりし故に、殖ゆることを得ずしてただ別離孤独にて最高の栄えに進み得ることなく救われたるまま永久に変らず。これを以て、彼らは神々にあらず永久に神の天使たるなり。
教132,18,われまた誠に汝らに告ぐ、もしある男妻を娶り今も永世にもとこれと誓うに、もしその誓われに由らずまたはわが律法なるわが言によらず、わが聖職に任じてこの権能に任じたる者を通じて"約束の聖きみたま"によりて結び固められずば、彼らこの由の外に去る時その
教132,18-1,無効にしてまた効力なし。その故に、彼らわれに由りてまたわが言によりて結ばるるにあらざればなり、と主は言う。彼らこの世の外に去る時、その誓は未来の世にて受け入れられず、その故は諸天使および諸神ありてその処に任ぜられ、これらに由りて其所を通過する
教132,18-1-1,なり。これを以て彼らはわが栄を受け嗣ぐこと能わず、わが家は秩序の家なればなり、と主なる神言う。
教132,19,また、われ誠に汝らに嗣ぐ、ある男もしわが律法なるわが言によりまた新しく且つ永遠の誓約によりて妻を娶り、これがわれによりてこの権能と神権の鍵を与えられ聖職に任ぜられたる者によりて為さるる時、彼らに次の如く言わるるならば、すなわち汝ら第1の復活に
教132,19-1,来るべし、而してもしそれが第1の復活の後ならば次の復活に出で来るべし、而して汝ら王位、王国、公国、そお他権能、領土すべての頂上と奥とを受け嗣ぐべし、と言わるるならば、なお"約束の聖きみたま"によ

りてその結婚が結び固めらるるならば、それより子羊
教132,19-1-1,書に汝罪亡き者の血を流す殺人を犯すべからずと誌さるるに汝らわが誓約を守り罪無き者の血を流す殺人を犯さずんば、何事にまれわが僕の彼らに授けたる事はすべて今より永遠に亘りて彼らに為さるべく、また彼らこの世に外に去る時は充分効力あるべきなり。彼らは
教132,19-1-1-1,置かれたる諸天使諸神の前を通り過ぎ、各々その頭に結び固められたる如く、各々最高の栄えに進むを得てあらゆる事に光栄を受くべし。この光栄は最高完全の光栄にして、永久にその子孫の続くことなり。
教132,20,それより、彼らは神々となるべし。彼らは終りなければなり。されば彼らは続く故に永遠より永遠に至るべし。それより彼らはすべてのものの上にあらん。すべてのもの彼らに従えばなり。それより、彼らは神々とならん。彼らはすべての権能を有し、諸天使彼らに従え
教132,21,誠にまことにわれ汝らに告ぐ、汝らわが律法を守るにあらざればこの光栄に達するを得ず。
教132,22,およそ最高の栄えに進を得て生命をつずくるに至る門は狭く、道は補足してこれを見出す者は少し、そは、汝らこの世に於てわれを受け入れず、またわれを知らざるに由る。
教132,23,されど、もし汝らこの世に於てわれを受け入れなば、汝らわれを知りて最高の栄に進を得ん、すなわちわが在るところに汝らもまた在らん。
教132,24,こは、永遠の生命なり。すなわち、唯一の智恵ある真実の神と、その神の遣わしたまいしイエス・キリストを知ることなり。われは、その遣わされたる者なり。故に、汝らわが律法を受け入るべし。
教132,25,それ死に至る門は大きくしてその道は広し。而して其所より入る者数多し。彼らはわれを受け入れず、またわが律法を守らざるによる。
教132,26,誠いまことにわれ汝らに告ぐ、ある男もしわが言によりわが命ずるところに従いて妻を娶るに、その夫または妻何にても罪を犯し、または何事にても新しく且つ永遠の誓約を破り且つあらゆる神を穢す行いを為し、また罪無き者の血を流す殺人の罪を犯さずば、もしかれ
教132,26-1,"約束の聖きみたま"によりて結び片目らるるならば、最初の復活に出で来りて最高の栄に進むを得。されど、贖いの日に至るまで肉体にて亡ぼされ悪魔に付されて打ち叩かるべきなり、と主なる神言う。
教132,27,この世に在りてもまたほかの世に在りても赦さるることなき聖霊を穢す罪とは、すなわちわが新しく且つ永遠の誓約を受け入れたる後人を殺して罪無き者の血を流すことと、わが死にたるを承諾することを言うなり、と主なる神言う。人もしこの律法を守らずば、決して
教132,27-1,入ること能わずして断ち切らるべきなり、と主は言う。
教132,28,われは主なる汝の神なり。われ汝にわが聖き神権の律法を与えん。これはこの世の在りし前に、われとわが父との定めたりしそのままなり。
教132,29,アブラハムはすべてを受けたり。彼は何事を受くるも啓示と誡命とわが言とによれり、と主は言う。而して、彼は最高の栄えに進むを得てその王座に坐せり。
教132,30,アブラハムはその子孫とそのすえ（わが僕ジョセフ汝もそのすえなり）に就きて約束を受けたり。すなわち、そのすえはこの世に在らん限り存続すべく、またアブラハムとそのすえにつきては、ほかの世に在りても絶ゆることなかるべきことこれなり。この世に在りても
教132,30-1,この世の外に在りても、空の星の如く数多くして絶ゆることなく、すなわち浜の砂は数えらるとも彼らを数え尽し得ざるべし。
教132,31,この約束はまた汝の約束なり。汝はアブラハムより出で、この約束はアブラハムに為されしによる。この律法によりてわが父の事業は続き、父はこれによりて光栄を得たもう。
教132,32,この故に汝行きてアブラハムの業を為せ。汝わが律法に入れ、さらば救わるべし。
教132,33,されど、もし汝わが律法に入れずば、わが父のアブラハムに為したる約束を受くるを得ず。
教132,34,神アブラハムに命じたまい、サラはハガルをアブラハムに与えて妻となせり。サラは何故にこれを為したるか。これ律法なりしが故なり。而して、ハガルより多くの人々生れ出でたり。故にこれは約束を成就することの1なりき。
教132,35,されば、アブラハムは罪ありとせらるるべきか。われ誠に汝に告ぐ、然らず。そは、主なるわれこれを命じたるが故なり。
教132,36,アブラハムは息子イサクを犠牲にせよ、と神より命ぜられたり。それにも関らず、汝人を殺すなかれとは録されたり。然るにアブラハムは、その子を犠牲にするを拒まざりき。而して、アブラハムはこれにより義とせられたり。
教132,37,アブラハムは側女を与えられ、これらはアブラハムの子らを生めり。然るに、アブラハムは義しとせられぬ。この側女たちはアブラハムに与えられたるものにして、彼はわが律法を守りたればなり。また、イサクもヤコブも共に神より命ぜられたることの外何事をも為さ

教132,37-1,而して、彼ら神より命ぜられたることのほか何事をも為さざりしにより、約束に従い最高の栄に進むを得て王位に坐せり。彼らは天使にあらずして神々なり。
教132,38,ダビデもまた多くの妻と側女を受けたり、ソロモンおよびわが僕モーセもこれと同じ。また創世の始めより今に至るまで、その他多くのわが僕たちもかくの如し。されど、彼らはわれより受けざりし事のほかには何事も罪を犯したることなし。
教132,39,ダビデの妻と側女たちは、わが僕ナタンとこの権能の鍵を有ちし他の予言者たちの手によりわれの与えたるものにして、ただウリヤとその妻の場合を除けばこれらの事に於てダビデに何らわれに対して罪を犯さざりき。ただウリヤとその妻のことによりて、彼は最高の栄
教132,39-1,進むことより堕ちて彼の受け取る分を受けたり。されば、ダビデはこの世の外にありてその妻たちを受け嗣ぐ能わず。われ彼らを別の者に与えたればなり、と主は言う。
教132,40,われは主なる汝の神なり。われ汝、わが僕ジョセフい命を与えてすべての事を回復せしむ。汝欲するところを願うべし。さらば、わが言に従いて汝に与えられん。
教132,41,汝ら姦淫のことに関してわれに尋ねたるにより、誠にまことにわれ汝らに嗣ぐ、もしある男ありて新しく且つ永遠の誓約に由りて1人の妻と娶りたるに、もしこの女別の男とともに居り、且つわれこれを聖なる儀式に由りてこの女に選び与えたることなければ、この女は
教132,41-1,罪を犯したるにして滅ぼさるべきなり。
教132,42,もしこの女、新しく且つ永遠の誓約に入らずして別の男とともに居らばこの女は姦淫の罪を犯したるなり。
教132,43,もしこの女の夫別の女とともに居らんに、彼すでに誓を立てたる者ならば、彼はその誓いを破りしにより姦淫の罪を犯せるなり。
教132,44,されどもしこの女、姦淫の罪を犯さずして潔白、誓言を破ることなく且つその夫の所業を知る時は、われは汝わが僕ジョセフに啓示し、それよりわが聖なる神権の権能によりその女取り去りて、姦淫の罪を犯したることなくして誠実なる男にこれを与うべき権能を汝に与
教132,44-1,そは、かくの如き男は多くの者を支配する者なればなり。
教132,45,われ汝に神権の権能と鍵とを付し、これによりてよろずの事を回復し、時期至らばよろずの事を汝に知らしめん。
教132,46,誠にまことにわれ汝に告ぐ、何にても地に於て汝の結び固むるところは・に於ても結び固められ、何にても地に於て汝のわが無によりわが言によりて結ぶところは天に於て永遠に結ばるべし。また、何者の罪にても汝地に於て赦すところの罪は天に於て永遠に赦され、ま
教132,46-1,罪にても汝地に於て留むるところの罪は天に於て留められん、と主は言う。
教132,47,また誠にわれ汝に告ぐ、何人にても汝の祝福する者はわれこれを祝福し、何人にても汝の咀う者はわれこれを咀わん、と主は言う。主なるわれは汝の神なればなり。
教132,48,われまた誠に、わが僕ジョセフに告ぐ。地に於て汝の与うる何にてもあれ、またわが言とわが律法により地に於て何人を誰にまれ与うるとも、そは祝福を受けて咀いを受くることなく且つわが力伴わん。また、天に於ても地に於ても罪ありとせらるることなし、と主は言
教132,49,われは主なる汝の神にして、世の終りまでもまた永遠より永遠までも汝と共にあるべし。われは誠に汝が最高の栄に進むを得ることを結び固め、わが父の王国に於て汝の先祖なるアブラハムと共に居るべき1つの王座を汝のために備うべし。
教132,50,見よ、われ汝の犠牲を見たればすべて汝の罪を赦さん。われはまた、汝がわれの語りたる所に従いて払いたる犠牲を見たり。この故に、行け。さらば、われアブラハムの子イサクにつきてアブラハムの捧物を受けたるが如く汝の逃るべき途を備えん。
教132,51,われ誠に汝に告ぐ、わが汝に与えたる汝の妻、わが婢なるエマ・スミスに1つの誡命を与う。彼女は、彼女に提供せよと汝に命じたるものに自ら抑えて与らざれ。そは、アブラハムに為したる如く、汝らすべてを試さんとして為したればなり。またこれ、われ誓約と犠牲
教132,51-1,汝に捧物を求めんがためなり。
教132,52,わが婢エマ・スミスは、わが僕ジョセフ・スミスに与えたる人々にして徳操あり且つ純潔なる者をことごとく受け入るべし。されど、純潔ならずして純潔なりと称えし者たちは滅ぼされん、と主なる神言う。
教132,53,われは主なる汝の神なれば、汝はわが声に従わざるべからず。われはわが僕ジョセフに数多のことの支配者となるを許す。彼は小数の事に就き忠実なりし故に、われこれより彼を強くせん。
教132,54,われ、わが婢エマ・スミスに命ず。彼女はわが僕ジョセフを固く守りてこれと結び合うべし、決してその他の者にかくあるべからず。彼女もしこの誡命に従わんとせざれば滅ぼさるべし、と主は言う。われは主なる汝の神にして、彼女もしわが律法を守らざれば滅ぼすべ

教132,55,されど、もし彼女この誡命に従わんと欲せずば、その時わが僕ジョセフは彼の言いたる如くことごとくこの事を彼女に為すべし。されば、われ彼を祝福して彼を弥増さん。すなわち、父と母と兄弟姉妹と家と土地と妻と子供らに就き、この世に於ては100倍を与え永遠
教132,55-1,於ては永遠の生命の冠を与えん。
教132,56,われ、また誡に告ぐ、わが僕はわが僕ジョセフの咎を赦すべし。さらば、婢のわれに対して背ける違は赦されん。われ主なる汝の神、彼女を祝福して彼女を弥増しその心に悦びを与うべし。
教132,57,またわれ告ぐ、わが僕ジョセフは敵来りて彼を滅ぼさざらんためその財産を手離すなかれ。サタンは滅ぼさんとすればなり。われは、主なる汝の神にしてジョセフはわが僕なり。見よ、みよ。われ汝の先祖アブラハムと共に在りし如く、彼と共に在りて彼を最高の栄に進
教132,57-1,光栄を与えん。
教132,58,そもそみ、神権の律法に就きてはそれに関する多くの事あり。
教132,59,誠にもし人ありて、アロンの如くわが声とわれを遣わしたまいし者の声によりてわが父に召され、われこの人にこの神権の権能の鍵を授与するに、もしこの人わが名によりわが律法に従いわが言によりて何事を行うともそは罪に当らず、われまた彼を正しと認むべし。
教132,60,この故に、何人もわが僕ジョセフを攻むべからず。われ彼を正しと認むれべなり。また、彼の咎のためにわが彼に求むる犠牲を捧げしむればなり、と主なる汝らの神言う。
教132,61,また、この神権の律法の上より言う、もし何人たりとも1人の処女を娶り、更に、今1人の処女を娶らんと望むに、最初の者これを承諾しこの男第2の処女を娶るに、2人とも処女にして他の男に誓いを立てたることなければ、この男は律法によりて正しと認めらる。こ
教132,61-1,姦淫の罪を犯す筈なし。2人共この男に与えられたればなり。己れの属して他の何人にも属さざる者に就きて、姦淫の罪を犯す筈なければなり。
教132,62,而して、もしこの男この律法によりて彼に与えられたる10人の処女を有つとも、彼は姦淫の罪を犯す筈なし。そは、10人の処女は彼に属し彼に与えられたれば、これを以て彼は正しと認めらるる故なり。
教132,63,されど、もしこの10人の処女の中の1人または何れかが、男に嫁ぎたる後他の男とともに居らば、これ姦淫の罪を犯したるにより滅ばさるべし。そは、この処女たちはわが誡命によりその子孫の殖えて地に充たさんため、また創世の前よりわが父によりて為されたる約
教132,63-1,充たさんため、また永遠の世に於て最高の栄に進み、かくして人々の霊を生まんがために彼に与えられたればなり。ここに於てわが父の御業は絶ゆることなく、かくして御栄は父に在るなり。
教132,64,また、誠にまことにわれ汝らに告ぐ、もし何人にても1人の妻を有ちその人この権能の日sgiを保有せば、その妻にこれらの事に関するわが神権の律法を教うるに、その時妻はこれを信じ彼に事うべし。然らずばその女は滅ぼさるべし。主なる汝らの神言う、われはそ
教132,64-1,滅ぼさん、と。われはすべてわが律法を受け入れこれを守る者ことごとくの上に、わが名を高めんとすればなり。
教132,65,この故に、その妻もしこの律法を受け入れざるも、その夫が主なる神なるわれが彼に与うべきものをことごとく受くるはわれこれを正しとす。何となれば、その妻信ずることなく且つわが言に従いて夫に事えざりしによる。また、この時その妻は咎ある者となり、夫はサ
教132,65-1,律法より免る。サラは、その夫アブラハムにハガルを妻として与うべしとわが命じたる時に、わが律法に従いてアブラハムに事えたるなり。
教132,66,さて、われ誠にまことに汝らに告ぐ、この律法に就きては今より後更に啓示すべし。されば、今はこれを以て足れりとせよ。見よ、われはアルパなりオメガなり。 アーメン。
教133,,教義と聖約　第133章
教133,*-*,1831年11月3日、オハイオ州ハイラム予言者ジョセフ・スミスによりて給わりたる啓示、この啓示をしるすに先立ち予言者誌して曰く、当時この世に住める人々に福音を宣ぶることと聖徒の集合とにつきて、長老たちの知らんと願いしこと多くありき。真の光明に
教133,*-*-1,歩み、いと高き所より教えを受くるために、1831年11月3日、余は主に伺いて次の如き重要なる啓示を受けたり。而してこの啓示は、"教義と聖約の書"にその時より附け加えられて今附録と呼ばるるところのものなり。わが教会の人々い対しシオンに集るべき宣
教133,*-*-1-1,この宣言は長老たちにより世界の民にもたらさるべきこと。シオンもエルサレムも建設さるべきこと。これら両つの各中心地より出ずべき主の御声。失われたる支族は、主い憶えられて北方の国々より連れ出ださるべきこと。これらの者は、エフライムの手により祝福を
教133,*-*-1-1-1,聖徒らの墓は、主の来りたもう時開かるべし。主の音信を拒む者たちの運命。
教133,1,主なる汝らの神言う。聴け、汝らわが教会の人々よ。汝らに就ける主の言を聴け。

教133,2,すなわち、この主はその神殿に突如来らん。この主は審判のため咀いをもてこの世に降らん。誠に神を忘るるすべての国民と、汝らの中神を敬わざるすべての者の上に来らん。
教133,3,主はすべての国民の前にその聖なる腕を露し、地のあらゆる極に至るまで人々彼らの神の救いを見ん。
教133,4,さらばわが民よ、汝ら備えを為せ。汝ら自ら聖くせよ。わが教会の人々よ。留ることを命ぜられざりし者たちはことごとくシオンの地に寄り集れ。
教133,5,汝らバビロンより去れ。汝ら主の器を持つ者よ潔くあれ。
教133,6,聖式を挙ぐる集会を開きてしばしば相語り、あらゆる人々皆主の名を呼び求むべし。
教133,7,然り、誠にまたわれ汝らに告ぐ、今や主の声汝らに及ぶ時来れ。汝らバビロンを去れ。諸々の国民の中より4方より天のこの極よりかの極に至るまで出で来りて集るべし。
教133,8,わが強化の長老たちを遥かに離れたる諸々の国民に遣わし、また海の島々に至らしめ、また外国に遣わして万国の民を訪わしめ、まず異邦人を訪い次にユダヤ人に至らしめよ。
教133,9,見よ、みよ。長老たちの叫びと、ことごとくの民に向いて主の告ぐる声はこれなり。汝らシオンの地に出で行き、以てわが民の境を拡げ、シオンのステーキぶを強うしてシオンを周りの地東に及ぼすべし。
教133,10,誠に、この叫びをすべての民の中に出で行かしめよ。目覚めよ。起ちて花むこを迎えんために出で行くべし。見よ、みよ。花むこは来る。出で行きてこれを迎うべし。汝ら、主の大いなる日のために備えをなせ、と。
教133,11,故に、見張りをなせ。汝らその日もその時も知らざればなり。
教133,12,この故に、異邦人の中に在る者たちはシオンに逃れよ。
教133,13,ユダのすえはエルサレムすなわち主の家の山へ逃れよ。
教133,14,汝ら、諸々の国民の中よりすなわちバビロンより、霊のバビロン悪の中より去るべし。
教133,15,されど、誠にかくの如く主は言う。汝らの逃るるや、急ぎて事を為さずしてすべての事預め備えを為すべし。而して去る者は後を顧みることなかれ、滅亡の突然彼を襲わざらんためなり。
教133,16,聴けよ。この世に住む人々よ聞け。汝らわが教会の長老たちよ。共に耳を傾けて主の声を聞け。主はすべての人々を呼びて至る所皆悔改めを命ずればなり。
教133,17,見よ、主なる神は天の唯中を過りて叫ぶ天使を遣わして言わしむ。汝ら、主の道を備えよ。その道を備えてこれを直くせよ。主の来る時近ければなり。
教133,18,すなわち、その時子羊はシオンの山の上に立たん。また彼と共にその額に父の御名を誌されたる144、000の人々共に在りと。
教133,19,この故に、汝ら花むこの来る備えを為せ。出でよ、出で行きてかれを迎うべし。
教133,20,見よ、彼はオリヴェトの山の上、いと深き大海の上、海の島々、シオンの地の上に立たん。
教133,21,彼はシオンより声を出し。エルサレムより語り、その声あらゆる人々の中に聞ゆべし。
教133,22,またその声、多くの河の響大いなるいかづちの響の如くにして、その響山々を崩し谷々を埋むべし。
教133,23,彼はいと深き淵に命じて北方の国々に退かしめ、島々をして1つの地にならしめん。
教133,24,而して、エルサレムの地とシオンの地とは旧の所に復り。地球はそのいまだ分れざりし前の時代の如くにあらん。
教133,25,而して主すなわち救い主は、その民の唯中に立ちて一切の生くる者を支配すべし。
教133,26,北の国々に在る者たちは、主の前に主を憶えて出で来る。またその予言者たちも、主の声を聞きてもはや自ら抑うる能わず、彼ら巌を打ちて氷その前に流れ下らん。
教133,27,1つの大路は大いなる淵の唯中に現われ出で、
教133,28,彼らの敵はかえりて彼らの餌とならん。
教133,29,不毛の審くの中に生ける水の池出で来り、焼けたる地はもはや湿いなき土地にあらざらん。
教133,30,而してこれっらの地は、わが僕なるエフライムの子孫に豊なる財宝を産み出すべし。
教133,31,永遠の山々の境は彼らの前にゆれ動き、
教133,32,北の国々の者はひざまずきて、シオンに於てエフライムの子孫なる主の僕らの手により栄の冠を受け、
教133,33,彼らは永遠の悦びの歌をもて満されん。
教133,34,見よ、こはイスラエルの支族の上に給う永遠なる神の祝福にして、またエフライムとそのともがらの頭の上に給う去らに豊なる祝福なり。
教133,35,またこの祝福はユダの支族のものにして、その苦しみ主の前に於て聖くせられたる後、彼らは永遠に夜昼主の前に住うなり。
教133,36,さて、誠に主は言う。汝らこの世に住む者よ。これらのこと汝らの中に知られんため、永遠の福音を持ち天の唯中を過りて飛ぶわが天の使を遣わせり。この使はすでにある者たちに現われ人間に福音を附したり。またこの使は、この世に住む多くの者に現わるべし。

教133,37,而して、この福音はあらゆる国民、あらゆる血族、あらゆる国語の民、およびあらゆる世の人々に宣べ伝えられん。
教133,38,神の僕らは出で行きて声高く言うべし。神を畏れて栄を神に帰せよ。神の審判の時来りたればなり。
教133,39,また、天と地と海と水の源とを造りたる者を礼拝し、
教133,40,夜昼主の名を呼びて、願わくは天を裂き破りて下りたまえ。かくて山々の御前に崩れ落ちんことを、と言うべし。
教133,41,さらば、主の声は彼らの頭上に下らん。主の臨在はすべてを溶す燃ゆる日の如く、水を沸き立たす熱日の如くあらん故なり。
教133,42,おお、主よ。汝の敵に御名を知らしめんために降りたまえ。さらば万国の民ことごとく御前に戦くべし。
教133,43,すなわち、その時汝は彼らの待ち受けざる恐るべきことを為したもう。
教133,44,誠に汝の降りたもうや、御前に山々は崩れ落ち、汝は義しきを喜びて行い而も主の道を行いて汝を憶ゆる者に会いたまわん。
教133,45,世の始めより以来、人にしてこのことを耳によりて聞き知りし者なく、また如何なる眼も見たることなし。おお神よ。汝のほか誰か汝を待つ者のためにかく大いなる事を備えたまいし。
教133,46,またかく言われん。染めたる衣をまといて、天なる神の御許より降り来るこの者は誰か。誠にかの光栄ある衣を着け大いなる力をもてわれらの知らざる所より来る者は誰なるか。
教133,47,彼言わん。われは正義をもて語り、強き力をもて救う者なり。
教133,48,而して、主は赤き装いをなし、その衣は酒ぶねを踏む者の衣の如し。
教133,49,主の前にある光栄は甚だ大いなれば、日輪も恥じてその顔をかくし、月もその光を失い、諸星もその座より堕ちくだらん。
教133,50,その時主の声聞えん。われは独りにて酒ぶねを踏めり、われすべての民に審判を持ち来れるに唯1人もわれと共に居らざりき。
教133,51,されわれ怒りて彼らを踏み、憤りによりて誠に彼らを踏みにじりたれば、彼らの血わが衣にはね返りてわが装いをことごとく汚したり。こは、わが心の中にありし応報の日なりしなればなり。
教133,52,今やわが贖いたる者の年はすでに来れり。彼らは主の慈み深き親切と、主の善によりまた主の慈み深き親切によりて与えられることごとくのものとを挙げて永遠に語るべきなり。
教133,53,主は、あらゆる彼らの艱難をなやめり。而して、主の前にある天使彼らを救えり。また、愛をもて愛憐をもて主は彼らを贖い、およそ昔の時始終彼らを背負い彼らを連れ歩きたまえり。
教133,54,誠にエノクもまたエノクと共に在りし者たちも、ケノクの前に在りし予言者たちも、またノアもノアの前に在りし者たちも、モーセもモーセの前に在りし者たちも、
教133,55,モーセよりエライジャに至り、偉い邪よりこれらキリスト復活の時共に在りヨハネに至る者共も、聖き使徒らも、アブラハム、イサク、ヤコブらと共に子羊の前に出ずべし。
教133,56,聖徒らの墓は開かれ、聖徒らは出で来りて子羊の右手に立つべし。この時主はシオンの山と聖き市なる新エルサレムの上に立ち、彼らは永遠に夜昼子羊の歌を唱わん。
教133,57,この故に、人々をこの先神の現わしたもう光栄に与る者となさんため、主は平易簡明に説きたるその完全の福音、その永遠の誓約を世に遺れり。
教133,58,すなわち、これを遺りて弱き者に世に来るべきことに対して備えしめ、また弱き者の賢き者をあわて惑わしめ、小さき者の強き国民となりて、弱き者小さき者、何万と言う大いなる国民を追払わんその日に主の使となる備えをなさしむるなり。
教133,59,而して世の弱き者により、主はその"みたま"の力によりて国々の民をむち打つなり。
教133,60,かかる故に、これらの誡命は与えられたり。而してその与えられたる当時はこれを世に秘しかくし置くことを命じたりしが、今や出でて一切の生くる者に及ぶべきなり。
教133,61,すなわち、こは一切の生くる者を支配する主の心と旨による。
教133,62,およそ主の前に悔い改めて自らを聖うする者には永遠の生命与えられん。
教133,63,主の声を聴かざる者には、予言者モーセの録したること成就せらるべし。すなわち彼らは民の中より絶たるべきなり。
教133,64,また、予言者マラキの録せしことも同じ、すなわち、また万群の主は言う。見よ、炉の如くに焼くる日来らん。その日には誇り高ぶる一切の者と、悪を行う一切の者とはわらの如くになり、来るべきその日のために根も枝ものこらず焼つくされん、と。
教133,65,この故に、彼らに就きて主の答うるところ次の如し。
教133,66,われわが民に来れる説き、汝らの中1人もわれを受けざりき。こn故に汝ら追われぬ。
教133,67,われ再び呼びし説き、汝らの中1人も答うる有nなかりき。然はあれども、わが腕は汝らを贖い得ざるほ

ど全く短享せられず、またわが力も汝らを救うに足らざるほど弱くせられざりき。
教133,68,見よ。われ叱りつくれば海をからす。われ河を荒野となせば河に住む魚は臭くなり渇きて死ぬるなり。
教133,69,われ暗黒を天に着せ、荒布をもてこれを覆う。
教133,70,汝らわが手よりこのことを受け、すなわち悲しみて歎き伏すなり。
教133,71,見よ、見よ、汝らを救う者1人もなし。われ天より汝らを呼びかけし説き、汝らわが声に従わず、また汝らわが僕たちを信ぜずしてこれらの有nの汝らに遺わされし時これらを受けざりき。
教133,72,この故に、彼らはその人たちに対する証詞を結び固め、律法に縛る効力あらしめぬ。かくて汝らはすなわち暗黒に付されたりき。
教133,73,これらの有nは外の暗黒に出で行き、其所にて泣き悲しみ切歯することあらん。
教133,74,見よ、主なる汝らの神この事を語れり。 アーメン。
教134,,教義と聖約　第134章
教134,*-*,1835年8月17日、オハイオ州カートランドに開かれたる末日聖徒イエス・キリスト教会の総会にて、全員一致を以て採択せられし、ひろく政府および法律に関する所信の宣言。これには次の如き前書あり。すなわち"ひろくこの世に於ける政府および法律に関する
教134,*-*-1,所信が誤って釈かれまたは誤って解せられざらんために、本書のまさに終結せんとするに当りこれに就きて吾人の意見を述ぶるを至当なりと思惟せり"と、これは当時編集されたる"誡命の書"の終りに近く挿入せられたり。わが教会の歴史、第2巻、247章(英文)
教134,1,われらは信ず、政府は人間のために神により制定されたるものにして、社会の福利と安全のため法律を制定しまたそれを施すに当り、政府に関して人間の為す行動に対し神は人間に責任を負わせたもう。
教134,2,われらは信ず、政府は各故人に対し良心の自由なる行使、財産の所有権とその管理、および生命の保護などを保証する如き法律を制定し、且つこれを犯さるることなく保持するにあらざれば、如何なる政府も平和に存立するを得ず。
教134,3,われらは信ず、すべて政府は政府の法律を施行せんがため、必然吏員および長官らを要す。而して、公平と正義とを以て法律を行う如き人物は、これを求めて共和国の場合ならば人民の投票により、他の場合にはまた主権者の意志によりて支持すべきなり。
教134,4,われらは信ず、宗教は神によりて制定さるるものにして、宗教上の意見に基きて他人の権利と自由とを侵害せざる限り、宗教上の実践につきては人は神に対して責任あるべき者、すなわち専ら神に対しての責任あるべきものなり。されど、人間の作成したる法律が礼拝の
教134,4-1,規定して以て人の良心を束縛し、また一般或いは私人の礼拝の方式を指図する権利を有することを信ぜず。また、およそ民治上の長官は人の犯罪を阻止すべきものなれども、決して人の良心を支配すべきものにあらず。また、罪を罰すべきものなれども、人間の自由を抑
教134,4-1-1,にあらず。
教134,5,われらは信ず、すべての人はその固有不動の権利を政府の法律によりて保護せらる間その族する各自の政府を支持し擁護すべき義務あり。されば、かかる保護の下にあるあらゆる国民にして、治安の妨害、謀叛などを為すは妥当にあらず。故に、かかる輩は積み荷従って
教134,5-1,なり。而して、すべての政府は公共の福利を保証するために、政府の判定に於て最も善く計画せられたる如き法律を制定する権利を有す。されど、また同時に良心の自由を神聖に保べきなり。
教134,6,われらは信ず、すべての人は各々その地位に在りて尊重せらるべきなり。すなわち、統治者および長官らはその地位に在りて罪無き者を保護し、罪ある者を罰するために置かれたり。すべて、人は法律を重んじて尊敬すべし。これなくんば、平安と和合とは、無政府と恐
教134,6-1,替わらるるが故なり。人間の作成したる法律は、人と人との間に於て故人および国民としての利害を調整する特別なる目的のために制定せらる。而して、天の与うる神の律法は、信仰と礼拝のために霊界の事項に関する諸規則を規定せるものにして、人間はこの両つにつ
教134,6-1-1,対して責任あるものなり。
教134,7,われらは信ず、統治者、国家および政府は、すべての市民の宗教的信仰を自由に行使するを保護するために法律を制定する権利を有すると共に、またその義務を有す。されどわれらは、政府は国民より信仰自由の特権を奪い、または国家の法律を重んじこれに敬意を表す
教134,7-1,且つかかる宗教的意見にして謀叛陰謀の何れをも正しとせざる限り、政府の意見を以て自由を禁あつする正統なる権利有りと信ぜず。
教134,8,われらは信ず、およそ犯罪の遂行はその罪科の性質によりて処罰すべきなり。すなわち、殺人、叛逆、強盗、窃盗および一般の治安妨害など、あらゆる点に於て各々その犯罪の性質と人々に及ぼす害毒の傾向に鑑みて、その犯罪の行われたる土地の政府の法律によりて処

教134,8-1,且つすべての人々は公共の平和安寧のため、善良なる法律に違反する者の処罰に進んで力を致さざるべからず。
教134,9,われらは、宗教的勢力と国勢とを混同するを正統なりと信ぜず。かくすれば、ある宗教団体はこれによりて保護せられ、別の宗教団体はその霊的特権を禁あつせられて、以てその団体に属する会員の個人としての権利は否定せらる。
教134,10,われらは信ず、宗教的団体社会の規定と規則とに照らして、すべての宗教的団体は、不届なる行為に対しその者の会員たる資格と身分に関する限り相当の処分を為す権限を有す。されどわれらは、如何なる宗教団体といえども、財産または生命に関する権利につき人を審
教134,10-1,世に属する物件を取り、または生命身体の何れかに危害を加え、または如何なる体刑をも課する権限ありと信ぜず。ただ彼らをその団体社会より破門し、またその会員たる資格を取消すを得るのみ。
教134,11,われらは信ず、人々個人的虐待を受けまたは財産の権利を侵され人格を傷つけらるる時、これに対して保護する如き法律あらばすべての被害と苦痛とを保証せられんがために民法に訴うべきなり。されどわれらは信ず、直ちに法律に訴えて救助を得るに暇なき緊急の場合
教134,11-1,人物よりする不法の襲撃と侵害とに対して、すべての人が自己と友人と財産と政府とを防衛するは正当なり。
教134,12,われらは信ず、世の国民に福音を説き、正しき人々に世俗の腐敗より自らを救わんことを警告するは正し。されど、所有者の意志または希望に反して、奴隷らに溶喙してこれに福音を説き、これにバプテスマを施すは正しと信ぜず。またいささかなりとも彼らに差出口を
教134,12-1,または彼らを感化して現世に於けるその境遇に不満を抱かしめ、これを以て人名を危からしむるを正しと信ぜず。かくの如き溶喙は不法且つ不正にして、人類を奴隷状態に置くことを容認せるあらゆる政府の安寧にとりて危険なるものなりと信ず。
教135,,教義と聖約　第135章
教135,*-*,1844年6月27日、イリノイ州カーセーヂに於ける予言者ジョセフ・スミスとその兄弟大祝福師ハイラム・スミスの殉教、わが教会の歴史、第6巻、612頁（英文）を見よ。
教135,1,この書とモルモン経の真実なることの証を結び固むるために、われらは予言者ジョセフ・スミスと大祝福師ハイラム・スミスとの殉教を発表す。この両者は、1844年6月27日午後5時頃、150人乃至200人より成る。顔面を黒く塗り武装したる暴徒のため、カ
教135,1-1,カーセーヂの獄内にて銃撃せあれたり。ハイラムまづ銃丸を受け"われ死す"と下げび従容として倒る。ジョセフは窓より飛降りたるが、その途中銃丸を受け"おお主なるわが神よ"と叫びて死す。この両者は共に死後残酷にも銃撃され2人共4個の銃丸を受けたり。
教135,2,ジョン・テーラーとウイラード・リチャーヅは、各々12使徒にして当時その部屋に居りたる唯2人の者なるが、前者は4個の銃丸を受けて惨たらしく負傷せるが後に癒えたり。後者は、神の摂理によりその衣服に銃丸1つ受けずして逃れぬ。
教135,3,主の予言者にして聖見者なるジョセフ・スミスは、ただイエス・キリストを除くほか、この世に生を受けたる何人よりもこの世に於ける人類の救いに尽したり。僅々20年の短日月に、モルモン経を世に出してこれを神の賜物と力とによりて翻訳し、東西両大陸にてこれ
教135,3-1,媒ちとなれり。また世界の4極に至るまで、この書に載せたる完全なる福音を弘め、人の個らのために"教義と聖約"なる本書を構成する啓示と誡命並びに他に多くの智慮ある文書と教訓とを世に出せり。また、幾千の末日聖徒を集め一大都市を建設して朽つる能わざる
教135,3-1-1,名声とを遺せり。彼は神とその民の眼前に偉大なる生涯を送り、偉大なる死を遂げたり。而して、向い主の聖任したまいし者らのほとんどすべてが然ありし如く、彼の使命と事業とを己が血を以て結び固めたり。彼の兄弟ハイラムもまた然り。両者はその生くるや形影相
教135,3-1-1-1,死ぬるやまた相共に倒る。
教135,4,ジョセフ、法官のいつわれる要求にその身を引渡さんとしてカーセーヂに赴きし説き、その暗殺さるる23日以前に語れり"われは、今ほふり場に引かるる子羊の如く行く、されど、わが心は夏の朝の如くに穏かなり。わが良心は神に対しまたすべての人に対しいささか
教135,4-1,なし。われは罪なくして死なん。而して、世の人々は彼は残忍なる者の手に殺されたりと言わん"と。ハイラムが出発の用意をすでになし終れるその朝のことなり。彼は殺人者の許に行くと言わんか。然りその通りなりしなければなりーーー彼はモルモン経の中、イテル
教135,4-1-1,終りに近き次の句を読みてその頁を折返し置けり。
教135,5,すなわち"私はこう言ってから、主に祈って主が異邦人を憐んでかれらに仁愛の情を持たせたまえと願った。すると主は私に答えて'異邦人に愛情なくともこれにつきて憂うるに及ばず。汝は忠実なれば汝の衣は清くせ

らる。また汝は己れの弱点を認むる故に、力を授け
教135,5-1,父の邸の中に備えられたる所に座すべし'と仰せになった。私モロナイは、・・・異邦人および私の愛する兄弟たちに別れを告げる。キリストの法廷で再開する時、すべての人はあなたたちの血の責任が私の衣にかからないことを知るであろう"と。証詞を遺せし人たち
教135,5-1-1,されどその証詞は効力あり。
教135,6,ハイラム・スミスは、1844年2月に満44才、ジョセフは、1844年12月に満38才なりき。今後その無は殉教者の中に列なるべく、あらゆる国民の中なる読者は、モルモン経と当教会の"教義と聖約"なるこの書物は荒れ廃れたる読を救う目的を以て読に出る
教135,6-1,第19世紀に於ける最も貴き血潮を要したることを思い起すならん。またもし神の御栄のためには火は緑なる木をも焼くを得るを知らば、腐りたる葡萄園を清めんために枯れたる木を焼くは如何の容易なるかを思い起すならん。この2人共、御栄のために生き御栄のため
教135,6-1-1,されば光栄は、2人に賜う永遠の酬いなり。その無は聖き者に給わる宝玉の如く、末代までも世々限りなく続くべし。
教135,7,この2人は、前にしばしば証明せられたりし如く、いささかの罪もなき者たちなり。而して、裏切者の陰謀と悪人たちのためにただ獄に監禁されしのみ。この2人がカーセーヂの獄の床の上に流したる罪無きの血は、この世の如何なる法廷に於ても否定し得ざる"モルモ
教135,7-1,捺したる大いなる証印なり。また、イリノイ州の紋章地の上に注がれしこの2人の罪無きの地は、知事の誓約にも関らず破られし州の信義と共に永遠の福音の真実なる証人にして、世の何人も言い破るを得ず。更にまた自由の旗と合衆国の大憲章の上に注がれしこの2人
教135,7-1-1,血は、イエス・キリストの教法のための使節にして、万国の民の中なる正しき人々の心に深く触るるべし。この2人の流したる罪無き血は、嘗てヨハネの見し祭壇の下なるすべての殉教者の罪無きの血と共に、この世にその血の酬いのあるまで万群の主に向って叫ぶこと
教135,7-1-1-1,べし。　アーメン。
教136,,教義と聖約　第136章
教136,*-*,1847年1月4日、アイオワ州カウンシル・ブラフスの近くミズーリ河の西岸、オマハネーションのイスラエル陣営の冬季野営地に於て、大管長ブリガム・ヤングを通じて給まりたる主の御言と御旨。西部に移住するための編制計画。義しき行いをなせと言う訓戒。喜
教136,*-*-1,悲しみの時にも主を賞め称うべきこと。予言者ジョセフは自身の血を以て証を結び固むる必要ありしこと。
教136,1,西部に向って旅行中なるイスラエルの陣営に関し主のたまえる御言とその御旨。
教136,2,末日聖徒イエス・キリスト教会に属するすべての日地ぼとおよびこれと共に旅する人々は、主なるわれらの神のすべての誡命と律法とを守る誓約と約束とを以て諸部隊を編成すべし。
教136,3,この諸部隊は100人長、50人長、10人長あり、その上に1人の隊長と2人の福隊長とを載きて編成せられ、12使徒の指揮を受くべし。
教136,4,而して、われらの誓約はかくの如し。すなわちわれら、ことごとく主の法令を履み行うべし、と。
教136,5,隠部隊は、各自の嘉納なるすべての曳車用牛車、車輌、糧食、衣服、その他の度の旅行に必要なる品々をことごとく準備すべし。
教136,6,部隊の編成せられたる時は今度あとに留る者のために全力を尽して備えをなすべし。
教136,7,各部隊は、その隊長およぼ組長と共に来春出発し得る人数を決定し、強壮にして事に慣れたる人々を充分なる数だけ選出し、曳車用牛馬、種子および農具などを携えて、春作の種まきを為さんがために開拓者として行かしむべし。
教136,8,各部隊はその分配を受けたる財産の高に従い、貧者、寡婦、父なき児、および軍隊に入りたる者の家族を均等に負たん負擔し、これらの人々の意に反して寡婦および父なき児らの怨声を主の耳に達しせしむることなかれ。
教136,9,各部隊は、今季間あとに残るべき者のために家屋と穀類を収穫すべき土地とを準備すべし。これ、主のその民に関する旨なり。
教136,10,あらゆる人々みなその力と財とを尽して、主がシオンのステーキ部を置く地bノ移すことを努めよ。
教136,11,汝らもしこの事を、潔き心と全き忠信とをもて為さば祝福を受けん。また汝らの羊の群、牛馬の群、畑、家屋、家族などは祝福を受くべし。
教136,12,わが僕エズラ・ティー・ベンソンおよびエラスタス・スノーは1部隊を編成せよ。
教136,13,また、わが僕オルソン・プラットおよびウイルフォード・ウッドラフは1部隊を編成せよ。
教136,14,また、わが僕アマサ・ライマンおよびジョージ・エー・スミスは1部隊を編成せよ。

教136,15,而して、その隊長、100人長、50人長、10人長、を任命し、
教136,16,この任命を受けたる人々は行きて聖徒にこのわが旨を教え、以て平和の地に何時なりとも行く備えをなさしむべし。
教136,17,行きて、わが汝らに命じたるところの如くせよ。汝らの敵を怖るるなかれ。彼らは、わが業を止むる力なければなり。
教136,18,シオンはわが時期至りて贖わるべし。
教136,19,もし何人にても自らを立つることを求めてわが助言を求めざれば、その者は力あることなくその愚なる行いは露さるべし。
教136,20,汝ら求めよ。互いに汝らの誓約をことごとく守れ。而して兄弟のものを貪ることなかれ。
教136,21,汝ら悪より離れて、主おなを徒らに呼ぶことなかれ。われは主なる汝らの神、すなわち汝らの先祖の神、アブラハム、イサク、ヤコブの神なればなり。
教136,22,われは、イスラエルの子らをエジプトの地より導き出したる者なり。わが腕は末の世にわがイスラエルの民を救わんために伸べられたり。
教136,23,汝ら互いに争論するを止めよ。また他人の悪口を言うを止めよ。
教136,24,酒に酔うことを止めよ。汝らの言をして互いに徳の向上に資するところあらしめよ。
教136,25,汝、もし隣人より借りたらばその借りたるものを返すべし。而して汝もし返済する能わざる時は、隣人の汝を咎めざらんため直ちに行きて隣人に告げよ。
教136,26,汝もし隣人が物を紛失したることを知らば、努めてこれを捜索しその手にこれを復するまで尽力しべし。
教136,27,汝その持てる物の保存に努め、以て賢き管理人となるべし。これは神より無代価にて与えられたる賜物にして、汝はその管理人なればなり。
教136,28,もし汝心楽しき時は歌を唱い楽を奏し舞踏を舞い、讃美と感謝の祈りをもて主を讃め称えよ。
教136,29,もし汝悲しき時は、汝に喜びあらんため祈願をもて主なるなんじの神を呼び求めよ。
教136,30,汝の敵を怖るるなかれ。彼らはわが掌中にありて、われわが思のままに為せばなり。
教136,31,わが民は、すべてのことに試煉を受けざるべからず。かくして彼らはわが与えんとして持てる光栄、すなわちシオンの光栄を受くるために準備せらる。而して、およそ懲しめを堪え忍ばざる者はわが王国に適しからず。
教136,32,智恵なき者はその眼開けて見ることを得、その耳開けて聞くことを得んために、自らを卑うして神なる主に呼び求めて智恵を得よ。
教136,33,われわが"みたま"を世に遣わして、真にへり下る者悔いる精神ある者に智恵を授け、神を敬わざる者を罪ありとすればなり。
教136,34,汝の同胞は、汝と汝の証とを拒みたり。すなわち、汝を追い出せる国民なり。
教136,35,今や彼らの禍の日は来る。すなわち嘆きの日なり。すなわち産の苦しみに悩む婦の如し。彼ら速に悔い改めずんば、実に速にせずんばその嘆き大いならん。
教136,36,彼ら予言者らを殺し彼らに遣わされたる者を殺し罪無きの血を流したれば、その血彼らに向って地の中より叫ぶ。
教136,37,されば汝ら、これらを見て驚くなかれ。そは汝らいまだ潔からざればなり。また、汝らいまだわが栄を受くる能わず。されど汝ら忠実にわが言いたる言をすべて守らば栄を見ることを得ん。この言はアダムの時よりアブラハムに至り、アブラハムよりモーセに至り、モー
教136,37-1,イエスとその使徒に至り、イエスとその使徒よりジョセフ・スミスに至るまでのものにして、われジョセフ・スミスを、わが天使らすなわちわれに事うる僕を以てまた天よりわれ自らの声を以て、わが業を世に出さんために呼びたり。
教136,38,彼は真実その礎を置き忠信なりき。故にわれは彼をわが許に引取れり。
教136,39,多くの者、その死によりて驚けり。されど、こは彼が己が証詞を自らの地を以て結び固め、人に尊崇せられて、悪人罪ありとせらるるためには必要なることなりき。
教136,40,われは汝らを敵より救い出せしにあらずや。実に遣されたる者はわが名を証しする証人となりしにあらずや。
教136,41,さて、この故に聴け、汝らわが教会の人々よ。また汝ら長老も共に耳を傾けよ。汝らはわが王国を受けたり。
教136,42,汝ら努めてわが誡命をことごとく守るべし。汝らの上に審判下り、汝らの信仰は失せ、而して汝らの敵汝らを破らざらむためなり。さらば、今はこれを以て止む。　アーメン。アーメン。
公137,,公式の宣言

公137,1,大方の各位
公137,2, ユタ州政府委員の内務卿に送附せる近頃の報告中、目下なお多妻結婚の式が挙げられ、また40件以上にのぼる多妻結婚昨年6月以来または昨年中にユタ州に於て結ばれ、また当教会の主脳者らが公開の説教中に多妻結婚の実施を継続するを教えこれを奨励せいと申立
公137,2-1,至急報ソルトレーク市より政治的目的を以て送られ今世上にひろく発表せられ居るを以て、この故に、余は末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長として、これらの避難は虚構なることをここに最も厳粛に宣言するものなり。われらは、現今多妻主義または多妻結婚を教
公137,2-1-1,また何人にてもこれを実行するを許すものにあらず。また、余は40件またはその他何れの件数に上る多妻結婚も、かの期間中に当教会の神殿または州内何れの箇所に於ても挙行されたることを否定するものなり。ここに1事件の報告ありて、1889年の春ソルトレー
公137,2-1-1-1,ダウメント・ハウル"に於てこの種の結婚挙げられたりと結婚せるものたちその中に於て申立つれども、今に至るも余は何人が挙式せるや知るを得ず。またこの事に尽き就きて為されたる事は、何によらず余の関知せざるところなり。この申立てよる事件の結果として、
公137,2-1-1-1-1,ウメント・ハウス"は余の司令によりて直ちに取こわされたり。議会が多妻結婚を禁ずる法律を制定し、またその法律は最高裁判所により憲法に基くと宣言されたるが故に、余はこれらの法律に服従し、また余の管理する教会の会員を動かして同様にこの法律に服従せし
公137,2-1-1-1-1-1,こに宣言す。特記せられし期間中に教会員に為したる余の教えまたは余の同僚の教えたる中には、多妻結婚を強いて覚えこませまたはこれを奨励すると、道理に適うように解説し得るところ何ものもなし。而して当教会の如何なる長老も、かくも如き教えの意味を含むと
公137,2-1-1-1-1-1-1,を使用したる時は直ちに譴責せられたり。而して余は、今余の末日聖徒に対する忠告は、国法によりて禁ぜられたる如何なる婚姻もこれを結ぶことを止むべし、と言うにあることを公に宣言す。
公137,3,末日聖徒イエス・キリスト教会大管長　ウイルフォード・ウッドラフ